表紙共１８３枚

久留米工業高専寄宿舎改修その他工事

建築意匠図		
図面番号	図面名称	縮尺
A-00	図面リスト	NS
特-01	改修特記仕様書(1)	NS
特-02	改修特記仕様書(2)	NS
特-03	改修特記仕様書(3)	NS
特-04	改修特記仕様書(4)	NS
特-05	改修特記仕様書(5)	NS
特-06	改修特記仕様書(6)	NS
特-07	改修特記仕様書(7)	NS
特-08	改修特記仕様書(8)	NS
特-09	改修特記仕様書(9)	NS
特-10	改修特記仕様書(10)	NS
特-11	工事区分表	NS
A-01	全体配置図・案内図	1/1,000
A-02	仕上表(1)(改修前・後)	NS
A-03	仕上表(2)(改修前・後)	NS
A-04	仕上表(3)(改修前・後)	NS
A-05	1階平面図(改修前)	1/100
A-06	2階平面図(改修前)	1/100
A-07	3階平面図(改修前)	1/100
A-08	4階・R階平面図(改修前)	1/100
A-09	1階平面図(改修後)	1/100
A-10	2階平面図(改修後)	1/100
A-11	3階平面図(改修後)	1/100
A-12	4階・R階平面図(改修後)	1/100
A-13	1階天井伏図(改修前)	1/100
A-14	2階天井伏図(改修前)	1/100
A-15	3階・4階・PH天井伏図（改修前）	1/100
A-16	1階天井伏図(改修後)	1/100
A-17	2階天井伏図(改修後)	1/100
A-18	3階・4階・PH天井伏図（改修後）	1/100
A-19	矩計図(1)(改修前)	1/30
A-20	矩計図(2)(改修前)	1/30
A-21	矩計図(3)(改修前)	1/30
A-22	矩計図(1)(改修後)	1/30
A-23	矩計図(2)(改修後)	1/30
A-24	矩計図(3)(改修後)	1/30
A-25	階段1 階段詳細図(改修前)	1/30
A-26	階段1 階段詳細図(改修後)	1/30
A-27	階段2 階段詳細図(改修前・後)	1/30
A-28	1階平面詳細図(改修前)	1/50
A-29	1階平面詳細図(改修後)	1/50
A-30	留学生捕食室・シャワー室 平面詳細図・展開図(改修前)	1/50
A-31	留学生捕食室・シャワー室 平面詳細図・展開図(改修後)	1/50
A-32	宿直室・浴室 平面詳細図・展開図(改修前・後)	1/50
A-33	寮室(シャワー・WC付) 平面詳細・展開図(改修前・後)	1/50
A-34	2階平面詳細図(改修前)	1/50
A-35	2階平面詳細図(改修後)	1/50
A-36	男子寮室 平面詳細図・展開図(改修前・後)	1/50
A-37	男子寮室(2人) 平面詳細図・展開図(改修前・後)	1/50
A-38	洗濯室・捕食室 平面詳細図(改修前・後)	1/50
A-39	1階 展開図(1)(改修前)	1/50
A-40	1階 展開図(2)(改修前)	1/50
A-41	1階 展開図(3)(改修前)	1/50
A-42	1階 展開図(1)(改修後)	1/50
A-43	1階 展開図(2)(改修後)	1/50
A-44	1階 展開図(3)(改修後)	1/50

建築意匠図		
図面番号	図面名称	縮尺
A-45	2階 展開図(改修前)	1/50
A-46	2階 展開図(1)(改修後)	1/50
A-47	2階 展開図(2)(改修後)	1/50
A-48	1階 建具キープラン(改修前)	1/100
A-49	2階 建具キープラン(改修前)	1/100
A-50	3階・4階・R階 建具キープラン（改修前）	1/100
A-51	1階 建具キープラン(改修後)	1/100
A-52	2階 建具キープラン(改修後)	1/100
A-53	3階・4階・R階 建具キープラン（改修後）	1/100
A-54	建具表(1)(改修前)	1/50
A-55	建具表(2)(改修前)	1/50
A-56	建具表(3)(改修前)	1/50
A-57	建具表(4)(改修前)	1/50
A-58	建具表(1)(改修後)	1/50
A-59	建具表(2)(改修後)	1/50
A-60	建具表(3)(改修後)	1/50
A-61	屋外階段詳細図(1)	図示
A-62	屋外階段詳細図(2)	図示
A-63	雑詳細図(1)	図示
A-64	雑詳細図(2)	図示
A-65	雑詳細図(3)	図示
A-66	雑詳細図(4)	図示
A-67	雑詳細図(5)	図示
A-68	雑詳細図(6)	図示
A-69	雑詳細図(7)	図示
G-01	外構図(改修前・後)	1/100
G-02	外構詳細図(1)	図示
構造図		
S-01	構造関係共通図	NS
S-02	構造関係共通図（配筋標準図）	NS
S-03	柱状図	図示

電気設備図		
図面番号	図面名称	縮尺
特E-01	特記仕様書	NS
E-01	配置図・屋外配線図(改修後)	1/200
E-02	受変電設備　単線結線図（改修後）	1/50
E-03	盤結線図（１）	NS
E-04	盤結線図（２）	NS
E-05	盤結線図（３）	NS
E-06	盤結線図（４）	NS
E-07	盤結線図　（５）	NS
E-08	幹線系統図・幹線リスト（１）	NS
E-09	幹線リスト（２）	NS
E-10	幹線リスト（３）	NS
E-11	幹線・動力設備　1階平面図(改修後)	1/100
E-12	幹線・動力設備　2階平面図(改修後)	1/100
E-13	幹線・動力設備　3階平面図(改修後)	1/100
E-14	幹線・動力設備　4階平面図(改修後)	1/100
E-15	コンセント設備　1階平面図(改修後)	1/100
E-16	コンセント設備　2階平面図(改修後)	1/100
E-17	コンセント設備　3階平面図(改修後)	1/100
E-18	コンセント設備　4階平面図(改修後)	1/100
E-19	照明器具参考姿図(改修後)	NS
E-20	電灯設備　1階平面図(改修後)	1/100
E-21	電灯設備　2階平面図(改修後)	1/100
E-22	電灯設備　3階平面図(改修後)	1/100
E-23	電灯設備　4階平面図(改修後)	1/100
E-24	構内情報通信網・電話設備系統図	NS
E-25	拡声・テレビ共同受信設備系統図	NS
E-26	監視カメラ・入退室管理・自動火災報知設備系統図	NS
E-27	拡声設備　機器姿図(改修後)	NS
E-28	監視カメラ設備　機器姿図(改修後)	NS
E-29	入退室管理設備　機器姿図(改修後)	NS
E-30	弱電設備　1階平面図(改修後)	1/100
E-31	弱電設備　2階平面図(改修後)	1/100
E-32	弱電設備　3階平面図(改修後)	1/100
E-33	弱電設備　4階平面図(改修後)	1/100
E-34	自動火災報知設備　1階平面図(改修後)	1/100
E-35	自動火災報知設備　2階平面図(改修後)	1/100
E-36	自動火災報知設備　3階平面図(改修後)	1/100
E-37	自動火災報知設備　4階・R階平面図(改修後)	1/100
E-38	配置図・屋外配線図(改修前)	1/200
E-39	受変電設備　単線結線図(改修前)	1/50
E-40	幹線・動力設備　1階平面図(改修前)	1/100
E-41	幹線・動力設備　2階平面図(改修前)	1/100
E-42	幹線・動力設備　3階平面図(改修前)	1/100
E-43	幹線・動力設備　4階平面図(改修前)	1/100
E-44	電灯・コンセント設備　1階平面図(改修前)	1/100
E-45	電灯・コンセント設備　2階平面図(改修前)	1/100
E-46	電灯・コンセント設備　3階平面図(改修前)	1/100
E-47	電灯・コンセント設備　4階・R階平面図(改修前)	1/100
E-48	弱電設備　1階平面図(改修前)	1/100
E-49	弱電設備　2階平面図(改修前)	1/100
E-50	弱電設備　3階平面図(改修前)	1/100
E-51	弱電設備　4階平面図(改修前)	1/100
E-52	自動火災報知設備　1階平面図(改修前)	1/100
E-53	自動火災報知設備　2階平面図(改修前)	1/100
E-54	自動火災報知設備　3階平面図(改修前)	1/100
E-55	自動火災報知設備　4階・R階平面図(改修前)	1/100

機械設備図		
図面番号	図面名称	縮尺
特M-01	機械設備工事特記仕様書(1)	NS
特M-02	機械設備工事特記仕様書(2)	NS
M-01	空調・換気設備　機器表(改修後)	NS
M-02	空調・換気設備　1階平面図(改修後)	1/100
M-03	空調・換気設備　2階平面図(改修後)	1/100
M-04	空調・換気設備　3階平面図(改修後)	1/100
M-05	空調・換気設備　4階・R階平面図(改修後)	1/100
M-06	空調・換気設備　平面詳細・断面図・機器表(改修図)	図示
M-07	自動制御設備　系統図(改修図)	NS
M-08	自動制御設備　1階平面図(改修後)	1/100
M-09	自動制御設備　2階平面図(改修後)	1/100
M-10	自動制御設備　3階・4階平面図(改修後)	1/100
M-11	衛生設備　機器表・器具表・桝表・凡例　(改修後)	NS
M-12	衛生設備　系統図（改修前・後）	NS
M-13	衛生設備　1階平面図（改修後）	1/100
M-14	衛生設備　2階平面図（改修後）	1/100
M-15	衛生設備　3階平面図（改修後）	1/100
M-16	衛生設備　4階・R階平面図・消火用充水タンク詳細図（改修後）	図示
M-17	衛生設備　平面詳細図(1)（改修後）	1/30
M-18	衛生設備　平面詳細図(2)（改修後）	1/30
M-19	衛生設備　平面詳細図(3)（改修後）	図示
M-20	衛生設備　平面詳細図(4)（改修後）	図示
M-21	空調・換気設備　機器表(改修前)	NS
M-22	空調・換気設備　1階平面図(改修前)	1/100
M-23	空調・換気設備　2階平面図(改修前)	1/100
M-24	空調・換気設備　3階平面図(改修前)	1/100
M-25	空調・換気設備　4階・R階平面図(改修前)	1/100
M-26	空調・換気設備　平面詳細・断面図・機器表(改修前)	図示
M-27	自動制御設備　1階平面図(改修前)	1/100
M-28	自動制御設備　2階平面図(改修前)	1/100
M-29	自動制御設備　3階・4階平面図(改修前)	1/100
M-30	衛生設備　機器表・器具表・桝表・凡例(改修前)	NS
M-31	衛生設備　1階平面図(改修前)	1/100
M-32	衛生設備　2階平面図(改修前)	1/100
M-33	衛生設備　3階平面図(改修前)	1/100
M-34	衛生設備　4階・R階平面図(改修前)	1/100
M-35	衛生設備　平面詳細図(1)(改修前)	1/30
M-36	衛生設備　平面詳細図(2)(改修前)	1/30
M-37	衛生設備　平面詳細図(3)(改修前)	1/30
M-38	衛生設備　平面詳細図(4)(改修前)	1/30
M-39	衛生設備　平面詳細図(5)(改修前)	1/30

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第１項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和７年度	令和７年７月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	図面リスト	A1：NS A3：NS	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社　TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号　FAX 092-522-5183 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11499号 一級建築士 国土交通大臣登録 第350116号 野田 康広						A-00

久留米工業高専寄宿舎改修工事その他工事

Ⅰ 工 事 概 要

1．工事場所　福岡県久留米市小森野1-1-1

2．完成期限　令和８年３月１３日(金曜日)

3．指定部分　・(無)　・有　対象部分（　　）
指定部分工期　令和　　年　　月　　日（　曜日）

4．概成工期　・無　・有　令和　　年　　月　　日（　曜日）　(1.2.1)[1.2.1]

5．建物概要

建　物　名　称		寄宿舎棟			
工　　種		改修			
構　　造		RC			
階　　数		4			
建築基準法による	建築面積(㎡)	1207.06㎡			
	延べ面積(㎡)	3002㎡			
消防法施行令別表第一の区分					
改 修 面 積 （ ㎡ ）		2433.14㎡			
備　　考					

6．工事種目
⊙ 印のついたものが対象工事種目

工事種目 ＼ 建物別及び屋外	工	事	種	別
⊙ 2 仮設工事				
⊙ 3 防水改修工事				
⊙ 4 外壁改修工事				
⊙ 5 建具改修工事				
⊙ 6 内装改修工事				
⊙ 7 塗装改修工事				
・ 8 耐震改修工事				
⊙ 9 環境配慮改修工事				
・ 10 とりこわし工事				
・ プール改修工事				
⊙ 電気設備工事				
⊙ 機械設備工事				
・				

Ⅱ 工 事 仕 様

1．共通仕様

（1）この工事の受注者は、独立行政法人国立高等専門学校機構が定める工事請負契約基準、現場説明書、図面　74枚及び本特記仕様書　11枚によるほか、下記仕様書等のうち、○印の付いたものを適用する。
- ⊙ 公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和7年版)(以下「標準仕様書」という。)
- ⊙ 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和7年版)(以下「改修標準仕様書」という。)
- ⊙ 文部科学省建築工事標準仕様書(特記基準)(令和4年版)(以下「文科仕様書」という。)
- ⊙ 文部科学省建築改修工事標準仕様書(特記基準)(令和4年版)(以下「文科改修仕様書」という。)
- ⊙ 工事写真撮影要領(令和5年9月)
- ⊙ 建築物解体工事共通仕様書(令和4年版)
- ⊙ 建築工事標準詳細図(令和4年版)
- ・

（2）電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、それぞれの特記仕様書を適用する。
なお、電気設備工事の特記仕様書は（特E-01）、
機械設備工事の特記仕様書は（特M-01.02）による。

2．特記仕様

（1）本特記仕様書の表記
1）項目は、⊙ 印のついたものを適用する。
2）特記事項は、⊙ 印のついたものを適用する。
⊙ 印の付かない場合は、※ 印の付いたものを適用する。
⊙ 印と ㊙ 印の付いた場合は、共に適用する。
3）特記事項に記載の　（　　）　内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
特記事項に記載の　[　　]　内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
特記事項に記載の　((　　))内表示番号は、文科仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
特記事項に記載の　[[　　]]内表示番号は、文科改修仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
4）G 印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（平成12年法律第100号）に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和4年2月25日変更閣議決定）」に定める特定調達物品における判断の基準（特定調達品目「公共工事」においては表1中の品目ごとの判断の基準）を満たすものを示す。

章	項　目	特　記　事　項

1 各章共通事項

⊙ 適用区分

・ 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。
・ 風圧力
風速（Vo=　　m/s）
地表面粗度区分（ ・Ⅰ ・Ⅱ ・㊢ ・Ⅳ）
・ 積雪荷重
平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域　別表（　　）

⊙ 電気保安技術者、工事用電力設備の保安責任者　(1.3.3～4)[1.3.3～4]

この工事現場に下記いずれかの資格を有する電気保安技術者を選任する。

項　目　名	電気保安技術者
1　第３種電気主任技術者以上の資格を有する者	⊙
2　１級電気工事施工管理技士の資格を有する者	⊙
3　高等学校又はこれらと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令第７条第１項各号の科目を修めて卒業した者	⊙
4　旧電気工事技術者検定規定規則による高圧電気工事技術者の検定に合格した者	⊙
5　公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高圧試験に合格した者	⊙
6　第１種電気工事士の資格を有する者	⊙
7　２級電気工事施工管理技士の資格を有する者	⊙
8　第２種電気工事士以上の資格を有する者	⊙
9　短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学（実験を含む）に関する科目を修めて卒業した者	⊙

工事用電力を構外から引き込む場合は、法令に基づく有資格者を定め、監督職員に報告する。

⊙ 施工条件　(1.3.5)[1.3.5]

この工事現場では、次の施工条件による。
・●●部屋について、令和●年●月●日から使用する。
作業については事前に監督職員と協議の上施工すること。
・騒音、振動等授業や教育研究活動に影響を及ぼす恐れのある作業は、事前に監督職員と協議の上実施する事。
・通行止め、停電、断水を伴う作業は、事前に作業計画書を提出し、監督職員の承諾を得た上で実施すること。なお、停電を伴う作業は原則休日(土･日・祝日)とし、日程は監督職員との協議により決定する。

・ 発生材の処理等　(1.3.11)[1.3.12]

（1）引渡しを要するもの
1）品名　寮室内にある金庫,一部ブラインド
引渡し先　久留米工業高等専門学校
集積場所　構内
（2）特別管理産業廃棄物
1）品名
処理方法
（3）現場において再利用を図るもの
1）品名
使用箇所
（4）再資源化を図るもの
1）品名　⊙建設発生土
受入場所
2）品名
（5）その他発生材については、標準仕様書に従い、適切に処理する。

（4）、（5）について、
1）搬出に先立ち搬出計画書を作成し、監督職員に提出する。
2）日々の搬出量等をとりまとめた土砂等搬出調書を作成し、監督職員に提出する。
3）工事発注後に明らかになった事情により、上記の指定によりがたい場合は、監督職員と協議する。

⊙ 環境への配慮　(1.4.1)[1.4.1]

建築物内部に使用する材料等とは、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。
① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。
② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。
③ 接着剤は、可塑性（フタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－ｎ－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。
④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

⊙ 材料の品質等　(1.4.2)[1.4.2]

（1）本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。
（2）製品名が記載された材料は、当該製品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。
（3）標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
（4）本工事に使用する材料のうち、（5）に指定する材料の製造所等は、以下に指定する事項を満たすものとし、その証明となる資料を監督職員に提出して承諾を受ける。
ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。
・ 品質及び性能に関する試験データを整備していること。
・ 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
・ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
・ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
・ 安定的な供給が可能であること。
・ 販売、保守等の営業体制を整えていること。
（5）製造所等に関する資料の提出を求める材料

・ 材料の検査等　(1.4.4)[1.4.4]

材料名	備考

⊙ 石綿含有建材の調査　事前調査　[1.5.1]

工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。
事前調査及び分析調査は、それぞれ厚生労働大臣が定めるものが行う。
貸与資料（　　）
⊙分析による石綿含有建材の調査
分析対象
アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト
分析方法

材料名	定性分析方法	定量分析方法
	（JIS A 1481-1）または（JIS A 1481-2）	（JIS A 1481-3）、（JIS A 1481-4）または（JIS A 1481-5）
	・　（箇所）	・　（箇所）
	・　（箇所）	・　（箇所）
	・　（箇所）	・　（箇所）

サンプル数　1箇所あたり3サンプル
採取箇所
・図示による　⊙ 大気汚染防止法の定めによる

・ 技能士　(1.5.2)[1.7.2]

適用工事種別	技能検定の種別
仮設工事	⊙ とび（とび作業）
鉄筋工事	・ 鉄筋施工（鉄筋組立て作業）
コンクリート工事	・ コンクリート圧送施工（コンクリート圧送工事作業） ⊙ 左官（左官作業） ⊙ 型枠（型枠工事作業）
鉄骨工事	⊙ 鉄工（構造物鉄工作業） ・ とび（とび作業）
ブロック・ＡＬＣパネル工事	・ ブロック建築（コンクリートブロック工事作業） ・ ＡＬＣパネル施工（ＡＬＣパネル工事作業）
防水工事	・ 防水施工（アスファルト防水工事作業） ⊙ 防水施工（ウレタンゴム系塗膜防水工事作業） ・ 防水施工（アクリルゴム系塗膜防水工事作業） ・ 防水施工（合成ゴム系シート防水工事作業） ・ 防水施工（塩化ビニル系シート防水工事作業） ・ 防水施工（セメント系防水工事作業） ・ 防水施工（シーリング防水工事作業） ・ 防水施工（改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業） ・ 防水施工（改質アスファルトシート常温粘着工法防水工事作業） ・ 防水施工（ＦＲＰ防水工事作業）
石工事	・ 石材施工（石張り作業）
タイル工事	⊙ タイル張り（タイル張り作業）
木工事	⊙ 建築大工（大工工事作業）
屋根、とい工事	・ 建築板金（内外装板金作業）
左官工事	・ 左官（左官作業）
建具工事	⊙ サッシ施工（ビル用サッシ施工作業） ⊙ ガラス施工（ガラス工事作業）
ＰＣカーテンウォール工事	・ カーテンウォール施工（金属製カーテンウォール工事作業）
塗装工事	・ 塗装（建築塗装作業）
内装工事	・ 内装仕上げ施工（プラスチック系床仕上げ工事作業） ・ 内装仕上げ施工（カーペット系床仕上げ工事作業） ・ 内装仕上げ施工（木質系床仕上げ工事作業） ・ 内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業） ・ 内装仕上げ施工（ボード仕上げ工事作業） ・ 表装（壁装作業）
植栽工事	・ 造園（造園工事作業）

・ 施工の検査等　(1.5.5)[1.7.5]

標準仕様書等に定めがあるもの以外で、次に示す施工については、監督職員の検査を受ける。

検査等を行う施工	備考
軽量鉄骨天井下地及び軽量鉄骨壁下地工事	下地が完了した段階
仕上げ塗材下地工事	下地調整が完了した段階
外壁仕上げの施工	外部足場を取り外す前の段階

⊙ 施工の立会い　(1.5.8)[1.7.8]

標準仕様書等に定めがあるもの以外で、次に示す工事段階及び事項については、監督職員の立会いを受ける。

施工の立会いを行う工程	備考
・外壁補修時	

⊙ 化学物質の濃度測定　(1.5.10)[1.7.10]

（1）施工完了後、引渡前に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン等の濃度を測定し、測定結果を監督職員に報告する。

測定対象化学物質	指針値（両単位の換算は、25℃の場合による。）
ホルムアルデヒド	100μg/m³（0.08ppm）以下
トルエン	260μg/m³（0.07ppm）以下
キシレン	200μg/m³（0.05ppm）以下
エチルベンゼン	3800μg/m³（0.88ppm）以下
スチレン	220μg/m³（0.05ppm）以下

（2）測定対象室及び測定箇所数は以下表による。

棟名称	階	室名	採取本数
寄宿舎棟	1	寮室(WC・シャワー付)	1
	2-4階	寮室(男子側)	4
		寮室(女子側)	1

（3）測定方法は、（・吸引方式（アクティブ法）・拡散方式（パッシブ法））により行う。

（4）文部科学省の「学校環境衛生基準」に基づき、採取は室内の温度が高い時期に行い、吸引方式では30分間で２回以上、拡散方式では８時間以上行う。

（5）測定結果が指針値を超えていた場合は、発生源を特定し、換気等の措置を講じた後、再度測定し、基準値以下であることを確認してから引渡しを行う。

・ 技術検査　(1.6.2)[1.8.2]

本工事期間中に中間技術検査を、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿に行う。ただし、工事内容により、これによりがたい場合は、監督職員と協議するものとする。

⊙ 完成時の提出図書　(1.7.1～3)[1.9.1～3]

次の図書を監督職員に提出する。また、それらを本工事目的物に関し使用するための権利については、発注者に委譲する。
⊙ 完成図（施工図、施工計画書を除く。）
CADデータ（電子納品）　1部
A3版原図　部
A1版原図　部
A3複写図（製本）　2部
A1複写図（製本）　2部
朱書き訂正図　部
⊙ 施工計画書
A4ファイル綴じ　1部
⊙ 保全に関する資料
A4ファイル綴じ　1部
⊙ 施工図（次に示すものを標準とし、その他必要な図、提出部数等は監督職員と協議による。）
鉄筋配筋図（納まり図含む）　一式
コンクリート躯体図　一式
鉄骨製作図　一式
~~カーテンウォール製作図~~　一式
機器製作図　一式
~~制御システム図~~　一式
試験成績書　一式
機器・配管固定の施工図　一式
⊙ 工事写真（「工事写真撮影要領」による。）
原本（電子媒体）　1部
アルバム（紙又は電子媒体）　1部

⊙ 完成写真
工事完成時に次の写真を撮影し、監督職員に提出する。

撮影部位及び箇所数	形式・サイズ	提出セット数	画素数及び画質等	撮影者
外観正面 1箇所	カラー印画紙キャビネ判		4500×3000ピクセル以上で画像補正を行ったもの	建築完成写真の撮影実績がある者で、監督職員が承諾する撮影業者
	カラー印画紙キャビネ判 Ａ４アルバム綴じ ※			
	電子データ（JPEGフルカラー・圧縮率1/4程度）			
	カラー木製パネル半切（324×400㎜）			
上記と異なる 外部：○箇所 内部：○箇所	カラー印画紙キャビネ判			
	カラー印画紙キャビネ判 Ａ４アルバム綴じ ※			
	電子データ（JPEGフルカラー・圧縮率1/4程度）			
外部：○箇所 内部：○箇所 程度	カラー印画紙キャビネ判 Ａ４アルバム綴じ		1280× 960ピクセル以上かつ撮影したデジタルカメラの設定のうち最高の画質	任意
	電子データ（JPEGフルカラー）			

注：※ のアルバムは併せて作成する。

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮　尺	建築士法第20条第１項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校	図面番号
令和7年度	令和7年7月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	改修特記仕様書（１）	A1：NS A3：NS	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社　TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号　FAX 092-522-5183 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11499号 一級建築士 国土交通大臣登録 第350116号 野田 康広	事務部長 / 総務課長 / 課長補佐 / 係長 / 担当	特A-01

電子納品は次の規定に従うものとする。
1） 貸与する設計図のＣＡＤデータは以下による。
著作名：独立行政法人国立高等専門学校機構　久留米工業高等専門学校
ファイル形式：JWW, DXF, PDF
貸与条件：貸与するＣＡＤデータを本工事における施工図又は完成図の作成のため以外に使用しないこと。
2） 完成写真の撮影に関する著作者の権利等については次のｉ）及びｉｉ）によることとし、受注者は撮影者等との契約に当たってもそれらの承諾を条件とする。
ｉ）提出された写真は、独立行政法人国立高等専門学校機構が行う事務及び認めた用途に関して、無償で利用することができるものとする。この際、著作者名を表示しないこと及びその利用に必要な範囲で改変を行うことができるものとする。
ｉｉ）受注者及び撮影者等は、撮影時に取得した全ての写真（提出していないものを含む。）及びその改変物、複製物を公表、閲覧、譲渡その他一切の方法により第三者に使用させてはならない。ただし、あらかじめ発注者の承諾を受けた場合は、この限りではない。
3） 電子納品の対象は上記によるほか、監督職員と受注者で協議を行う。
4） 電子成果品は、提出前に電子成果品作成支援・検査システムによるチェックを行い、エラーがないことを確認した後、ウイルス対策を実施したうえで監督職員に提出する。
5） 提出方法及びファイル形式は以下による。
電子媒体：ＣＤ－Ｒ又はＤＶＤ－Ｒ
ＣＡＤデータ：ＪＷＷ、ＳＸＦ、ＤＸＦ及びＰＤＦ
上記の他、監督職員が認めた形式

⊙ 他工事又は他工種との取合い

工事区分表による。これにより難い場合は監督職員と協議する。

⊙ 埋設配管・配線および鉄筋調査

あと施工アンカー工事
６章および８章による

コア抜き、はつり工事等
※ 既存資料調査
・ 探査機（電磁波レーダー法又は電磁波誘導法）による探査
配管・配線等の位置の墨出を行う
範囲　※図示による　・
・ 放射線透過試験
労働安全衛生法、「電離放射線障害防止規制」（昭和47年労働省令第41号）等に定めるところによるほか、次による。
(1) 作業主任者は、エックス線作業主任者の資格を有するものとし、資格を証明するものとし、資格を証明する資料を監督職員に提出する。
(2) 放射線照射量は最小限のものとし、照射中は人体に影響のない程度まで照射器より離れる。また、作業者以外の立入禁止措置を講ずる。
(3) 露出時間は、コンクリートの厚さ等により、適宜調整する。
(4) 付近にフィルム、磁気ディスク等放射線の影響を受けるものの有無を確認する。
(5) 躯体の墨出しは、表裏でズレがないように措置を講ずる。
撮影枚数＿＿＿枚
フィルムサイズ＿＿＿＿＿＿
コンクリート厚さ＿＿＿ｃｍ
・ 既存躯体に穿孔する場合に、金属探知により電源供給が停止できる付属装置等を用いる。

2 仮設工事

・ 騒音・粉じん等の対策

・防音パネル　[2.1.3]
・防音シート
防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲
・図示による　・

⊙ 足場等　[2.2.1][表 2.2.1]

「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
外部足場
⊙設置する
（設置範囲　⊙工事に必要な範囲　・図示による　・　）
・設置しない
防護シート
⊙設置する
（設置範囲　・工事に必要な範囲　・図示による　・　）
・設置しない
内部足場
⊙設置する
（※脚立、足場板等　・　）
・設置しない
⊙材料、撤去材等の運搬方法
種別（・A種　・B種　・C種　⊙D種　・E種 ）
C種：利用可能なエレベーター　（・図示による　・　）
D種：利用可能な階段　（・図示による　・　）

⊙ 既存部分の養生

養生方法等　[2.3.1]
⊙既存部分
養生方法（※ビニルシート、合板　・　）
⊙既存家具、既存設備等
養生方法（※ビニルシート等　・　）
・既存ブラインド、カーテン等
養生方法（・ビニルシート等　・　）
保管場所（・図示による　・　）
・固定された備品、机、ロッカー等の移動
・図示による
既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。

⊙ 仮設間仕切り

仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所　[2.3.2][表 2.3.1]
⊙図示による　・
仮設間仕切りの種別と材質等

種別	仕上げ（厚さmm）	塗装	充填
・A種	⊙せっこうボード 種類（・　） 厚さ（・　mm　※9.5mm ） ・合板 材種（・　） 厚さ（・　mm　※9mm ） ・	⊙無し ・片面 ・	グラスウール 厚さ　mm
⊙B種			
※C種	防炎シート		

仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等

材質	仕上げ	塗装	設置箇所
※木製	※合板張り程度	⊙無し ・片面	⊙　4か所 ⊙図示による
・	・		

3 防水改修工事

⊙ 施工数量調査

調査範囲　[1.6.2、3]
⊙図示による　・
調査方法
・図示による　・
既存部分の破壊を行った場合の補修方法
・図示による　・
調査報告書（提出部数　・2部　・　）

⊙ 降雨等に対する養生方法（とい共）

※改修標準仕様書3.1.3(5)(ｱ)～(ｳ)による　[3.1.3]
・

・ 改修工法の種類及び工程　[3.1.4]

防水改修工法の種類　（・　）工法
シーリング改修工法の種類　（⊙　再打填　）工法

⊙ 既存防水の処理

既存保護層の撤去　[3.1.4][3.2.3、4、6]
・行う（範囲　・図示による　・　）
・行わない
既存防水層の撤去
⊙行う（範囲　⊙図示による　・　）
・行わない
既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去
・行う（・M4AS　・M4ASI　・M4C　・M4DI　・L4X）
⊙行わない

⊙ 既存下地の処理

既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等　[3.2.6]
⊙図示による　・
POS工法及びSPOSI工法（機械的固定方法）の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処置
※改修標準仕様書3.2.6(4)(ｳ)(g)①～③による
・
設備機器架台、配管受部、パラペット、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理
※監督職員と協議する
・図示による

・ アスファルト防水

・屋根保護防水（既存）　[3.3.2～5]
新設防水層の種別

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材G	絶縁用シート
・P2A	・A-1 ・A-2 ・A-3			※ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ厚さ0.15mm以上又はﾌﾗｯﾄﾔｰﾝｸﾛｽ70g/m²程度 ・
・P1B	・B-1 ・B-2			
・P2A I	・A I -1 ・A I -2 ・A I -3		（種類） ※JIS A 9521に基づく押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材3種bA（ｽｷﾝ層付き） （厚さ）(mm) ・	※ﾌﾗｯﾄﾔｰﾝｸﾛｽ70g/m²程度 ・
・P1B I	・B I -1 ・B I -2			

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※R種
厚さ（　）mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※R種
厚さ（　）mm以上
平場の保護コンクリートの厚さ
こて仕上げ　※水下　80mm以上　・
床タイル張り　※水下　60mm以上　・
立上り部の保護工法
・乾式保護材
窯業系パネルⅠ類（厚さ　（mm）　幅　（mm））
・れんが押え（※JIS R 1250　・　）
・コンクリート押え
・モルタル押え（屋内）
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度
・
屋上排水溝
※図示による　・

・屋根露出防水（既存）
新設防水層の種別

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材G	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水G	備考
・M4C	・C-1 ・C-2 ・C-3 ・C-4			・ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様 ・	※ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様 ・	・適用する	
・M3D ・P0D	・D-1 ・D-2			・ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様 ・	※ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様 ・	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ﾄﾞﾚﾝ ・設ける ・設けない
・P0DI ・M3DI ・M4DI	・DI-1 ・DI-2		改修標準仕様書3.3.2(9) （種類） ・ （厚さ）(mm) ・	・ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様 ・	※ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様 ・	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ﾄﾞﾚﾝ ・設ける ・設けない

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※R種
厚さ（　）mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※R種
厚さ（　）mm以上
絶縁断熱工法のルーフドレン回りと立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置
※図示による
絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類　※アスファルトルーフィング類の製造所の指定

設置数量　※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・　（個）
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度
・
屋上排水溝
※図示による　・

・屋内防水
防水層の種別

改修工法	種別	施工箇所
・P1E ・P2E	・E-1 ・E-2	

保護層　・設ける（※図示による　・　）
・設けない
E-1の工程3を行う部位
※貯水槽、浴槽等高時水に接する部位
・
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度
・
排水溝
※図示による　・

・ 改質アスファルトシート防水

屋根露出防水（既存）　[3.4.2、3]
新設防水層の種別

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材G	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水G	備考
・M4AS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2			・改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様 ・	※改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様 ・	・適用する	
・M3AS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1			・改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様 ・	※改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様 ・	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ﾄﾞﾚﾝ ・設ける ・設けない
・P0AS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3			・改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様 ・	※改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様 ・	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ﾄﾞﾚﾝ ・設ける ・設けない
・M3ASI ・M4ASI ・P0ASI	・ASI-T1 ・ASI-J1		改修標準仕様書3.4.2(3)(ｳ) （種類） ・ （厚さ）(mm) ・	・改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様 ・	※改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様 ・	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ﾄﾞﾚﾝ ・設ける ・設けない 防湿層 ・設ける ・設けない

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※R種
厚さ（　）mm以上

⊙ 合成高分子系ルーフィングシート防水

粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※R種
厚さ（　）mm以上
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※R種
厚さ（　）mm以上
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度
・
屋上排水溝
※図示による　・
絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類　※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・
設置数量　※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・　（個）
絶縁断熱工法の防湿用シート
・設置する
・設置しない

⊙屋根保護防水　[3.5.2～4] [表3.5.1～3]
新設防水層の種別

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材G	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水G	備考
・POS ・S4S	・S-F1			・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様	※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ﾄﾞﾚﾝ ・設ける ・設けない
	・S-F2			—	—	・適用する	
	・S-M1			・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様	※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様	・適用する	
	・S-M2			—	—	・適用する	
・S3S	・S-F1	・ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ下地 ・		・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 ・	※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 ・	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない
	・S-F2	・ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ下地 ・		—	—	・適用する	
⊙M4S	・S-M1			・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様	※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない
	⊙S-M2			—	—	・適用する	
・POSI ・S3SI ・S4SI ⊙M4SI	・SI-F1	・ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ下地 ・	改修標準仕様書3.5.2(3)(ｴ)(b) （種類） ・ （厚さ）(mm) ・　・25　・50	・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 ・	※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 ・	・適用する	脱気装置 ・設ける ⊙設けない 改修用ﾄﾞﾚﾝ ⊙設ける ・設けない
	・SI-F2	・ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ下地 ・				・適用する	
	・SI-M1		改修標準仕様書3.5.2(3)(ｴ)(a) （種類） ⊙ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ3種b （厚さ）(mm) ⊙30　・25　・50			・適用する	
	⊙SI-M2					・適用する	

S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様
※非歩行仕様
・軽歩行仕様
SI-M1及びSI-M2における防湿用フィルム
⊙設置する　・設置しない
合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.5.1から表3.5.3による
・JIS A 6008に基づく種類及び厚さ
種類　・
厚さ　・　mm以上
絶縁用シート及び可塑剤移行防止用シートの材質
※発泡ポリエチレンシート
・
固定金具の材質、形状及び寸法
※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの
・
接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量
種類　※ルーフィングシートの製造所の仕様
・
設置数量　※ルーフィングシートの製造所の仕様
・　（個）
接着工法の場合のプレキャストコンクリート部材下地の目地処理
・行う（・図示による　・　）
プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り（種別S-F1、SI-F1の場合）
・行う（・図示による　・　）
・行わない
機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け
1章 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度
・
屋上排水溝
※図示による　・

年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第１項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校	図面番号
令和7年度	令和7年7月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	改修特記仕様書（２）	A1：NS A3：NS	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社　TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号　FAX 092-522-5183 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11499号 一級建築士 国土交通大臣登録 第350116号 野田 康広	事務部長 / 総務課長 / 課長補佐 / 係長 / 担当	特A-02

・屋内防水
防水層の種別

改修工法	新設種別	施工箇所	保護層	
			平場のモルタル塗厚	立上り部の保護モルタル塗厚
・P1S	・S-C1		・	※7mm以下 ・

平場の保護モルタル床塗りにおける目地の目地割及び種類
目地割
※目地割2㎡程度、最大目地間隔3m程度
・
目地の種類
※押し目地
・
合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.5.1から表3.5.3による
・JIS A 6008に基づく種類及び厚さ
種類　・
厚さ　・　mm以上
絶縁用シート及び可塑剤移行防止用シートの材質
※発泡ポリエチレンシート
・
固定金具の材質、形状及び寸法
※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの
・
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度
・
排水溝
※図示による　・

⊙ 塗膜防水

新設防水層の種別 [3.6.2、3]

改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水 G	備考
・P0X	※X-1 ⊙X-2 ・X-1H ・X-2H ・	屋上指定部分 PH階 屋根	⊙主材料の製造所の仕様 ・	※主材料の製造所の仕様 ・	・適用する	脱気装置 ・設ける ⊙設けない 改修用ドレン ・設ける ⊙設けない
・L4X	・X-1 ※X-2 ・X-1H ・X-2H ・		・主材料の製造所の仕様 ・	※主材料の製造所の仕様 ・	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない

ウレタンゴム系塗膜防水X-1の脱気装置の種類及び設置数量
種類　※主材料の製造所の仕様
・
設置数量　※主材料の製造所の仕様
・　(個)

新設防水層の種別

改修工法	新設種別	施工箇所	工程数及び各工程の使用量	保護層
・P1Y	※Y-2 ・		※主材料の製造所の仕様 ・	・設ける ・設けない
・P2Y	※Y-2 ・		※主材料の製造所の仕様 ・	・設ける ・設けない

⊙ シーリング

シーリング改修工法の種類 [3.1.4] [3.7.2、3、7、8]
・シーリング充填工法
⊙シーリング再充填工法
・拡幅シーリング再充填工法
・ブリッジ工法
ボンドブレーカー張り
・適用する　・適用しない
エッジング材張り
・適用する　・適用しない

シーリング材の種類、施工箇所
下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。

施工箇所	シーリング材の種類（記号）

仕上げを行わない施工箇所
・図示による　・
シーリング材の目地寸法
※改修標準仕様書3.7.3(1)による
⊙図示による
・
接着性試験
※簡易接着性試験
・引張接着性試験

・ とい

といその他の材種 [3.8.2、3]
・配管用鋼管
・硬質ポリ塩化ビニル管
・ルーフドレン（JCW 301による）
・表面処理鋼板（表面及び裏面の塗膜の種類　・　）
・

とい受金物
材種
※改修標準仕様書3.8.2による（溶融亜鉛めっきを行ったもの）
・
形状
※市販品（とい径100以下）
※25×4.5以上（とい径100を超えるもの）
・
取付け間隔
※改修標準仕様書3.8.2による
・
足金物
材種
※改修標準仕様書3.8.2による（溶融亜鉛めっきを行ったもの）
・
形状
※市販品
・
取付け間隔
※改修標準仕様書3.8.2による
・
多雪地域
・適用する　・適用しない
防露材のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・
既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法
・図示による　・
鋼管製といの防露巻き
※改修標準仕様書表3.8.4による
・
ルーフドレンの種類及び呼び

種類		呼び	施工箇所
・ろく屋根用たて形Ⅰ型	※ねじ込み式	・80　・100　・125　・150	
・ろく屋根用横形Ⅰ型	※ねじ込み式	・80　・100　・125　・150	
・バルコニー中継用	※ねじ込み式	・50　・80　・100	
	・差し込み式	・50　・75　・100	
・バルコニー用	※ねじ込み式	・50　・80　・100	
	・差し込み式	・50　・75　・100	

たてどい受金物の取付け
※図示による　・
ルーフドレンの取付け
※水はけよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する
・

・ アルミニウム製笠木

種類 [3.9.2、3]
・オーブン形式（・押出250形　・押出300形　・押出350形）
・板材折曲げ形（・オーブン形式　・シール形式）
本体幅（　）mm　板厚（※2.0mm　・　mm）
表面処理
種別　・
色合い等　・次の色とする（　）　・標準色　・特注色
既存笠木等の撤去
・行う（範囲　・図示による　・　）
・行わない
下地補修の工法
※図示による　・
板材折曲げ形の笠木の取付方法
※図示による　・
笠木の固定金具の工法等
1章 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

4 外壁改修工事（共通事項）

⊙ 施工数量調査

調査範囲 [1.6.2、3]
⊙外壁改修範囲
・図示による
調査内容
ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。
モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。
コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。
塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。
既存部分の破壊を行った場合の補修方法
・図示による　・
調査報告書（提出部数　・2部　・　）

4-1 外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ外壁

⊙ ひび割れ部改修工法

・ 樹脂注入工法 [4.1.4] [4.2.4～7]

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量 (mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0 以下	※200～300 ・	⊙130 ・
・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3 未満	・50～100 ・	・40 ・
	0.3以上～0.5 未満	・100～200 ・	・70 ・
	0.5以上～1.0 以下	・150～250 ・	・130 ・

注入状況の確認方法
※コアの抜取りを行う
抜取り個数
※長さ500mごと及びその端数につき1個
・
抜取り部の補修方法
※図示による　・
⊙Uカットシール材充填工法
・シーリング材
充填材料の種類
※1成分形又は2成分形ポリウレタン系
・
シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填
・行う　・行わない
シーリング材の試験は改修標準仕様書3章　防水改修工事による。
・可とう性エポキシ樹脂
・シール工法
・パテ状エポキシ樹脂
・可とう性エポキシ樹脂

・ 欠損部改修工法

・充填工法 [4.1.4] [4.2.4,7]
・エポキシ樹脂モルタル
・ポリマーセメントモルタル
・

4-2 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁

・ ひび割れ部改修工法

・樹脂注入工法 [4.1.4] [4.3.5～8]

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量 (mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0 以下	※200～300 ・	・130 ・
・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3 未満	・50～100 ・	・40 ・
	0.3以上～0.5 未満	・100～200 ・	・70 ・
	0.5以上～1.0 以下	・150～250 ・	・130 ・

注入状況の確認方法
※コアの抜取りを行う
抜取り個数
※長さ500mごと及びその端数につき1個
・
抜取り部の補修方法
※図示による　・
・Uカットシール材充填工法
・シーリング材
充填材料の種類
※1成分形又は2成分形ポリウレタン系
・
シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填
・行う　・行わない
シーリング材の試験は改修標準仕様書3章　防水改修工事による。
・可とう性エポキシ樹脂
・シール工法
・パテ状エポキシ樹脂
・可とう性エポキシ樹脂

・ 欠損部改修工法

・充填工法 [4.1.4] [4.3.9、10]
・エポキシ樹脂モルタル
・ポリマーセメントモルタル
・モルタル塗替え工法
・現場調合材料
（セメントは改修特記仕様書8-2　コンクリート工事による）
・既調合材料（　）
既製目地材
・使用する（形状　・図示による　・　）
仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置
※図示による　・

・ 浮き部改修工法

[4.1.4] [4.3.11～16]

工法の種類	アンカーピンの本数(本/㎡) 一般部	アンカーピンの本数(本/㎡) 指定部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 一般部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 指定部	注入量(mL/箇所)
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ・	※25 ・	—	—	※25 ・
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※25 ・
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※50 ・
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	—	—	※25 ・
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※25 ・
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※50 ・
・充填工法	—	—	—	—	—
・モルタル塗替え工法	—	—	—	—	—

アンカーピンの材質
※ ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの
・
注入口付アンカーピンの材質
※ ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm程度
・
注入工法用材料
・ポリマーセメントスラリー
充填工法用材料
・エポキシ樹脂モルタル
・ポリマーセメントモルタル

広がり速度 (cm/s)	長さ変化量 (収縮) (%)	引張接着性 (材齢28日) (N/mm²)	曲げ性能 (材齢28日) (N/mm²)	吸水性 (72時間) (%)	耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm²)
3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以下	5.0以上

保水係数　0.35～0.55
粘調係数　0.50～1.00
モルタル塗替え工法用材料
・現場調合材料
（セメントは改修特記仕様書8-2　コンクリート工事による）
・既調合材料（　）
既製目地材
・使用する（形状　・図示による　・　）
仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置
※図示による　・

4-3 外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁

・ タイルの形状、寸法等

タイルの形状、寸法等 [4.4.5、8]

施工箇所	形状/寸法(mm)	再生材料の適用G	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	施ゆう	無ゆう	有	無	標準	特注	有	無	耐凍害性	耐滑性	備考
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする。
見本焼き
・行う(施工箇所：　)　・行わない
試験張り
・行う(範囲、仕様等は図示による)　・行わない

・ ひび割れ部改修工法

・樹脂注入工法 [4.1.4][4.4.5、6]

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量 (mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0 以下	※200～300 ・	・130 ・
・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3 未満	・50～100 ・	・40 ・
	0.3以上～0.5 未満	・100～200 ・	・70 ・
	0.5以上～1.0 以下	・150～250 ・	・130 ・

注入状況の確認方法
※コアの抜取りを行う
抜取り個数
※長さ500mごと及びその端数につき1個
・
抜取り部の補修方法
・図示による　・

・ 欠損部改修工法

・タイル部分張替え工法 [4.1.4][4.4.5～8]
接着剤の種類
・ポリマーセメントモルタル
・JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
・タイル張替え工法
張替え用材料
・接着剤JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
・張付けモルタル　（・現場調合材料　・既調合モルタル）
伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置
※改修標準仕様書表4.4.2による
・図示による
外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整剤塗りの接着力試験
・行う　・行わない
・セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り
下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
・目荒し工法（改修標準仕様書4.3.10(3)による）
・
タイル張りの工法
・外装タイル
・密着張り　・改良圧着張り
・ユニットタイル
・マスク張り　・モザイクタイル張り
シーリング　改修特記仕様書3章　防水改修工事による。

年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校	図面番号
令和7年度	令和7年7月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	改修特記仕様書（3）	A1：NS A3：NS	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社 TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号 FAX 092-522-5183 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11499号 一級建築士 国土交通大臣登録 第350116号 野田 康広	事務部長 / 総務課長 / 課長補佐 / 係長 / 担当	特A-03

・有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り
モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
・目荒し工法（改修標準仕様書4.3.10(3)による）
・
シーリング材の種類
打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地
※ポリウレタン系
・
伸縮調整目地その他の目地
※変成シリコーン系
・
シーリングのその他事項は、改修特記仕様書3章　防水改修工事による。

・ 浮き部改修工法　[4.1.4][4.4.5、9～15][4.5.9～15]

工法の種類	アンカーピンの本数(本/㎡) 一般部	アンカーピンの本数(本/㎡) 指定部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 一般部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 指定部	注入量(mL/箇所)
・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ・	※25 ・	－	－	※25 ・
・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※25 ・
・アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※50 ・
・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	－	－	※25 ・
・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※25 ・
・注入口付アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※50 ・
・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法	・	・	－	－	※25 ・
・タイル部分張り替え工法	－	－	－	－	－
・タイル張り替え工法	－	－	－	－	－

アンカーピンの材質
※ ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの
・
注入口付アンカーピンの材質
※ ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm程度
・
・タイル部分張替え工法
接着剤の種類
・ポリマーセメントモルタル
・JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
・タイル張替え工法
張替え用材料
・接着剤JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
・張付けモルタル　（・現場調合材料　・既調合モルタル）
伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置
※改修標準仕様書表4.4.2による
・図示による
外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整剤塗りの接着力試験
・行う　・行わない
・セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り
下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の下地処理
・目荒し工法（改修標準仕様書4.3.10(3)による）

タイル張りの工法
・外装タイル
・密着張り　・改良圧着張り
・ユニットタイル
・マスク張り　・モザイクタイル張り
シーリング　改修特記仕様書3章　防水改修工事による。
・有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り
モルタル塗りを行うコンクリート素地面の下地処理
・目荒し工法（改修標準仕様書4.3.10(3)による）
・
シーリング材の種類
打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地
※ポリウレタン系
・
伸縮調整目地その他の目地
※変成シリコーン系
・
シーリングのその他事項は、改修特記仕様書3章　防水改修工事による。

目地改修工法
・目地ひび割れ部改修工法　[4.1.4][4.4.5、16]
・伸縮調整目地改修工法
伸縮調整目地の位置及び寸法
・図示による　・
シーリングは、改修特記仕様書3章　防水改修工事による。

4-4 外壁改修工事　塗り仕上げ外壁

⊙ 既存塗膜等の除去
下地処理及び下地調整　[4.5.4]

工法	処理範囲	下地面の補修
・サンダー工法	※既存仕上げ面全体 ・図示による	・ひび割れ部改修工法 ・浮き部改修工法 ・欠損部改修工法
・高圧水洗工法 加圧力 ※30～50MPa程度	※既存仕上げ面全体 ・図示による	
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上げ面全体 ・図示による	
・水洗い工法	※サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離剤工法の処理範囲以外の既存仕上面全面 ・図示による	

⊙ 下地調整塗材　[4.5.4]
※下地調整塗材
⊙ポリマーセメントモルタル

⊙ 仕上塗材仕上げ

新規仕上塗材の種類　[4.1.5][4.5.2][表4.5.1]

⊙薄付け仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状	工法	調湿形	防火材料
⊙外装薄塗材E	・砂壁状 ・	⊙吹付け ・ローラー塗り	・適用する	・
・可とう形外装薄塗材E	・砂壁状 ・	・吹付け ・	・適用する	・
・防水形外装薄塗材E	・凹凸状 ・	・吹付け ・ローラー塗り	・適用する	・
・内装薄塗材	・砂壁状じゅらく ・	・吹付け ・	・適用する	・
・	・	・	・適用する	・

・厚付け仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状	工法	調湿形	上塗材	防火材料
・			・適用する	・適用する	・
・			・適用する	・適用する	・

⊙複層仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料
⊙複層塗材E	・凸部処理	吹付け	樹脂 ・ 外観 ・ 溶媒 ・	・耐候形1種 ・耐候形2種 ・耐候形3種	・
	・凹凸状	吹付け	・	・	・
	⊙ゆず肌状	⊙ローラー塗り	・	・	・
・複層塗材RE	・凸部処理	吹付け	・	・	・
	・凹凸状	吹付け	・	・	・
	・ゆず肌状	ローラー塗り	・	・	・
・複層塗材Si	・凸部処理	吹付け	・	・	・
	・凹凸状	吹付け	・	・	・
	・ゆず肌状	ローラー塗り	・	・	・
・防水形複層塗材E	・凸部処理	吹付け	・	・	・
	・凹凸状	吹付け	・	・	・
	・ゆず肌状	ローラー塗り	・	・	・
・			・	・	・

・可とう形改修用仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料
・			樹脂 ・ 外観 ・ 溶媒 ・	・耐候形1種 ・耐候形2種 ・耐候形3種	・
・	・	・	・	・	・

・ マスチック塗材塗り　種別　[4.1.5] [4.6.2] [表4.6.1]
・A種　・B種

・ 外壁用塗膜防水材塗り　仕上げの形状　[4.1.5][4.7.2,3][表4.7.1]
・
工法
・
仕上塗料の耐候性
・
下地挙動緩衝材の適用
・適用する
・適用しない
コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（コンクリート打ち放し仕上げ外壁改修）による。
モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（モルタル塗り仕上げ外壁改修）による。
吹付け工法の模様材の種類
・　（・所要量　(kg/㎡)）
外壁用仕上塗料の種類
・　（・所要量　(kg/㎡)）
既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（塗仕上げ外壁等改修）による。

5 建具改修工事

⊙ 改修工法　[5.1.3]

建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所
⊙アルミニウム製建具	⊙	⊙	⊙建具表による
・樹脂製建具	－	・	・建具表による
⊙鋼製建具　⊙外部	・	⊙	⊙建具表による
⊙鋼製建具　⊙内部	・	⊙	⊙建具表による
⊙鋼製軽量建具	・	⊙	⊙建具表による
・ステンレス製建具	・	・	・建具表による
・木製建具	・	・	・建具表による

新規に建具を設ける場合
壁部分の開口の開け方
※図示による　・
新規建具周囲の補修工法及び範囲
※図示による　・
建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書3章　防水改修工事による。

⊙ 防火戸　[5.1.4]
・指定する　適用箇所　⊙建具表による　・　）
・指定しない
防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動
・連動させる　適用箇所（・建具表による　・　）
・連動させない

⊙ 見本の製作等　[5.1.5]
建具見本の製作　・行う（建具符号：　）
⊙行わない
建具見本製作の目的等　・
特殊な建具の仮組　・行う（建具符号：　）
⊙行わない

・ 防犯建物部品　[5.1.7]
・適用する（・建具表による　・　）
・適用しない

⊙ アルミニウム製建具　[5.2.2～5][表 5.2.2]
性能値等
耐風圧性の等級（・　）
（建具符号　・建具表による　・　）
気密性の等級　（・　）
（建具符号　・建具表による　・　）
水密性の等級　（・　）
（建具符号　・建具表による　・　）
外部に面する建具の種別
・A種（建具符号　・建具表による　・　）
⊙B種（建具符号　・建具表による　・　）
・C種（建具符号　・建具表による　・　）
枠の見込み寸法
（⊙建具表による　・　）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（・　）
（建具符号：・建具表による　・　）
断熱ドア・断熱サッシG
断熱性の等級（・　）
（建具符号：・建具表による　・　）
材料
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL
・
形状及び仕上げ
表面処理
外部に面する建具
種別
⊙BB-1　・BB-2（改修標準仕様書表5.2.2）
着色
⊙標準色　・特注色
屋内の建具
種別
・BC-1　・BC-2（改修標準仕様書表5.2.2）
着色
・標準色　・特注色
結露水の処理方法
・水貯め式　・排水式
工法
水切り板、ぜん板
※図示による　・

⊙ 網戸等　[5.2.3、5.3.3]

種類	材質	線径	網目
⊙防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製	※0.25mm以上 ・	※16～18メッシュ ・
・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm

・ 樹脂製建具　[5.2.2][5.3.2～5]
性能値等
耐風圧性の等級（　）
気密性の等級　（　）
水密性の等級　（　）
外部に面する建具の種別
・A種（建具符号　・建具表による　・　）
・B種（建具符号　・建具表による　・　）
・C種（建具符号　・建具表による　・　）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（・　）
（建具符号：・建具表による　・　）
断熱ドア・断熱サッシG
断熱性の等級（・　）
（建具符号：・建具表による　・　）
外部に面する建具の日射熱取得性の等級
・
枠の見込み寸法
・建具表による
・
材料
ガラス
※複層ガラス
・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL
・
形状及び仕上げ
表面色
・標準色　・特注色
工法
水切り板、ぜん板
※図示による　・

⊙ 鋼製建具　[5.2.2][5.4.2～4][表5.4.2]
性能値等
簡易気密型ドアセット
・適用する
（建具符号：・建具表による　・　）
⊙適用しない
外部に面する建具の耐風圧性
耐風圧性の等級（・　）
（建具符号：・建具表による　・　）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（・　）
（建具符号：・建具表による　・　）
断熱ドア・断熱サッシG
断熱性の等級（・　）
（建具符号：・建具表による　・　）
耐震ドア
面内変形追随性の等級（・　）
（建具符号：・建具表による　・　）
材料
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL
・
形状及び仕上げ
鋼板類の厚さ
※改修標準仕様書表5.4.2による
・　mm　使用箇所（　）
標準型鋼製建具の形式及び寸法
※建具表による
・

⊙ 鋼製軽量建具　[5.2.2][5.5.2～6]
性能値等
簡易気密型ドアセット
・適用する
（建具符号：・建具表による　・　）
⊙適用しない
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（・　）
（建具符号：・建具表による　・　）
断熱ドア・断熱サッシG
断熱性の等級（・　）
（建具符号：・建具表による　・　）
耐震ドア
面内変形追随性の等級（・　）
（建具符号：・建具表による　・　）
材料
鋼板
・亜鉛めっき鋼板
・ビニル被覆鋼板
⊙カラー鋼板
・ステンレス鋼板
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
・
召合わせ、縦小口包み板の材質
※鋼板　・ステンレス鋼板　・アルミニウム合金の押出形材
・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL
・
形状及び仕上げ
鋼板類の厚さ
※改修標準仕様書表5.5.1による
・　mm　使用箇所（　）
標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法
※建具表による
・

・ ステンレス製建具　[5.2.2] [5.4.2] [5.6.2～5]
性能値等
簡易気密型ドアセット
・適用する
（建具符号：・建具表による　・　）
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性
耐風圧性の等級（・　）
（建具符号：・建具表による　・　）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（・　）
（建具符号：・建具表による　・　）
断熱ドア・断熱サッシG
断熱性の等級（・　）
（建具符号：・建具表による　・　）
耐震ドア
面内変形追随性の等級（・　）
（建具符号：・建具表による　・　）
材料
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL
・
形状及び仕上げ
表面仕上げ
※HL
・鏡面仕上げ
工法
ステンレス鋼板の曲げ加工
※普通曲げ
・角出し曲げ

・ 木製建具

建具材の加工、組立時の含水率 [5.7.2～4]
※A種 ・
建物内部の木製建具に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・
・フラッシュ戸
表面材のホルムアルデヒド放散量等
※改修標準仕様書5.7.2(2)(ｲ)(a)による
・
表面材の合板の種類

合板の種類	規格等	備考
・普通合板 G	表面の樹種 ・ 板面の品質（※広葉樹1等 ・ ） 接着の程度（・1類 ・2類 ）	
・天然木化粧合板 G	樹種名（ ） 接着の程度（・1類 ・2類 ）	
・特殊加工化粧合板 G	化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板 ・ 接着の程度（・1類 ・2類 ）	
・MDF G		

表面板の厚さ
※改修標準仕様書表5.7.6による
・
引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用
・適用しない ・適用する
・かまち戸
かまち樹種（ ） 鏡板樹種（ ）
見込み寸法
※36mm ・建具表による ・
・ふすま
張りの種別（・Ⅰ型 ・Ⅱ型）
上張り（押入等の裏側以外）
・鳥の子 ・新鳥の子又はビニル紙程度
縁仕上げ
・塗り縁 ・生地縁（素地） ・生地縁（ウレタンクリヤー塗装）
見込み寸法
※19.5mm ・建具表による ・
・戸ぶすま
表面板の仕上 ・建具表による
見込み寸法
※30mm ・建具表による ・
・紙張り障子
見込み寸法
※30mm ・建具表による ・
枠、くつずりの材料
・建具表による ・

⊙ 建具用金物

金物の種類及び見え掛り部の材質等 [5.8.1～3]
※改修標準仕様書表5.8.1により適用は建具表による
・
金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※改修標準仕様書表5.8.2による
・建具表による
樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※改修標準仕様書表5.8.3による
・建具表による
木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※改修標準仕様書表5.8.4による
・建具表による
木製建具に使用する戸車及びレール
※改修標準仕様書表5.8.5による
・建具表による
握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置
・建具表による
・
・錠前類（レバーハンドル）
・クローザ類

⊙ 鍵

マスターキー [5.8.4]
⊙製作する
・製作しない
・既存のマスターキーに合わせる
その他の鍵の製作本数
※各室3本1組（室名札付き）
・
鍵箱
⊙無し ・有り

・ 自動ドア開閉装置

戸の開閉方式 [5.9.2、3]
・建具表による ・
・引き戸用駆動装置
性能値
※改修標準仕様書表5.9.1による （防錆 ・適用する ・適用しない）
・以下による
種類・開閉方式 （ ）
耐電圧 （ ）
温度上昇 （ ）
耐久性（サイクル） （ ）
防錆 （ ）
電源 （ ）
・車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置
性能値
※改修標準仕様書表5.9.2による （防錆 ・適用する ・適用しない）
・以下による
耐電圧 （ ）
温度上昇 （ ）
耐久性（サイクル） （ ）
防錆 （ ）
電源 （ ）
・引き戸用検出装置
性能値
※改修標準仕様書表5.9.3による （防錆 ・適用する ・適用しない）
・以下による
耐電圧 （ ）
防錆 （ ）
防滴 （ ）
電源 （ ）
引き戸用検出装置の種類及び必要性能項目
・建具表による
・
タッチスイッチの種類
・無線式タッチスイッチ
・光線式タッチスイッチ
車椅子使用者用便房スイッチの種類
・大形押しボタンスイッチ
・非接触スイッチ
凍結防止措置
・行う ・行わない

・ 自閉式上吊り引戸装置

性能値等 [5.10.3]
※改修標準仕様書表5.10.1による
・以下による
手動開き力 （ ）
手動閉じ力 （ ）
閉じ速度の調整 （ ）
制動区間 （ ）
開閉繰返し （ ）
耐衝撃性 （ ）

⊙ 重量シャッター

シャッターの種類 [5.11.2、3]
・管理用シャッター
・外壁用防火シャッター
⊙ 屋内用防火シャッター
・ 防煙シャッター
外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度
1章 適用区分による風圧力（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法
開閉方式の種類
※電動式（手動併用）
・手動式
安全装置
電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置
（設置個所 ・建具表による ・）
電動式シャッターの障害物感知装置
（設置個所 ・建具表による ・）
屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構
※(a)かつ(c) ・(b)かつ(c)
（設置個所 ・建具表による ・）

管理用シャッターのシャッターケース
・設ける ・設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板
鋼板の種類
・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量
※Z12又はF12 ・
ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1
・

・ 軽量シャッター

開閉方式の種類 [5.12.2～4]
※手動式
・上部電動式（手動併用）
耐風圧強度
1章 適用区分による風圧力（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法
安全装置
（設置箇所 ・建具表による ・ ）
スラットの材質の種類
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量（※Z06又はF06 ・ ）
・JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量（※AZ90 ・ ）
スラットの形状
・インターロッキング形
・オーバーラッピング形

・ オーバーヘッドドア

[5.13.2、3]

セクション材料による区分	耐風圧性能区分	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材料
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・50 ・75 ・100 ・125	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板

（設置箇所 ・建具表による ・ ）

⊙ ガラス

⊙フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 [3.7] [5.14.2～4]
⊙建具表による
・
⊙型板ガラスの厚さによる種類
⊙建具表による
・
⊙網入板ガラス及び線入板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類
⊙建具表による
・合わせガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ
・建具表による
・
落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類
・Ⅰ類 ・Ⅱ-1類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類
・強化ガラス
形状による種類、材料板ガラスの種類による名称
・建具表による
・
破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類
・Ⅰ類 ・Ⅲ類
・熱線吸収板ガラス
板ガラスによる種類、厚さによる種類
・建具表による
・
性能による種類
・1種 ・2種
⊙複層ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ
⊙建具表による
・
断熱性による区分
・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6
日射取得性、日射遮蔽性による区分
・G ・S
乾燥気体の種類
⊙空気 ・アルゴン ・
・熱線反射ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
・建具表による
・
日射熱遮蔽性による区分
・1種 ・2種 ・3種
耐久性による区分（日射熱遮蔽性が2種の場合）
・A類 ・B類
・倍強度ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
・建具表による
・
ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	⊙シーリング材 ※グレイジングチャンネル	※建具の製造所の仕様による ・図示による ・
鋼製及び鋼製軽量	⊙シーリング材 ・	※建具の製造所の仕様による ・図示による ・
ステンレス製	・シーリング材 ・	※建具の製造所の仕様による ・図示による ・
樹脂製	・グレイジングガスケット ・	※建具の製造所の仕様による ・図示による ・

耐震性能
構造体の層間変形に対する追従性
以下の構造体の層間変形角に対して、破損、脱落が生じないよう取り付けられているものとする。
構造体の層間変形角 ・1/100
・1/200
・

・ ガラスブロック

[5.14.5]

表面形状	呼び寸法（mm）	厚さ(mm)	色調	目地幅（mm）	伸縮調整目地位置（mm）	防火性能
	・160×160	・95 ・				
	・200×200	・95 ・				

壁用金属枠及び補強材
※図示による ・
力骨
材質
※ステンレス鋼(SUS304)
・
寸法
※径5.5mm ・
形状
※はしご形状複筋及び単筋
・
化粧目地モルタルの色（・白 ・グレー）
シーリングの種類 （・SR-1 ・PS-1）
金属製化粧カバー
材質
・ステンレス製
・アルミニウム製
寸法
※図示による ・
形状
※図示による ・
目地部の横力骨の納まり
※ガラスブロック製造所の仕様による
・図示による
・
工法
1章 適用区分による風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法

⊙ ガラス用フィルム

種類	記号 内貼り用	記号 外貼り用	その他性能等
・日射調整フィルム G	・SC-1	・SC-2	
・低放射フィルム	・LE		
・衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・GI-1	・GI-2	
・相関変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・GD-1	・GD-1	
・ガラス貫通防止フィルム	・SF		
・	・	・	

品質は、JIS A 5759による。

6 内装改修工事

⊙ 改修範囲

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 [6.1.3]
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図示による
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲
※壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図示による
既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※既存のまま
・図示による

⊙ 既存床の撤去及び下地補修

ビニル床シート等の除去 [6.2.2]
※仕上材のみ（接着剤とも）
・下地モルタルとも（・図示による ・除去範囲全て）
合成樹脂塗床材の除去工法
⊙機械的除去工法
・目荒し工法
既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、改修標準仕様書4章外壁改修工事による。
改修後の床の清掃範囲
※図示による ・

⊙ 既存壁の撤去及び下地補修

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 [6.3.2]
※改修標準仕様書4.3.10によるモルタル塗り
（全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示による）
・

⊙ 施工一般

材料のホルムアルデヒド放散量 [6.5.2]
※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1)(ｳ)(b)による ・

・ 製材 G

・JAS 1083-5 製材 - 第5部に基づく下地用製材 [6.5.2]

施工箇所	寸法（mm）	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		※2級 ・	※A種 ・B種 ・		・
		※2級 ・	※A種 ・B種 ・		・
		※2級 ・	※A種 ・B種 ・		・

・JAS 1083-2 製材 - 第2部に基づく造作用製材

施工箇所	寸法（mm）	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
見え掛り面		※上小節 ・	※A種 ・B種 ・		・
見え掛り面以外		※小節以上 ・	※A種 ・B種 ・		・
					・

・JAS 1083-6 製材 - 第6部に基づく広葉樹製材

施工箇所	寸法（mm）	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		※1等 ・	※10%以下 ・A種 ・B種 ・		・
		※1等 ・	※10%以下 ・A種 ・B種 ・		・
		※1等 ・	※10%以下 ・A種 ・B種 ・		・

・JAS 1083（製材）以外の製材

施工箇所	寸法（mm）	材面の品質	防虫処理	含水率	間伐材等の適用
		（　　） 造作材の場合 （※A種　・B種）	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種 ・	・
		（　　） 造作材の場合 （※A種　・B種）	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種 ・	・
		（　　） 造作材の場合 （※A種　・B種）	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種 ・	・

・造作用集成材 G

・JAS 1152による造作用集成材 [6.5.2]

施工箇所	品名	樹種名	寸法（mm）	見付け材面	見付け材面の品質	間伐材等の適用
					※1等　・2等	・
					※1等　・2等	・
					※1等　・2等	・

・JAS 1152による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	品名	樹種名	寸法（mm）	化粧薄板の厚さ（mm）	見付け材面	見付け材面の品質	間伐材等の適用
		化粧薄板： 芯材：				※1等　・2等	・
		化粧薄板： 芯材：				※1等　・2等	・
		化粧薄板： 芯材：				※1等　・2等	・

・JAS 1152以外の造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法（mm）	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
				※15%以下 ・	・
				※15%以下 ・	・
				※15%以下 ・	・

・JAS 1152以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法（mm）	化粧薄板の厚さ（mm）	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
	化粧薄板： 芯材：				※15%以下 ・	・
	化粧薄板： 芯材：				※15%以下 ・	・
	化粧薄板： 芯材：				※15%以下 ・	・

・造作用単板積層材 G

・JAS 0701に基づく造作用単板積層材 [6.5.2]

施工箇所	品名	寸法（mm）	表面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
				・適用する ・適用しない	・

・JAS 0701以外の造作用単板積層材

施工箇所	寸法（mm）	表面の品質	含水率	防虫処理	間伐材等の適用
			※14%以下 ・	・適用する ・適用しない	・

・JAS 3079に基づく直交集成板

施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能（使用環境）	樹種名	寸法（mm）	間伐材等の適用
							・

・合板等

・JAS 0233による普通合板 G [6.5.2]

施工箇所	厚さ（mm）	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
	※5.5 ・		※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上 ・	・適用する ・適用しない	・

・JAS 0233による構造用合板 G

施工箇所	品名	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ（mm）	防虫処理	保存処理	強度等級	間伐材等の適用
	・	※2級以上 ・1級		※1類 ・特類	※C-D 以上 ・	※12 ・	・適用する ・適用しない		・適用する （　） ・適用しない	
										・
										・

・JAS 0233による化粧ばり構造用合板 G

施工箇所	品名	厚さ（mm）	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用
	・			・1類 ・特類	・適用する ・適用しない	

・JAS 0233による天然木化粧合板 G

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ（mm）	接着の程度	防虫処理
			・1類 ・2類	・適用する ・適用しない

・JAS 0233による特殊加工化粧合板 G

施工箇所	厚さ（mm）	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理
		・1類 ・2類			・適用する ・適用しない

・パーティクルボード G

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ（mm）
		※13タイプ ・	※P又はM ・		※15 ・

・JAS　0360に基づく構造用パネル

施工箇所	寸法（mm）

・MDF G

施工箇所	厚さ（mm）	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分

・接合具等

造作材の化粧面の釘打ち [6.5.3]
※隠し釘打ち
・釘頭埋め木
・つぶし頭釘打ち
・釘頭現し
諸金物
※かすがい、座金、箱金物、短冊金物
（改修標準仕様書表6.5.3～5に示す程度の市販品　表8.20.1のF種程度）
・　（形状：　寸法：　材質：　）

⊙接着剤

接着剤のホルムアルデヒド放散量 [6.5.3、4]
※F☆☆☆☆
・

・防腐・防蟻処理

・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 [6.5.5]

適用部材	保存処理性能区分
	・K2　・K3　・K4

・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理

適用部材	処理の方法	薬剤の種類
	※薬剤の製造所の仕様による ・	※JIS K 1571に適合又は同等品
	・	
	・	

・薬剤の接着材への混入による防腐、防蟻処理
適用部位（　）
・合板等の加圧注入処理等の適用
適用部位（　）

・内部開仕切軸組及び床組み

・間仕切軸組に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合) [6.5.6]
※杉又は松
・
・床組に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)
※杉又は松
・

・窓、出入口その他

・窓、出入口その他に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合) [6.5.7]
※吊元枠、水掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉
・

⊙軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類 [6.6.2～4]
屋外
※25形　・19形
屋内
※19形　・25形
屋外の形式及び寸法
野縁受、つりボルト及びインサートの間隔
・図示による　・
周辺部の端からの間隔
・図示による　・
野縁の間隔
・図示による　・
既存の埋込みインサート
⊙使用する　・使用しない
あと施工アンカーの施工後の確認試験
・行う
試験箇所数　※屋内の場合、当該階において3箇所
・（　）箇所
引張試験にて確認する強度
※つりボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/㎡以内の天井の場合は400N程度
・（　）N
・行わない
補強方法等
・つりボルトの間隔が900mmを超える場合
（補強方法　※図示による　・　）
・天井のふところが3.0mを超える場合
（補強方法　※図示による　・　）
・天井下地材における耐震性を考慮した補強
（補強箇所　※図示による　・　）
（補強方法　※図示による　・　）
耐震性能
・軽量鉄骨天井下地(特定天井)
範囲
・図示による　・
特定天井の設計用震度及びクリアランスは以下による。
特定天井告示（平成25年国土交通省告示771号）による
特定天井の設計用震度　検証ルート（　）

室名	階	設計用水平震度(K_H)	設計用鉛直震度(K_V)	クリアランス(mm)
		・	・	・
		・	・	・
		・	・	・

⊙軽量鉄骨壁下地

スタッド、ランナの種類 [6.7.3、4] [表6.7.1]
※改修標準仕様書表6.7.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類
・図示による
・
スタッドの高さが5.0mを超える場合
※図示による　・
出入口及びこれに準ずる開口部の補強
※改修標準仕様書6.7.4(5)による
・

⊙ビニル床シート G [6.8.2、3]

種類の記号	色柄	厚さ（mm）	備考
※FS(複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ) ・	⊙無地 ・マーブル柄 ・柄物	※2.0 ・	

接合部の処理
※熱溶接工法　・

・ビニル床タイル G [6.8.2]

種類の記号	色柄	寸法（mm）	厚さ（mm）	備考
※KT(ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・	※2.0 ・3.0	
・TT(単層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・	・2.0 ・	
・FT(複層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・	・2.0 ・2.5 ・3.0	
・FOA(置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ)	・無地 ・柄物	・500×500 ・	・4.0 ・	
・FOB(薄型置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ)	・無地 ・柄物	・	・	

・特殊機能床材

・帯電防止床シート [6.8.2]
種類　（　）
性能　（　）
厚さ(mm)（　）
・帯電防止床タイル
種類　（　）
性能　（　）
寸法(mm)（　）×（　）
厚さ(mm)（　）
・視覚障害者用床タイル
視覚障害者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による。
種類　（　）
形状　（　）
・耐動荷重性床シート
種類　（　）
厚さ(mm)（　）
・防滑性床シート
種類　（　）
厚さ(mm)（　）
・防滑性床タイル
種類　（　）
寸法(mm)（　）×（　）
厚さ(mm)（　）

⊙ビニル幅木

材質の種類 [6.8.2]
⊙軟質　・硬質
高さ(mm)
※60　・75　・100
厚さ(mm)
※1.5以上　・

・ゴム床タイル

種類 [6.8.2]
・単層品　・積層品
色柄　（　）
厚さ(mm)
・3.0　・4.5　・6.0　・9.0
寸法(mm)（　）×（　）

⊙カーペット敷き G

・織じゅうたん [6.9.2、3] [表6.9.1]

織り方	パイル形状
・ウィルトンカーペット ・ダブルフェースカーペット ・アキスミンスターカーペット	・カットパイル ・ループパイル ・カット/ループパイル

色柄
※模様のない無地
・
パイル糸の繊維種等
※無地の織りじゅうたんの種別（・A種　・B種　・C種）
・
帯電性
・適用する　・適用しない
織じゅうたんの接合方法
※ヒートボンド工法
・つづり縫い
下敷き材
※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種1号　呼び厚さ 8mm
・

・タフテッドカーペット

パイル形状	ﾊﾟｲﾙ長さ（mm）	工法	帯電性	備考
・カットパイル	・5～7　・	・全面接着工法 ・ｸﾞﾘｯﾊﾟｰ工法	・適用する ・適用しない	
・ループパイル	・4～6　・			
・カット、ループ併用	・			

下敷き材(グリッパー工法の場合)
※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号　呼び厚さ 8mm
・
タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・

⊙タイルカーペット

パイルの形状	種類	施工箇所	寸法（mm）	総厚さ（mm）	備考
※ループパイル	※第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	
・カットパイル	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	
・カット・ループ併用	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	

タイルカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・
タイルカーペットの敷き方
平場
※市松敷き
・模様流し
・
階段部分
※模様流し
・市松敷き
・
見切り、押え金物
材質（　）
種類（　）
形状等
※図示による　・

⊙合成樹脂塗床 [6.10.2、3]

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
⊙厚膜型塗床材 弾性ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗床			※平滑仕上げ ⊙防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
⊙厚膜型塗床材 ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床		・薄膜流しのべ工法 ⊙厚膜流しのべ工法 ・樹脂ﾓﾙﾀﾙ工法	・平滑仕上げ ⊙防滑仕上げ
・薄膜型塗床材			※平滑仕上げ

塗床材のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・

⊙フローリング張り G

フローリングのホルムアルデヒドの放散量等 [6.11.2～6]
※改修標準仕様書6.11.2(2)による
・
各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒドの放散量
※F☆☆☆☆　・

・単層フローリング　（フローリングボード1等）
工法
・釘留め工法（・根太張り　・直張り　）
・接着工法
樹種
※なら　・
間伐材等の適用
・適用する　・適用しない

年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校	図面番号
令和7年度	令和7年7月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	改修特記仕様書（6）	A1：NS A3：NS	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社　TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号　FAX 092-522-5183 一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1-11499号 一級建築士　国土交通大臣登録　第350116号　野田 康広	事務部長 / 総務課長 / 課長補佐 / 係長 / 担当	特A-06

・単層フローリング　（フローリングブロック1等）
樹種
・
厚さ（mm）
・
大きさ
・
間伐材等の適用
・適用する　・適用しない
⊙複合フローリング
工法
・釘留め工法（・根太張り　・直張り　）
⊙接着工法
樹種
※なら　・
種別
・A種　⊙B種　・C種
間伐材等の適用
・適用する　⊙適用しない

接着工法の場合の不陸緩和材
※合成樹脂発泡シート
・
・現場塗装仕上げ
※ウレタン樹脂ワニス塗り
・オイルステインの上、ワックス塗り
・生地のままワックス塗り

・ 畳敷き

種別　[6.12.2]
・A種　・B種　・C種　・D種（畳床：・KT-Ⅰ・KT-Ⅱ・KT-Ⅲ・KT-K・KT-N）
下地の種類
・標準仕様書表12.6.1による床組
・ポリスチレンフォーム床下地（ノンフロン G ）
・
畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
衝撃緩和型畳（畳表：・C1　・C2）

⊙ せっこうボード、その他のボード及び合板張り

MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量　[6.13.2、3]
※F☆☆☆☆　・
合板のホルムアルデヒド放散量
※改修標準仕様書6.13.2(2)(イ)の(a)～(d)のいずれか
・
接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・
表面への化粧張り等の加工
※図示による　・

種類等	厚さ(mm)、規格等
木質系セメント板 G	
・木毛セメント板 ・硬質(HW)・中質(MW)・普通(NW)	※図示による　・15　・20　・25
・木片セメント板 ・硬質(HF)・普通(NF)	※図示による　・12　・15　・18　・21　・30
繊維強化セメント板	
・けい酸カルシウム板(タイプ2) 普通ボード 0.8FK	※図示による　・6　・8
火山性ガラス質複層板	
・火山性ガラス質複層板 種類　※図示による　・	※図示による　・
繊維板 G	
・ﾐﾃﾞｨｱﾑﾃﾞﾝｼﾃｨﾌｧｲﾊﾞｰﾎﾞｰﾄﾞ(MDF)	※図示による　・3　・7　・9　・12　・
・ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ ・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ（無処理） ・素地ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ ・未研磨板（RN） ・研磨板（RS） ・内装用化粧ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ（DI） ・ﾃﾝﾊﾟｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ（処理） ・素地ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ ・未研磨板（RN） ・研磨板（RS） ・外装用化粧ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ（DE）	※図示による　・2.5　・3.5　・5　・7　・
・ｲﾝｼｭﾚｰｼｮﾝﾎﾞｰﾄﾞ ・A級ｲﾝｼｭﾚｰｼｮﾝﾎﾞｰﾄﾞ（A-IB） ・天井仕上げ材 ・内装仕上げ材	※図示による　・9　・12　・15　・18
ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ G	
・単板張りﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ ・無研磨板（VN） ・研磨板（VS）	※図示による　・10　・12　・15　・18　・
・化粧ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ ・単板ｵｰﾊﾞｰﾚｲ（DV） ・ﾌﾟﾗｽﾃｨｯｸｵｰﾊﾞｰﾚｲ（DO） ・塗装（DC）	※図示による　・10（難燃）　・12（難燃）　・

吸音材料

⊙ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板（DR） ・ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ ⊙凹凸ﾀｲﾌﾟ	※図示による ・9（不燃）　・12（不燃） ・12（不燃）　⊙15（不燃）
・ﾛｯｸｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ（・1号　・　）	※図示による　・25　・
・ｸﾞﾗｽｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ（・32K　・　）	※図示による ・25（ｶﾞﾗｽｸﾛｽ包み）　・

せっこうﾎﾞｰﾄﾞ

⊙せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（GB-R）	※図示による　・9.5（準不燃） ・12.5（不燃）　・15（不燃）　・
⊙ｼｰｼﾞﾝｸﾞせっこうﾎﾞｰﾄﾞ（GB-S）	※図示による ・12.5（・不燃　・準不燃）
⊙強化せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（GB-F）	※図示による ・12.5（不燃）　・15（不燃）
⊙化粧せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（GB-D）	※図示による ・木目　12.5（不燃）幅 440mm 程度 模様（・柾目　・板目）　専用下地材有り ⊙トラバーチン模様　9.5（準不燃）
・せっこうﾗｽﾎﾞｰﾄﾞ（GB-L）	※図示による　・9.5　・
・不燃積層せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（GB-NC） ・化粧無し（下地張り用） ・化粧有り（ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様）	※図示による ・9.5（不燃）

合板類

・普通合板 G 表板の樹種名： 板面品質： 防虫処理 ・行う　・行わない	※図示による ・
・天然木化粧合板 G 化粧板の樹種名： 防虫処理 ・行う　・行わない	※図示による ・
・特殊加工化粧合板 G 化粧加工の方法 ・ｵｰﾊﾞｰﾚｲ　・ﾌﾟﾘﾝﾄ　・塗装　・ 表面性能 ・ 防虫処理 ・行う　・行わない	※図示による ・

天井のボード類（ロックウール吸音板を除く）の重ね張りを行う場合
※図示による　・
合板類の張付け
・A種　・B種　・
せっこうボードの目地工法等
目地工法の種類
※図示による　・継目処理工法　・突付け工法　・目透し工法
突付け工法及び目透し工法のエッジの種類
・ベベルエッジ　・スクェアエッジ
化粧加工の方法（・オーバーレイ　・プリント　・塗装　・　）

⊙ 壁紙張り

ホルムアルデヒド放散量　[6.14.2、3]
※F☆☆☆☆　・

施工箇所	壁紙の種類							防火性能	備考
	紙	繊維	塩化ﾋﾞﾆﾙ	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	無機質	その他			
寮室(その他の対象室)	⊙	・	・	・	・	・	⊙不燃	・準不燃	・難燃
	・	・	・	・	・	・	・不燃	・準不燃	・難燃
	・	・	・	・	・	・	・不燃	・準不燃	・難燃
	・	・	・	・	・	・	・不燃	・準不燃	・難燃

モルタル及びせっこうプラスター面の素地ごしらえの種別
※B種　・A種
コンクリート面の素地ごしらえの種別
※B種　・A種
せっこうボード面及びその他のボード面の素地ごしらえの種別
※B種　・A種

⊙ モルタル塗り

モルタル　[6.15.3、5、6]
⊙現場調合材料
・既調合材料
既製目地材
・設ける
施工箇所（　）　形状（※図示による　・　）
⊙設けない
床の目地
・設ける
目地割り
※2㎡程度（最大目地間隔3m程度）
・
目地の種類
※押し目地
・
・設けない
壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の下地処理
⊙図示による　・

⊙ タイル張り

伸縮目地の位置　[6.16.2～4]
床タイル
※縦、横とも4m以内ごと
・図示による
・
床タイル以外
・図示による
・

伸縮調整目地のシーリング材、目地寸法は改修特記仕様書第3章による
見本焼き
・行う（施工箇所：　）　⊙行わない
試験張り
・行う（範囲、仕様等は図示による）　⊙行わない
・セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り
タイルの形状、寸法等

施工箇所	種類	形状/寸法(mm)	再生材料の適用	吸水率による区分			うわぐすり		役物	色		耐凍害性		耐滑り性	備考
			G	Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	施ゆう	無ゆう	有無	標準	特注	有	無		
			・	・	・	・	・	・	・・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
・既調合モルタル
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。
・既調合目地材
壁タイル張りの工法
内装タイル
⊙密着張り
・改良圧着張り
内装タイル以外のユニットタイル
・マスク張り　・モザイクタイル張り
⊙有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り
タイルの形状、寸法等

施工箇所	種類	形状/寸法(mm)	再生材料の適用	吸水率による区分			うわぐすり		役物	色		耐凍害性		耐滑り性	備考
			G	Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	施ゆう	無ゆう	有無	標準	特注	有	無		
			・	⊙	・	・	⊙	・	・・	⊙	・	⊙	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
内装タイル接着剤張りの接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・

・ セルフレベリング材塗り

塗厚（mm）　[6.17.2、3]
・

7 塗装改修工事

⊙ 材料

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量　[7.1.3]
※F☆☆☆☆　・
防火材料
※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・次の箇所を除き防火材料とする。（箇所：　）

⊙ 下地調整

塗替えRB種の場合の既存塗膜の除去範囲　[7.2.1～7]
※劣化部分は除去し、活膜部分は残す
・図示による
・
既存錆止め塗料の鉛含有量調査
・行う（　箇所）
・行わない
下地調整

素地面の種類		下地調整の種別 塗替え	ひび割れ部の補修
木部	不透明塗料塗りの場合	※RB種　・	—
	透明塗料塗りの場合	・RA種　・RB種 ・RC種	—
鉄鋼面		※RB種　・	—
亜鉛めっき鋼面		※RB種　・	—
亜鉛めっき鋼面 （鋼製建具等）		※RB種　・	—
モルタル面及び、 せっこうプラスター面		※RB種　・	・行う ⊙行わない
コンクリート面(DP以外)、 ALCパネル面		※RB種　・	・行う ・行わない
押出成形セメント板面		・RA種　・RB種 ・RC種	・行う ・行わない
コンクリート面（DP）		・RB種　・RC種	・行う ・行わない
せっこうボード面及び その他ボード面		※RB種　・	—

⊙ 素地ごしらえ

(7.3.2～7)

素地面等		種別
木部	不透明塗料塗りの場合	※A種　・B種
	透明塗料塗りの場合	※B種　・A種
鉄鋼面（DP以外）		※C種　・A種　・B種
鉄鋼面（DP）		※B種　・A種　・C種
亜鉛めっき鋼面		・A種　・B種
モルタル面及びせっこうプラスター面		※B種　・A種
コンクリート面（DP以外）及びALCパネル面		※B種　・A種
押出成形セメント板面		※B種　・A種
コンクリート面（DPのみ）		※A種　・B種
せっこうボード面及び その他ボード面	目地：継目処理工法	※A種　・B種
	目地：継目処理工法以外	※B種　・A種

⊙ 錆止め塗料塗り

錆止め塗料塗りの種別　[7.4.2、3]

素地面	塗装の種類		錆止め塗料塗りの種別	錆止め塗料の種別
鉄鋼面	SOP （工程の種別は表7.4.3）	塗替え	※C種　・	A種
		新規見え掛り	※A種　・	A種
		新規見え隠れ	※B種　・	A種
	EP-G （工程の種別は表7.4.3）	塗替え	※C種　・	※B種　・A種
		新規見え掛り	※A種　・	※B種　・A種
		新規見え隠れ	※B種　・	※B種　・A種
	DP （工程の種別は表7.4.4）	塗替え	⊗B種　・	7.4.2(1)(ｲ)(b) による
		新規	※A種　・	7.4.2(1)(ｲ)(a) による
亜鉛めっき鋼面	SOP （工程の種別は表7.4.5）	塗替え	※C種　・	※A種　・B種
		新規　鋼製建具等	※A種　・	※A種　・B種
		新規　その他	※B種 ・A種　・C種	塗りB種の場合 B種 塗りA種又はC種の場合 ※A種　・B種
	EP-G （工程の種別は表7.4.5）	塗替え	※C種　・	C種
		新規　鋼製建具等	※A種　・	C種
		新規　その他	※B種　・	C種
	DP （工程の種別は表7.4.6）	塗替え	改修標準仕様書 表7.4.6による	B種
		新規	改修標準仕様書 表7.4.6による	B種

⊙ 塗装

[7.5.2～7.12.2]

塗装の種類	塗装面	工程 塗替え	工程 新規
⊙合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) 塗装の種類 ※1種 ・2種	木部屋外	※B種　・	※A種　・
	木部屋内	※B種　・	※B種　・
	鉄鋼面	※B種　・	※B種　・A種
	亜鉛めっき鋼面（鋼製建具）	※A種　・	※B種　・
	亜鉛めっき鋼面（鋼製建具以外）	※B種　・	※B種　・
・クリヤラッカー塗り(CL)		※B種 ・A種 （着色塗料の種類：　）	※B種 ・A種 （着色塗料の種類：　）
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)		※B種　・A種	※B種　・A種
⊙耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面 上塗り等級（　1　）級	改修標準仕様書 7.8.2による	改修標準仕様書 7.8.2による
	亜鉛めっき鋼面 上塗り等級（　　）級	改修標準仕様書 7.8.3による	改修標準仕様書 7.8.3による
	コンクリート面及び押出成形セメント板面	・	・A-1種 ・B-1種 ・C-1種
⊙つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)	コンクリート面等	※B種　・	※B種　・A種
	屋内の木部	※B種　・	※A種　・
	屋内の鉄鋼面	※B種　・	※B種　・A種
	屋内の亜鉛めっき鋼面	※A種　・B種	A種
・合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)		※B種　・	※B種　・A種
・合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T)		※B種　・	・A種　・B種
・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		※B種　・	※B種　・A種
・ステイン塗り		・ピグメントステイン塗り ・オイルステイン塗り(OS)	
・木材保護塗料塗り(WP)		※B種　・A種	※B種　・A種

つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（ｺﾝｸﾘｰﾄ面、ﾓﾙﾀﾙ面、せっこうﾌﾟﾗｽﾀｰ面、せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面、その他ﾎﾞｰﾄﾞ面）の塗替えの場合のしみ止め
※B種又はC種の場合は、改修標準仕様書表7.9.1の工程1の下塗りをしみ止めシーラーとする
・
合成樹脂エマルションペイント塗りの塗替えの場合のしみ止め
※B種又はC種の場合は、改修標準仕様書表7.10.1の工程1の下塗りをしみ止めシーラーとする
・
・高日射反射率塗料塗り G
下地調整（改修標準仕様書表7.2.2）
※RB種　・RA種　・RC種

工程	塗料その他				塗付け量 (kg/㎡)
	規格番号	規格名称	種類	等級	
塗料塗	JIS K 5675	屋根用高日射反射率塗料	2種	・1級 ・2級 ・3級	塗料製造所の仕様による

クリヤラッカー塗りA種の工程2の適用
・適用しない
・適用する（着色剤：・溶剤系着色剤　・油性染料着色剤）
ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用
・適用する
・適用しない
オイルステン塗りの工程等
・

8 耐震改修工事 共通事項

・ 適用範囲

・改修標準仕様書　8章　耐震改修工事
・改修標準仕様書において8章耐震改修工事以外の改修工事で8章を引用している部分
・
工事内容
・現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事
・鉄骨ブレースの設置工事
・柱補強工事　（溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法）
・柱補強工事　（鋼板巻き工法又は帯板巻き付け工法）
・連続繊維補強工事
・耐震スリット新設工事
・免震改修工事
・制振改修工事
・土工事及び地業工事
・

年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	課長補佐	係長	担当	
令和7年度	令和7年7月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	改修特記仕様書（7）	A1：NS A3：NS	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社　TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号　FAX 092-522-5183 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11499号 一級建築士 国土交通大臣登録 第350116号 野田 康広						特A-07

・既存部分の処理等

既存構造体の撤去 [8.21.2、3][8.22.2、3][8.23.2、3][8.24.4][8.25.2][8.28.2]
撤去範囲
・図示による（　　）　・
はつり出した鉄筋及び鉄骨の処置
・図示による（　　）　・
既存構造体コンクリート面の目荒らしの程度
・既存柱、梁面
・打継ぎ面の15～30%程度に、平均深さ 2～5mm（最大7mm）程度の凹凸を、全体にわたってつける。
・
・既存壁
・打継ぎ面の10～15%程度に、平均深さ 2～5mm（最大7mm）程度の凹凸を、全体にわたってつける。
・
既存杭の撤去等
・撤去範囲及び撤去方法　・図示による（　　）　・
・杭頭部の処理　・図示による（　　）　・
・既存杭の補強　・図示による（　　）　・
・既存杭の健全性を確認する試験
・図示による（　　）　・

8-1 鉄筋工事

⊙ 鉄筋

鉄筋の種類等 [8.2.1]

種類の記号	呼び径(mm)	備考
⊙ SD295		
・ SD345		
・		
・		

・ 溶接金網

鉄線の形状等 [8.2.2]

種　類	種類の記号	鉄線の形状、網目寸法、鉄線の経(mm)	使用部位
・ 溶接金網			
・ 鉄筋格子			

⊙ 鉄筋の継手

鉄筋の継手の方法等 [8.3.4][8.4.2,3]

部位	継手方法	呼び径(mm)
柱、梁の主筋	・ ガス圧接　・ 機械式継手 ・ 溶接継手	
耐力壁の鉄筋	・ 重ね継手　・	
その他の鉄筋（　　）	⊙ 重ね継手　・	

継手位置
※改修標準仕様書8.3.3による　・図示による（　　）　・
柱及び梁の主筋の重ね継手の長さ
・図示による（　　）　・
耐力壁の重ね継手の長さ
※改修標準仕様書8.3.4(3)(ｱ)による　・図示による（　　）　・

⊙ 鉄筋の定着

鉄筋の定着長さ [8.3.4]
※改修標準仕様書8.3.4による　・図示による（　　）　・
機械式定着工法
・適用する
適用箇所
・図示による（　　）　・
種類
・摩擦圧接接合　・螺合グラウト固定
・嵌合グラウト固定　・
工法
※第三者機関の評定等を取得している工法とする
必要定着長さ
※評定等の評価内容による
補強筋形状
※評定等の評価内容による
かぶり厚さ
※評定等の評価内容による
品質確認
※評定等の評価内容による
検査
※評定等の評価内容による

⊙ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔（溶接金網を含む）

最小かぶり厚さ [8.3.5]
※改修標準仕様書8.3.6による　・図示による（　　）　・
・
軽量コンクリートを適用する場合
・あり　適用箇所（　　）
・最小かぶり厚さに加える厚さ　（　　）mm　・
耐久性上不利な箇所がある場合(塩害等を受けるおそれのある部分等)
・あり　適用箇所（　　）
・最小かぶり厚さに加える厚さ　（　　）mm　・

・ 圧接完了後の試験

超音波探傷試験 [8.3.8]
※行う（全圧接部）

・ 機械式継手

適用箇所 [8.4.2]
・図示による（　　）　・
H12建告第1463号に適合する性能
・A級　・
種類
・ねじ式鉄筋継手
充填方式
・無機グラウト方式　・有機グラウト方式　・
・端部ねじ加工継手
・モルタル充填式継手
・
工法
※第三者機関の評定等を取得している工法とする
鉄筋相互のあき
※評定等の評価内容による
品質の確認
※評定等の評価内容による
検査
※評定等の評価内容による
施工完了後の継手部の試験
・外観試験
試験対象
全数
試験項目
・評定等の評価内容による　・
試験方法
・評定等の評価内容による　・
・超音波測定試験
試験対象
・抜取り
ロット
・1組の作業班が1日に行った継手箇所で、最大200箇所程度とする。
・
試験の箇所数
1ロットに対して（　　）箇所
・全数
試験項目
※挿入長さ
試験方法
※JIS Z 3064（鉄筋コンクリート用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準）による
不合格となった場合の措置
・

・ 溶接継手

適用箇所 [8.4.3]
・図示による（　　）　・
H12建告第1463号に適合する性能
・A級
溶接継手の工法
・図示による（　　）
施工完了後の継手部の試験
・外観試験
試験対象
全数
試験項目
・評定等の評価内容による　・
試験方法
・評定等の評価内容による　・
・超音波測定試験
試験対象
・抜取り
ロット
・1組の作業班が1日に行った継手箇所で、最大200箇所程度とする。
・
試験の箇所数
1ロットに対して（　　）箇所
・全数
試験項目
※内部欠陥の検出
試験方法
※JIS Z 3063（鉄筋コンクリート用異形棒鋼溶接部の超音波測定方法及び判定基準）による
不合格となった場合の措置
・

・ 割裂補強筋

形状 [8.21.6][8.22.7]
・スパイラル筋
・
種類の記号
・SR235またはSWM-P
・
呼び径、曲げ直径、ピッチ
・図示による

8-2 コンクリート工事

⊙ コンクリートの種類

コンクリートの類別 [8.1.3]
※Ⅰ類（JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート）
・Ⅱ類（JIS A 5308に適合したコンクリート）

⊙ コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度等

⊙普通コンクリート [8.1.3][8.1.4][8.2.5][8.9.2]

設計基準強度(N/mm²)	スランプ(cm)	気乾単位容積質量(t/m³)	適用箇所
⊙24	⊙18	・2.3程度	
・	・	・	

構造体強度補正値　※改修標準仕様書表8.2.4による　・

・軽量コンクリート

設計基準強度(N/mm²)	スランプ(cm)	気乾単位容積質量(t/m³)	種類	適用箇所
・	※ 21	・	・1種　・2種	
・	・	・		

構造体強度補正値　※改修標準仕様書表8.2.4による　・

⊙ セメント

種類 [8.2.5]
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種（普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で352Ｊ/ｇ 以下、かつ28日目で 402Ｊ/ｇ 以下のものとする）
適用箇所（　　）
・高炉セメントB種 G　適用箇所（　　）
・フライアッシュセメントB種 G　適用箇所（　　）
・

⊙ 骨　材

アルカリシリカ反応性による区分 [8.2.5]
※A　・B

⊙ 混和材料

⊙混和剤 [8.2.5]
混和剤の種類
※改修標準仕様書 8.2.5(4)(a)による　・
・混和材
混和材の種類
※改修標準仕様書 8.2.5(4)(b)による　・

・ 構造体用モルタル

構造体用モルタル [8.2.6]
圧縮強度（　　）
フロー値（　　）

・ 暑中コンクリート

構造体強度補正値 [8.10.2]
※6N/mm²　・

・ マスコンクリート

適用箇所 (6.13.1)(6.13.2)
・図示による（　　）　・
セメントの種類
・普通ポルトランドセメント
・中庸熱ポルトランドセメント
・低熱ポルトランドセメント
・高炉セメントB種 G
・フライアッシュセメントB種 G
・シリカセメント
・
混和材料
・混和剤
混和剤の種類
※標準仕様書6.13.2(2)(ｱ)による　・
・混和材
混和材の種類
※標準仕様書6.13.2(2)(ｱ)による　・
スランプ
※15cm　・
構造体強度補正値　※標準仕様書表6.13.1による　・

・ 無筋コンクリート

コンクリートの種類 [8.11.1]
※普通コンクリート　・
設計基準強度
※18N/mm²　・
スランプ
※15cm又は18cm　・
セメントの種類
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種
・高炉セメントB種 G
・フライアッシュセメントB種 G
適用箇所
・図示による（　　）　・

・ 流動化コンクリート

適用箇所 (6.15.1)
・図示による（　　）　・

・ 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地

打継ぎの位置 (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3)[3.7.3]
・図示による（　　）　・
目地寸法
・標準仕様書 9.7.3(1)(ｱ)による　・図示による（　　）
ひび割れ誘発目地の位置・形状・寸法
・図示による（　　）　・

・ 構造体コンクリートの仕上り

合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ [8.1.4]

種別	適用箇所
・ A種	
・ B種	
・ C種	

コンクリートの仕上がりの平たんさ

種別	適用箇所
・ a種	
・ b種	
・ c種	

⊙ 打増し厚さ（打放し仕上げ部）

⊙打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) [8.7.8]
⊙20mm　・
・打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る)
・10mm　・20mm　・

⊙ 型枠

せき板の材料及び厚さ (6.8.2)[8.2.7]
⊙合板(※12mm　・　) G　・
⊙断熱材を兼用した型枠材
使用箇所
・図示による（　　）　⊙ スタイロフォーム t 20
・MCR工法用シート
適用箇所
・図示による（　　）　・
打増し厚さ
⊙20mm　・
打増し範囲
・図示による（　　）　・
スリーブの材種・規格等
・図示による（　　）　・

・ 型枠の加工及び組立

シアコネクタをセパレーターとして使用 [8.7.8]
使用箇所
・図示による（　　）　・

・ コンクリートの打込み工法等

コンクリートの打設工法の種類 [8.21.8][8.23.5～7]

補強工法	打設工法	部位
・現場打ちコンクリート壁の増設工事	・工法指定なし	・全ての増設壁　・図示による（　）
	・流込み工法 8.21.8(1)(ｱ),(2)	・全ての増設壁　・図示による（　）
	・圧入工法　8.21.8(1)(ｲ),(3)	・全ての増設壁　・図示による（　）
	・	・図示による（　　）　・
・柱補強工事（溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法）	・工法指定なし	・全ての柱補強部分　・図示による（　）
	・流込み工法 8.21.8(1)(ｱ),(2)	・全ての柱補強部分　・図示による（　）
	・圧入工法　8.21.8(1)(ｲ),(3)	・全ての柱補強部分　・図示による（　）
	・	・図示による（　　）　・
・	・工法指定なし	
	・流込み工法 8.21.8(1)(ｱ),(2)	
	・圧入工法　8.21.8(1)(ｲ),(3)	

鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法での型枠等
柱頭及び柱脚の隙間の寸法
・図示による（　　）　・
柱頭及び柱脚の隙間部間の型枠
・発泡プラスチック保温材等を埋込む
・
既存柱外周部あと打ちコンクリート又は構造体用モルタルの厚さ
・図示による（　　）　・
補強後の仕上げ
・図示による（　　）　・

8-3 鉄骨工事

⊙ 鉄骨製作工場

鉄骨製作工場の加工能力 [8.1.5]
※建築基準法第68条の25に基づき国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場
（　　）グレード以上
・監督職員の承諾する工場

⊙ 鉄骨製作工場における施工管理技術者

※配置する [8.1.6]
・配置しない

⊙ 鋼材

種類等 [8.2.8]

種類の記号	適用箇所（主要な部分）	規格
		⊙JISによる　・
		・JISによる　・
		・JISによる　・
		・JISによる　・
		・JISによる　・
		・JISによる　・

・ 高力ボルト

高力ボルトの種類 [8.2.9][8.13.2][8.14.2]
・トルシア形高力ボルト
・JIS形高力ボルト
・
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
・図示による（　　）　・
摩擦面の処理方法
※改修標準仕様書8.14.2(1)による
・
すべり試験の種類
・すべり係数試験　・すべり耐力試験
すべり試験を実施する場合、改修標準仕様書8.14.2(1)(ｲ)による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮　尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校	図面番号
令和7年度	令和7年7月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	改修特記仕様書（8）	A1：NS A3：NS	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社　TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号　FAX 092-522-5183 一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1-11499号 一級建築士　国土交通大臣登録　第350116号　野田 康広	事務部長 / 総務課長 / 課長補佐 / 係長 / 担当	特A-08

⊙ 普通ボルト

ボルト及びナットの材料 [8.13.2](7.2.3)
※標準仕様書表7.2.3による
・以下による
ボルトの規格は、JIS B 1180とする。
ボルトの種類は、呼び径六角ボルト又は全ねじ六角ボルトとし、材料は鋼とする。
ボルトの強度区分は、4.6又は4.8とする。なお、呼び径六角ボルトの軸径の最大寸法は、ボルトの径の値以下とする。
ナットの規格は、JIS B 1181とする。
ナットの種類は、六角ナットーCとし、材料は鋼とする。
・
座金
※JIS B 1256による ・
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
・図示による( ) ・
母屋又は胴縁の取付けに使用するボルトの孔径
※ねじの呼び径+1.0mm ・

⊙ 溶融亜鉛めっき高力ボルト

ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 [8.13.2][8.14.2][8.20.5]
⊙図示による( ) ・
摩擦面の処理方法
・ブラスト処理(表面粗度50μmRz以上)
・りん酸塩処理
・
・すべり試験の実施
・すべり係数試験 ・すべり耐力試験
すべり試験を実施する場合、改修標準仕様書8.20.5(1)(ｱ)又は(ｲ)による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。

・ アンカーボルト

・構造用アンカーボルト (7.2.4)(7.3.2)
種類
・ABR400 ・ABR490 ・
・建方用アンカーボルト
種類
・SS400 ・
アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度
※標準仕様書 表7.2.3による ・
・標準仕様書7.2.4以外のアンカーボルト
適用箇所
・図示による( ) ・
種類
・SS400 ・
アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度
※標準仕様書 表7.2.3による ・
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
・図示による( ) ・

・ 溶接材料

溶接材料 [8.2.10]
・改修標準仕様書 8.2.10(1)(2)による
・

・ スタッド

種類等 [8.2.11]

呼び名	呼び長さ(mm)	適用箇所
・16		
・19		
・22		

⊙製作精度

鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]に加えて、次による [8.13.3]
通しダイアフラムの突合せ継手の食い違いの寸法
※H12建告第1464号第二号イ(2)による
・
アンダーカットの寸法
※H12建告第1464号第二号イ(3)による
・
食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法
・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による
・

・ 仮組

仮組を行う範囲 [8.13.10]
・図示による( ) ・

・ 溶接作業を行う技能資格者の技量付加試験

試験の要領 [8.15.3]
・図示による( ) ・

⊙ 溶接接合

開先の形状 [8.15.4、7]
⊙図示による( ) ・
・鋼製エンドタブの切断する部分
切断する箇所
・図示による( ) ・
切断範囲
・鋼製エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジの端から5mm以下を残して直線状に切断する。なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する
・
切断面の仕上げ
・改修標準仕様書8.15.7(1)(ｶ)(b)②による
・
スカラップの形状
・図示による( ) ・

・ 入熱、パス間温度の溶接条件

鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 [8.15.7、10]
・図示による( ) ・
適用箇所
・図示による( )
・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部

・ 溶接部の試験

平12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等 [8.15.12]
・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による
・抜き取り検査① ※抜き取り検査②

JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準] の付表3「溶接」に関する試験方法等
・JASS 6 10.4[受入検査]e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の抜取箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する
完全溶込み溶接部の超音波探傷試験
・工場溶接の場合
※全数
・工場現場溶接の場合
※全数

⊙ 錆止め塗装

塗料の範囲 [7.3.3][8.17.2、4]
耐火被覆材の接着する面の塗装範囲
・図示による( ) ・
耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲
※改修標準仕様書8.17.2(1)(ｱ)～(ｵ)による部分以外の範囲
・図示による( ) ・
塗料の種別
・下記以外の鉄鋼面は、改修標準仕様書7章[塗装改修工事]による
・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種別
※A種 ・
・耐火被覆材が接着する面の塗料の種別
・

⊙ 耐火被覆

種類、材料、工法等 [8.18.2～8]

種類	材料・工法	性能（耐火時間）	適用箇所（部位・部分）
・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール		
	・半乾式吹付けロックウール		
	・湿式ロックウール		
	・		
	・		
・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板		
	・		
・耐火材巻付け	・高断熱ロックウール		
	・		
・ラス張りモルタル塗り	_		
⊙耐火塗料	・		

⊙ アンカーボルト等の設置等

構造用アンカーボルトの形状及び寸法 (7.10.3)
⊙図示による( ) ・
構造用アンカーフレームの形状及び寸法
・図示による( ) ・
建方用アンカーボルトの形状及び寸法
・図示による( ) ・
建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法
種別
・A種 ・B種
柱底均しモルタル厚さ及び工法の種別
厚さ ・
・
種別
※A種 ・B種

・ 鉄骨ブレース設置後の仕上げ

・図示による( ) ・ [8.22.9]

8-4 あと施工アンカー工事

⊙ あと施工アンカー

材料等 [8.2.4]
・金属系アンカー
・引張耐力
・ kN ・図示による( )
・せん断耐力
・ kN ・図示による( )
アンカー本体の径及び埋込み長さ
・図示による( ) ・
セット方式
※本体打込み式改良型 ・
接合筋の種類、径、長さ
・図示による( ) ・
・性能確認試験
試験方法及び試験数
・図示による( ) ・
⊙接着系アンカー
・引張耐力
・ kN ・図示による( )
・せん断耐力
・ kN ・図示による( )
アンカーの種類
※カプセル方式回転打撃式 ・
接着剤の品質
・有機系 ・無機系
アンカー筋の径及び埋込み長さ
・図示による( ) ・
アンカー筋の種類
・
アンカー筋の新設壁内への定着の長さ
・図示による( ) ・
・性能確認試験
試験方法及び試験数
・図示による( ) ・

⊙ 穿孔

埋込み配管等の探査方法 [8.12.4]
⊙鉄筋探知器（金属探知器）により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う
・はつり出しによる
・

・ 施工確認試験

試験方法 [8.12.7]
※引張試験機による引張試験
確認強度
・図示による( )
・

8-5 グラウト工事

・ 柱底均しモルタル及びグラウト材

・柱底均しモルタル [8.2.12]
※無収縮モルタル
・
・グラウト材
無収縮グラウト材の材質等

混和材	セメント系（酸化カルシウム及びカルシウム・サルフォ・アルミネート等によって膨張する性質を利用するもの）とする。
セメント	JIS R 5210「ポルトランドセメント」に適合した普通または早強ポルトランドセメントとする。
砂	土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。ただし、現場調合形に使用される砂の乾燥状態については、規定しない。
無収縮グラウト材の品質及び試験方法	
コンシステンシー	Ｊロートによる流下時間 練混ぜ完了から3分以内の値 ： 8±2秒
ブリージング	練り混ぜ2時間後のブリージング率 ： 2.0%以下
凝結時間	凝結開始時間 ： 1時間以上 終結時間 ： 10時間以内
無収縮性	材齢 7日 収縮しない
圧縮強度	材齢 3日 20.0 N/mm² 以上 材齢 28日 40.0 N/mm² 以上
塩化物量	0.30kg/m³ 以下
試験方法	1) NEXCO試験方法 試験法 312-1999「無収縮モルタル品質管理試験方法」による。プレミックス形と現場調合形で混和材が同一の場合の試験はプレミックス形のみとする。 2) 塩化物量の試験は、JIS A 1144「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。

8-6 連続繊維補強工事

・ 連続繊維シート

連続繊維の材料 [8.2.13][8.24.6]
・炭素繊維
・アラミド繊維
・
引張強度（含浸硬化後）
・( ) N/mm² ・
ヤング係数（含浸硬化後）
・( ) N/mm² ・
・下地処理
・ひび割れ部改修
範囲
・図示による( ) ・
工法の種類
・
・柱及び梁の隅角部の面取りの大きさ
・図示による( ) ・
連続繊維補強材の強度試験
・引張強度試験
※JIS A 1191（コンクリート用連続繊維シートの引張試験方法）による
・
試験数量
・図示による( ) ・
・付着強度試験
※JIS A 6909（建築用仕上塗材）による
・
試験数量
・図示による( ) ・

・ 仕上げ

補強工事後の仕上げ [8.24.7]
・図示による( ) ・

8-7 耐震スリット新設工事

・ 耐震スリットの方式、幅及び深さ

方式 [8.25.2]
・完全 ・部分
幅及び深さ
・図示による( ) ・
設置箇所
・図示による( ) ・

・ 耐震スリットの施工前の埋込み配管等の探査

既存撤去部の埋込み配管等の探査方法 [8.12.4]
・鉄筋探査機（金属探知機）により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う
・はつりだしによる

・ 耐震スリット充填材の挿入及び周囲補修等

・耐火材 [8.25.2]
使用箇所及び仕様
・図示による( ) ・
・遮音材
使用箇所及び仕様
・図示による( ) ・
撤去部の補修
※撤去材と同一材で補修
・

8-8 土工事及び地業工事

・ 埋戻し及び盛土

材料及び工法 [8.28.3]
※改修標準仕様書表8.28.1による
・A種 適用場所( )
・B種 適用場所( )
・C種 適用場所( ) 土質( ) 受渡場所( )
・D種 適用場所( )
(D種の品質 細粒分（75μm以下）の含有率（重量百分率）の上限を50%未満とする。)
・材料( ) 工法( ) 適用場所( )

・ 杭地業

支持層の位置及び土質（基礎杭の先端位置含む） [8.2.15][8.28.4](4.3.8)
・図示による( ) ・
杭の材料、工法、寸法、施工方法等
・図示による( ) ・
・試験杭の位置、本数及び寸法並びに施工方法
・図示による( ) ・
・杭の継手の箇所数、材料、工法等
・図示による( ) ・
・杭の溶接継手
技能資格者の技量
・図示による( ) ・
溶接部の確認
・図示による( ) ・
・杭頭の処理
・処理しない
・処理する
処理方法（切断にともなう補強方法含む）
・図示による( ) ・
・杭頭の中詰め材料
・基礎のコンクリートと同調合のもの ・
杭の精度
水平方法の位置ずれ
・杭径の1/4かつ100mm以下 ・評定等の評価内容による
・
建て込み時の杭の鉛直度
・1/100以内 ・評定等の評価内容による
・
記録する施工状況等
・図示による( ) ・

⊙ 砂利地業

材料 [8.2.15][8.28.4]
⊙再生クラッシャラン G
・切込砂利又は切込砕石
砂利厚さ
※60mm ・

⊙ 捨コンクリート地業

捨コンクリートの厚さ [8.2.15][8.28.4]
※50mm ・
コンクリートの種類
※普通コンクリート ・
設計基準強度
※18N/mm² ・
スランプ
※15cm又は18cm ・

年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮 尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	課長補佐	係 長	担 当	
令和7年度	令和7年7月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	改修特記仕様書（９）	A1：NS A3：NS	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社 TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号 FAX 092-522-5183 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11499号 一級建築士 国土交通大臣登録 第350116号 野田 康広						特A-09

9 環境配慮改修工事

⊙ 石綿含有建材の調査

1章 石綿含有建材の調査による

⊙ 石綿含有建材の除去工事

・石綿粉じん濃度測定 [9.1.1、3～6]

測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数（各施工箇所ごと）
・	測定 1	処理作業前	処理作業室内	・計　点
・	測定 2		調査対象室外部の付近	・計　点
・	測定 3	処理作業中	処理作業室内	・計　点
・	測定 4		セキュリティーゾーン入口	・計　点
・	測定 5		集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合）	出口吹出し風速1m/s以下の位置 ・計　点
・	測定 6		処理作業室内 ・施工区画周辺 ・敷地境界	・計　点
・	測定 7	処理作業後（シート養生中）	処理作業室内	・計　点
・	測定 8	処理作業後（シート撤去後1週間以降）	処理作業室内	・計　点
・	測定 9		調査対象室外部の付近	・計　点

測定方法

・自動測定器による測定

測定名称	測定方法
・測定 4 ・測定 5	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定

・JIS K 3850-1に基づいた測定

測定名称	メンブレンフィルタ直径(mm)	試料の吸引流量(L/min)	試料の吸引時間(min)
・測定 4 ・測定 5	25	5	30
・測定 ・	47	10	120
・測定 ・	47	10	240
・測定 ・			

石綿含有建材の処理

・石綿含有吹付け材の除去

除去対象範囲

・図示による　・

除去工法

※改修標準仕様書9.1.3 (2) (7)による

・

除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置

※湿潤化　・固形化

除去した石綿含有吹付け材等の処分

・埋立処分（管理型最終処分場）

・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・石綿含有保温材等（石綿含有けい酸カルシウム板第二種含む）の除去

除去対象範囲

・図示による　・

除去工法

・破砕して除去　・手ばらし

除去した石綿含有保温材等の飛散防止

※湿潤化　・固形化

除去した石綿含有保温材等の処分

・埋立処分（管理型最終処分場）

・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・石綿含有成形板（石綿含有けい酸カルシウム板第一種）の除去

除去対象範囲

・図示による　・

隔離養生（負圧不要）方法

・図示による　・

足場

・図示による　・

除去した石綿含有けい酸カルシウム板第一種の処分

・埋立処分（安定型最終処分場）

・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・

⊙石綿含有成形板（石綿含有けい酸カルシウム板第一種以外）の除去

除去対象範囲

⊙図示による　・

除去した石綿含有成形板の処分

・石綿含有せっこうボード

※埋立処分（管理型最終処分場）

⊙石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板

・埋立処分（安定型最終処分場）

・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板（下地調整材）の除去

除去対象範囲

・図示による　・

除去工法

・

養生方法

・

除去した石綿含有仕上塗材の処分

・埋立処分（安定型最終処分場）

・埋立処分（管理型最終処分場）

・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

石綿含有建材除去後の仕上げ工事

・図示による　・

・ 断熱アスファルト防水改修工事

改修特記仕様書3章による。 [9.2.2～3]

・ 外断熱改修工事 G

断熱材 [9.2.1～4]

断熱材の種類

・

断熱材の厚さ(mm)

・

施工箇所

・図示による　・

ホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆　・

外装材

種類	防火性能	備考
・		

鋼材

改修特記仕様書第8章　8-3　鉄骨工事　・鋼材による。

笠木

改修特記仕様書第3章　・アルミニウム製笠木による。

既存外壁の処置

既存外壁仕上材の撤去

・行う　・行わない

下地面の清掃

・行う　・行わない

欠損部の改修工法

・改修特記仕様書第4章　外壁改修工事による

・

工法

1章 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

不陸等の下地調整

・

断熱材の施工

・断熱材製造所の仕様による

・

外装材の施工

・外装材製造所の仕様による

・

通気層の有無

・有（　mm）　・無

外装材の外壁への取付け

・図示による　・

笠木の施工

・改修特記仕様書第3章　アルミニウム製笠木による

・

⊙ 断熱・防露改修工事 G

フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 [9.3.2～4]

※F☆☆☆☆　・

開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆　・

工法

・断熱材打込み工法

断熱材　JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材

種類　・

厚さ(mm)　・

施工場所　・

⊙断熱材現場発泡工法

断熱材の種類

⊙A種1　・A種1H　・

吹付け厚さ (mm)

⊙25　・30　・

施工箇所

・図示による　・

・断熱材後張り工法

断熱材　JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材

種類　・

厚さ(mm)　・

⊙断熱材にせっこうボード等を張り付けたパネル

材質　・

厚さ　・　(mm)

・張り付け工法

断熱材の張り付け工法　・

断熱材へのボードの張付け工法　・

・屋上緑化改修工事 G

植栽基盤及び材料 [9.4.2～4]

・屋上緑化軽量システム

芝及び地被類の種類等

※図示による　・

見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等

※図示による　・

工法

1章 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力対応した工法

かん水装置

・設置する（種類　・　）

既存保護層の撤去

・行う　・行わない

新植した芝及び地被類の枯補償の期間

※引渡しの日から1年

・

・ 透水性アスファルト舗装改修工事

適用範囲：歩道 [9.5.2～5、9]

既存舗装の撤去及び再利用

※図示による　・

路床

路床の材料

種別	材料	厚さ(mm)
・盛土	・A種　・B種　・C種　・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 G	・図示による ・
・凍上抑制層	・再生クラッシャラン G ・クラッシャラン ・切込み砂利 ・砂 ・	・図示による ・
・フィルター層	・砂 ・	・図示による ・

(凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験)

・行う　・行わない

・路床安定処理

・適用する　・適用しない

安定処理の方法

・置き換え工法

・安定処理工法

路床安定処理用添加材料

種類

・普通ポルトランドセメント

・高炉セメントB種 G

・フライアッシュセメントB種 G

・生石灰（・特号　・1号）

・消石灰（・特号　・1号）

添加量

・　kg/m³　(目標CBR　・3以上　・　)

目標CBRを満足する添加量の確認方法

・安定処理土のCBR試験

・

・ジオテキスタイル

単位面積質量

・60g/m²以上　・

厚さ(mm)

・0.5～1.0　・

引張強さ

・98N/5cm (10kgf/5cm) 以上　・

透水係数

・1.5×10^{-1}cm/sec以上　・

試験

路床土の支持力比 (CBR) 試験

・行う　・行わない

路床締固め度の試験

・行う　・行わない

現場CBR試験

・行う　・行わない

路盤

路盤の厚さ

・図示による　・

路盤材料（改修標準仕様書表9.7.3による種別）

・クラッシャラン

・粒度調整砕石

・再生クラッシャラン G

・再生粒度調整砕石 G

・クラッシャラン鉄鋼スラグ G

・粒度調整鉄鋼スラグ G

・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ G

舗装の構成

・図示による　・

開粒度アスファルト混合物等の抽出試験

・行う　・行わない

舗装の平たん性

※著しい不陸がないもの

・

10 とりこわし工事

・ 騒音・粉じん等の対策 [2.1.3]

・防音パネル

・防音シート

防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲

・工事に必要な範囲　・

・ 既存部分の養生 [2.3.1]

1）養生方法等

・既存部分　養生方法　(・　※ビニルシート、合板)

・既存家具、既存設備等　養生方法　(・　※ビニルシート等)

・既存ブラインド、カーテン等　養生方法　(・ビニルシート等　・　)

保管場所　(・図示　・　)

・固定された備品、机、ロッカー等の移動　(・図示　・　)

2）既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。

・ 仮設間仕切り [2.3.2][表 2.3.1]

1）仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所　・図示　・

2）仮設間仕切りの種別と材質等

種　別	仕上げ（厚さmm）	塗　装	充填
・A 種	・せっこうボード 種類(・　) 厚さ(・　mm　※ 9.5mm) ・合板 材種(・　) 厚さ(・　mm　※ 9mm) ・	・なし ・片面 ・	グラスウール 厚さ　(mm)
・B 種			
※ C 種	防炎シート		

3）仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等

材　質	仕上げ	塗　装	設置箇所
・	・	・なし ・片面	・　か所 ・図示
※ 木製	※ 合板張り程度		

・ 施工条件

解体に関しては「騒音規制法」、「振動規制法」、「大気汚染防止法」の法令等に従うほか、公害防止に適切な工法及び養生方法により作業を行う。

また、作業中に発生する粉じんについては、散水その他適切な養生を行い、粉じん防止に努める。

・ 解体方法

主として用いる工法

・　圧砕工法

・　大型ブレーカー工法

・　ハンドブレーカー工法

使用してはならない解体工法

・　爆薬工法

・　スチールボール工法

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮　尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	課長補佐	係　長	担　当	
令和7年度	令和7年7月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	改修特記仕様書（１０）	A1：NS A3：NS	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社 TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号 FAX 092-522-5183 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11499号 一級建築士 国土交通大臣登録 第350116号 野田 康広						特A-10

工事区分表（参考）

1．●印の付いたものを適用する。
2．●が重複する項目は、それぞれの区分が必要とする工事を自ら行う。

項目 名称	区分 摘要	建築	電気	機械	備考
コンクリート穴あけ	梁、壁木製型枠入	●			墨出し、補修共
〃	壁スリーブ入れ	●	●	●	ボイド等
〃	床スラブ木製型枠入	●			墨出し、補修除く
〃	床スラブスリーブ入れ	●	●	●	ボイド等
同上開口部補強	鉄筋切断及び補強筋入れ	●			
配管ダクト類の防水貫通部補修		●			
ＡＬＣパネルの穴あけ、補修	ダクト等の貫通部				
ＰＣ版の穴あけ	スリーブ入れ				
同上補修					モルタル充てん等
インサート	ＰＣ版				
インサート	コンクリート床	●	●	●	
天井点検口	点検口取付及び、開口部補強	●			ボード切込、墨出し共
軽量鉄骨下地開口部墨出し	電気設備関係開口部		●		照明器具等
〃	機械設備関係開口部			●	空調吹出口
軽量鉄骨下地開口部補強	天井及び壁、ボード切開	●			照明器具、空調吹出口、給排気、ガラリ等
開口補強を必要としないボード等の切開		●	●	●	ボード切込、墨出し共
特殊仕上材の天井、壁、床に取付ける器具等の穴あけ加工		●			石、金属パネル等
盤等重量物の下地補強	露出形器具取付用	●			
床点検口	点検口取付及び、開口部補強	●			墨出し共
防火区画貫通部補修		●	●	●	モルタル充てん等
機器・配管取付後の壁、床等の補修		●	●	●	
流し台、ミニキッチン本体、水切	ステンレス製（排水金具含む）	●			水切り板、同穴あけ共
同上用配管接続	給排水用			●	
流し台		●			
洗面器等取付化粧板		●			
ルーフドレン		●			
立どい	防露工事共				第１桝までの配管
雨水排水管	第１桝から排水幹線までの配管	●		●	第１桝を含む
〃	幹線の配管	●		●	
生活排水、実験排水管	建物及び第１桝までの配管			●	第１桝までの配管
〃	第１桝から排水幹線までの配管	●		●	第１桝を含む
〃	幹線の配管	●		●	
道路側溝排水	Ｌ型・Ｕ型と管敷設				
大型機械基礎		●			
同上基礎上鉄骨架台			●	●	
機器用アンカーボルト	ボイラ、冷凍機等機械設備関係機器			●	墨出し、型枠入れ共
〃	自家発電機等その他電気設備関係機器		●		墨出し、型枠入れ共
一般機器類の基礎	仕上げ共				図示による
屋外自立盤の基礎	仕上げ共				図示による
屋外貯油槽	地下式			●	
共同溝	歩床コンクリート共				
建物、共同溝接続トレンチ					
同上接続部止水板					図示による
各種槽類	コンクリート製	●			
〃	ＳＵＳ、ＦＲＰ、鋼製			●	
〃	屋外大型のものの基礎	●			
〃	屋上設置のものの基礎	●			
空調機用スイッチ				●	配管除く
同上配管及びボックス	スイッチ用配管及びボックス		●		
換気扇取付	ダクトのあるもの			●	天井扇等
〃	壁、サッシ等への取付（材共）			●	フード取付共
同上用スイッチ			●		ボックス共
同上用電源配線			●		
同上用枠、取付板等	木製、アルミ製、鉄製	●			
全熱交換器					付属SWは電気工事へ支給
同上用スイッチ					ﾏｲｺﾝﾎﾞｲﾗｰSWの配線・取付は機械工事
外壁取付ガラリ	給排気用	●			
内壁取付ガラリ		●			遮光ガラリ共
ガラリへの給排気ダクト接続				●	
煙感知器連動防火戸		●			
同上用レリーズ	配管配線、ボックス共		●		
同上用煙感知器	リレー及びリレーまでの配管配線共		●		
排煙防火ダンパー	リレー取付まで①			●	
煙感知器連動シャッター	リレー取付まで②				
煙感知器連動防煙垂れ壁	リレー取付まで③				
上記①～③用煙感知器	リレーまでの配管配線共				
制御盤	制御盤以降の配管、配線共		●	●	
同上用電源配線	１次側接続まで		●		接地共

項目 名称	区分 摘要	建築	電気	機械	備考
屋内消火栓	消火ポンプ、制御盤			●	
屋内消火栓起動リレー			●		
同上表示灯及び起動装置			●	●	
自動火災報知器			●		
連結送水口	座板共			●	
防火水槽		●		●	
防火水槽用給排水管				●	
独立煙突		●			
同上煙道	鋼板製			●	
同上雷保護設備	コンクリート製		●		
配管配線用ピット	ステンレス鋼板製	●			
盤、配管、ダクト、配線用の二重床開口	フリーアクセスフロア等	●			
コンクリートシャフト点検口		●			
天井フック					
機械室、電気室の防音遮音処理					
特殊サイズ鏡		●			
化粧用洗面器、鏡	洗面カウンターは除く			●	
雷保護設備					
保守管理用タラップ、はしご					トレンチ、床下部、屋上
室内テレビ用吊金物					プロジェクター用吊金物含む
テレビアンテナ	取付共				
同上用基礎					
グリストラップ及びガソリントラップ	コンクリート製	●		●	
	ステンレス鋼板製			●	
電動シャッターの配管配線	二次側。操作盤、押ボタン取付共				
同上用電源配線	一次側接続まで（　相　　V）				
自動扉の配管配線	二次側				
同上用電源配線	一次側接続まで				
電気錠操作盤	読取装置共	●			
同上配管配線			●		
電気錠	配管配線、接続ボックスまで	●			※建具表参照
同上配管配線	操作盤～接続ボックスまで		●		
中央監視装置本体	関係機器、関係機器間配線を含む		●	●	
同上用電源配線	一次側接続まで		●		
同上用信号線	各メーターから装置まで		●	●	
ﾕﾆｯﾄﾊﾞｽ・ﾕﾆｯﾄｼｬﾜｰ	本体、換気扇据付共	●			
同上用電源配線	一次側接続まで。ＳＷの取付配線共		●		
同上用配管	給排水換気、接続まで			●	
冷蔵、冷凍、恒温恒湿、シールド、防音、無響室等の内装	現場製作				
同上用電源配線	一次側接続まで				
同上用照明・コンセント	電源配管配線、接続ボックス共				
同上用配管	接続まで				
冷蔵、冷凍、恒温恒湿、シールド、防音、無響室等の内装	プレハブ型				
同上用電源配線	一次側接続まで				
同上用照明・コンセント	電源配管配線、接続ボックス共				
同上用配管	接続まで				
PC穴あけ	梁スリーブ入れ				墨出し共
コンクリート穴あけ	鉄骨工事鉄管スリーブ入れ	●			墨出し共
軽鉄下地開口部墨出し	電気関係開口部		●		
〃	機械関係開口部			●	
デッキプレートの開口切断		●	●	●	
コンクリート穴あけ	既設コンクリート床、壁	●	●	●	補修共
コンクリート穴埋め	既設コンクリート床、壁	●	●	●	配管共
〃	既設コンクリート床、壁	●			和風大便器・壁埋込み分電盤等
RI排水管	建物及び貯水槽までの配管			●	
身障者用手すり		●			
スクリーンボックス					スクリーン本体は除く
電動スクリーン用配管	電源供給までの配管				操作SWと操作線は除く
カーテンボックス	カーテンレール共	●			カーテン本体は除く
電動カーテン用配管	電源供給までの配管				操作SWと操作線は除く
ブラインドボックス	レール共	●			ブラインド本体除く
電動ブラインド用配管	電源供給までの配管				操作SWと操作線は除く
スクリーン等本体	カーテン・ブラインド				別途備品工事
アルミパネルの穴あけ		●			墨出し、防水を除く
建具アルミパネルの穴あけ		●			
衛生機器類	水栓等			●	新設ステンレス製流し等を除く
同上下地補強		●			
配管ダクト類の防水貫通部補修		●			
既存ルーフドレン撤去					
既存立どい撤去					
既存照明器具撤去			●		

項目 名称	区分 摘要	建築	電気	機械	備考
舗装復旧		●	●	●	
芝生、種子吹付け					
法枠、モルタル吹付け		●			
コンクリート擁壁					
植栽		●			

	項目 名称	区分 摘要	建築	電気	機械	備考
昇降機関連	昇降機設備本体	三方枠、同取付後の壁補修まで（トロ詰め）				
	同上用機械室	天井フック、床シンダーコンクリート、防塵塗料、搬入用等開口、換気ガラリ共				
	同上用監視盤					
	同上換気扇取付					
	機械室換気扇取付	サーモスイッチ共				
	各種信号用制御線	停電用、火災用等				
	三方枠周囲の壁仕上					
	各階出入口用開口	敷居取付持出し共				
	昇降路内中間ビーム設置					
	ピット内防水					
	動力、照明要電源、接地引き込み					
	ｼｬﾌﾄ内等ｺﾝｾﾝﾄ設置	ピット内、機械室内				
	インターホン配線	ｼｬﾌﾄ外、ｲﾝﾀｰﾎﾝ設置場所～制御盤				
	〃	シャフト内、制御盤内接続共				
	非常放送用スピーカー					
	同上用配線	シャフト外、ＡＭＰ～制御盤				
	〃	シャフト内、制御盤内接続共				
	監視カメラ					
	同上用配線	シャフト外、監視制御装置～制御盤				
	〃	シャフト内、制御盤内接続共				
	ｼｬﾌﾄ点検用タラップ	ピット内				
	ｼｬﾌﾄ内火災管制配線	シャフト外				
	〃	シャフト内				
	出入口敷居取付用顎はつり	シャフト内				
	ｼｬﾌﾄ用火災報知器	シャフト内				ｼｬﾌﾄ外より点検可能な事
	同上点検口	シャフト内				１時間耐火
	ｼｬﾌﾄﾋﾟｯﾄ床の増打	ピット内				

その他材料仕様

ユニットシャワー　製品名・製造者名
内寸800×1200×高さ2030mm、換気扇付・折戸・サーモスタット水栓仕様
・JSV0812UL　/　JSV0808UL　TOTO(株)
・SPB-0812LBEL-C+H　/　SPB-0808LBEL-C+H　(株)LIXIL　同等品程度

宿直室ユニットバス　製品名・製造者名
内寸1600×1200×高さ1960mm、浴槽・便器・折戸・サーモスタット水栓仕様
・UW2 E2シリーズ 1216　パナソニックAWエンジニアリング(株)
・BLW-1216LBE　(株)LIXIL　同等品程度

寮室ユニットバス　製品名・製造者名
内寸1600×1200×高さ1960mm、浴槽/洗面器付・折戸・サーモスタット水栓仕様
・UW2 E3シリーズ 1216　パナソニックAWエンジニアリング(株)
・BLCW-1216LBE　(株)LIXIL　同等品程度

宿直室洗面化粧台　製品名・製造者名
間口750mm、2枚扉タイプ、人工大理石ボウル・シングル混合水栓
・LDBA075BAGMS1A　TOTO(株)
・AR3FH-755SY＋MAR3-753TXJU　(株)LIXIL　同等品程度

洗面カウンター（脱衣所・洗濯室等）　製品名・製造者名
マーブライトカウンター ボウル一体タイプ MC50　TOTO(株)
ラビシアカウンター　(株)LIXIL　同等品程度

システムキッチン（補食室等）　製品名・製造者名
W2400×D650×高さ900mm、シングルレバー水栓・3口IHヒーター、
排気連動シロッコファンフード、SUS製カウンター
ミッテ　TOTO(株)
シエラS　(株)LIXIL　同等品程度

ミニキッチン（宿直室）　製品名・製造者名
W1200タイプ フルユニットタイプ IHヒーター付 シングルレバー水栓
ミニキッチン DMK12LFW1G100R　(株)LIXIL
キッチンユニット MKV　パナソニック株式会社

ビニル床シート（VS1 木目）　製品名・製造者名
マチュアNW　東リ(株)
エスリューム・リアル(木目)　サンゲツ(株)
パーマリューム ストリート　田島ルーフィング(株)　同等品程度

防汚性ビニル床シート（VS2）　製品名・製造者名
消臭NSトワレNW　東リ(株)
消臭レストリューム　サンゲツ(株)
消臭クリンセフ　田島ルーフィング(株)　同等品程度

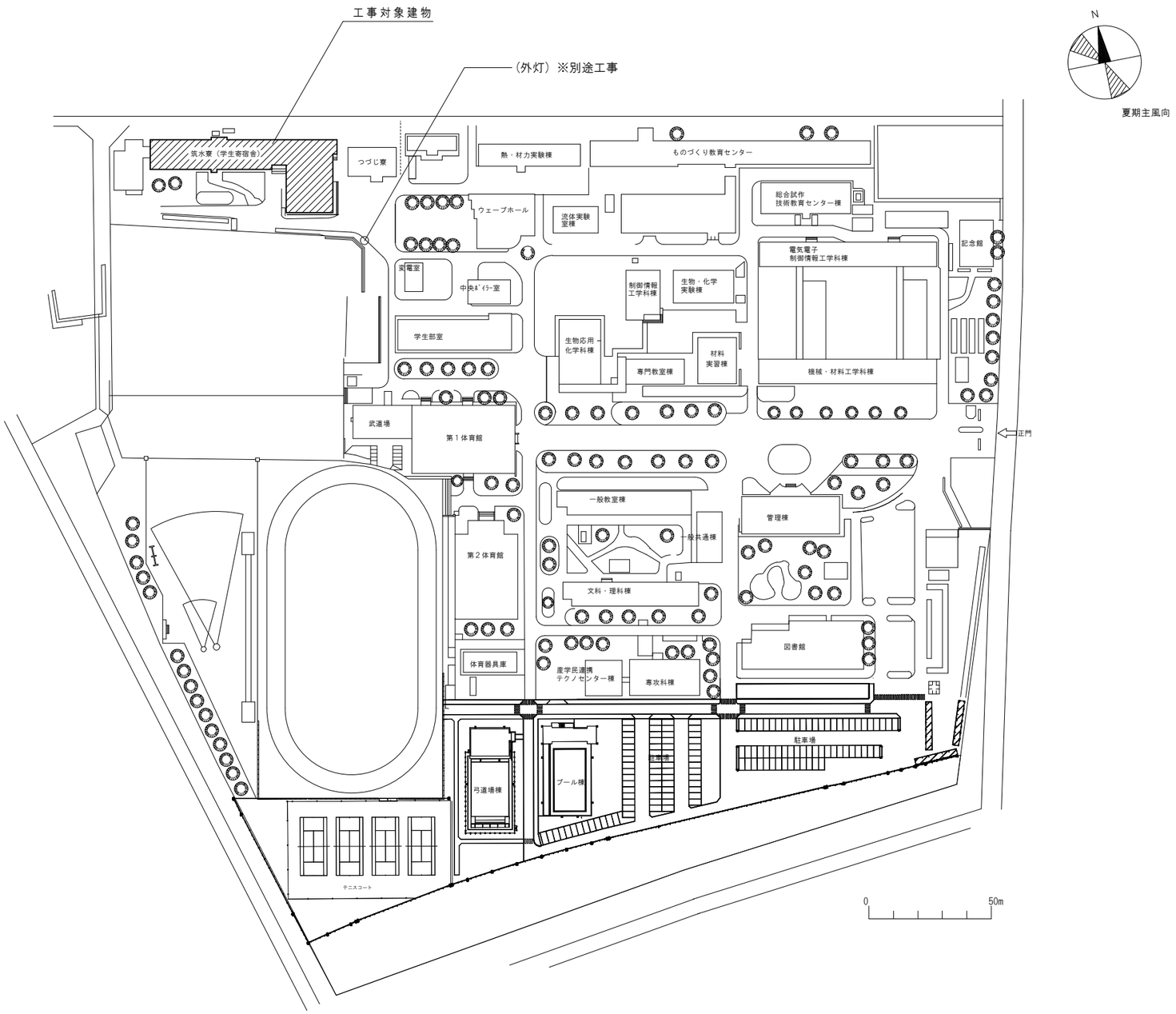
防滑性ビニル床シート（VS3）　製品名・製造者名
NSシート NS800　東リ(株)
ノンスキッド　サンゲツ(株)　同等品程度

断熱ボード RC直張り工法　製品名・製造者名
ネオマ断熱ボード　旭化成建材(株)
フェノバボード　フクビ化学工業(株)
アキレス準不燃NDパネル　アキレス株式会社　同等品程度

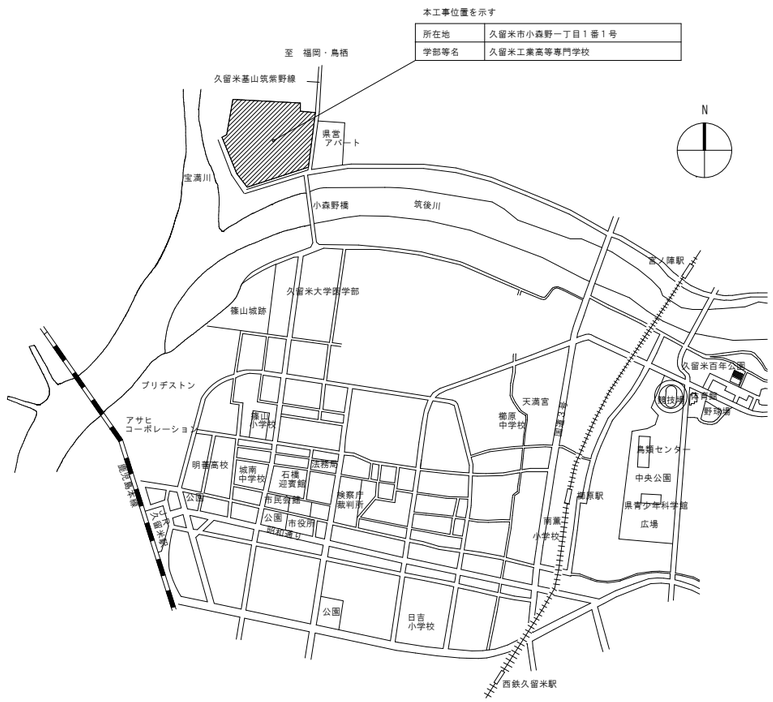
SK内 SUS製棚　製品名・製造者名
田窪工業所 PA5-60 ﾊﾟｲﾌﾟ棚(耐荷重 20kg/台)　同等品程度

SK内 モップ掛け　製品名・製造者名
Quarice ﾓｯﾌﾟﾎﾙﾀﾞｰ(耐荷重 10kg/台)　同等品程度

年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第１項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和７年度	令和７年７月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	工事区分表	A1：NS A3：NS	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社　TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号　FAX 092-522-5183 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11499号 一級建築士 国土交通大臣登録 第350116号 野田 康広						A-00



全体配置図　1/1000



案内図　NS

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第１項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和７年度	令和７年７月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	全体配置図・案内図	A1：1/1,000 A3：1/2,000	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社　TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号　FAX 092-522-5183 一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1-11499号 一級建築士　国土交通大臣登録　第350116号　野田 康広						A-01

共　通　事　項

■略　号

項目	表示略号	表示事項
一般事項	RF	屋上階
	1F	1階
	KBM	仮ベンチマーク
	GL	基準地盤面
	FL	基準床面
	W,w	幅
	L,l	長さ
	H,h	高さ
	@	間隔
	t，ア	厚さ
	CH	天井高
	φ	直径
	r	半径
	S	縮尺
	CL	センターライン
	〈D-※〉	部分詳細図番号
	DS	ダクトスペース
	PS	パイプスペース
	EPS	電気シャフト
	SK	掃除用流し
構造	SRC	鉄骨鉄筋コンクリート
	RC	鉄筋コンクリート
	S	鉄骨
	LGS	軽量鉄骨壁（天井）下地
	CB	コンクリートブロック
	ALC	軽量気泡コンクリートパネル
	ECP	押出成形セメント板
	S	床版（スラブ）
	W	壁
	C	柱
	P	間柱
	BR	筋かい
	F	基礎
	CF	布基礎
	FG	基礎梁
	G	大梁
	B	小梁
	HTB	高力ボルト
	STP	あばら筋
	Hoop	帯筋
	PL	プレート
	M	モルタル
	St	鋼板
	Al	アルミニウム
	SUS	ステンレス

項目	表示略号	表示事項
塗料	SOP	合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗り
	CL	ｸﾘﾔｰﾗｯｶｰ塗り
	FE	ﾌﾀﾙ酸樹脂ｴﾅﾒﾙ塗り
	NAD	ｱｸﾘﾙ樹脂系非水分散形塗料塗り
	AE	ｱｸﾘﾙ樹脂ｴﾅﾒﾙ塗り
	2-UE	2液型ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝｴﾅﾒﾙ塗り
	2-ASE	ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂ｴﾅﾒﾙ塗り
	2-FUE	常温乾燥形ふっ素樹脂ｴﾅﾒﾙ塗り
	EP-G	つや有合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り（３分艶）
	EP-G(1)	つや有合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り（３分艶） 抗ウィルス・抗菌・超低臭・消臭タイプ
	EP	合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り
	EP-T	合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ模様塗料塗り
	UC	ｳﾚﾀﾝ樹脂ﾆｽ塗り
	OS	ｵｲﾙｽﾃｲﾝ塗り
	ﾏｽﾁｯｸA	ﾏｽﾁｯｸ塗材塗り　A種
	WP	木材保護塗料塗り
	DP	耐候性塗料塗り
	VE	塩化ﾋﾞﾆﾙ樹脂ｴﾅﾒﾙ塗
	SL材	セルフレベリング材
	塗床1	浸透型表面強化材（クリアー）（防塵）
	塗床2	水性硬質ウレタン系塗床 （耐熱水、耐衝撃、耐薬品、耐傷、高耐久）
仕上塗材	複層塗材RE	反応硬化形合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ系複層仕上塗材
	外装薄塗材E	外装合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ系薄付け仕上塗材
	下地調整	下地調整種別は特記仕様書による
	下地処理１	防水用下地調整材
ボード類	DR	ロックウール化粧吸音板
	GB-R	せっこうボード
	GB-R-H	普通硬質せっこうボード
	GB-F	強化せっこうボード
	GB-D	化粧せっこうボード
	GB-S	シージングせっこうボード
	GB-NC	不燃積層せっこうボード
	FK	無石綿けい酸カルシウム板
	FK(化粧)	無石綿化粧けい酸カルシウム板
	FK-P	無石綿有孔けい酸カルシウム板
	不透湿GB-R	不透湿処理せっこうボード （裏面アルミ貼）
	調湿ボード	無機質系調湿板
	GW-B	グラスウール吸音ボード
	GB-P	吸音石膏ボード
	断熱ボード	フェノールフォーム断熱材裏張り せっこうボード 複合板
管類	VP	硬質塩化ビニル管
	GP	配管用鋼管
	STK	構造用鋼管
	SGPW	亜鉛めっき鋼管
その他	VT	ビニル床タイル
	VS1	ビニル床シート
	VS2	防汚性ビニル床シート
	VS3	防滑性ビニル床シート
	床下地処理	左記特記事項による
	TC	タイルカーペット
	WF1	モザイクパーケット
	WF2	複合フローリング
	OAF	乾式二重床
	T	磁器質タイル
	小口T	小口磁器質タイル
	MT	モザイクタイル
	VH	ビニル巾木
	SUS巾木	ステンレス巾木(SUS.PL1.2曲げ加工)
	Mこて	モルタル塗り金こて
	防水Mこて	防水モルタル塗り金こて
	Mはけ	モルタル刷毛引き仕上げ
	Cこて	コンクリート金こて
	C補修	コンクリート打放し補修
	(GL)	ボード直張り工法
	GW	グラスウール
	VC	ビニルクロス貼り

■法　規　上　の　表　現

防火認定材料

項目	材　料　名	認定番号
不燃材料	せっこうボードt12.5	NM-8619
	強化せっこうボードt12.5	NM-8615
	不燃積層化粧せっこうボードt9.5	NM-0441
	ロックウール化粧吸音板	NM-8599
	グラスウール保温材、吸音材	NM-8605
	0.8けい酸カルシウム板	NM-8579
	ロックウール保温材	NM-8600

項目	材　料　名	認定番号
準不燃材料	せっこうボード　t9.5	QM-9828
	シージングせっこうボード t9.5	QM-9826
	フェノールフォーム断熱材裏張り せっこうボード　t9.5	QM-0825
難燃材料		

※防火上主要な間仕切(令114条)：LGS65型@303GB-F t 12.5(両面)※60分準耐火(FP060NP-0483(1)同等品)

特　記　事　項

■特記事項1

・各室内部に設置する付属物は平面詳細図、天井伏図、雑詳細図による。
・各室内部に設置するサインは、サイン詳細図による。
・各室内部に設置する床下点検口、天井点検口は、平面詳細図、天井伏図による。
・各種納まりは、建具廻り詳細図、雑詳細図を参照のこと。

■特記事項2

※化学物質発散建材は、F★★★★材または、これらと同等の大臣認定建材を使用する。
※壁ボードの出隅部は保護金物の上ジョイントコンパウンド塗とし表面仕上処理を行う。
※壁ボードの入隅部はジョイントテープ貼の上ジョイントコンパウンド塗とし表面仕上処理を行う。
※壁、天井で仕上ボードを軽量鉄骨下地に直貼り(目透かし)する場合は、目地部に目地板を裏貼する。
※壁、天井で、石膏ボード塗装仕上の場合は、特記なき限りテーパー目地ジョイントレス工法とする。
※ビニルクロスは不燃材とし汚れ防止・防カビ、抗ウィルス、抗菌仕様を使用する。
※ケイカル板は抗菌仕様とする。

■仕上関係 特記事項

・ＶＳ，ＦＶＳは溶接工法とする。
・居室の内装、天井裏、木製建具、造り付け家具等及びそれらに使用する接着剤は
　Ｆ☆☆☆☆（規制対象外）又は告示対象外の建材を使用。
・床仕上材の異なる部分の見切りには特記なき限りＳＵＳ　ＦＢ－６×１９を設ける。
・塗装下地で異種材料取合部は寒冷沙貼の上パテ処理を行なう。
・防火区画壁に屋内消火栓・消火器ボックス等が埋め込まれる部分は耐火性能を保持するよう手当する。
・特記なき限り、Ｍこては既設のままとする。
・クロスは不燃材とし汚れ防止・防カビ・抗菌仕様を使用する。

■下地処理関係 特記事項

・床面の下地処理は、公共建築改修工事標準仕様書(令和7年版)６．２．２を適用する。
・鉄工面、コンクリート面の下地処理はRB種とする。但し内部壁ﾓﾙﾀﾙ面はRA種とする。
・RC撤去部の既設鉄筋は切詰処理後、端部は防錆処理とする。
・コンクリート壁、建具部廻りのカッター入れ：カッター入れ後樹脂モルタルにて補修すること。

■間仕切壁関係 特記事項

・改修範囲で廊下と室など境界は114条区画(GB-F t 12.5+t 12.5両面　GW t 50(32K))とし、
　小屋裏まで達せしめること。
・新設する寮室/トイレ/洗濯室等の間仕切り壁には(GW24Kt50)を充填し、小屋裏まで行うこと。

■断熱仕様

・①施工対象範囲：外部に面する寮室の内壁　/　②天井裏 上階スラブまでの壁面
　→①断熱ボード t34.5(新設)
　　※断熱ボード：ネオマ断熱ボード 同等品程度
　→②硬質発泡ウレタン吹付 t25

■その他 特記事項

(設)：設備工事を示す。
(備)：備品を示す。(本工事対象外とする。)

改　修　部　分　外　部　仕　上　表

		改修前	改修後	備考
一般外部	外壁(一般部)	モルタル塗 防水型複層塗材E	既存のまま	
	外壁(タイル部分)	モルタル塗　二丁掛けタイル張り	既存のまま	
	外部巾木	モルタル金ゴテ+防水型複層塗材E	既存のまま	
	ファン室・換気塔	壁　：モルタル塗 防水型複層塗材E	既存のまま	
	庇、小梁	モルタル塗 防水型複層塗材E	既存のまま	
	庇上裏	外装用薄塗材E(一部撤去)	下地調整材(C-2)新設の上、外装薄塗材E(一部新設)	外壁等 部分改修
	フェンス	アルミ製目隠しフェンス(既製品) W1,976×H1,600(一部撤去) 化粧ブロック 2段積 W1,470×H400(撤去)	目隠しフェンス(1) H=1,800(フェンス基礎共新設) 目隠しフェンス(2) ベースプレート式 W1,990+1,600×H1,800(新設)	
	1階屋根 外部通路	-	新設防水層(別途工事)の上歩行用防滑シート t2.5(新設)	
	PH階屋根	塩ビシート防水　平部 S-M2工法 / 立上り S-F2工法 (全面撤去)	塩ビシート防水　平部 S-M2工法 / 立上り S-F2工法(新設) アルミ製 Exp.Jカバー(仮撤去・再取付)	※別途工事
	R階屋根(水槽置場)	塗膜防水　平部X-1工法 / 立上りX-2工法 (撤去)	塗膜防水 平部 X-1工法、立上りX-2工法(新設)	※別途工事
	R階屋根	塩ビ系シート防水断熱絶縁工法 断熱材t=30共(全面撤去)	塩ビシート防水SI-M2工法 t2.0 断熱材 t30共(新設)	※別途工事
	4階避難バルコニー	塗膜防水 X-2工法(撤去)	塗膜防水 X-2工法(新設)	※別途工事
	2階屋根(寄宿舎)	塩ビシート防水断熱絶縁工法　断熱材t=30 (全面撤去)	塩ビシート防水 SI-M2工法 t2.0 断熱材 t30共(新設)	※別途工事
	2階屋根(食堂棟)	塩ビシート防水断熱絶縁工法　断熱材t=30 (全面撤去)	塩ビシート防水SI-M2工法 t2.0 断熱材 t30共(新設) 一部 屋外通行用 屋外用塩ビ製防滑シート t2.5(新設)	※別途工事
	1階屋根(浴室)	塩ビシート防水　平部 S-M2工法 / 立上り S-F2工法 (全面撤去)	塩ビシート防水　平部 S-M2工法 / 立上り S-F2工法(新設)	※別途工事
	1階屋根(食堂)	塩ビシート防水　平部 S-M2工法 / 立上り S-F2工法 (全面撤去)	塩ビシート防水　平部 S-M2工法 / 立上り S-F2工法(新設)	※別途工事
	竪樋	カラーVP管φ75　SUS製掴み金物	既存のまま	
	ドレイン	改修用二重ドレインφ75(撤去)	改修用二重ドレインφ75(新設)	※別途工事
	スロープ手摺	ステンレス製φ34	既存のまま	
	R階 パラペット	塗膜防水 X-2工法(撤去)	塗膜防水 X-2工法(新設)	※別途工事
外構	雨水枡	現場打ちコンクリート桝 コンクリート蓋	雨水用 小口径桝(新設)　(設)	
	雨水排水管	硬質塩ビ管150A(一部撤去)　(設)	硬質塩ビ管150A(一部新設)　(設)	
	屋外舗装	アスファルト補装 t50 + 路盤砕石 t150共(一部撤去)	アスファルト補装 t50 + 路盤再生クラッシャラン t150共(一部新設)	
	給湯機基礎	-	コンクリート基礎 W800×D800×t200 配筋 SD295A D10@200(タテヨコ)	
	屋外階段	-	鉄骨螺旋階段(基礎共新設) ※屋外階段詳細図参照	
	L型側溝	食堂前 既存L型側溝 W200(一部撤去)	食堂前 既存L型側溝 W200(一部新設)	
	屋外通路部階段	カッター入れの上、一部躯体撤去 段鼻 磁器質ノンスリップタイル(一部撤去)	-	

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第１項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和７年度	令和７年７月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	仕上表(1)(改修前・後)	A1：NS A3：NS	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社　TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号　FAX 092-522-5183 一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1-11499号 一級建築士　国土交通大臣登録　第350116号　野田 康広						A-02

■ 改修前内部仕上表

※特記なき限り既存のままとする。

階	室名	床 下地	床 仕上	幅木	幅木 高さ	壁 下地	壁 仕上	天井 下地	天井 仕上	天井 廻縁	天井 高さ	備考
1階	事務室	M下地 (既存のまま)	VS1 t2.0 (撤去)	VH (撤去)	75	CB+Mコテ RC	EP塗	LGS (撤去)	GB-D t9.0(撤去)	塩ビ (撤去)	2,400	流し台 W550×D500×H800(撤去)
	宿直室	M下地 (既存のまま)	TC t6.0 (撤去)	VH (撤去)	75	RC (既存のまま) CB+Mコテ (撤去) LGS (撤去)	VC(撤去) 【間仕切壁】 VC(撤去) 【間仕切壁欄間】 GB-R t12.5 VC(撤去)	LGS (既存のまま)	GB-D t9.0(撤去)	塩ビ (撤去)	2,400	木製クローゼット(撤去) 既設キッチン(撤去) ライニング(撤去) 直付カーテンレール L=1,800(撤去)
	浴室(宿直室横)	雑用RC t70 (一部撤去)	25角T (撤去)	-	-	CB+Mコテ (撤去)	【間仕切壁(浴室内部)】 100角T(撤去)	LGS (撤去)	【浴室内部】 GB-S t9.0+化粧FK t6 (撤去)	塩ビ (撤去)	2,260	ホーロー浴槽(撤去) 配管パック 100角T(撤去)
		鋼製床組 H110 (撤去)	WF1 t15 (撤去)	VH (撤去)	75	CB+Mコテ (撤去)	【間仕切壁(脱衣部分)】 EP-G塗 (間仕切撤去)	LGS (撤去)	【脱衣部分】 GB-D t9.0(撤去)	塩ビ (撤去)	2,210	木製脱衣棚 W900×D400(撤去)
	留学生専用 シャワー室	木下地 (撤去) M下地 (既存のまま)	WF1 t15 (撤去) VS1 t2.0 (撤去)	VH (撤去)	75	RC (既存のまま) LGS (撤去)	VC(撤去) 【間仕切壁】 GB-R t12.5+9.5 VC(撤去)	LGS (撤去)	GB-D t9.0(撤去)	塩ビ (撤去)	2,400	化粧鏡(撤去) シャワーブース×3室(撤去) 手洗い器(撤去)(設)
	留学生専用 多目的室	M下地 (既存のまま)	VS1 t2.0 (撤去)	VH (撤去)	75	RC (既存のまま) LGS (撤去)	EP塗 【間仕切壁】 GB-R t12.5+9.5 EP塗(撤去)	LGS (撤去)	GB-D t9.0(撤去)	塩ビ (撤去)	2,400	
	補食室	M下地 (既存のまま)	VS1 t2.0 (撤去)	VH (撤去)	75	RC (既存のまま) LGS (既存のまま)	EP塗 GB-R t12.5+9.5 EP塗	LGS (撤去)	GB-D t9.0(撤去)	塩ビ (撤去)	2,400	既設キッチン(撤去) ライニング(撤去)
	多目的コーナー	M下地 (既存のまま)	VS1 t2.0 (既存のまま)	VH (既存のまま)	75	RC (既存のまま)	EP塗	LGS (既存のまま)	GB-D t9.0(一部撤去)	塩ビ (撤去)	2,400	既存パーティション(北面) H20年度施工の為、今回工事では既存のままとする。 ブラインド (撤去)
	食堂	M下地 (既存のまま)	VS1 t2.0 (撤去)	VH (撤去)	75	RC (既存のまま) LGS (既存のまま)	VC(撤去) 【一部腰壁】 GB-R t12.5 VC (仕上のみ撤去)	LGS (撤去)	GB-R t9.0+リブ付DR t15 (撤去)	塩ビ (撤去)	2,300 ～ 2,800	手洗いカウンター(撤去)×2か所 化粧鏡(撤去)×4か所
	厨房	M下地 (既存のまま)	合成樹脂塗床 (撤去)	-	-	RC+Mコテ (既存のまま)	【FL+1,400】 100角T(撤去) 【FL+1,400より上部】 EP塗	LGS (撤去)	FK t6.0 (撤去)	ｱﾙﾐ	2,300	配膳カウンター(洗浄)
	厨房廊下	M下地 (既存のまま)	合成樹脂塗床 (撤去)	VH (撤去)	75	RC+Mコテ (既存のまま)	EP塗	LGS (撤去)	GB-D t9.0(撤去)	塩ビ (撤去)	2,400	手洗器(撤去)
	食品庫	M下地 (既存のまま)	Mこて	VH (撤去)	75	CB+Mコテ RC	EP塗	LGS (撤去)	GB-D t9.0(撤去)	塩ビ (撤去)	2,300	木製棚(撤去)
	休憩室	M下地 (既存のまま) 木製床組 (撤去)	VS1 t2.0 (撤去) 縁甲板 t15 (撤去) タタミ敷 t55 (撤去)	VH (撤去) -	75 -	CB+Mコテ RC	EP塗	LGS (撤去)	GB-D t9.5 木目調 (撤去)	塩ビ	2,400	床組・畳(撤去)
	従業員トイレ	M下地 (既存のまま)	VS1 t2.0 (撤去)	-	-	RC+Mコテ (既存のまま)	【FL+1,400】 100角T(既存のまま) 【FL+1,400より上部】 EP塗	LGS (撤去)	FK t6.0(撤去) 一部 GB-D t9.0(撤去)	塩ビ ｱﾙﾐ (撤去)	2,400	
	トイレ (脱衣室横)	M下地 (既存のまま)	VS1 t2.0 (撤去)	-	-	RC+Mコテ (既存のまま)	【FL+1,400】 100角T(既存のまま) 【FL+1,400より上部】 EP塗	LGS (撤去)	FK t6.0(撤去)	塩ビ (撤去)	2,400	トイレブース(撤去)
	脱衣室	鋼製床組 H110 (既存のまま)	WF1 t15 (撤去)	木巾木 (撤去)	60	CB+Mコテ RC	EP塗	LGS (撤去)	FK t6.0(撤去)	ｱﾙﾐ (撤去)	2,500	木製脱衣棚(撤去) 洗面カウンター(撤去) ライニング(撤去) 化粧鏡(撤去)×2か所
	浴室	M下地 (既存のまま)	25角MT (撤去)	-	-	RC+Mコテ (既存のまま)	【FL+1,400】 100角T(撤去) 【FL+1,400より上部】 VE塗	LGS (撤去)	GB-S t9.0の上 石綿含有 化粧FK t6 VE塗 (撤去)	ｼｰﾘﾝｸﾞ (撤去)	2,300 ～ 2,800	シャワー(撤去)(設) 浴槽(撤去)

■ 改修後内部仕上表

※各居室、廊下、階段は準不燃仕上以上とする。

室名	床 下地	床 仕上	幅木	幅木 高さ	壁 下地	壁 仕上	天井 下地	天井 仕上	天井 廻縁	天井 高さ	備考
寮事務室	M下地 (既存のまま)	VS1 t2.0 (新設)	VH (新設)	60	CB+Mコテ RC	下地調整の上EP(塗替)	LGS (新設)	GB-D t9.5(新設)	塩ビ (新設)	2,400	流し台 W450×D450×H800(新設)
宿直室	M下地 (既存のまま)	TC t6.0 (新設)	VH (新設)	60	RC (既存のまま) LGS (新設)	VC(新設) 【間仕切壁】 GB-R t12.5+9.5(両面) VC(新設)	LGS (既存のまま)	GB-D t9.5(新設)	塩ビ (新設)	2,400	ミニキッチン(新設) カーテンレール(既存)
脱衣室・UB	OAF+ 耐水合板t12 (新設)	VS3 t2.0 (新設)	VH (新設)	60	RC (既存のまま) LGS (新設)	GB-S t12.5(GL)+化粧FK t6.0 (新設)※脱衣室のみ GB-S t12.5+化粧FK t6.0(新設)	LGS (新設)	GB-D t9.5(新設)	塩ビ (新設)	2,400	洗面化粧台鏡付(新設) ユニットバス(新設)
教職員用トイレ	M下地 (既存のまま)	VS2 t2.0 (新設)	VH (新設)	60	RC (既存のまま) LGS (新設)	GB-S t12.5(GL)+化粧FK t6.0 (新設) GB-S t12.5+化粧FK t6.0(新設)	LGS (新設)	GB-D t9.5(新設)	塩ビ (新設)	2,400	化粧鏡 W450×H600(新設) ライニング(新設) 手洗器(新設)
留学生補食室	M下地 (既存のまま)	VS1 t2.0 (新設)	VH (新設)	60	RC (既存のまま) LGS (一部新設)	下地調整の上EP(塗替) 【間仕切壁 既存開口塞ぎ部】 GB-F t12.5+12.5(両面) EP(新設) ※GW 24K t50(新設)	直天	下地調整の上EP(塗替)	-	直天	キッチン(新設)×2か所 ブラインド(移設品)
留学生 シャワー室	M下地 (既存のまま)	VS3 t2.0 (新設)	VH (新設)	60	RC (既存のまま) LGS (新設)	GB-S t12.5(GL)+化粧FK t6.0 (新設) 【既存LGS壁面】 GB-S t12.5(GL)+化粧FK t6.0(新設) 【間仕切壁 既存開口塞ぎ部】 GB-F t12.5+12.5(両面) EP(新設) 【室内間仕切】 GB-S t12.5+化粧FK t6.0(新設)	LGS (新設)	GB-D t9.5(新設)	塩ビ (新設)	2,400	化粧鏡 W450×H600(新設) ライニング(新設) シャワーユニット(新設)×3か所 手洗器(新設)
寮室 [123] (シャワー・WC)	M下地 (既存のまま)	VS1 t2.0 (既存のまま)	VH (既存のまま)	75	RC (既存のまま) RC (既存のまま) LGS (一部新設)	VC(新設) 【外壁側 内部壁】 断熱ボード34.5 VC(新設) 【室内間仕切壁】 GB-R t12.5 VC(新設) 【令114条 間仕切】※GW24K t50充填 GB-F t12.5+12.5(両面) VC(新設)	LGS (既存のまま)	GB-D t9.5(既存のまま)	塩ビ (一部新設)	2,400	WC付ユニットバス(新設) カーテンレール(新設)
食堂	M下地 (既存のまま)	VS1 t2.0 (新設)	VH (新設)	60	RC (既存のまま) LGS (既存のまま)	VC(新設) 【一部腰壁】 GB-R t12.5 VC (仕上のみ新設)	LGS (新設)	GB-R t9.0+DR t12 (新設)	塩ビ (新設)	2,300 ～ 2,800	手洗いカウンター(新設)×2か所 化粧鏡 W450×H600(新設)×4か所
厨房	M下地 (撤去)	塗床2 (新設)	-	-	RC+Mコテ (既存のまま)	【FL+1,400】 100角T(新設) 【FL+1,400より上部】 下地調整の上EP(塗替)	LGS (新設)	FK t6.0 EP塗 (新設)	塩ビ	2,300	
厨房廊下	M下地 (既存のまま)	塗床2 (新設)	VH (新設)	60	RC+Mコテ (既存のまま)	下地調整の上EP(塗替)	LGS (新設)	GB-D t9.5(新設)	塩ビ (新設)	2,800	洗濯器パン(新設)(設) 手洗器(新設)(設)
食品庫	M下地 (既存のまま)	塗床2 (新設)	VH (新設)	60	CB+Mコテ RC	下地調整の上EP(塗替)	LGS (新設)	GB-D t9.5(新設)	塩ビ (新設)	2,800	
休憩室	M下地 (既存のまま)	VS1 t2.0 (新設)	VH (新設)	60	CB+Mコテ RC	下地調整の上EP(塗替)	LGS (新設)	GB-D t9.5(新設)	-	-	
従業員トイレ	M下地 (既存のまま)	VS2 t2.0 (新設)	VH (新設)	60	RC+Mコテ (既存のまま)	【FL+1,400】 100角T 水洗い 【FL+1,400より上部】 下地調整の上EP(塗替)	LGS (新設)	GB-D t9.5(新設)	塩ビ (新設)	2,400	化粧鏡 W450×H600(新設) 小型手洗器(新設)(設)
トイレ	M下地 (既存のまま)	VS2 t2.0 (新設)	VH (新設)	60	RC (既存のまま) LGS (新設)	GB-R t12.5(GL)+化粧FK t6.0 (新設) GB-S t12.5+化粧FK t6.0(新設)	LGS (新設)	GB-D t9.5(新設)	塩ビ (新設)	2,400	化粧鏡 W450×H600(新設) トイレブース(新設) ライニング(新設)×2か所 洗濯器パン・SK(新設)(設)
脱衣室	OAF+ 耐水合板t12 (新設)	VS3 t2.0 (新設)	VH (新設)	60	CB+Mコテ RC	下地調整の上EP(塗替)	LGS (新設)	化粧FK t6.0(新設)	塩ビ (新設)	2,500	木製脱衣棚(新設) 洗面カウンター(新設) ライニング(新設) 化粧鏡 W450×H600×2か所(新設)
浴室	M下地 (既存のまま)	25角MT (新設)	-	-	RC+Mコテ (既存のまま)	【FL+1,400】 100角T(新設) 【FL+1,400より上部】 VE塗	LGS (新設)	既存仕上 VE塗(塗替)	ｼｰﾘﾝｸﾞ (新設)	2,300 ～ 2,800	シャワー(新設)(設) 浴槽(新設)

年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第１項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和７年度	令和７年７月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	仕上表(2)(改修前・後)	A1：NS A3：NS	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社 TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号 FAX 092-522-5183 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11499号 一級建築士 国土交通大臣登録 第350116号 野田 康広						A-03

■ 改修前内部仕上表

※特記なき限り既存のままとする。

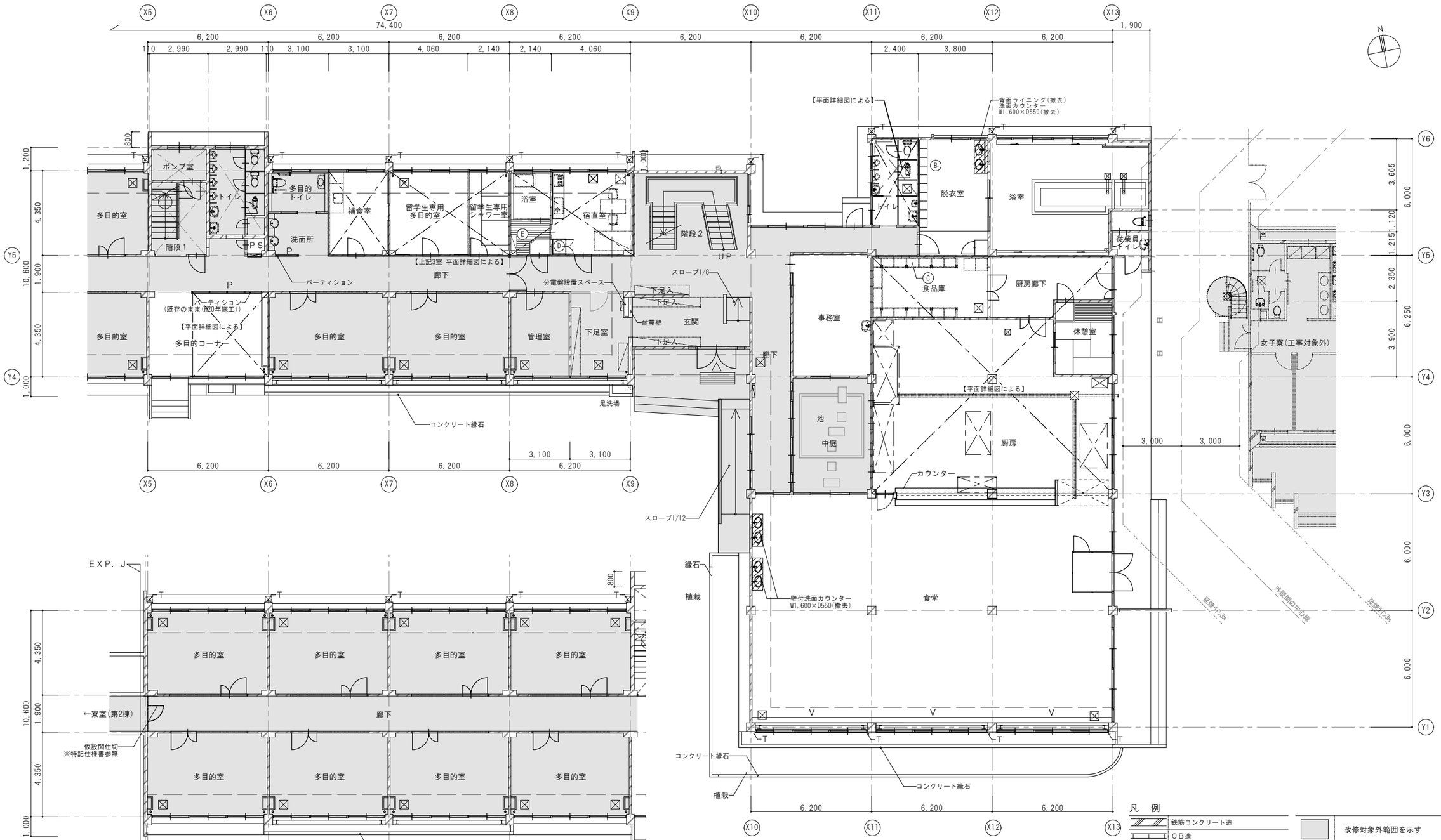
階	室名	床 下地	床 仕上	幅木	幅木 高さ	壁 下地	壁 仕上	天井 下地	天井 仕上	天井 廻縁	天井 高さ	備考
2階	廊下	M下地 (既存のまま)	VS1 t2.0 (撤去)	VH (撤去)	75	CB+Mコテ RC	EP塗	LGS (撤去)	GB-D t9.0(撤去)	塩ビ (撤去)	2,400	
	倉庫	M下地 (既存のまま)	VS1 t2.0 (撤去)	VH (撤去)	75	CB+Mコテ RC	EP塗	LGS (撤去)	GB-D t9.0(撤去)	塩ビ (撤去)	2,400	ブラインド(撤去)
						LGS (撤去)	GB-R t12.5+9.5(両面)(撤去)					
	集会室	鋼製床組+ 合板 t12 (撤去)	タタミ敷 t55 (撤去)	-	-	RC	【外壁側 内部壁・柱型】 Y5通面 ：SOP塗 X11・13通面：じゅらくサテン塗	RC	【梁型】 SOP塗	-	梁下 2,520 ～ 2,800	移動間仕切(撤去) 外壁サッシ(一部撤去) 既存木製建具(撤去) 木製カーテンボックス(撤去) カーテンレール(ダブル)(撤去)
		木製床組+ 耐水合板 t12 (撤去)	WF1 t12 (撤去)	-	-	LGS	【H20年設置 耐震補強廻り】 ※ブレース廻り腰壁・柱型 GB-R t12.5 VC(仕上撤去)	LGS (撤去)	GB-R t9.0 VC(撤去)	塩ビ (撤去)		
	多目的室 (男子寮)	M下地 (既存のまま)	VS1 t2.0 (撤去)	VH (撤去)	75	CB+Mコテ RC	EP塗	LGS (撤去)	GB-D t9.0(撤去)	塩ビ (撤去)	2,400	流し台(撤去)(設) 直付カーテンレール(撤去) 窓手摺(撤去)
3階	寮室・廊下 (男子寮X8-9通間)	M下地 (既存のまま)	VS1 t2.0 (撤去)	VH (撤去)	75	RC (既存のまま)	【外壁側 内部壁】 VC(撤去)	LGS (撤去)	GB-D t9.0(撤去)	塩ビ (撤去)	2,400	本棚(撤去) 木製クローゼット(撤去) 直付カーテンレール(撤去) 寮室鋼製扉(撤去) 窓手摺(撤去)
						RC (一部撤去)	【廊下側 内部雑壁撤去部分】 VC(撤去)					
						LGS (撤去)	【寮室間仕切壁】※GW24K t50充填 GB-R t12.5+9.5(両面) VC(撤去)					
	多目的室 (男子寮)	M下地 (既存のまま)	VS1 t2.0 (撤去)	VH (撤去)	75	CB+Mコテ RC	VC(撤去)	LGS (撤去)	GB-D t9.0(撤去)	塩ビ (撤去)	2,400	流し台(撤去)(設) パーティション(撤去) 直付カーテンレール(撤去) 窓手摺(撤去)
4階	寮室・廊下 (男子寮X8-9通間)	M下地 (既存のまま)	VS1 t2.0 (撤去)	VH (撤去)	75	RC (既存のまま)	【外壁側 内部壁】 VC(撤去)	LGS (撤去)	GB-D t9.0(撤去)	塩ビ (撤去)	2,400	本棚(撤去) 木製クローゼット(撤去) 直付カーテンレール(撤去) 寮室鋼製扉(撤去) 窓手摺(撤去)
						RC (一部撤去)	【廊下側 内部雑壁撤去部分】 VC(撤去)					
						LGS (撤去)	【寮室間仕切壁】※GW24K t50充填 GB-R t12.5+9.5(両面) VC(撤去)					
	多目的室 (男子寮)	M下地 (既存のまま)	VS1 t2.0 (撤去)	VH (撤去)	75	CB+Mコテ RC	EP塗	LGS (撤去)	GB-D t9.0(撤去)	塩ビ (撤去)	2,400	流し台(撤去)(設) パーティション(撤去) 直付カーテンレール(撤去) 窓手摺(撤去)
2階～4階共通	洗濯室 (男子寮)	M下地 (既存のまま)	VS1 t2.0 (撤去)	-	-	CB+Mコテ (撤去)	ライニング 100角T(撤去)	LGS (撤去)	2階：GB-D t9.0(撤去)	塩ビ (撤去)	2,400	洗面カウンター(撤去) SK流し(撤去) 化粧鏡(撤去)×5か所 窓手摺(撤去)
						RC	EP塗		3～4階：FK t6.0(撤去)	ｱﾙﾐ (撤去)		
	補食室 (男子寮)	M下地 (既存のまま)	VS1 t2.0 (撤去)	VH (撤去)	75	CB+Mコテ RC	EP塗	LGS (撤去)	GB-D t9.0(撤去)	塩ビ (撤去)	2,400	キッチン(撤去) 窓手摺(撤去)
	寮室 (男子寮)	M下地 (既存のまま)	VS1 t2.0 (撤去)	VH (撤去)	75	CB+Mコテ RC	VC(撤去)	LGS (撤去)	GB-D t9.0(撤去)	塩ビ (撤去)	2,400	木製クローゼット(撤去) 直付カーテンレール(撤去) 木製本棚(撤去) ピクチャーレール(撤去) 窓手摺(撤去)
						LGS	【寮室間仕切壁】 GB-R t12.5+9.5 VC(仕上撤去)					
	廊下 (男子寮)	M下地 (既存のまま)	VS1 t2.0 (撤去)	VH (撤去)	75	CB+Mコテ RC	多彩模様塗装(仕上撤去)	LGS (撤去)	GB-D t9.0(撤去)	塩ビ (撤去)	2,400	屋内消火栓 室名札(撤去)
								RC	梁型：Mコテ SOP塗			
	階段1	M下地 (既存のまま)	VS1 t2.0 (撤去)	VH (撤去)	75	RC	多彩模様塗装(仕上撤去)	RC(上裏)	薄付仕上塗材吹付	-	-	階数表示案内(撤去) SUS製ノンスリップ(撤去)

■ 改修後内部仕上表

※各居室、廊下、階段は準不燃仕上以上とする。

室名	床 下地	床 仕上	幅木	幅木 高さ	壁 下地	壁 仕上	天井 下地	天井 仕上	天井 廻縁	天井 高さ	備考
廊下 (女子寮)	Mこて (下地補修)	VS1 t2.0 (新設)	VH (新設)	60	CB+Mコテ RC	下地処理の上VC(新設)	LGS (新設)	GB-P t9.5(新設)	塩ビ (新設)	2,400	屋内消火栓(DP塗装替) 階段 SUS製ノンスリップ(新設) 室名札(新設)
					LGS (新設)	【令114条 間仕切】※GW24K t50充填 GB-F t12.5+12.5(両面) VC(新設)					
シャワー・トイレ (女子寮)	Mこて (下地補修)	VS2 t2.0 (新設)	VH (新設)	60	RC (既存のまま)	【外壁側 内部壁】 断熱ボードt34.5+化粧FK t6.0(新設)	LGS (新設)	GB-P t9.5(新設)	塩ビ (新設)	2,400	洗面カウンター(新設) 化粧鏡 W450×H600(新設)×2か所 SUS製モップ掛け(新設) ライニング(新設)×2か所 トイレブース(新設)×2か所 シャワーユニット(新設)×2か所 SUS製棚 既製品(新設)
					LGS (新設)	【室内間仕切】 GB-S t12.5+化粧FK t6.0(両面)(新設) ※一部片面あり					
						【令114条 間仕切】※GW24K t50充填 GB-F t12.5+12.5(両面)+ 化粧FK t6.0(新設)					
多目的スペース (女子寮)	Mこて (下地補修)	VS1(木目) t2.0(新設)	VH (新設)	60	RC (既存のまま)	【外壁側 内部壁】 断熱ボードt34.5 VC(新設)	LGS (新設)	GB-P t9.5(新設)	塩ビ (新設)	2,400	キッチン(新設) 室名札(新設)
						【内部壁】 下地処理の上VC(新設)					
		玄関部分 VS1 t2.0 (新設)			LGS (新設)	【令114条 間仕切】※GW24K t50充填 GB-F t12.5+12.5(両面) VC(新設)					
						【一部キッチン廻り壁面】 GB-F t12.5+12.5(両面)+化粧FK t6.0(新設)					
洗面・洗濯室 (女子寮)	Mこて (下地補修)	VS3 t2.0 (新設)	VH (新設)	60	RC (既存のまま)	【外壁側 内部壁】 断熱ボードt34.5 VC(新設)	LGS (新設)	GB-P t9.5(新設)	塩ビ (新設)	2,400	ライニング、洗面カウンター(新設) 化粧鏡 W450×H600(新設)×3か所 洗濯器パン(新設)(設)×3か所
					LGS (新設)	【令114条 間仕切】※GW24K t50充填 [～多目的スペース間] GB-F t12.5+12.5(両面) EP塗(新設) [～寮室間] GB-F t12.5+12.5(両面)+化粧FK t6.0(新設)					
寮室1～8 (女子寮)	Mこて (下地補修)	VS1 t2.0 (新設)	VH (新設)	60	RC (既存のまま)	【外壁側 内部壁】 断熱ボードt34.5 VC(新設)	LGS (新設)	GB-P t9.5(新設)	塩ビ (新設)	2,400	※改修後寮室3 X13通り外部建具は 既存建具撤去の上、一部開口塞ぎあり
					LGS (新設)	【各室間仕切】※GW24K t50充填 GB-R t12.5+9.5 VC(新設)					
						【令114条 間仕切】※GW24K t50充填 GB-F t12.5+12.5(両面) VC(新設)					
学習室 (男子寮)	Mこて (下地補修)	VS1 t2.0 (新設)	VH (新設)	60	RC (既存のまま)	【外壁側 内部壁】 断熱ボードt34.5 VC(新設)	LGS (新設)	GB-D t9.5(新設)	塩ビ (新設)	2,400	窓手摺(新設) カーテンレール(既存)
					RC (既存のまま)	下地処理の上EP(塗替)					
学習室	Mこて	VS1 t2.0 (新設)	VH (新設)	60	RC (既存のまま)	【外壁側 内部壁】 断熱ボードt34.5 VC(新設)	LGS (新設)	GB-D t9.5(新設)	塩ビ (新設)	2,400	窓手摺(新設) カーテンレール(既存)
					RC (一部補修)	【廊下側 内部雑壁撤去部分】 下地処理の上VC(新設)					
					LGS (新設)	【令114条 間仕切】※GW24K t50充填 GB-F t12.5+12.5(両面) VC(新設)					
寮室(2人) (男子寮)	Mこて (下地補修)	VS1 t2.0 (新設)	VH (新設)	60	RC (既存のまま)	【外壁側 内部壁】 断熱ボードt34.5 VC(新設)	LGS (新設)	GB-D t9.5(新設)	塩ビ (新設)	2,400	木製長押、木製本棚(新設) 窓手摺(新設) カーテンレール(既存)
					RC (一部補修)	【廊下側 内部雑壁撤去部分】 下地処理の上VC(新設)					
					LGS (新設)	【令114条 間仕切】※GW24K t50充填 GB-F t12.5+12.5(両面) VC(新設)					
学習室	Mこて	VS1 t2.0 (新設)	VH (新設)	60	RC (既存のまま)	【外壁側 内部壁】 断熱ボードt34.5 VC(新設)	LGS (新設)	GB-D t9.5(新設)	塩ビ (新設)	2,400	窓手摺(新設) カーテンレール(既存)
					RC (一部補修)	【廊下側 内部雑壁撤去部分】 下地処理の上VC(新設)					
					LGS (新設)	【令114条 間仕切】※GW24K t50充填 GB-F t12.5+12.5(両面) VC(新設)					
災害物品庫	Mこて (下地補修)	VS1 t2.0 (新設)	VH (新設)	60	RC (既存のまま)	【外壁側 内部壁】 断熱ボードt34.5 VC(新設)	LGS (新設)	GB-D t9.5(新設)	塩ビ (新設)	2,400	窓手摺(新設) カーテンレール(既存)
					RC (一部補修)	【廊下側 内部雑壁撤去部分】 下地処理の上VC(新設)					
					LGS (新設)	【令114条 間仕切】※GW24K t50充填 GB-F t12.5+12.5(両面) VC(新設)					
洗濯室 (男子寮)	M下地 (下地補修)	VS1 t2.0 (新設)	VH (新設)	60	RC	下地処理の上EP-G(新設)	LGS (新設)	GB-D t9.5(新設)	塩ビ (新設)	2,400	ライニング(新設)×2か所 洗面カウンター(新設) 化粧鏡 W450×H600(新設)×5か所 窓手摺(新設) 洗濯機パン(新設)×5か所(設)
					RC (既存のまま)	【外壁側 内部壁】 断熱ボード t34.5 EP-G(新設)					
補食室 (男子寮)	M下地 (下地補修)	VS1 t2.0 (新設)	VH (新設)	60	RC	下地処理の上EP-G(新設)	LGS (新設)	GB-D t9.5(新設)	塩ビ (新設)	2,400	キッチン(新設) 窓手摺(新設)
					RC (既存のまま)	【外壁側 内部壁】 断熱ボード t34.5 EP-G(新設)					
寮室 (男子寮)	M下地 (下地補修)	VS1 t2.0 (新設)	VH (新設)	60	CB+Mコテ RC	VC(新設) ※外壁側 内部壁のみ 断熱ボード t34.5 VC(新設)	LGS (新設)	GB-D t9.5(新設)	塩ビ (新設)	2,400	木製本棚(新設) 木製長押(新設) 窓手摺(新設) カーテンレール(既存)
					LGS	【寮室間仕切壁】 既存間仕切壁の上VC(新設)					
廊下 (男子寮)	M下地 (既存のまま)	VS1 t2.0 (新設)	VH (新設)	60	CB+Mコテ RC	下地処理の上EP塗(新設)	LGS (新設)	GB-D t9.5(新設)	塩ビ (新設)	2,400	屋内消火栓(設) 室名札(新設)
					LGS (新設)	【令114条 間仕切】※GW24K t50充填 GB-F t12.5+12.5(両面)EP塗(新設)					
階段1	M下地 (既存のまま)	VS1 t2.0 (新設)	VH (新設)	60	RC	下地処理の上EP-G(新設)	RC(上裏)	可とう型外装用薄塗材Si (塗替)	-	-	階数表示案内(新設) 階段 SUS製ノンスリップ(新設) 鋼製手摺・手摺子(DP塗替)

年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和７年度	令和７年７月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	仕上表(3)(改修前・後)	A1：NS A3：NS	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社 TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号 FAX 092-522-5183 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11499号 一級建築士 国土交通大臣登録 第350116号 野田 康広						A-04



1階平面図(改修前) S=1/100

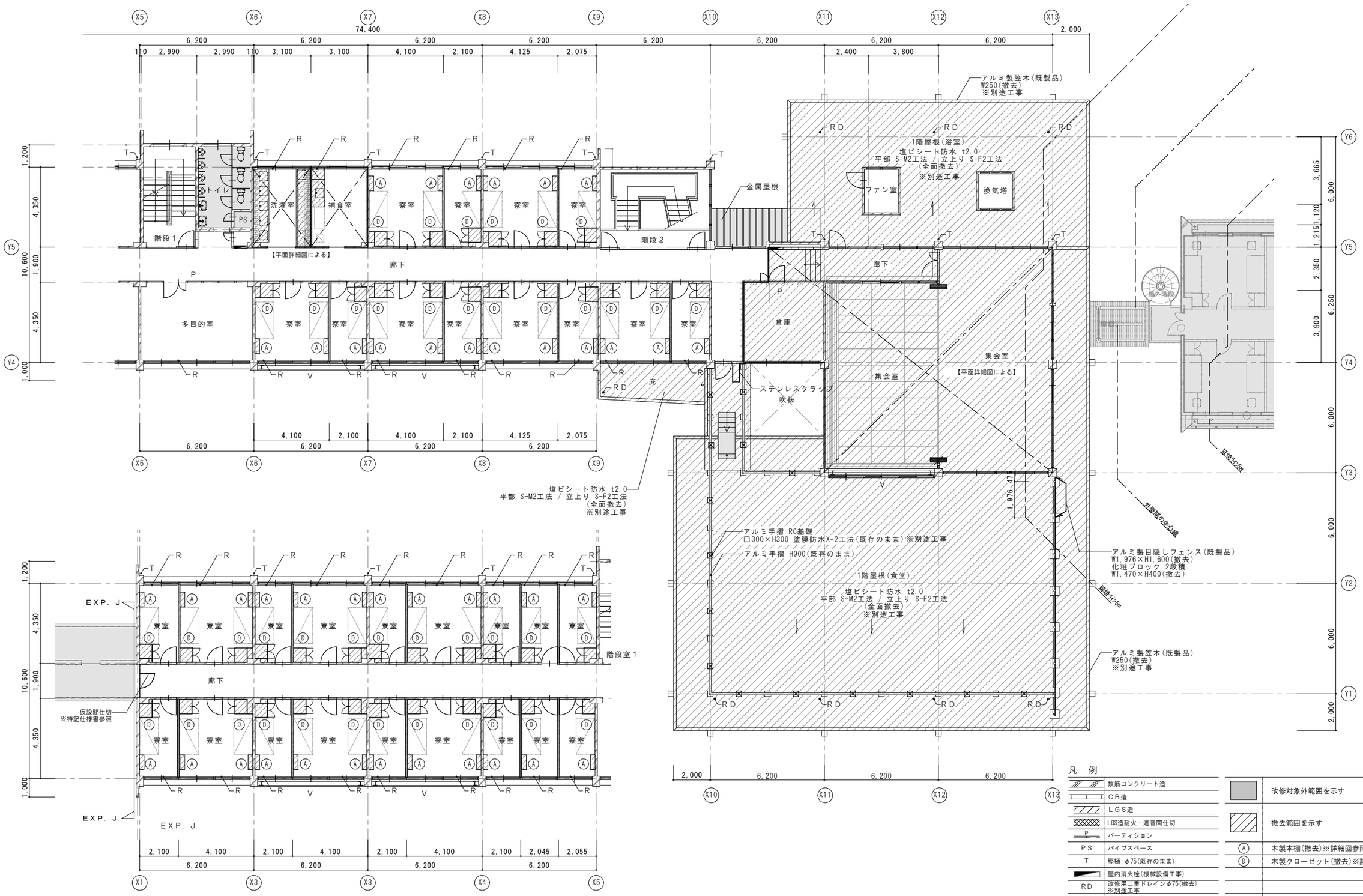
【 注記 】

・H20年実施の耐震補強工事にて実施された範囲は既存のままとする。

凡 例

	鉄筋コンクリート造		改修対象外範囲を示す
	CB造		
	LGS造	Ⓐ	木製本棚(撤去)※詳細図参照
	LGS造耐火・遮音間仕切	Ⓑ	脱衣室 木製棚(撤去)※詳細図参照
P	パーティション	Ⓒ	食品庫 木製棚(撤去)※詳細図参照
PS	パイプスペース	~~Ⓓ~~	~~木製クローゼット(撤去)※詳細図参照~~
T	竪樋 φ75(既存のまま)	Ⓔ	脱衣棚(撤去)※詳細図参照
	屋内消火栓(機械設備工事)		
RD	改修用二重ドレインφ75(撤去) ※別途工事		
R	手摺φ34 (撤去)		
⊠	床下点検口 450×450(既存のまま)		
V	耐震ブレース(既存のまま)		

年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和７年度	令和７年７月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	1階平面図(改修前)	A1：1/100 A3：1/200	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社 TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号 FAX 092-522-5183 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11499号 一級建築士 国土交通大臣登録 第350116号 野田 康広						A-05

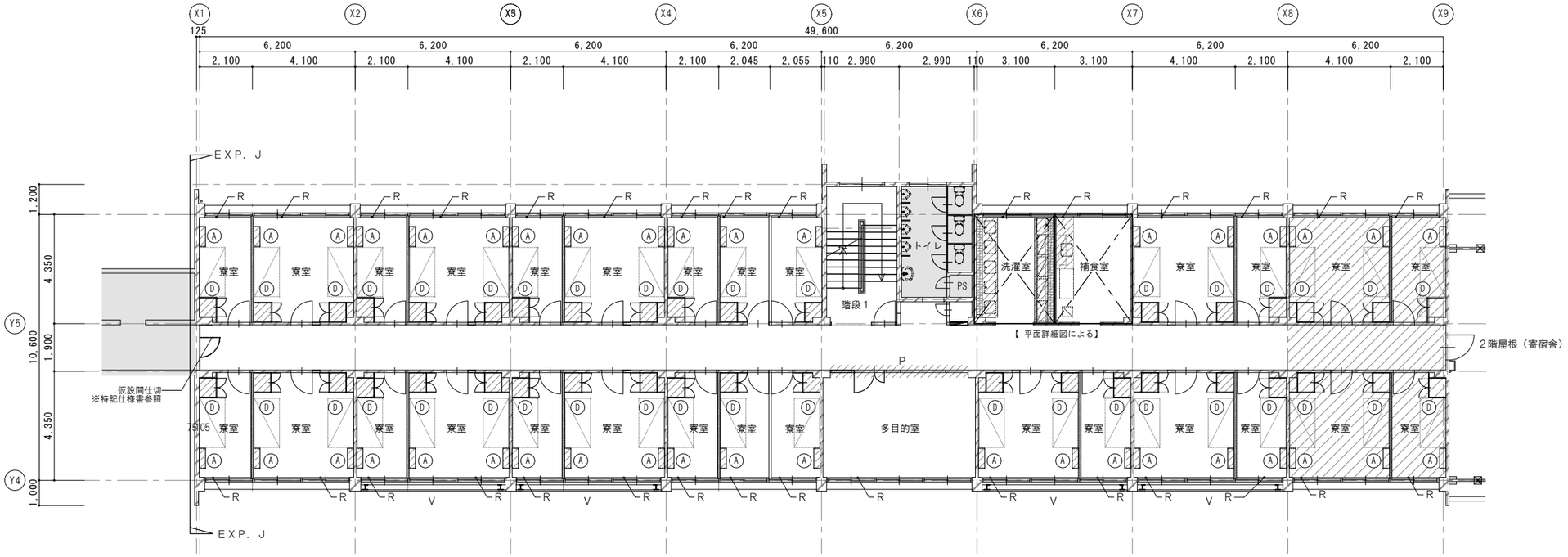


2階平面図(改修前) S=1/100

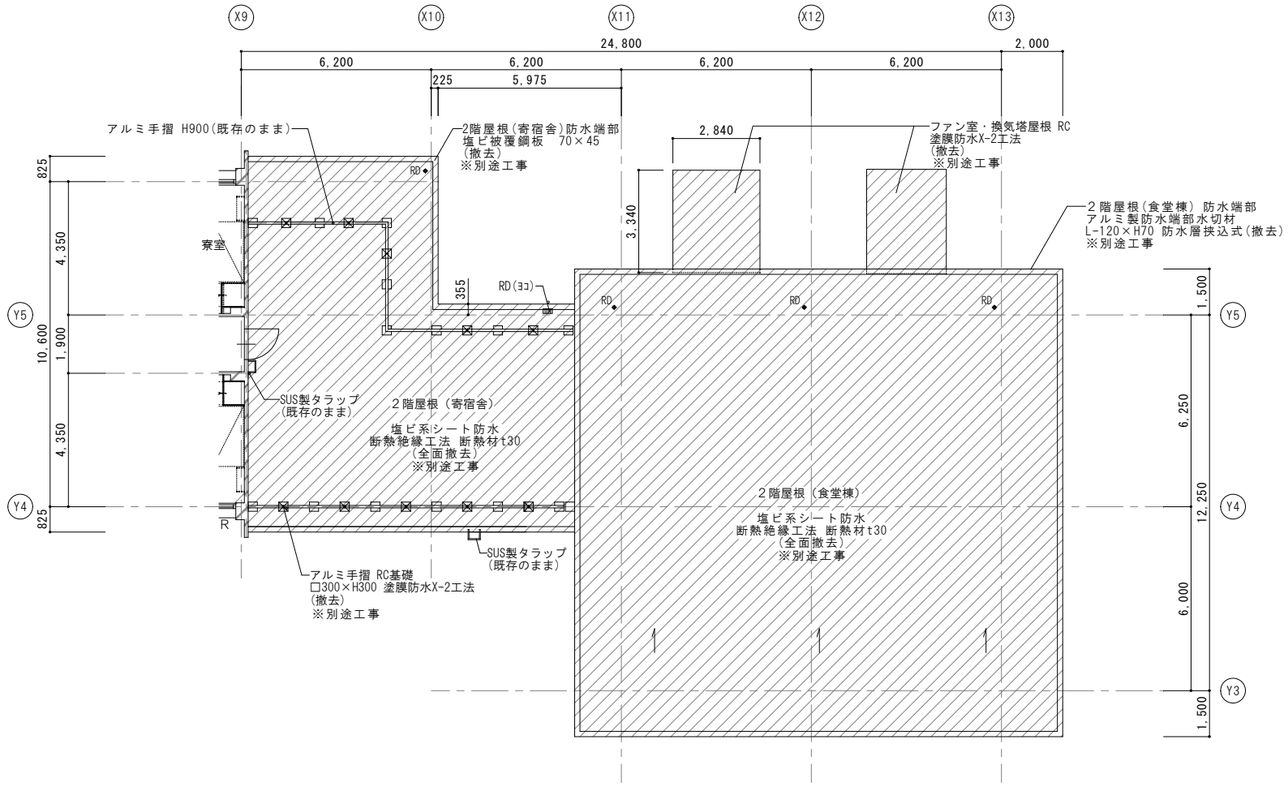
凡 例

	鉄筋コンクリート造		改修対象外範囲を示す
	CB造		
	LGS造		撤去範囲を示す
	LGS造耐火・遮音間仕切		
P	パーティション		
PS	パイプスペース	A	木製本棚(撤去)※詳細図参照
T	竪樋 φ75(既存のまま)	D	木製クローゼット(撤去)※詳細図参照
	屋内消火栓(機械設備工事)		
RD	改修用二重ドレインφ75(撤去) ※別途工事		
R	手摺φ34 (撤去)		
	床下点検口 450×450(既存のまま)		
V	耐震ブレース(既存のまま)		

年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和7年度	令和7年7月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	2階平面図(改修前)	A1：1/100 A3：1/200	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社 TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号 FAX 092-522-5183 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11499号 一級建築士 国土交通大臣登録 第350116号 野田 康広						A-06



3階平面図(改修前) S=1/100



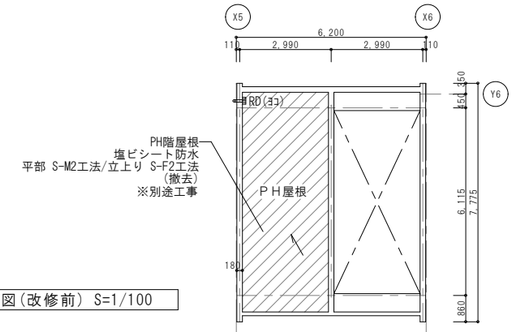
凡　例

	鉄筋コンクリート造		改修対象外範囲を示す
	ＣＢ造		
	ＬＧＳ造		撤去範囲を示す
	LGS造耐火・遮音間仕切		
P	パーティション		
ＰＳ	パイプスペース	Ⓐ	木製本棚(撤去)※詳細図参照
T	竪樋 φ75(既存のまま)	Ⓓ	木製クローゼット(撤去)※詳細図参照
	屋内消火栓(機械設備工事)		
ＲＤ	改修用二重ドレインφ75(撤去) ※別途工事		
R	手摺φ34 (撤去)		
⊠	床下点検口　450×450(既存のまま)		
V	耐震ブレース(既存のまま)		

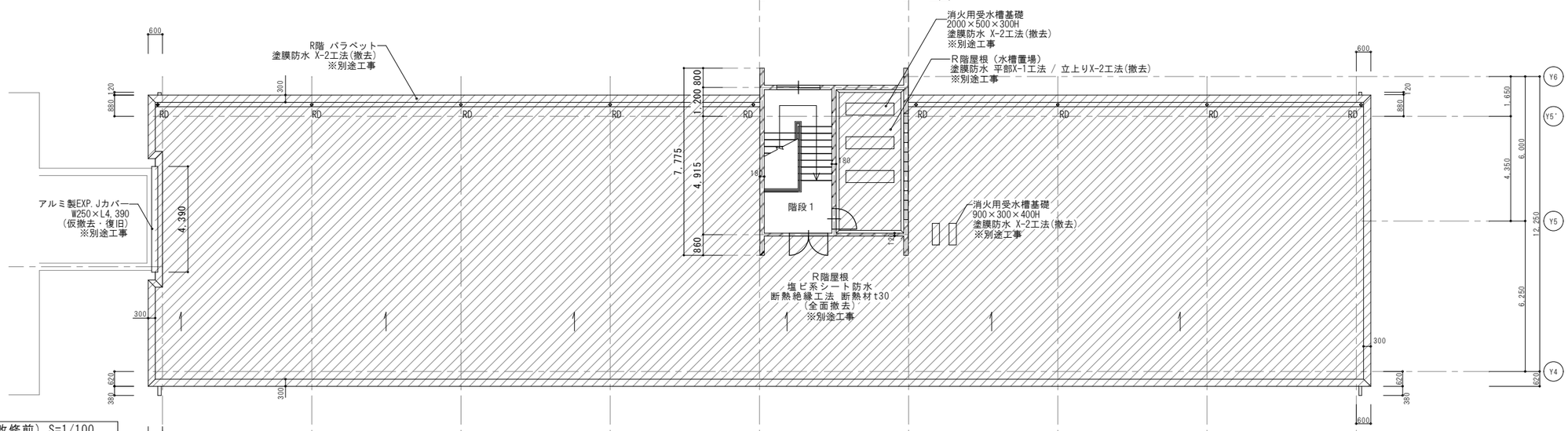
年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第１項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和７年度	令和７年７月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	3階平面図(改修前)	A1：1/100 A3：1/200	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社　TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号　FAX 092-522-5183 一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1-11499号 一級建築士　国土交通大臣登録　第350116号　野田 康広						A-07

凡　例

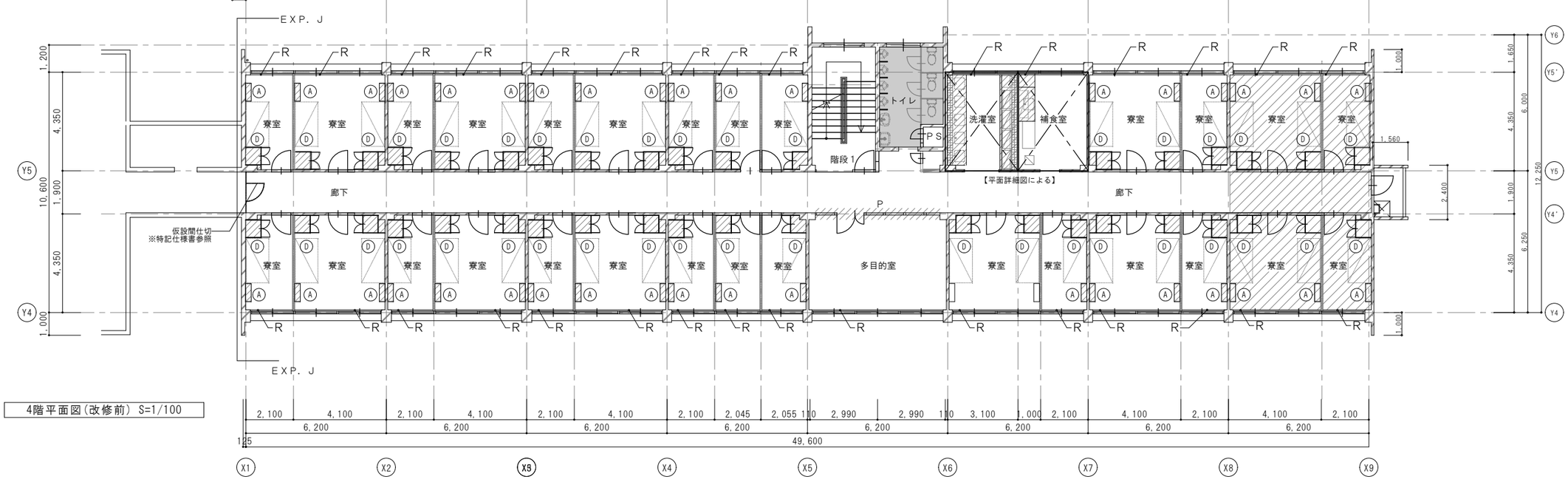
	鉄筋コンクリート造		改修対象外範囲を示す
	ＣＢ造		撤去範囲を示す
	ＬＧＳ造		
	LGS造耐火・遮音間仕切		
P	パーティション		
ＰＳ	パイプスペース	Ⓐ	木製本棚(撤去)※詳細図参照
Ｔ	竪樋 φ75(既存のまま)	Ⓓ	木製クローゼット(撤去)※詳細図参照
	屋内消火栓		
ＲＤ	改修用二重ドレインφ75(撤去) ※別途工事		
Ｒ	手摺φ34（撤去）		
⊠	床下点検口　450×450(既存のまま)		
V	耐震ブレース(既存のまま)		



PH階平面図(改修前) S=1/100

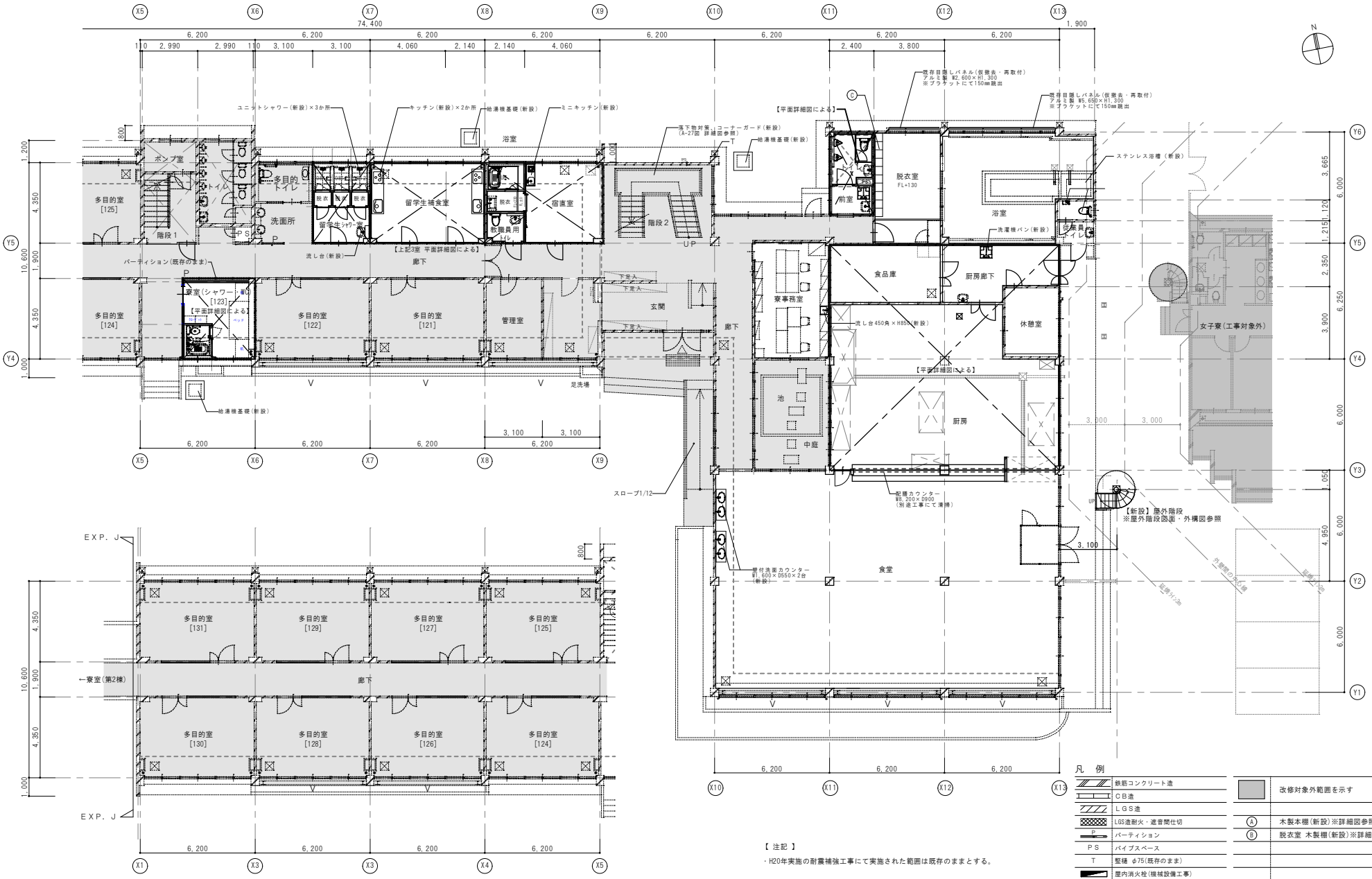


R階平面図(改修前) S=1/100



4階平面図(改修前) S=1/100

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第１項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和７年度	令和７年７月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	4階・R階平面図(改修前)	A1：1/100 A3：1/200	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社　TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号　FAX 092-522-5183 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11499号 一級建築士 国土交通大臣登録 第350116号 野田 康広						A-08



1階平面図(改修後) S=1/100

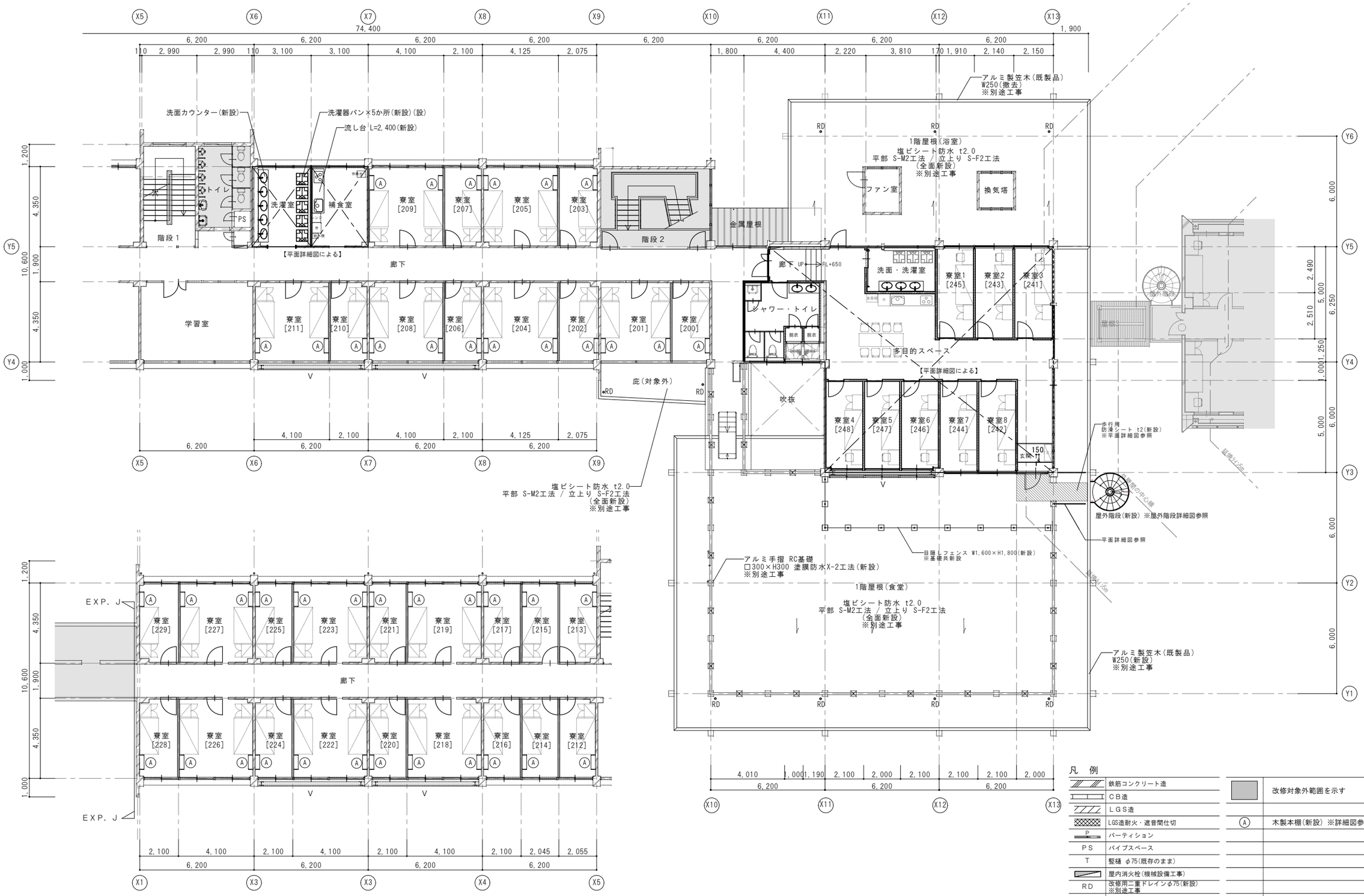
【 注記 】

・H20年実施の耐震補強工事にて実施された範囲は既存のままとする。

凡 例

	鉄筋コンクリート造		改修対象外範囲を示す
	CB造		
	LGS造		
	LGS造耐火・遮音間仕切	Ⓐ	木製本棚(新設)※詳細図参照
P	パーティション	Ⓑ	脱衣室 木製棚(新設)※詳細図参照
PS	パイプスペース		
T	整種 φ75(既存のまま)		
	屋内消火栓(機械設備工事)		
RD	改修用二重ドレインφ75(新設)		
R	手摺φ34 (既存のまま)		
⊠	床下点検口 450×450(既存のまま)		
V	耐震ブレース		

年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和7年度	令和7年7月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	1階平面図(改修後)	A1：1/100 A3：1/200	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社 TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号 FAX 092-522-5183 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11499号 一級建築士 国土交通大臣登録 第350116号 野田 康広						A-09

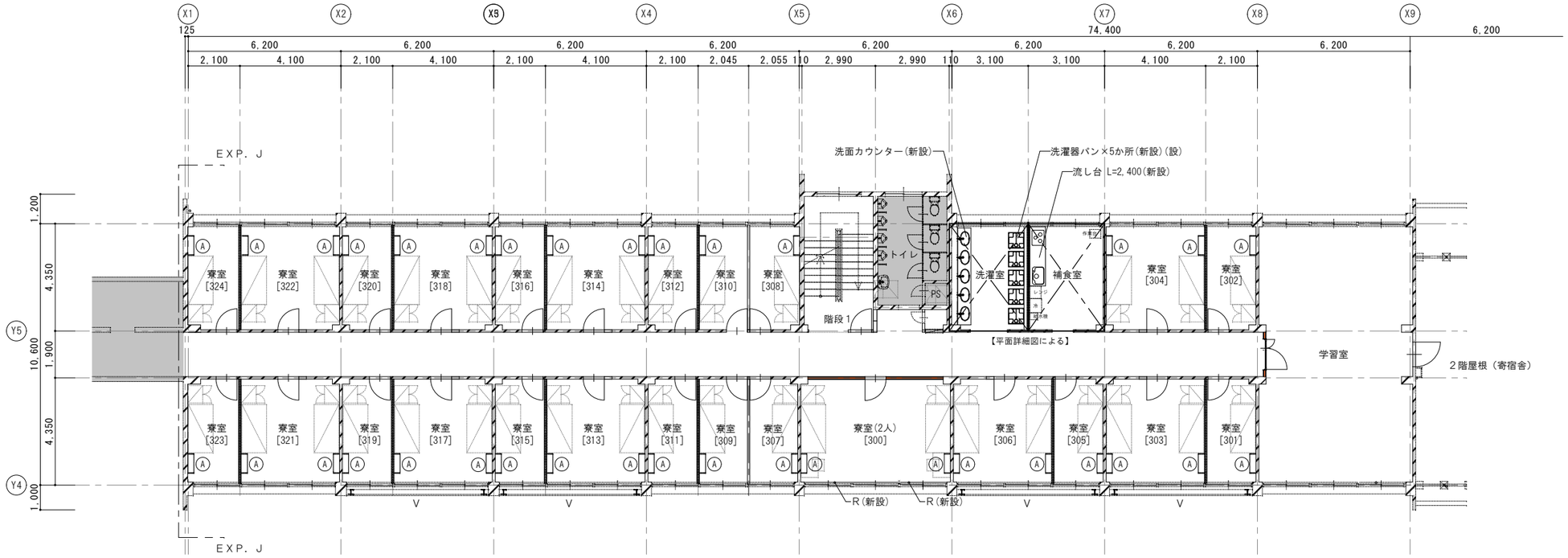


2階平面図(改修後) S=1/100

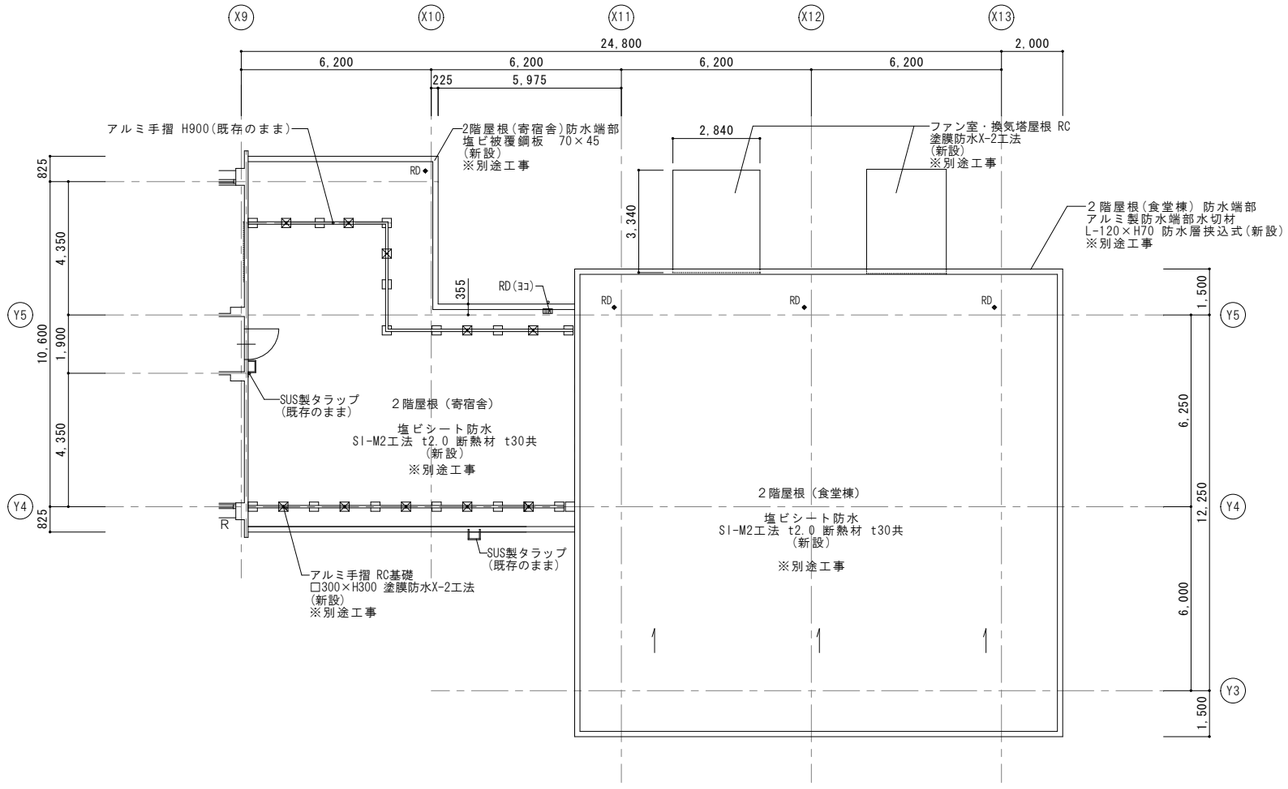
凡 例

	鉄筋コンクリート造		改修対象外範囲を示す
	CB造		
	LGS造		
	LGS造耐火・遮音間仕切	Ⓐ	木製本棚(新設) ※詳細図参照
P	パーティション		
PS	パイプスペース		
T	竪樋 φ75(既存のまま)		
	屋内消火栓(機械設備工事)		
RD	改修用二重ドレインφ75(新設) ※別途工事		
R	手摺φ34 (既存のまま)		
⊠	床下点検口 450×450(既存のまま)		
V	耐震ブレース		

年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和7年度	令和7年7月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	2階平面図(改修後)	A1：1/100 A3：1/200	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社 TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号 FAX 092-522-5183 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11499号 一級建築士 国土交通大臣登録 第350116号 野田 康広						A-10



3階平面図(改修後) S=1/100



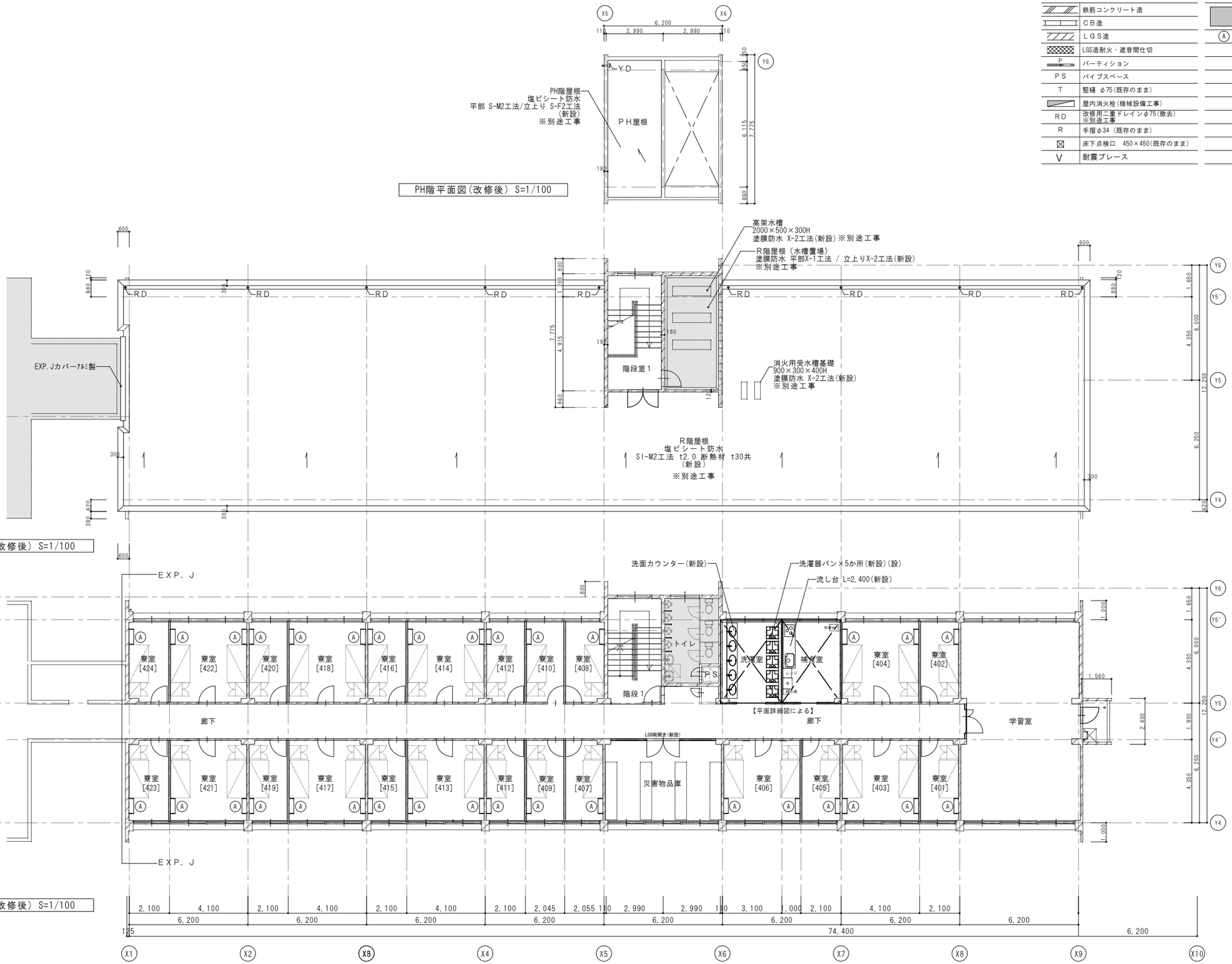
凡　例

	鉄筋コンクリート造		改修対象外範囲を示す
	ＣＢ造	Ⓐ	木製本棚(新設)※詳細図参照
	ＬＧＳ造		
	LGS造耐火・遮音間仕切		
P	パーティション		
ＰＳ	パイプスペース		
T	竪樋 φ75(既存のまま)		
	屋内消火栓(機械設備工事)		
ＲＤ	改修用二重ドレインφ75(新設)※別途工事		
R	手摺φ34 (既存のまま)		
⊠	床下点検口 450×450(既存のまま)		
V	耐震ブレース		

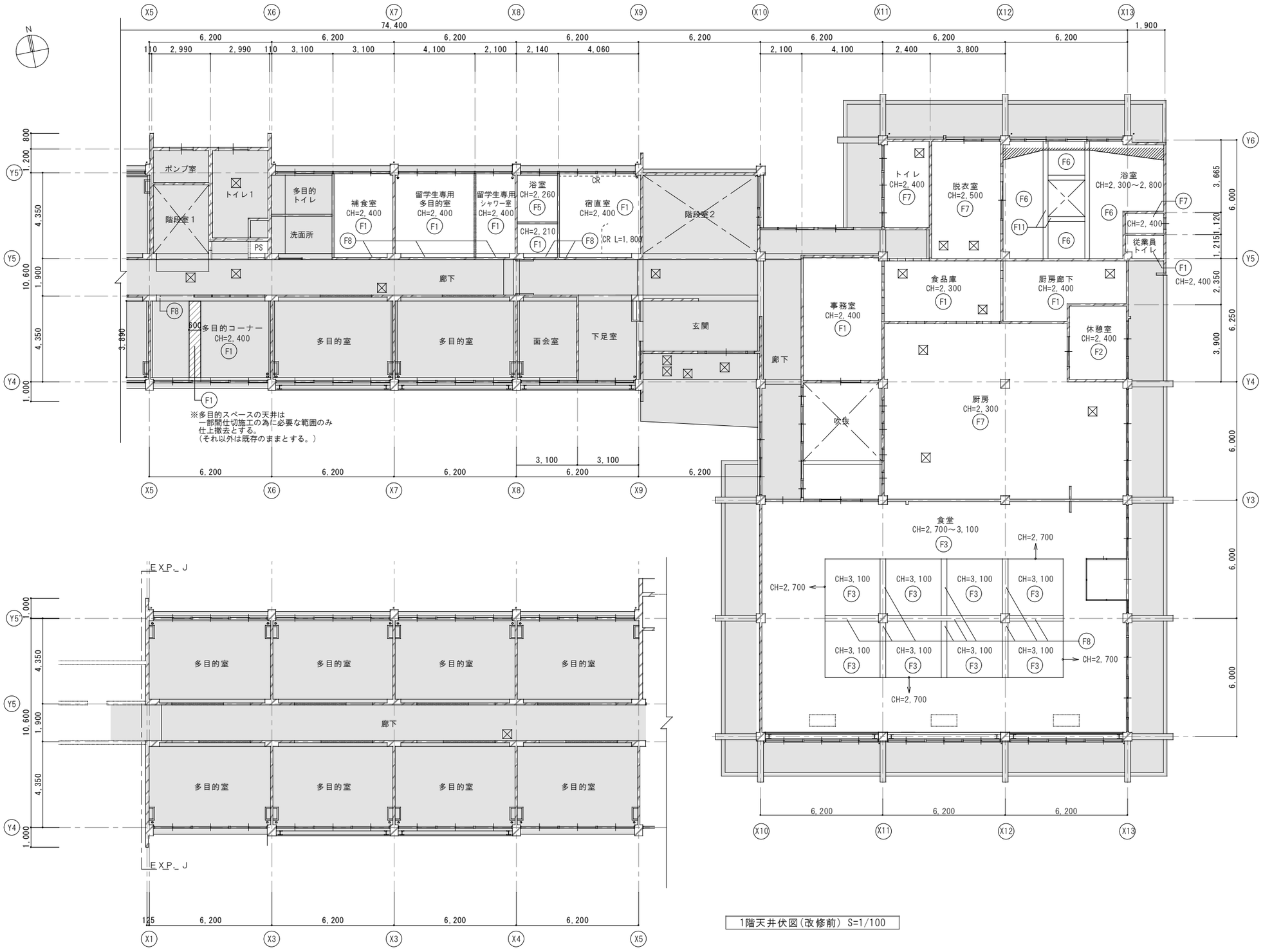
年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第１項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和７年度	令和７年７月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	3階平面図(改修後)	A1：1/100 A3：1/200	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社 TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号 FAX 092-522-5183 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11499号 一級建築士 国土交通大臣登録 第350116号 野田 康広						A-11

凡　例

	鉄筋コンクリート造		改修対象外範囲を示す
	ＣＢ造	Ⓐ	木製本棚(新設)※詳細図参照
	ＬＧＳ造		
	LGS造耐火・遮音間仕切		
P	パーティション		
ＰＳ	パイプスペース		
T	竪樋 φ75(既存のまま)		
	屋内消火栓(機械設備工事)		
ＲＤ	改修用二重ドレインφ75(撤去) ※別途工事		
R	手摺φ34 (既存のまま)		
⊠	床下点検口　450×450(既存のまま)		
V	耐震ブレース		



年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第１項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和７年度	令和７年７月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	4階・R階平面図(改修後)	A1：1/100 A3：1/200	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社　TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号　FAX 092-522-5183 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11499号 一級建築士 国土交通大臣登録 第350116号 野田 康広						A-12



1階天井伏図（改修前） S=1/100

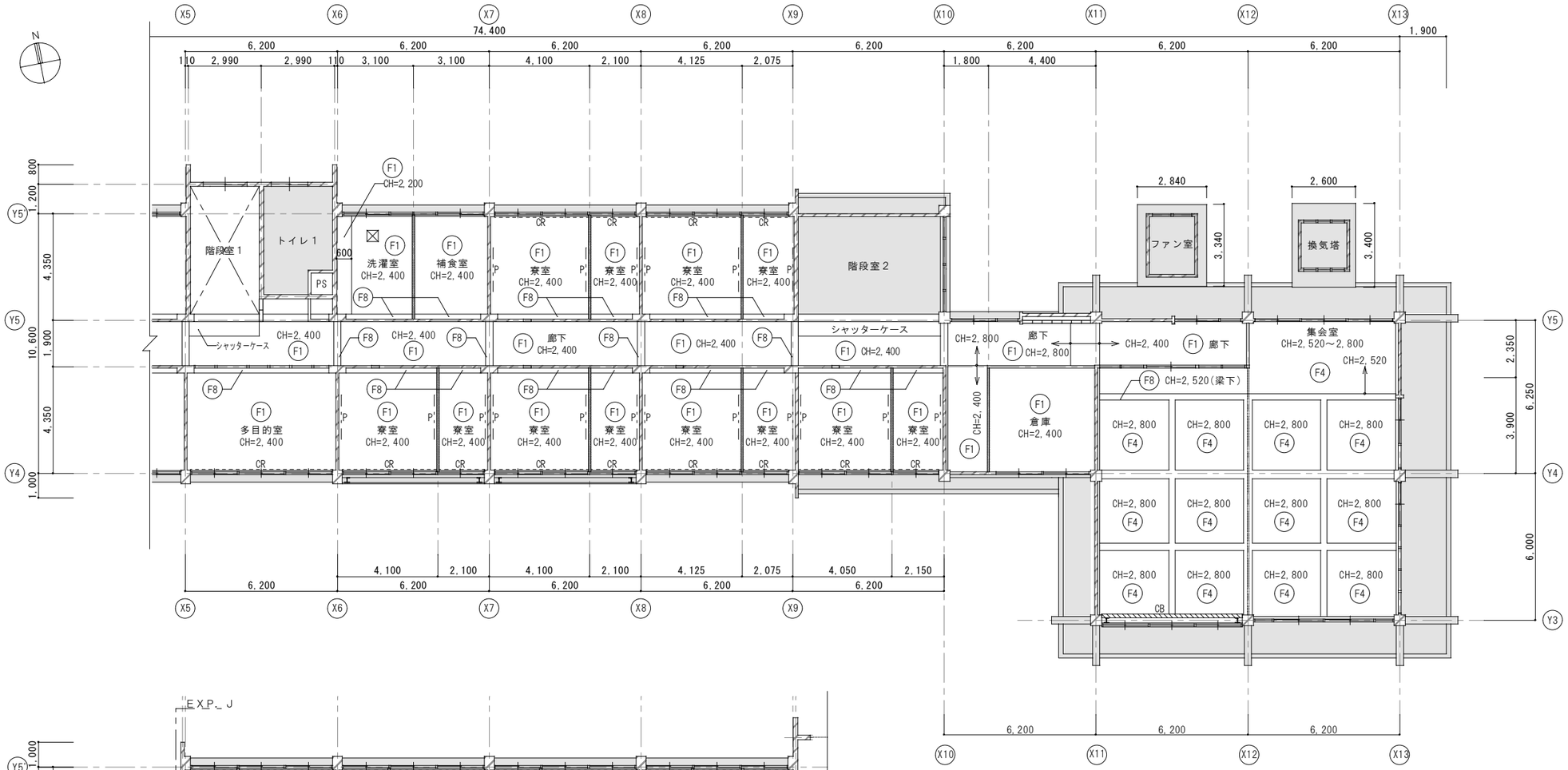
【天井改修凡例】※特記なき限り下地共撤去とする

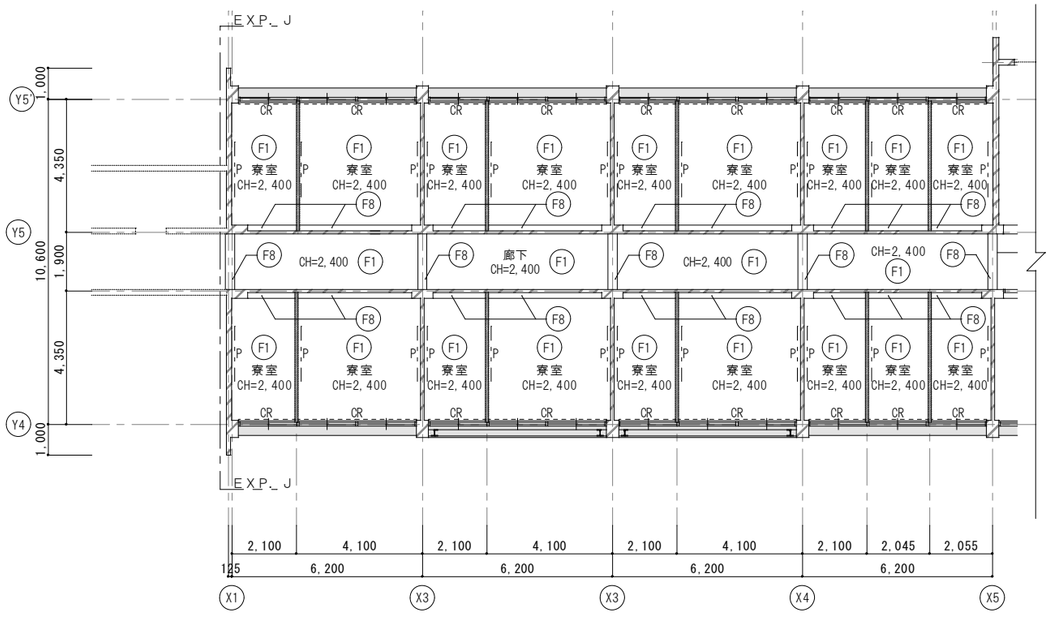
	改修前
F1	GB-D t9.0
F2	GB-D t9.5 木目調
F3	GB-R t9.0+リブ付DR t15
F4	GB-R t9.0 VC
F5	GB-S t9.0+化粧FK t6
F6	GB-S t9.0+化粧FK t6 VE塗 ※浴室関係
F7	FK t6.0 ※厨房は既存のまま
F8	梁型 Mコテ SOP塗(既存のまま)
F9	RC(上裏) 薄付仕上塗材吹付(既存のまま)
F10	外壁改修：軒天 外装用薄塗材E（一部撤去）
F11	梁型 Mコテ VE塗(既存のまま)
CB	木製カーテンボックス W150×H100×t25 カーテンレール共(撤去)
P	寮室内：ピクチャーレール L=1,800(撤去)
CR	直付カーテンレール(撤去)
	天井点検口 450×450(撤去)

凡　例

	鉄筋コンクリート造
	ＣＢ造
	ＬＧＳ造
	LGS造耐火・遮音間仕切
P	パーティション
ＰＳ	パイプスペース
	改修対象外範囲を示す

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第１項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和７年度	令和７年７月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	1階天井伏図（改修前）	A1：1/100 A3：1/200	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社 TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号 FAX 092-522-5183 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11499号 一級建築士 国土交通大臣登録 第350116号 野田 康広						A-13





2階天井伏図(改修前) S=1/100

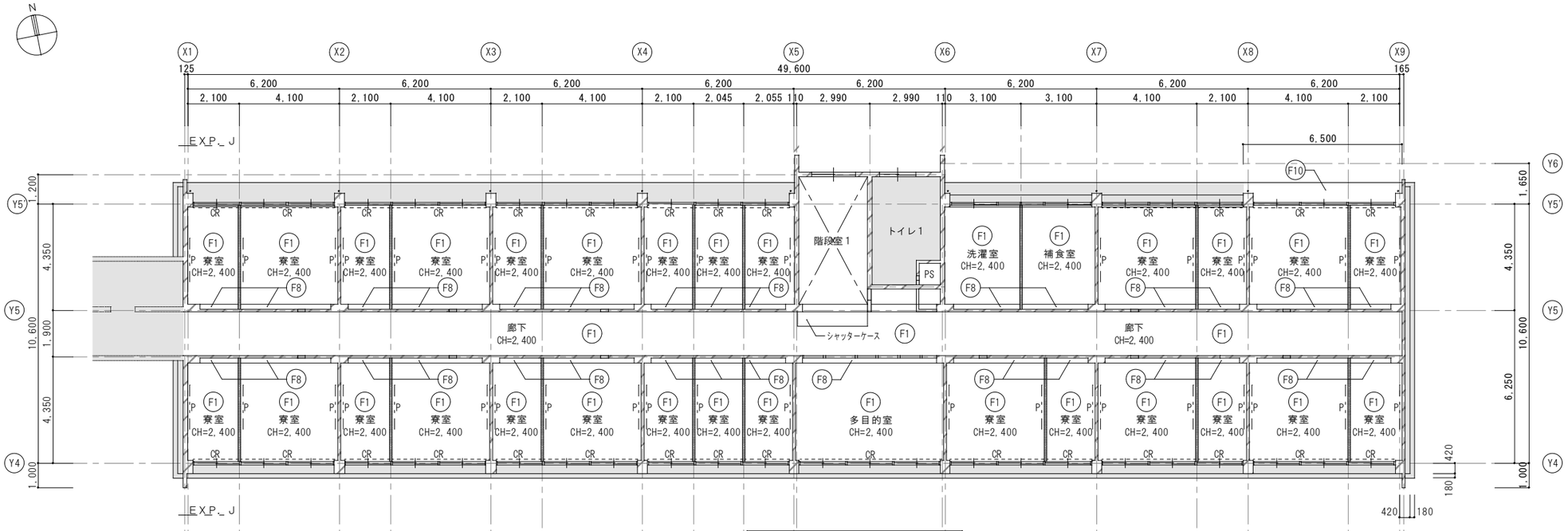
【天井改修凡例】※特記なき限り下地共撤去とする

	改修前
F1	GB-D t9.0
F2	GB-D t9.5 木目調
F3	GB-R t9.0+リブ付DR t15
F4	GB-R t9.0 VC
F5	GB-S t9.0+化粧FK t6
F6	GB-S t9.0+化粧FK t6 VE塗 ※浴室関係
F7	FK t6.0 ※厨房は既存のまま
F8	梁型 Mコテ SOP塗(既存のまま)
F9	RC(上裏) 薄付仕上塗材吹付(既存のまま)
F10	外壁改修：軒天 外装用薄塗材E (一部撤去)
F11	梁型 Mコテ VE塗(既存のまま)
CB	木製カーテンボックス W150×H100×t25 カーテンレール共(撤去)
P	寮室内：ピクチャーレール L=1,800(撤去)
CR	直付カーテンレール(撤去)
⊠	天井点検口 450×450(撤去)

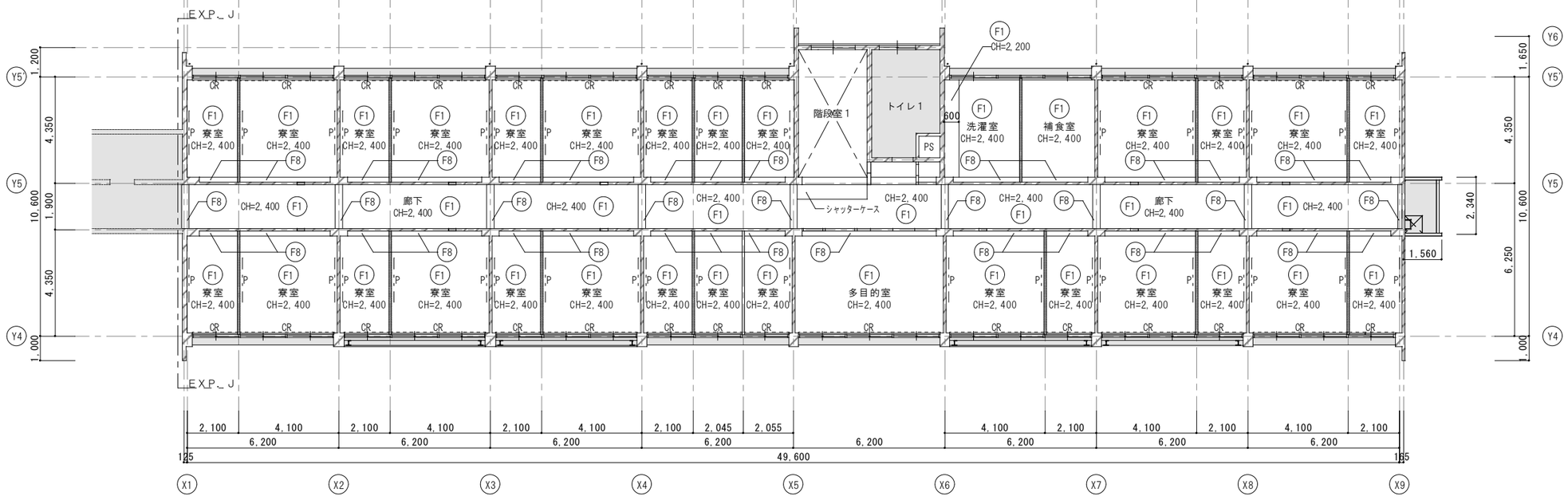
凡 例

	鉄筋コンクリート造
	CB造
	LGS造
	LGS造耐火・遮音間仕切
P	パーティション
PS	パイプスペース
	改修対象外範囲を示す

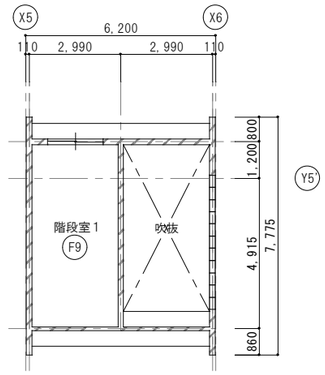
年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和7年度	令和7年7月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	2階天井伏図（改修前）	A1：1/100 A3：1/200	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社 TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号 FAX 092-522-5183 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11499号 一級建築士 国土交通大臣登録 第350116号 野田 康広						A-14



4階天井伏図(改修前) S=1/100



3階天井伏図(改修前) S=1/100



PH天井伏図(改修前) S=1/100

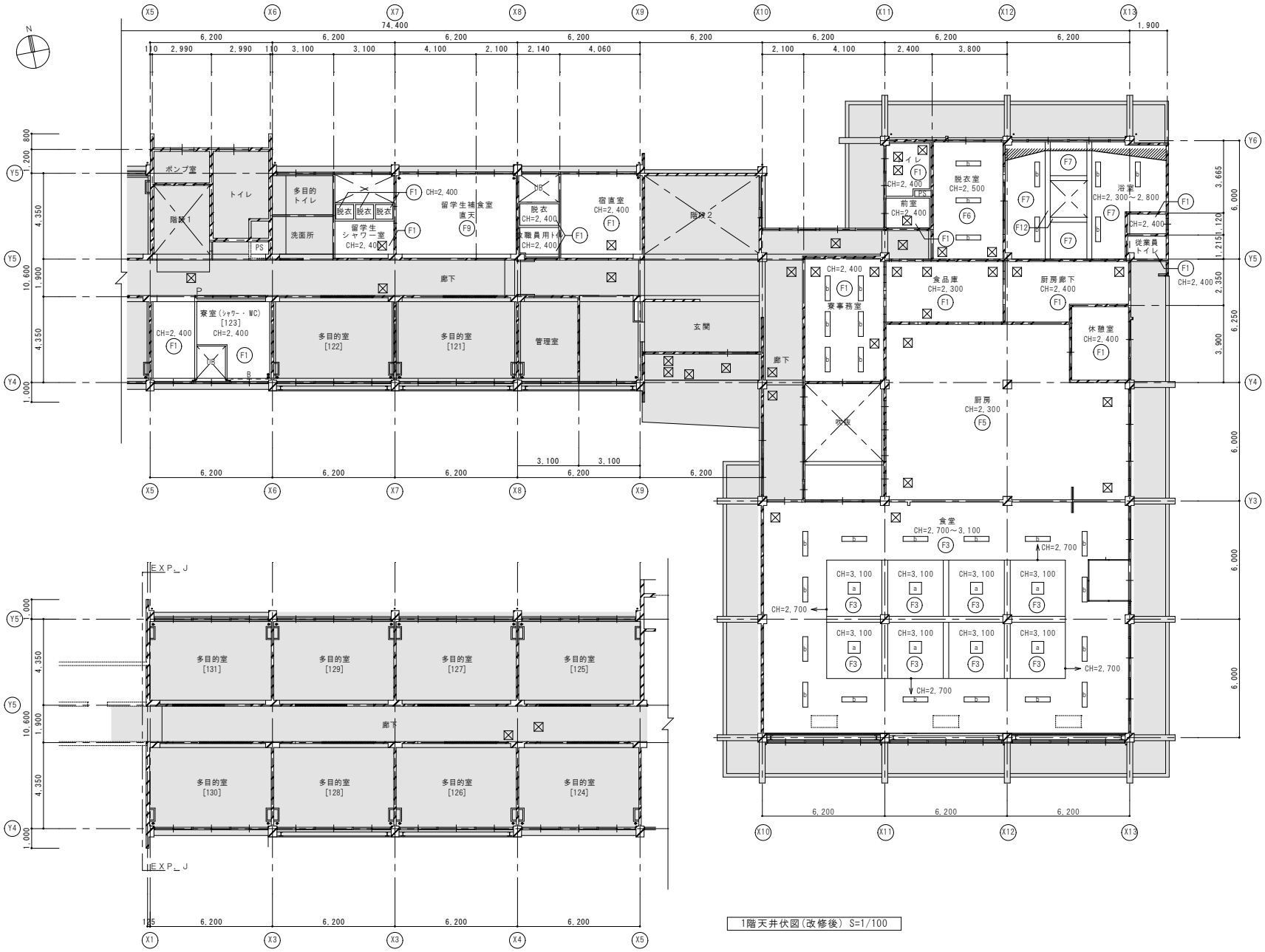
【天井改修凡例】※特記なき限り下地共撤去とする

	改修前
F1	GB-D t9.0
F2	GB-D t9.5 木目調
F3	GB-R t9.0+リブ付DR t15
F4	GB-R t9.0 VC
F5	GB-S t9.0+化粧FK t6
F6	GB-S t9.0+化粧FK t6 VE塗 ※浴室関係
F7	FK t6.0 ※厨房は既存のまま
F8	梁型 Mコテ SOP塗(既存のまま)
F9	RC(上裏) 薄付仕上塗材吹付(既存のまま)
F10	外壁改修： 軒天 外装用薄塗材E (一部撤去) 4.6㎡
F11	梁型 Mコテ VE塗(既存のまま)
CB	木製カーテンボックス W150×H100×t25 カーテンレール共(撤去)
P	寮室内：ピクチャーレール L=1,800(撤去)
CR	直付カーテンレール(撤去)
⊠	天井点検口 450×450(撤去)

凡 例

	鉄筋コンクリート造
	CB造
	LGS造
	LGS造耐火・遮音間仕切
P	パーティション
PS	パイプスペース
	改修対象外範囲を示す

年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和7年度	令和7年7月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	3階・4階・PH天井伏図（改修前）	A1：1/100 A3：1/200	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社 TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号 FAX 092-522-5183 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11499号 一級建築士 国土交通大臣登録 第350116号 野田 康広						A-15



1階天井伏図（改修後） S=1/100

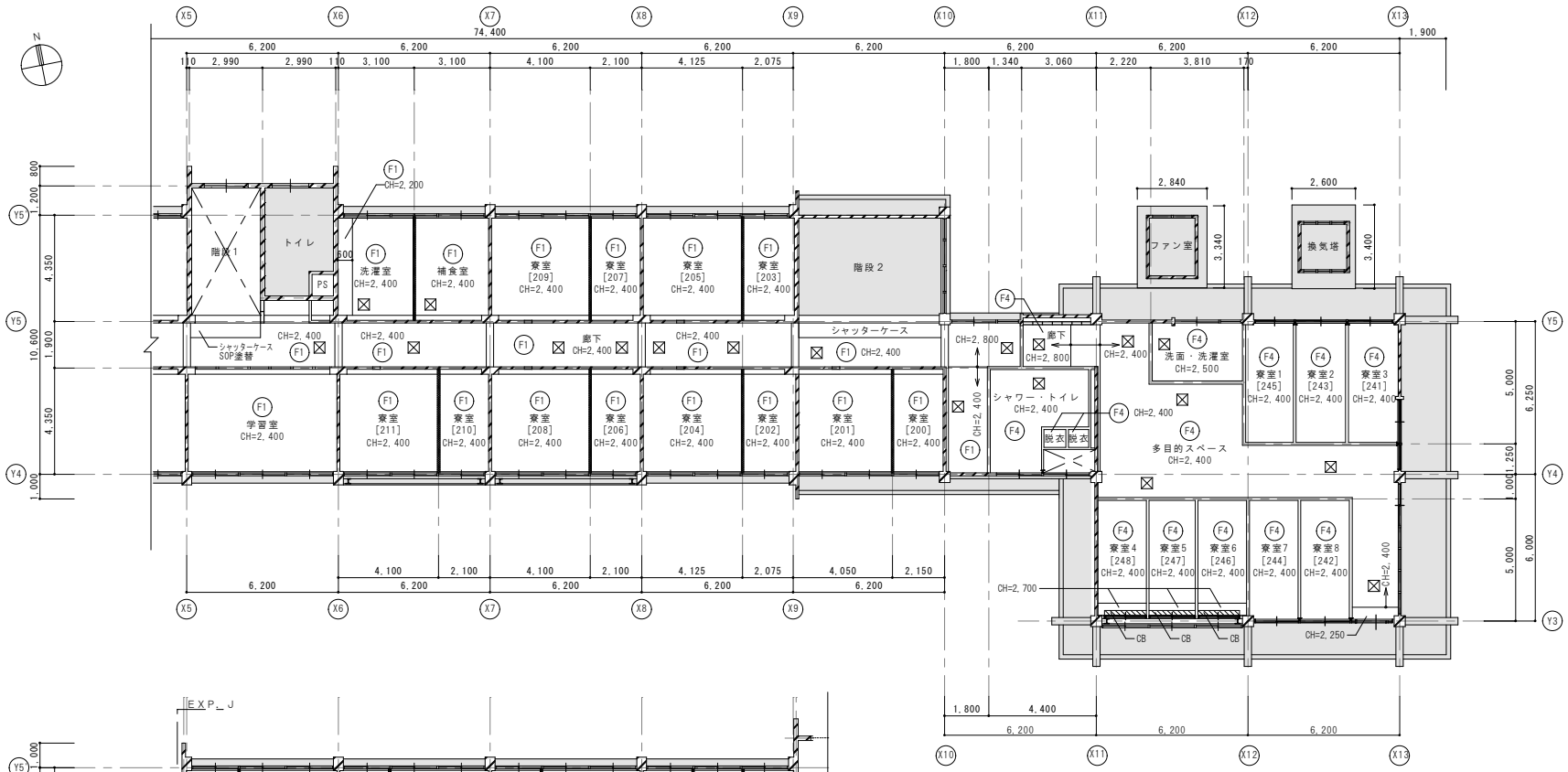
【天井改修凡例】※特記なき限り下地共新設とする

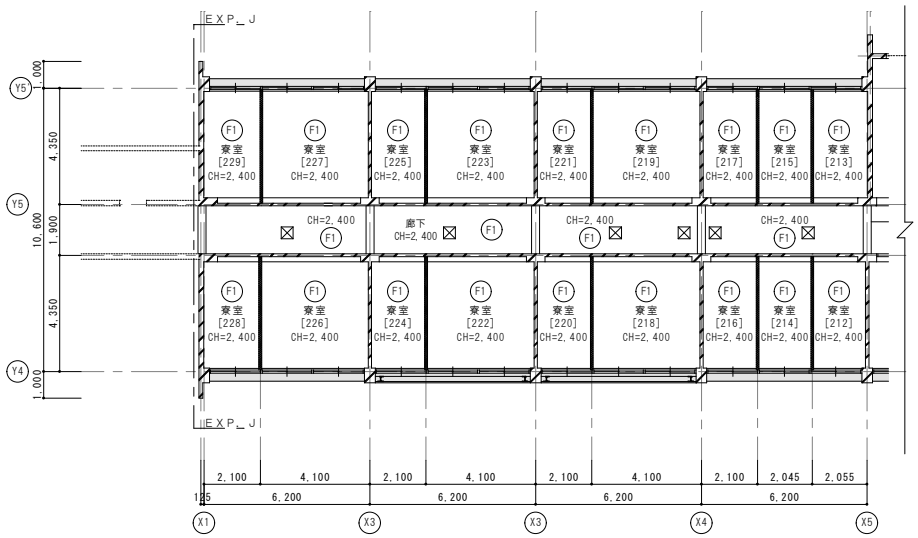
	改修後
F1	GB-D t9.5(下地共新設)
F2	GB-D t9.5 木目調(下地共新設)
F3	GB-R t9.0+DR t12(下地共新設)
F4	GB-P t9.5(下地共新設)
F5	FK t6.0 EP塗(下地共新設)
F6	化粧FK t6.0(下地共新設)
F7	GB-S t9.0+化粧FK t6 VE塗(下地共新設)
F8	RC(上裏) 可とう型外装用薄塗材Si(塗替)
F9	直天部 RCスラブ 下地調整の上EP塗
F10	外壁改修：指定範囲施工数量調査の上 劣化部補修+下地調整材C-2の上 可とう型外装用薄塗材E(一部新設)
F11	梁型 下地調整の上SOP塗
F12	既存仕上 VE塗(塗替)
CB	木製カーテンボックス W150×H100×t25 SOP塗 カーテンレール共(新設)
B	直付ブラインド(新設)
	天井点検口 450×450(新設)
a	照明器具開口補強 600×600(新設)
b	照明器具開口補強 1250×250(新設)
c	天井材吊変ボルト(4方向)開口補強 900×900

凡 例

	鉄筋コンクリート造
	CB造
	LGS造
	LGS造耐火・遮音間仕切
P	パーティション
PS	パイプスペース
	改修対象外範囲を示す

年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和７年度	令和７年７月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	1階天井伏図（改修後）	A1：1/100 A3：1/200	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社 TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号 FAX 092-522-5183 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11499号 一級建築士 国土交通大臣登録 第350116号 野田 康広						A-16





2階天井伏図(改修後) S=1/100

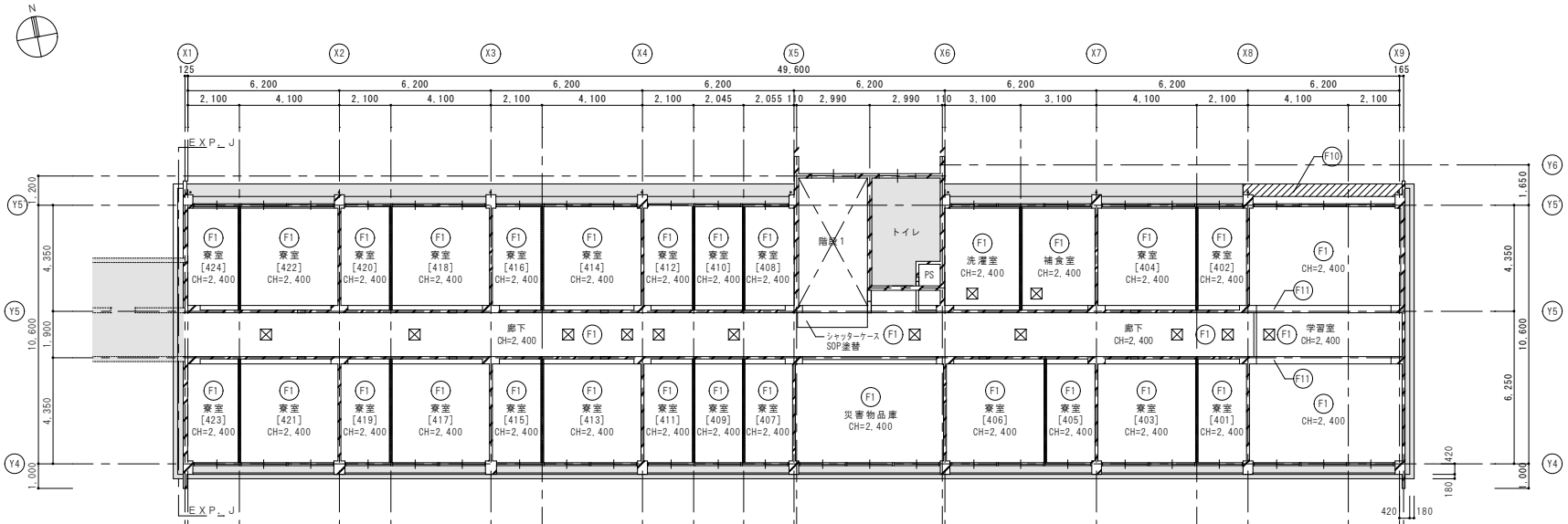
【天井改修凡例】※特記なき限り下地共新設とする

	改修後
F1	GB-D t9.5(下地共新設)
F2	GB-D t9.5 木目調(下地共新設)
F3	GB-R t9.0+DR t12(下地共新設)
F4	GB-P t9.5(下地共新設)
F5	FK t6.0 EP塗(下地共新設)
F6	化粧FK t6.0(下地共新設)
F7	GB-S t9.0+化粧FK t6 VE塗(下地共新設)
F8	RC(上裏) 可とう型外装用薄塗材Si(塗替)
F9	直天部 RCスラブ 下地調整の上EP塗
F10	外壁改修：指定範囲施工数量調査の上 劣化部補修+下地調整材C-2の上 可とう型外装用薄塗材E(一部新設)
F11	梁型 下地調整の上SOP塗
F12	既存仕上 VE塗(塗替)
CB	木製カーテンボックス W150×H100×t25 SOP塗 カーテンレール共(新設)
B	~~直付ブラインド(新設)~~
	天井点検口 450×450(新設)
a	照明器具開口補強 600×600(新設)
b	照明器具開口補強 1250×250(新設)
c	~~天井ボイド型ブラインド用開口補強 900×900~~

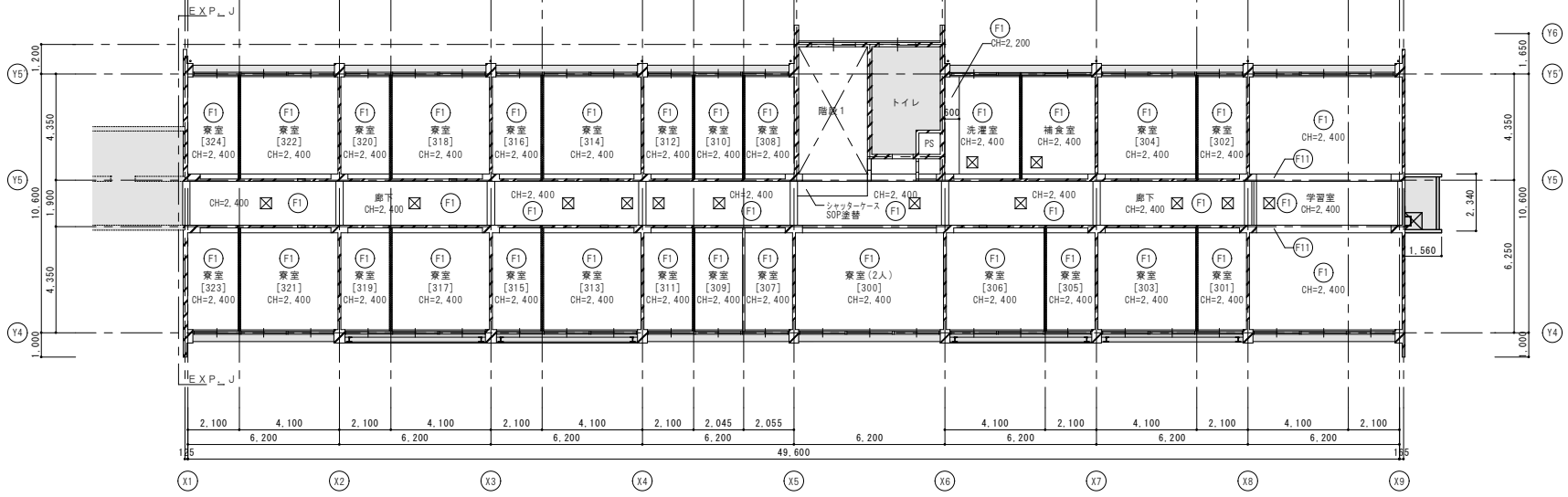
凡 例

	鉄筋コンクリート造
	ＣＢ造
	ＬＧＳ造
	LGS造耐火・遮音間仕切
P	パーティション
ＰＳ	パイプスペース
	改修対象外範囲を示す

年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第１項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和７年度	令和７年７月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	2階天井伏図（改修後）	A1：1/100 A3：1/200	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社 TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号 FAX 092-522-5183 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11499号 一級建築士 国土交通大臣登録 第350116号 野田 康広						A-17



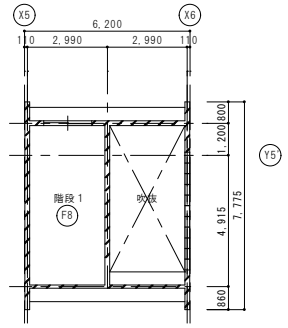
4階天井伏図(改修後) S=1/100



3階天井伏図(改修後) S=1/100

【天井改修凡例】※特記なき限り下地共新設とする

	改修後
F1	GB-D t9.5(下地共新設)
F2	GB-D t9.5 木目調(下地共新設)
F3	GB-R t9.0+DR t12(下地共新設)
F4	GB-P t9.5(下地共新設)
F5	FK t6.0 EP塗(下地共新設)
F6	化粧FK t6.0(下地共新設)
F7	GB-S t9.0+化粧FK t6 VE塗(下地共新設)
F8	RC(上裏) 可とう型外装用薄塗材Si(塗替)
F9	直天部 RCスラブ 下地調整の上EP塗
F10	外壁改修: 指定範囲施工数量調査の上 劣化部補修+下地調整材C-2の上 可とう型外装用薄塗材E(一部新設) 4.6㎡
F11	梁型 下地調整の上SOP塗
F12	既存仕上 VE塗(塗替)
CB	木製カーテンボックス W150×H100×t25 SOP塗 カーテンレール共(新設)
B	直付ブラインド(新設)
	天井点検口 450×450(新設)
a	照明器具開口補強 600×600(新設)
b	照明器具開口補強 1250×250(新設)
c	天井放射型ﾌｧﾝ(4方向)開口補強 900×900

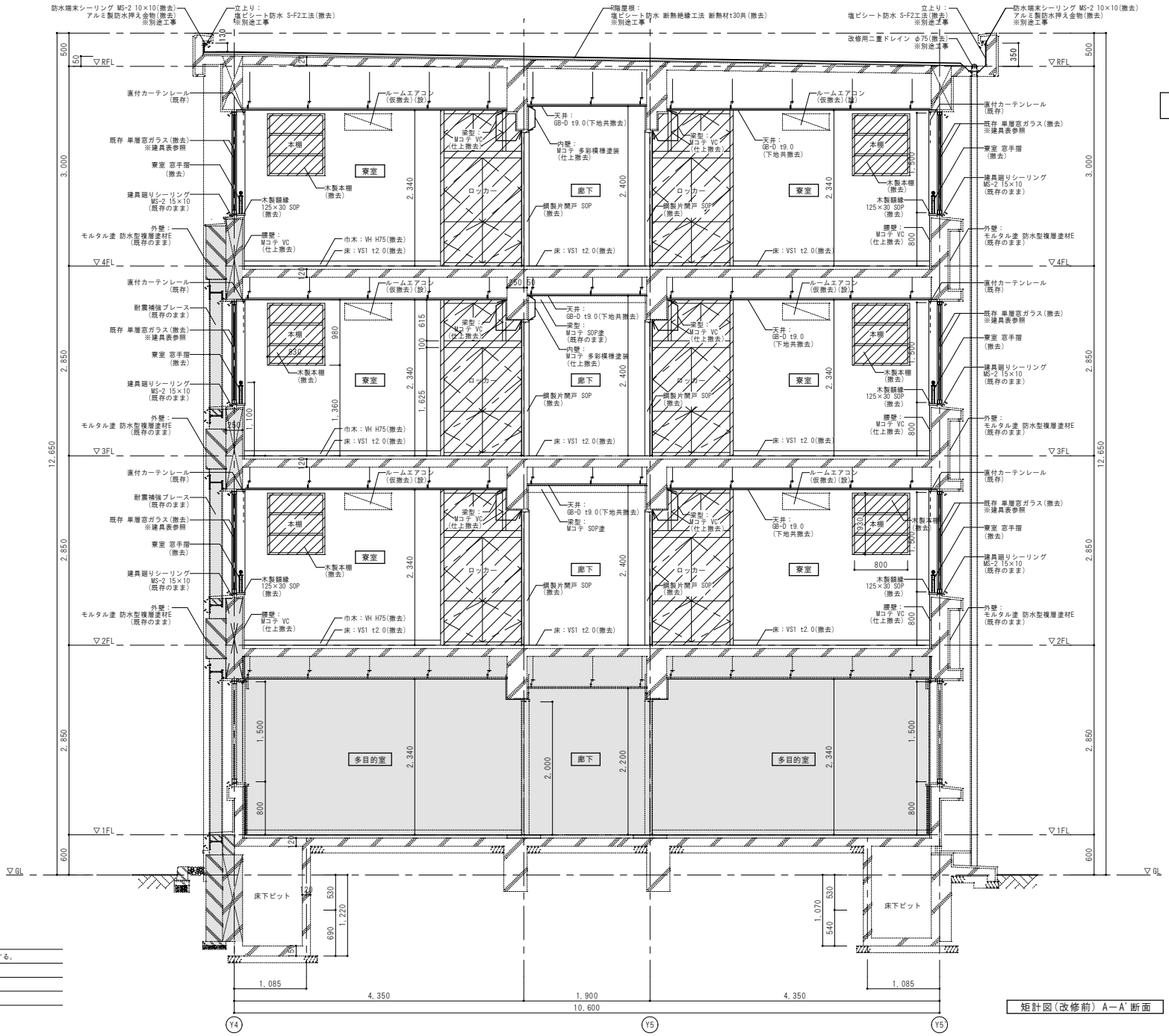


PH天井伏図(改修後) S=1/100

凡 例

	鉄筋コンクリート造
	CB造
	LGS造
	LGS造耐火・遮音間仕切
P	パーティション
PS	パイプスペース
	改修対象外範囲を示す

年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和7年度	令和7年7月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	3階・4階・PH天井伏図(改修後)	A1:1/100 A3:1/200	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社 TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号 FAX 092-522-5183 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11499号 一級建築士 国土交通大臣登録 第350116号 野田 康広						A-18



特記事項

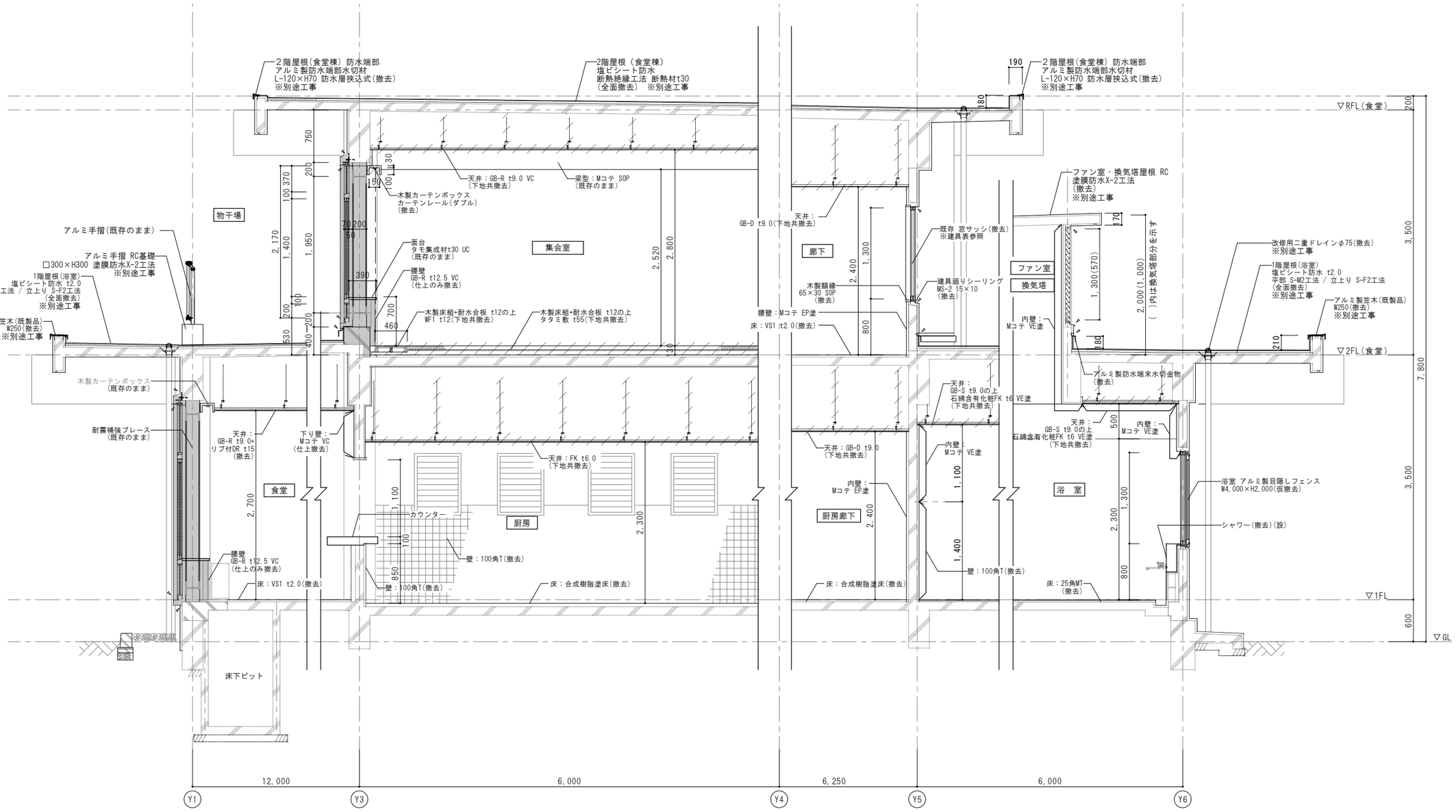
1. 天井塩ビ廻縁・内部ビニル巾木は特記なき限り撤去とする。
2. 室名札は全て撤去とする。
3. 寮室内の木製ロッカーは全て撤去とする。
4. 天井下地は一部を除き、特記なき限り撤去とする。

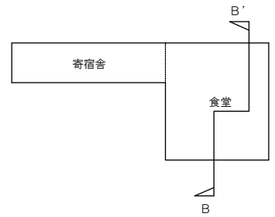
凡　例

- 撤去を示す
- 改修対象外範囲を示す

矩計図(改修前) A−A'断面

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和７年度	令和７年７月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	矩計図(1)（改修前）	A1：1/30 A3：1/60	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社　TEL 092-522-5311 東京都港区2丁目13番16号　FAX 092-522-5183 一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1-11499号 一級建築士　国土交通大臣登録　第350116号　野田 康広						A-19





特記事項

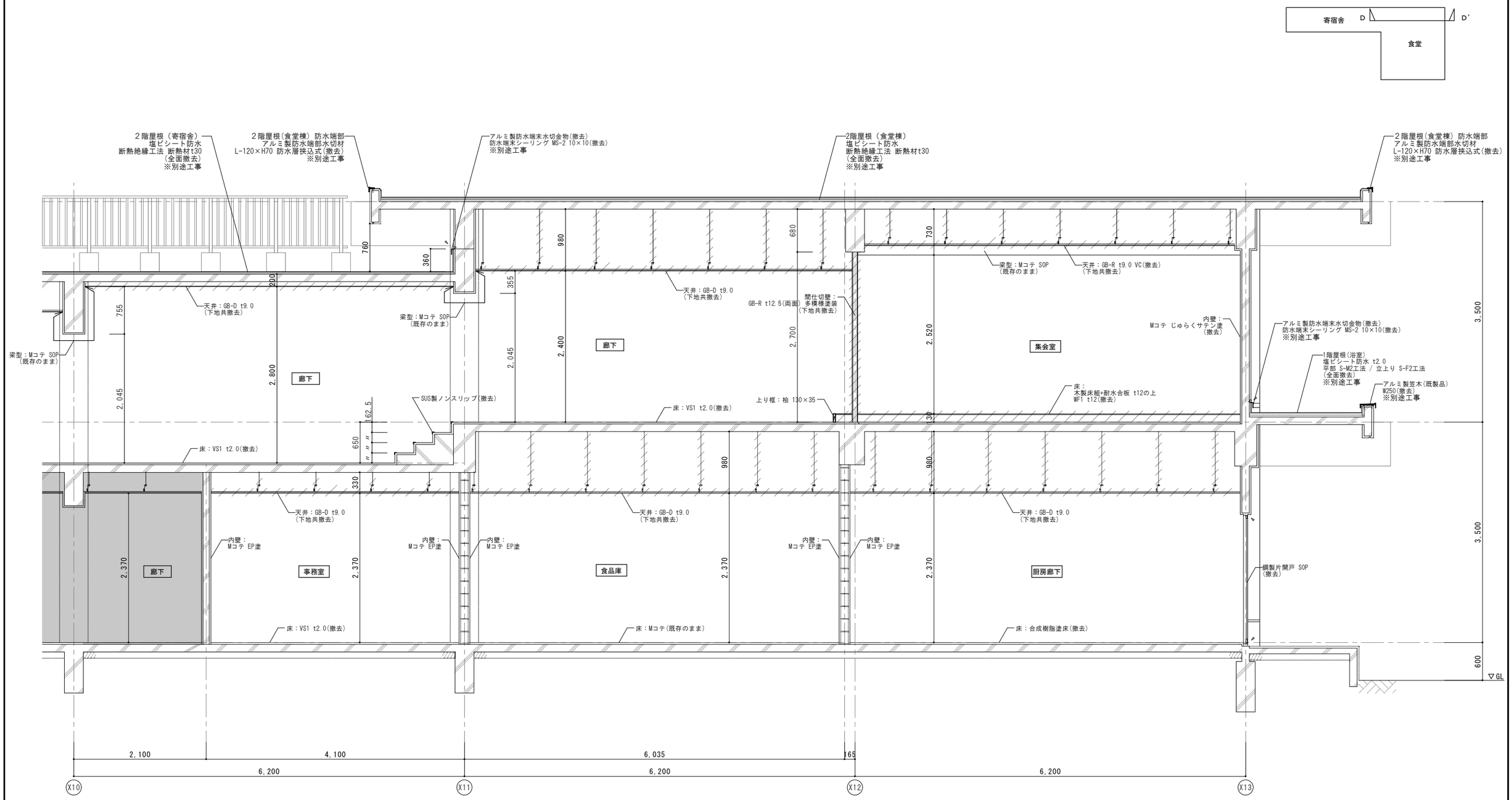
1. 天井塩ビ廻縁・内部ビニル巾木は特記なき限り撤去とする。
2. 室名札は全て撤去とする。
3. 寮室内の木製ロッカーは全て撤去とする。
4. 男子寮室部分の天井下地は一部を除き、特記なき限り撤去とする。

矩計図(改修前) B－B'断面

凡 例

／／	撤去を示す
■	改修対象外範囲を示す

年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和７年度	令和７年７月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	矩計図(2) (改修前)	A1：1/30 A3：1/60	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社 TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号 FAX 092-522-5183 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11499号 一級建築士 国土交通大臣登録 第350116号 野田 康広						A-20



矩計図(改修前) D－D'断面

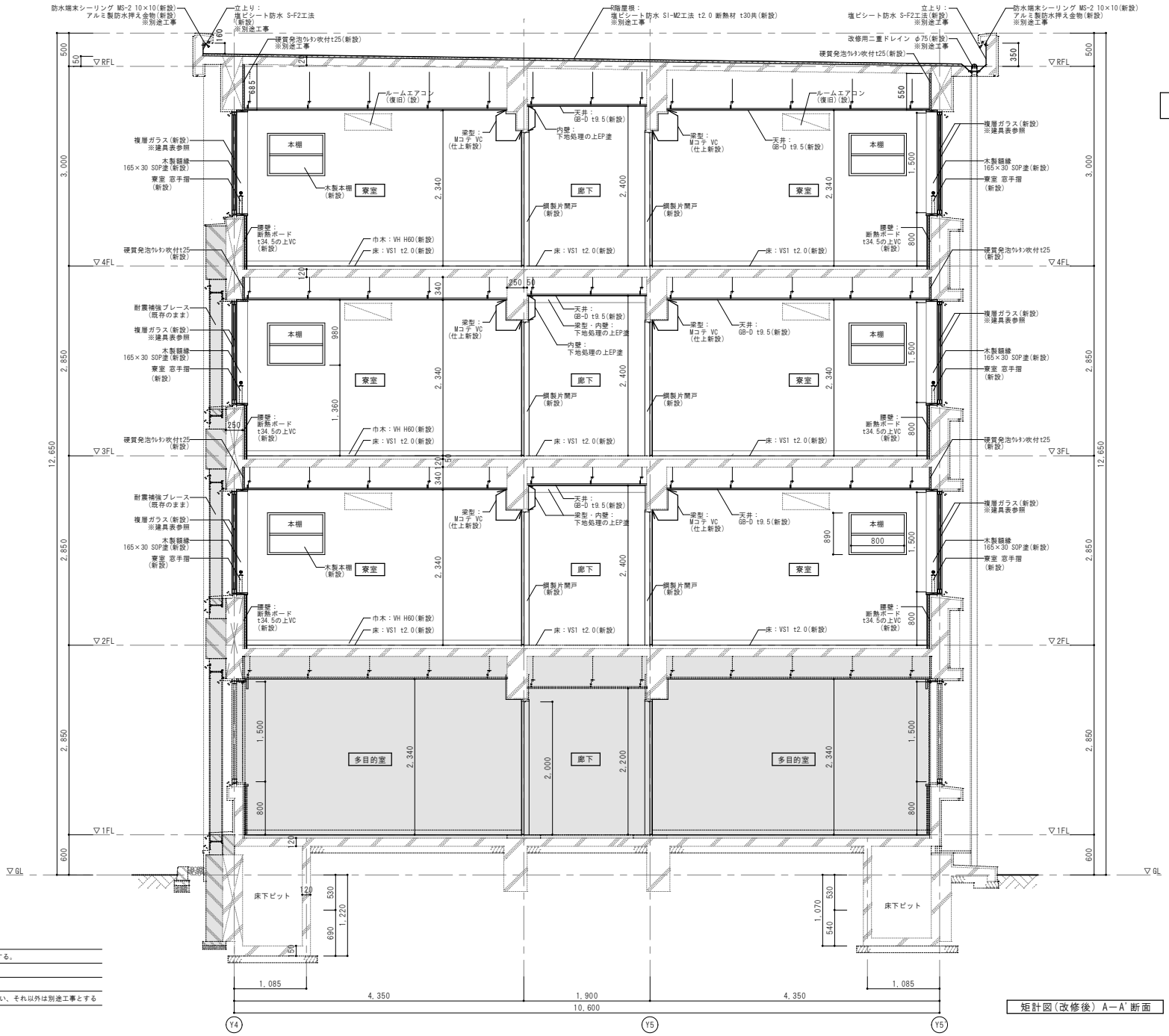
特記事項

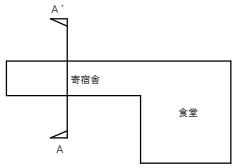
1. 天井塩ビ廻縁・内部ビニル巾木は特記なき限り撤去とする。
2. 室名札は全て撤去とする。
3. 寮室内の木製ロッカーは全て撤去とする。
4. 天井下地は一部を除き、特記なき限り撤去とする。

凡　例

／／／	撤去を示す
■	改修対象外範囲を示す

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第１項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和７年度	令和７年７月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	矩計図(3)（改修前）	A1：1/30 A3：1/60	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社　TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号　FAX 092-522-5183 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11499号 一級建築士 国土交通大臣登録 第350116号 野田 康広						A-21





特記事項

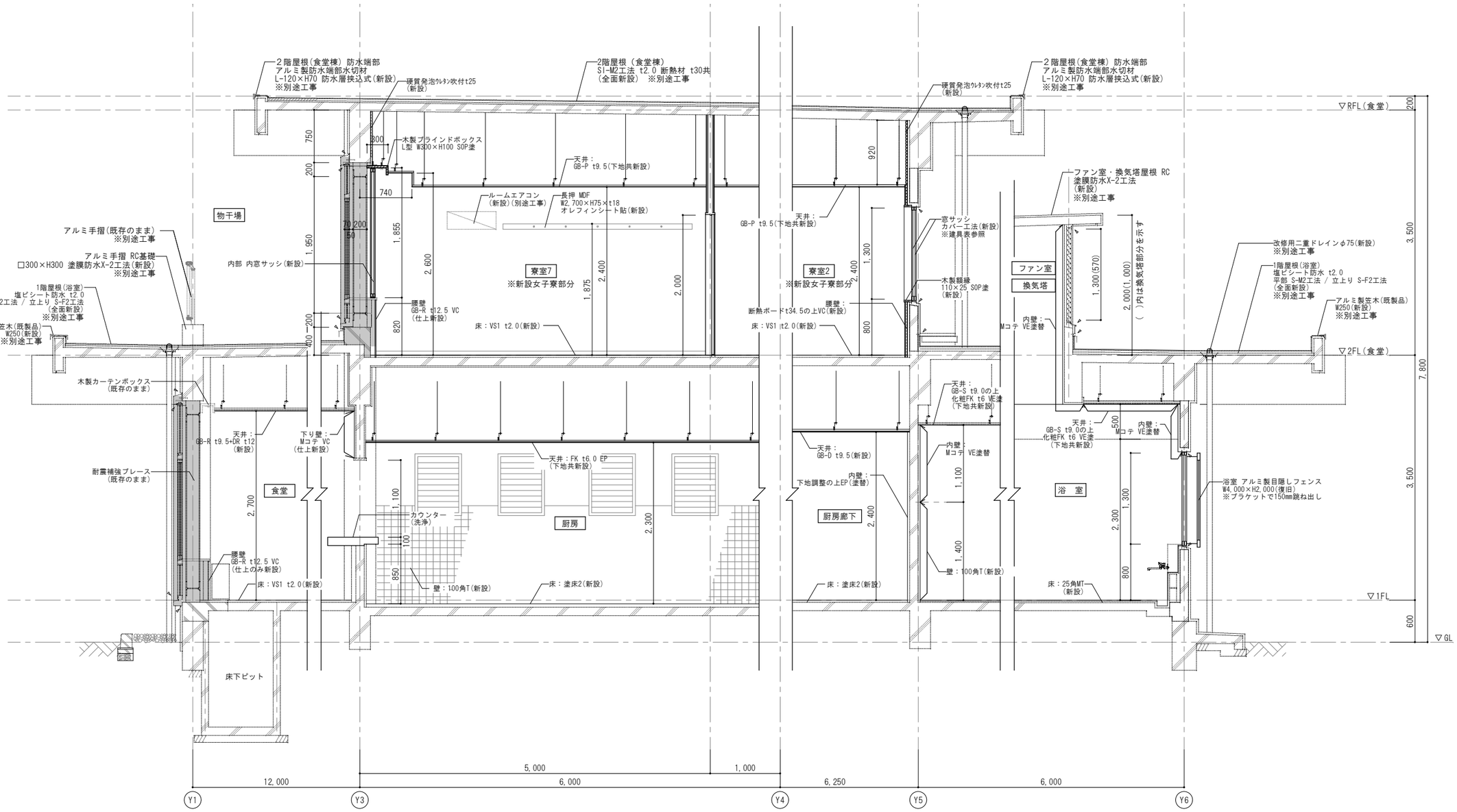
1. 天井塩ビ廻縁・内部ビニル巾木は特記なき限り新設とする。
2. 室名札は全て新設とする。
3. 男子室の天井下地は特記なき限り新設とする。
4. 寮室内のルームエアコンの復旧は4階分を設備工事で行い、それ以外は別途工事とする

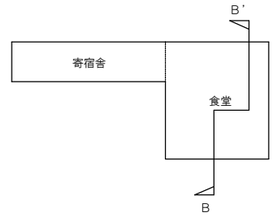
凡　例

改修対象外範囲を示す

矩計図(改修後) A−A'断面

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和７年度	令和７年７月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	矩計図(1)（改修後）	A1：1/30 A3：1/60	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社　TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号　FAX 092-522-5183 一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1-11499号 一級建築士　国土交通大臣登録　第350116号　野田 康広						A-22





特記事項

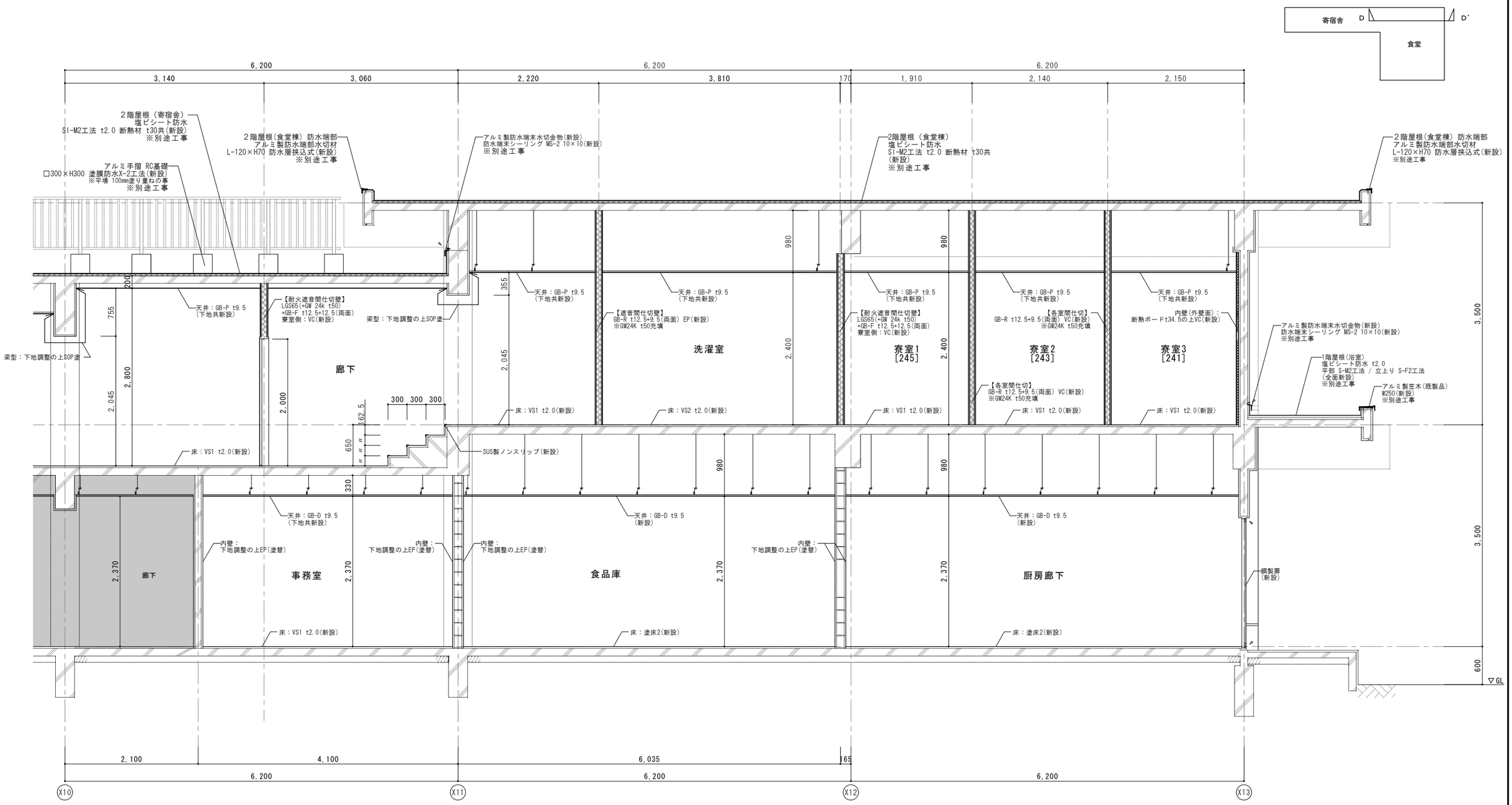
1. 天井塩ビ廻縁・内部ビニル巾木は特記なき限り撤去とする。
2. 室名札は全て撤去とする。
3. 寮室内の木製ロッカーは全て撤去とする。
4. 男子寮室部分の天井下地は一部を除き、特記なき限り既存のままとする。

矩計図(改修前) B－B'断面

凡　例

／／	撤去を示す
■	改修対象外範囲を示す

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第１項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和７年度	令和７年７月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	矩計図(2)（改修後）	A1：1/30 A3：1/60	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社　TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号　FAX 092-522-5183 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11499号 一級建築士 国土交通大臣登録 第350116号 野田 康広						A-23



矩計図(改修後) D－D'断面

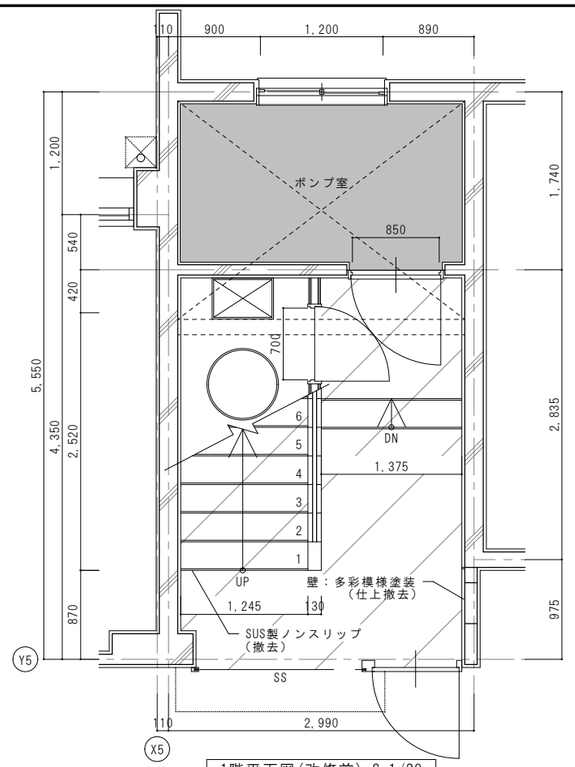
特記事項

1. 天井塩ビ廻縁・内部ビニル巾木は特記なき限り新設とする。
2. 室名札は全て新設とする。
3. 天井下地は特記なき限り新設とする。
4. 寮室内のルームエアコンの復旧は4階分を設備工事で行い、それ以外は別途工事とする

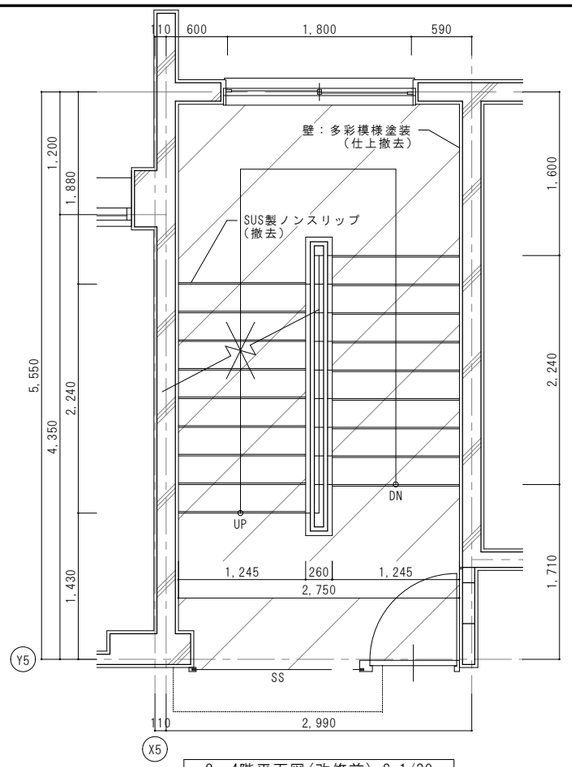
凡　例

／／	撤去を示す
■	改修対象外範囲を示す

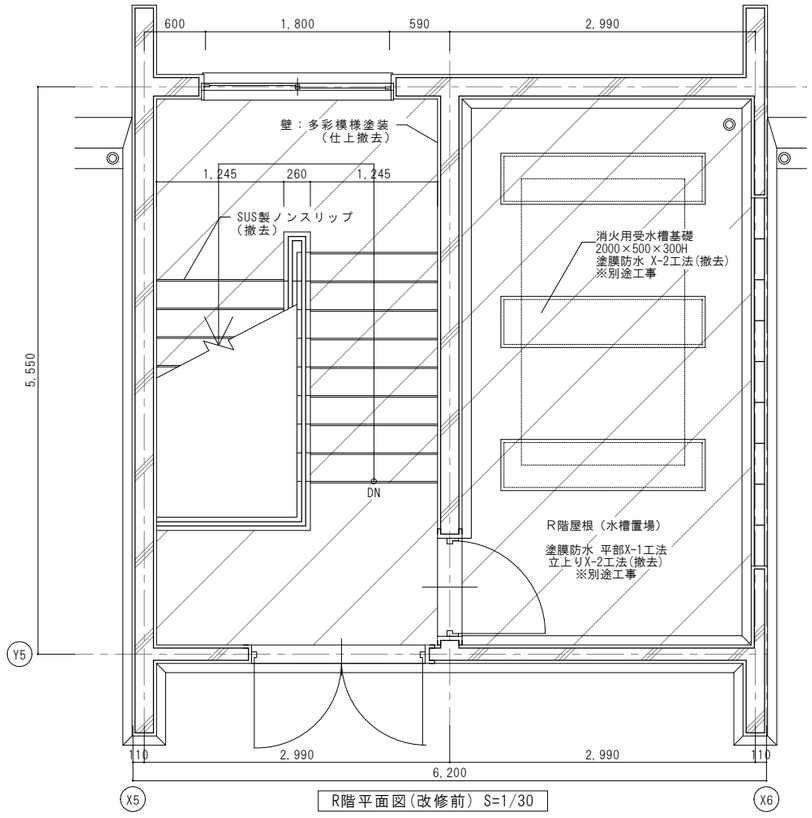
年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第１項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和７年度	令和７年７月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	矩計図(3)（改修後）	A1：1/30 A3：1/60	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社　TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号　FAX 092-522-5183 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11499号 一級建築士 国土交通大臣登録 第350116号 野田 康広						A-24



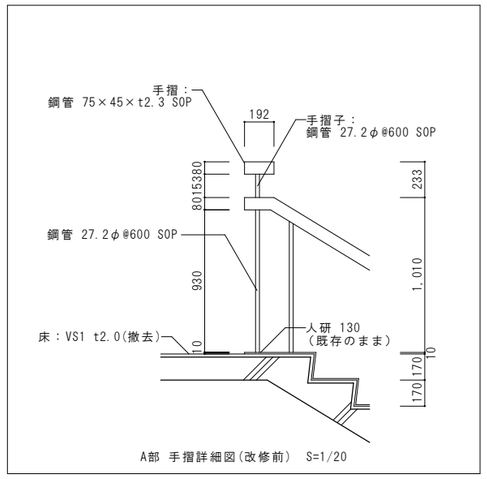
1階平面図(改修前) S=1/30



2～4階平面図(改修前) S=1/30



R階平面図(改修前) S=1/30

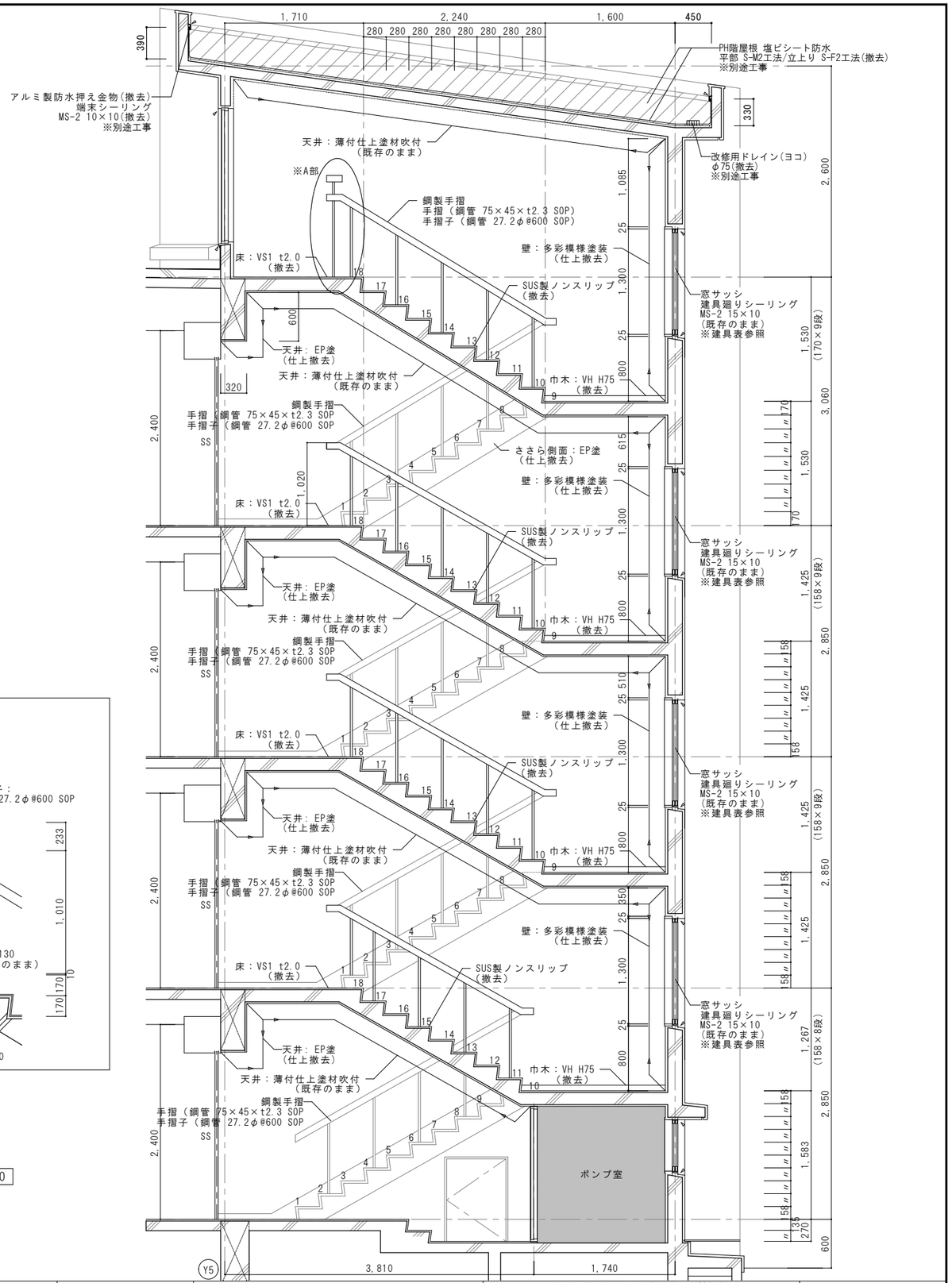


A部 手摺詳細図(改修前) S=1/20

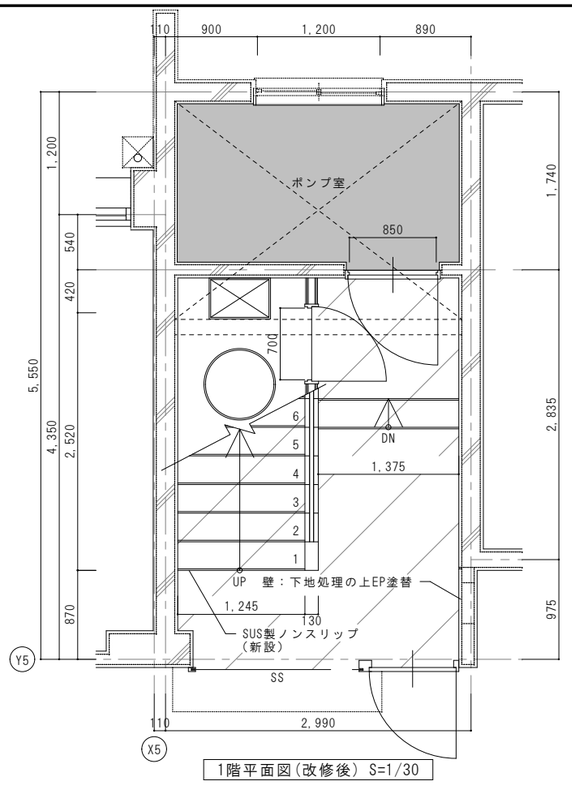
断面詳細図(改修前) S=1/30

凡例

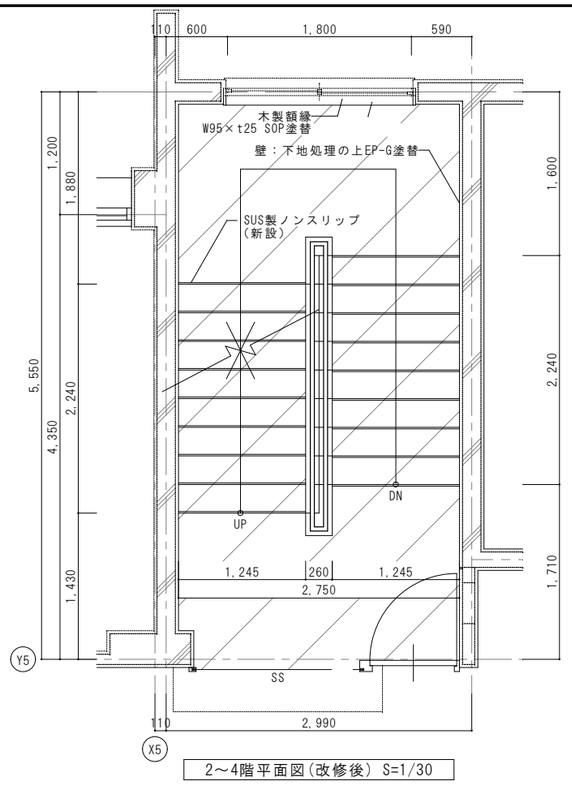
	床仕上撤去範囲を示す
	改修対象外範囲を示す



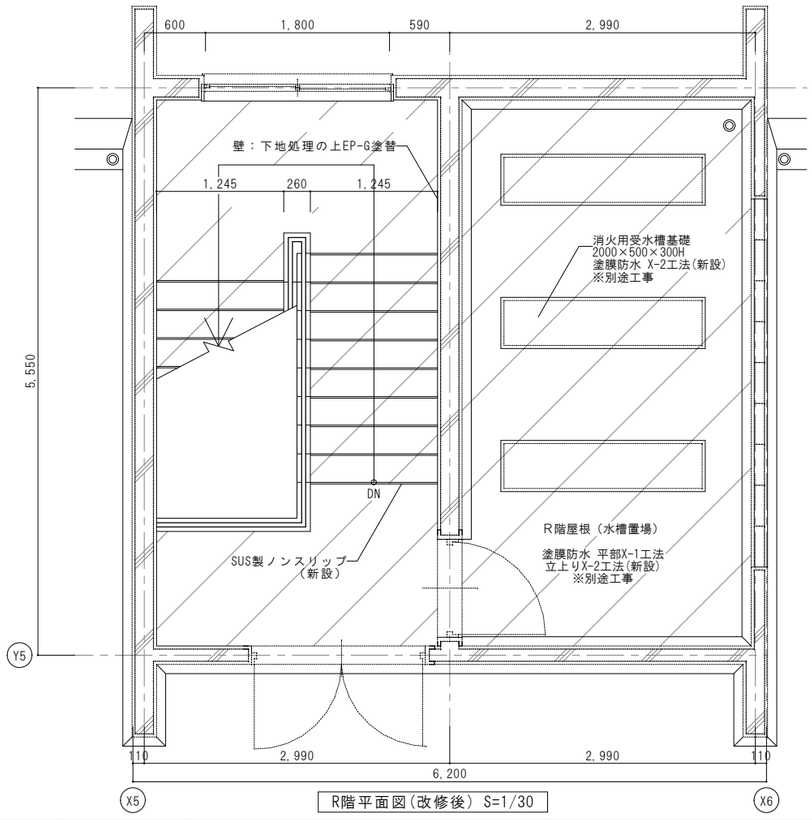
年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和７年度	令和７年７月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	階段室1 階段詳細図(改修前)	A1：1/30 A3：1/60	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社 TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号 FAX 092-522-5183 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11499号 一級建築士 国土交通大臣登録 第350116号 野田 康広						A-25



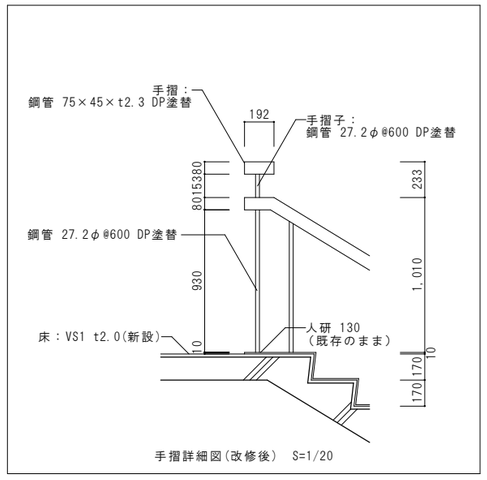
1階平面図(改修後) S=1/30



2～4階平面図(改修後) S=1/30



R階平面図(改修後) S=1/30

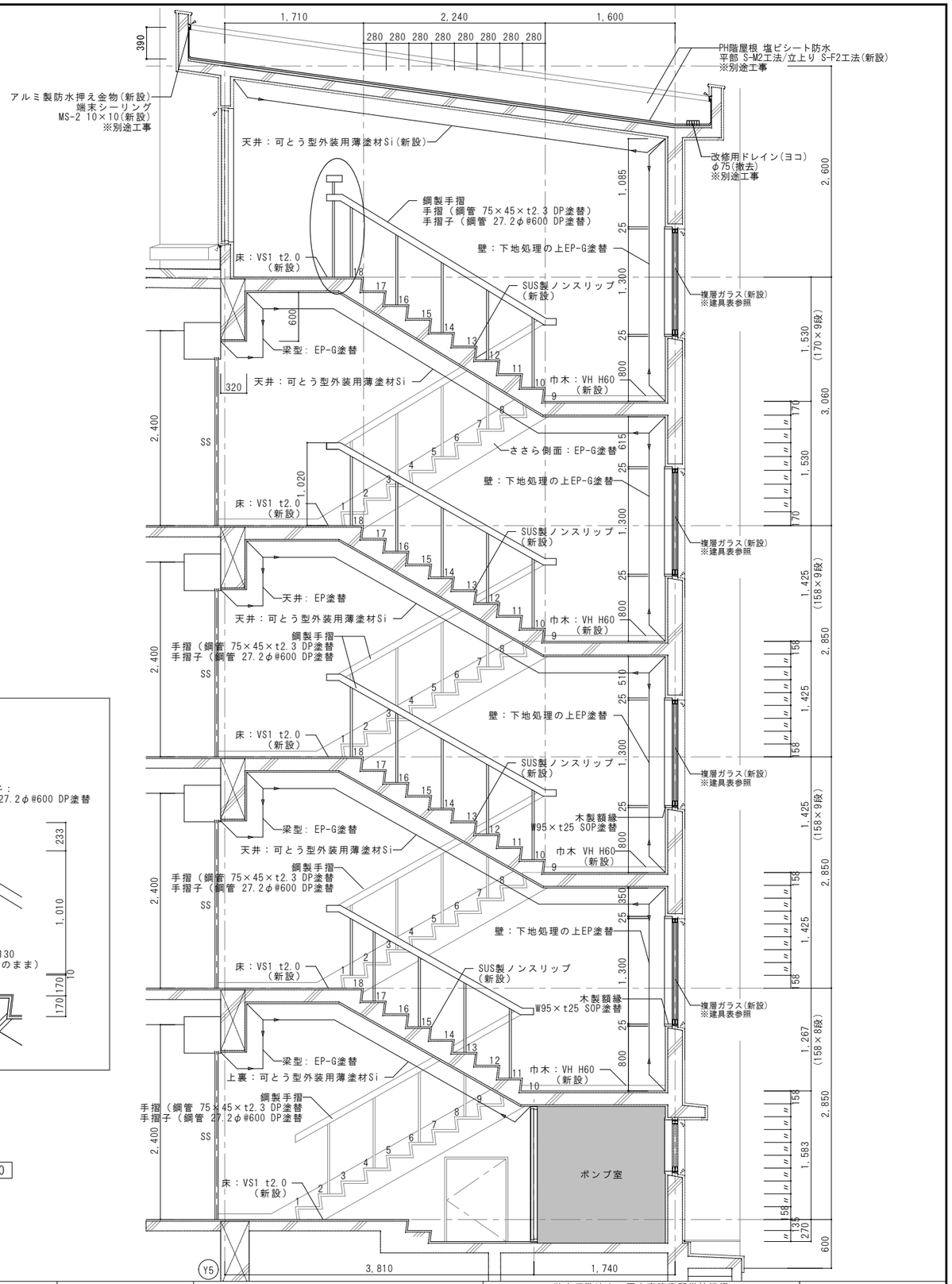


手摺詳細図(改修後)　S=1/20

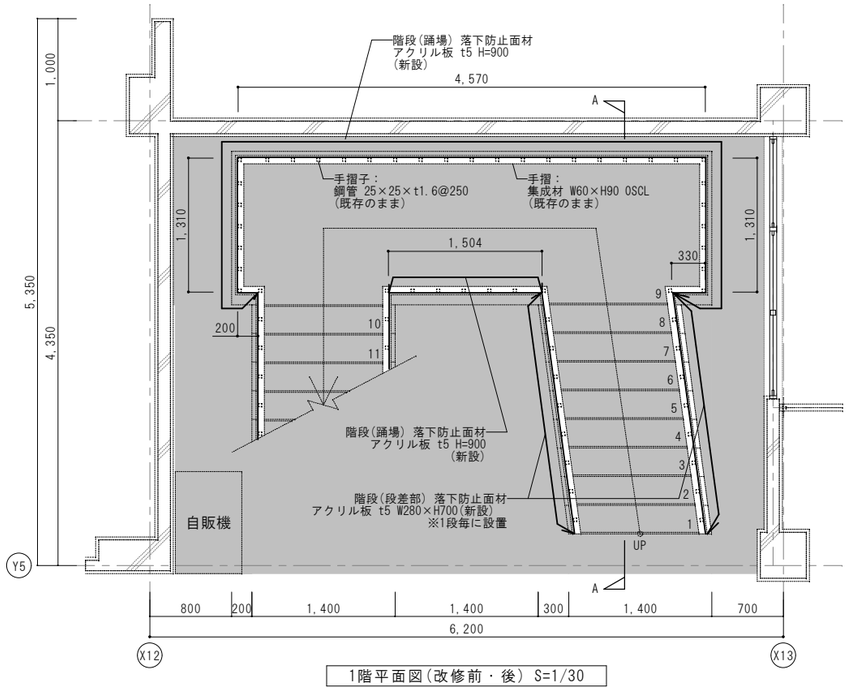
断面詳細図(改修後) S=1/30

凡例

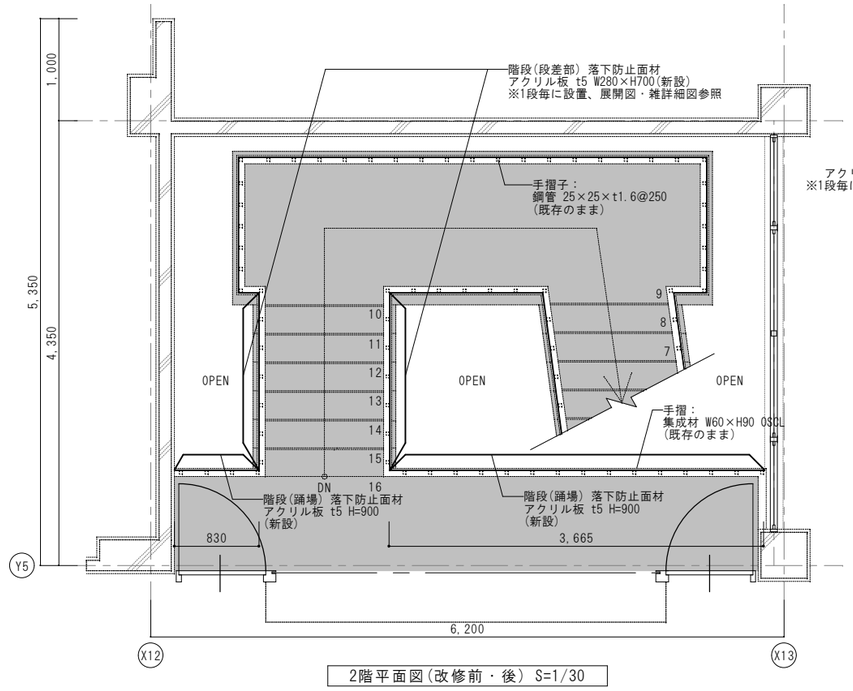
	床仕上新設範囲を示す
	改修対象外範囲を示す



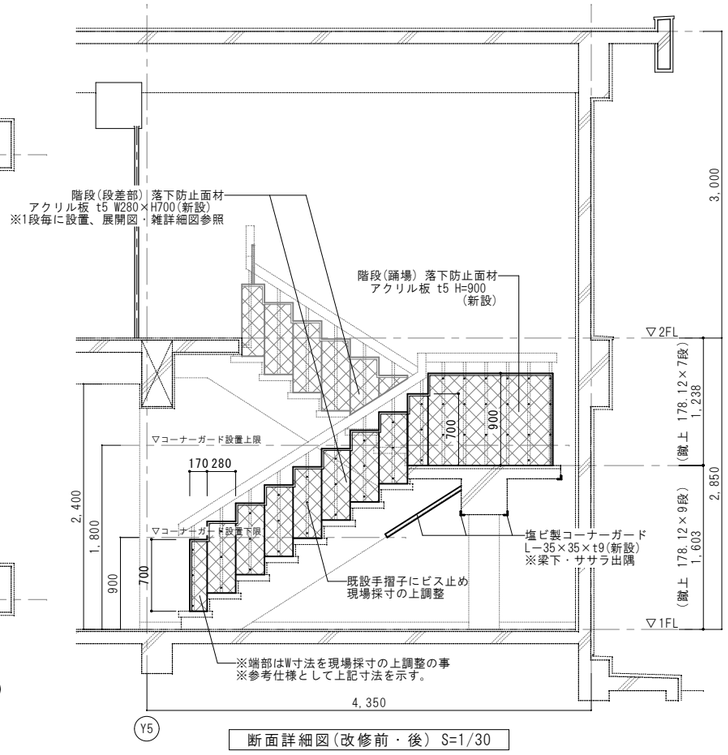
年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第１項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和７年度	令和７年７月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	階段室1 階段詳細図(改修後)	A1：1/30 A3：1/60	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社　TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号　FAX 092-522-5183 一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1-11499号 一級建築士　国土交通大臣登録　第350116号　野田 康広						A-26



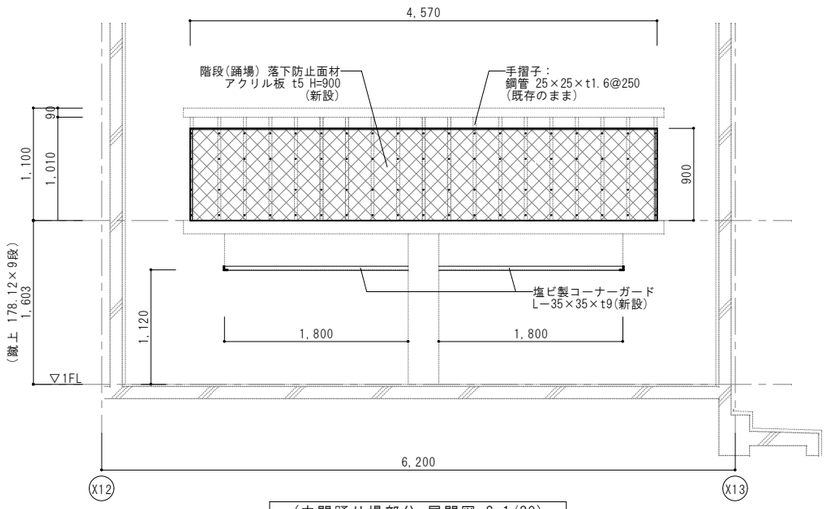
1階平面図(改修前・後) S=1/30



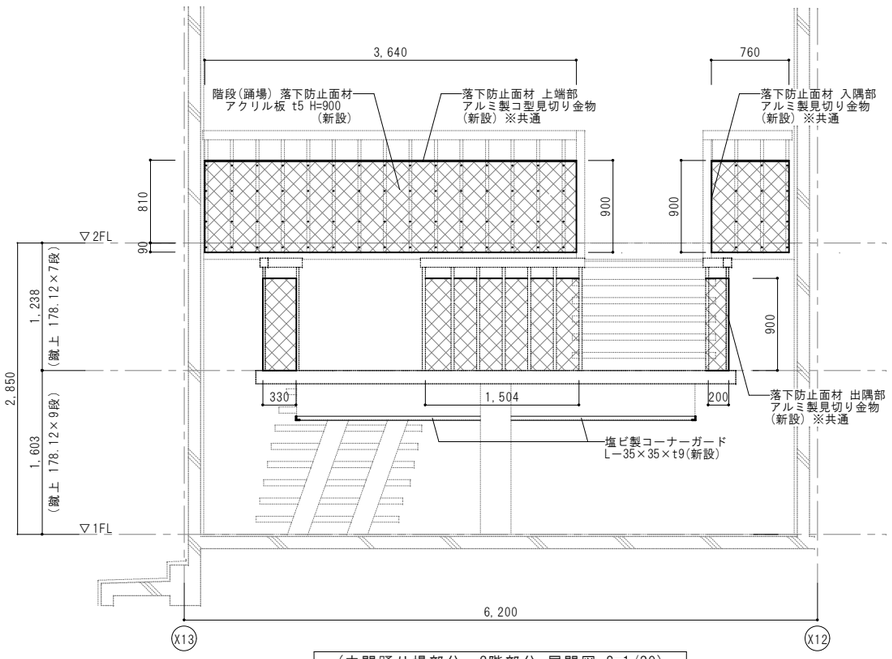
2階平面図(改修前・後) S=1/30



断面詳細図(改修前・後) S=1/30



(中間踊り場部分 展開図 S=1/30)



(中間踊り場部分・2階部分 展開図 S=1/30)

【凡例】

	落下防止面材 設置範囲を示す
	改修対象外範囲を示す

【階段室2：落下防止面材・コーナーガード 特記事項】

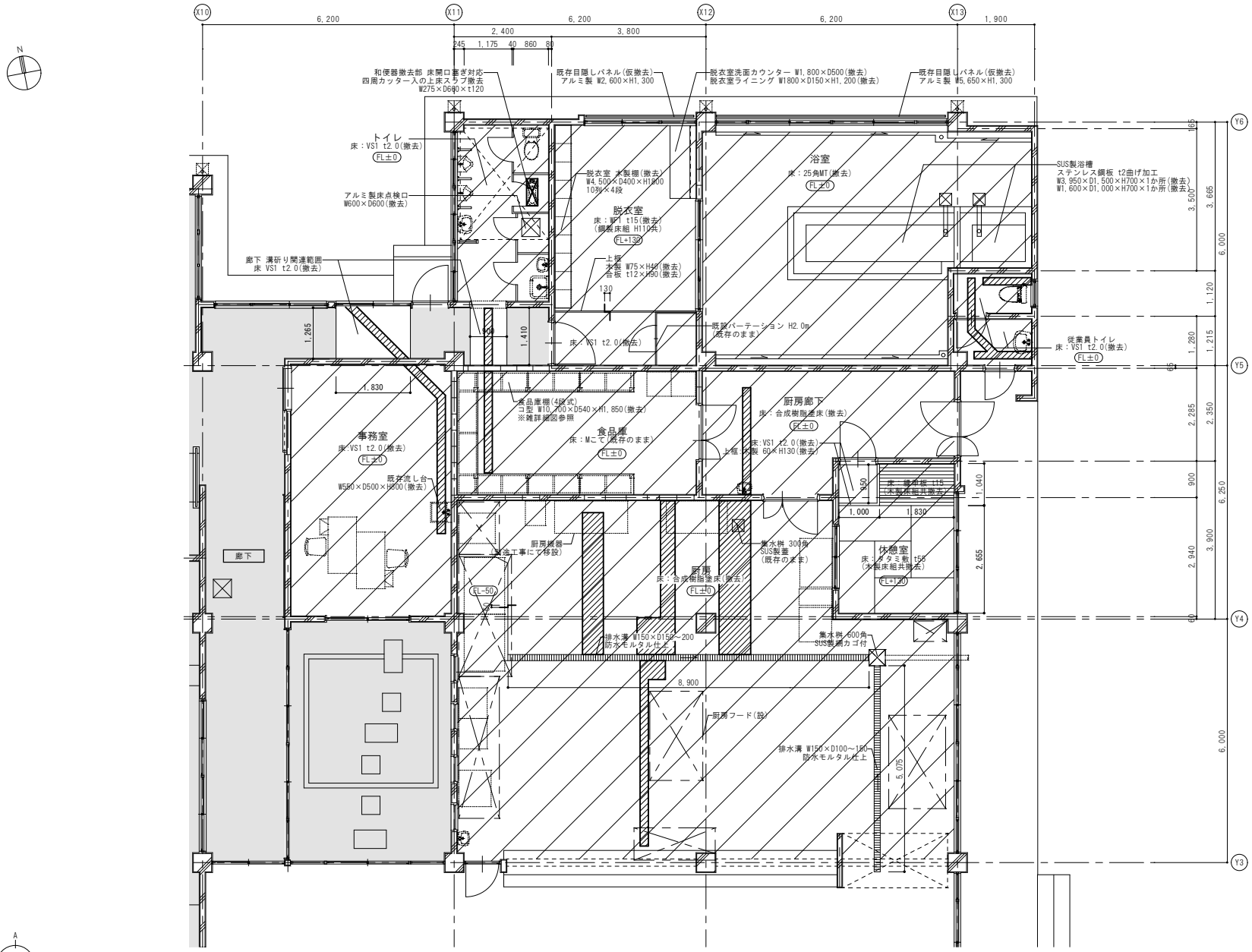
■特記なき限り、階段の仕上材等は既存のままとする。
また、本図は参考図として仕様を示す。
施工にあたっては現地採寸・承認図を作成の上、
監督職員の確認を受けて施工を実施する事。

■本図で示す落下防止面材は アクリル板 t5とする事

■固定は鋼製手摺子に直接取り付けとし、以下の施工要領によること。
・アクリル板は手摺子の外側に設ける。内側(通行部分)には設けない事。
・アクリル板にはφ6mmの長穴加工（熱膨張対策）を施す
・手摺子には下穴を設けた上で、SUS製トラス頭タッピングビスにより固定
・樹脂製ワッシャーを併用し、締付面の損傷を防止すること
・ビスピッチは300mm以内とし、バタつき・浮き上がりがないよう確実に固定すること。
・手が触れる可能性のある面材上端部・出隅・入隅部には
5mm用のアルミ製見切り金物を設け、端部のバリ露出・手当たりを防止すること。

■踊り場の梁下・ササラ桁の梁下高さが低く、学生・職員の接触リスクが高い為
安全性と視認性の両面に配慮し、梁とササラ桁の出隅部には
FL+900～1800mmの範囲で塩ビ製コーナーガードを設置するものとする。

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第１項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和７年度	令和７年７月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	階段2 階段詳細図(改修前・後)	A1：1/30 A3：1/60	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社　TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号　FAX 092-522-5183 一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1-11499号 一級建築士　国土交通大臣登録　第350116号　野田 康広						A-27



凡例

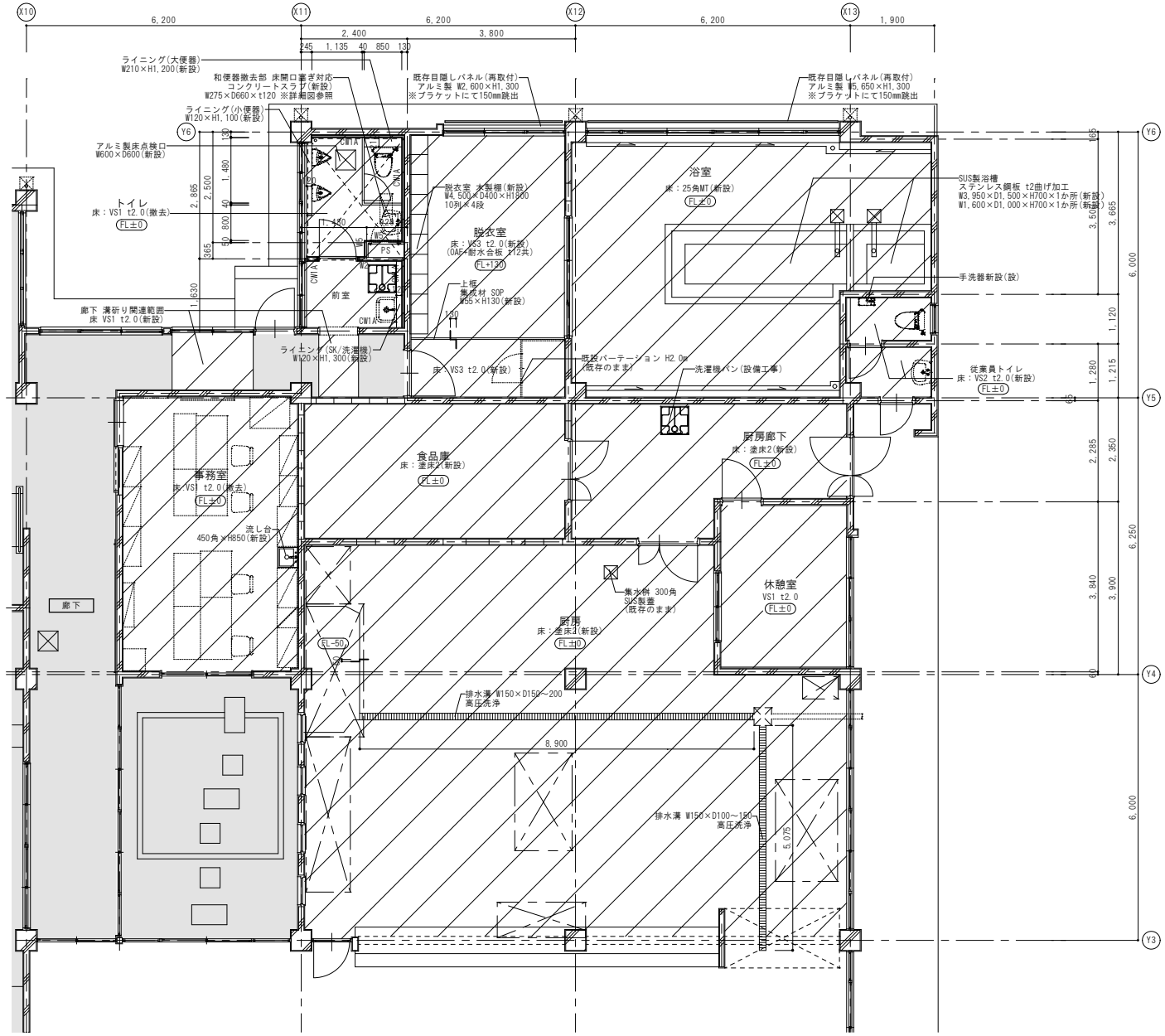
	床仕上レベル
	RC壁
	CB壁
	改修対象外範囲を示す
	水勾配を示す。
	設備配管施工 溝斫り範囲を示す。 カッター入の上床スラブ t120(撤去) 配管施工後 床スラブ t120(復旧)

■特記事項

・厨房内の厨房機器の移設・復旧は別途工事

・床スラブのコンクリートの基準強度は
Fc24 S18とする

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第１項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和７年度	令和７年７月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	1階平面詳細図(改修前)	A1：1/50 A3：1/100	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社　TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号　FAX 092-522-5183 一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1-11499号 一級建築士　国土交通大臣登録　第350116号　野田 康広						A-28



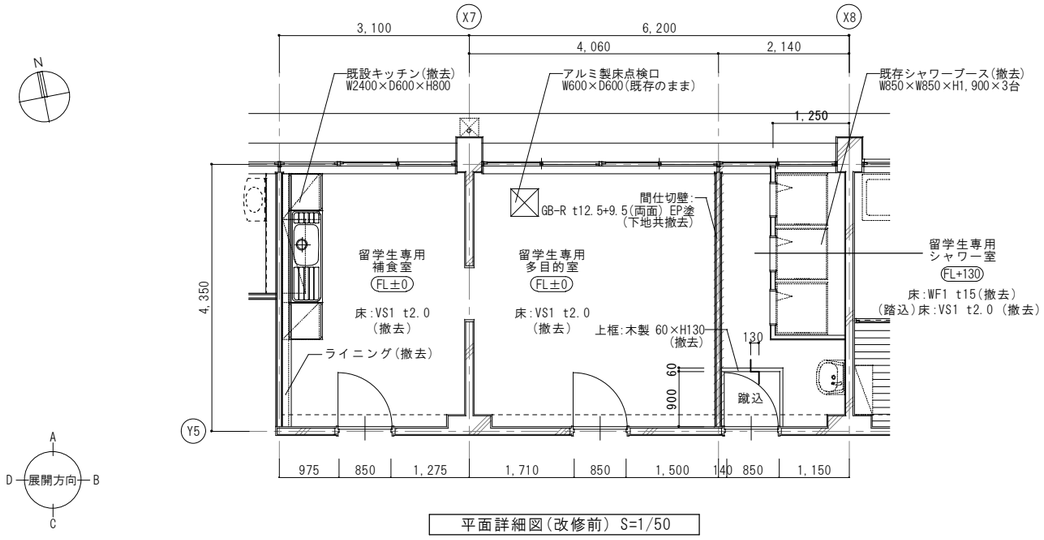
凡例

	床仕上レベル
	RC壁
	CB壁
	改修対象外範囲を示す
	水勾配を示す。
W*/CW*	新規間仕切壁・壁仕上 壁符号を示す(雑詳細図参照)

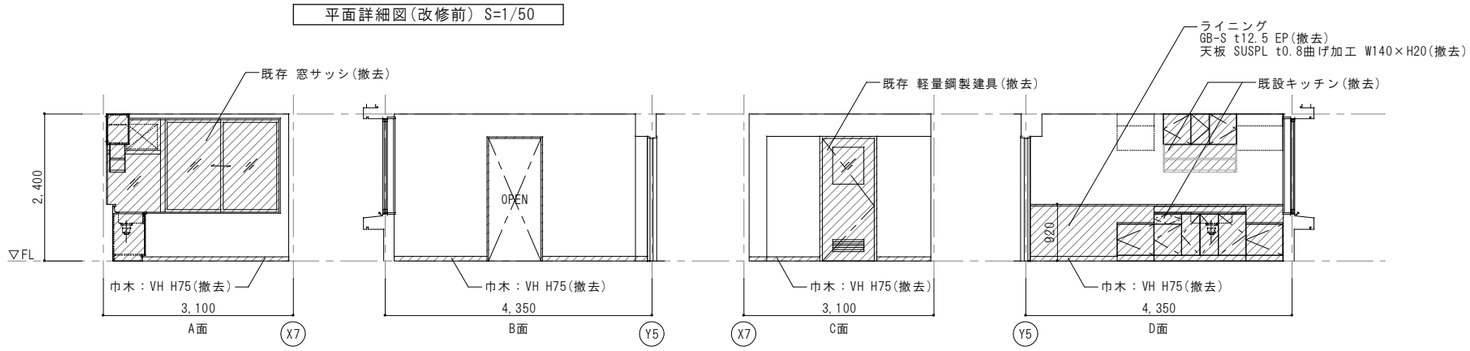
■特記事項

・厨房内の厨房機器の移設・復旧は別途工事

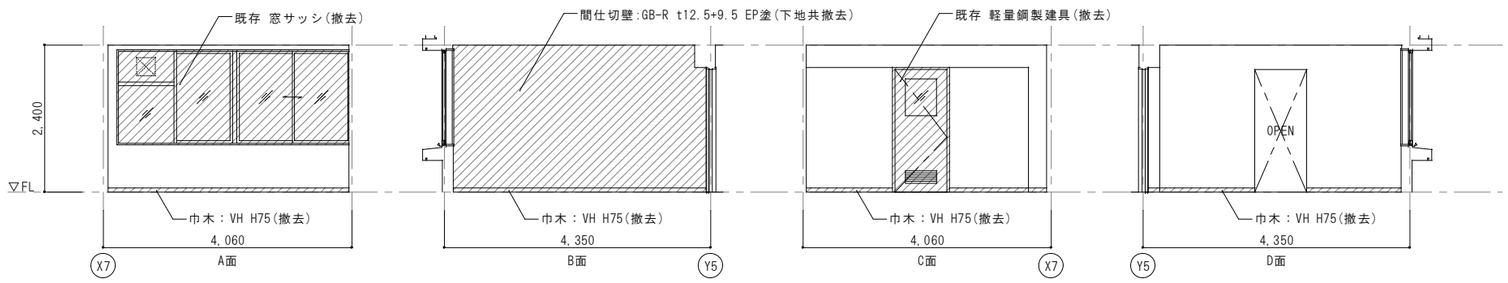
年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第１項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和７年度	令和７年７月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	1階平面詳細図(改修後)	A1：1/50 A3：1/100	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社　TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号　FAX 092-522-5183 一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1-11499号 一級建築士　国土交通大臣登録　第350116号　野田 康広						A-29



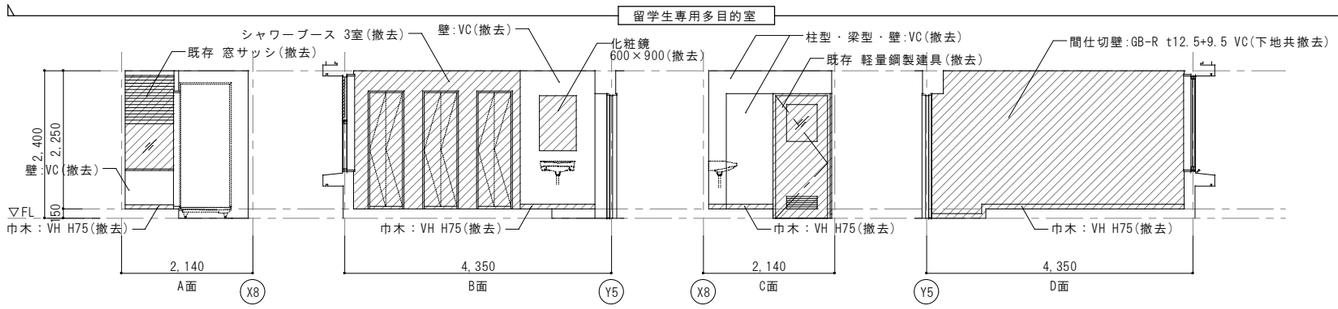
平面詳細図(改修前) S=1/50



留学生専用補食室



留学生専用多目的室

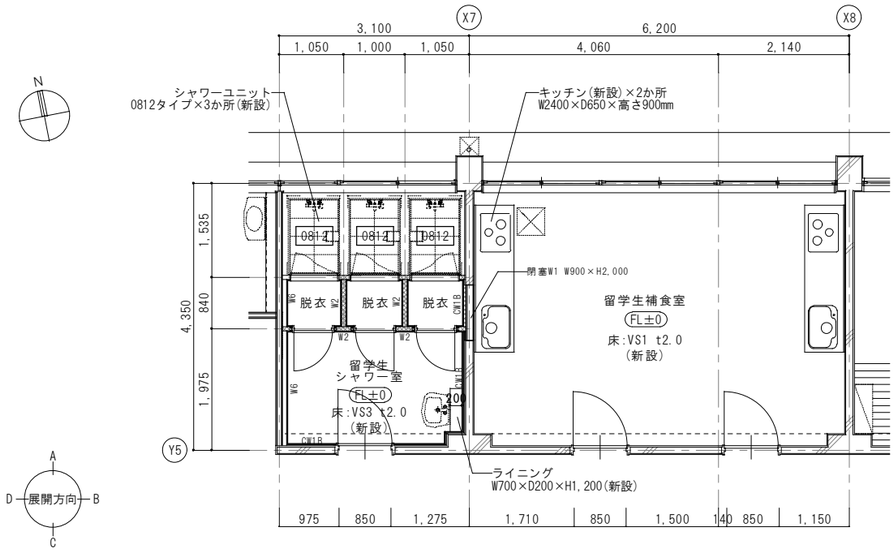


留学生専用シャワー室

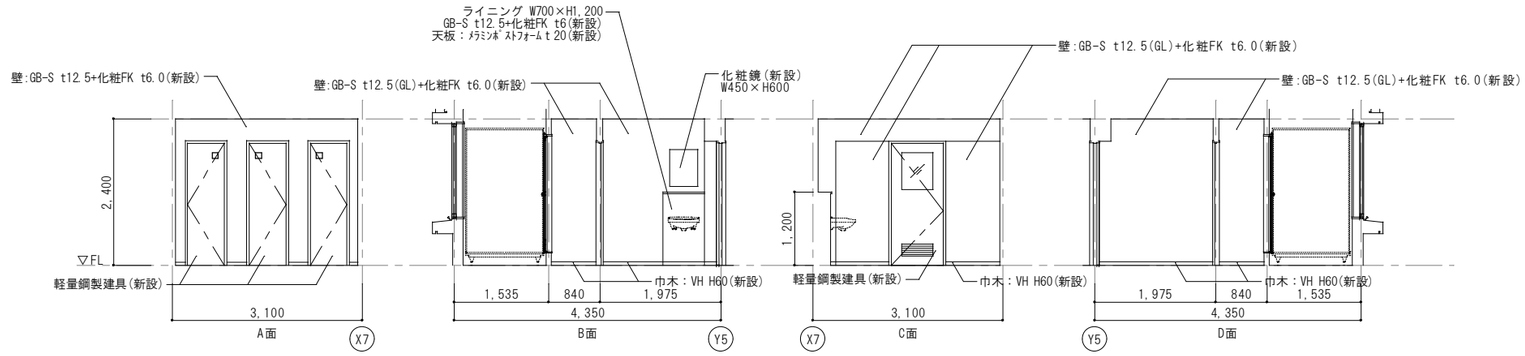
凡例

	床仕上レベル
	RC壁
	CB壁
	撤去を示す
	改修対象外範囲を示す
	水勾配を示す。

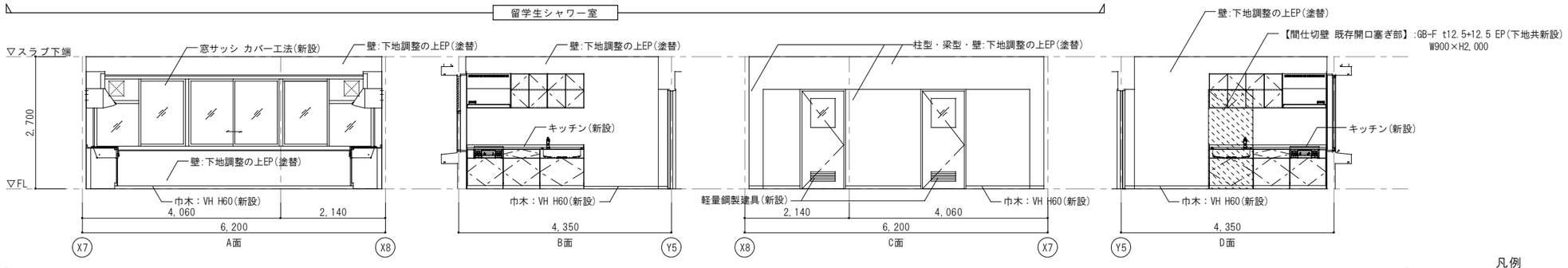
年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第１項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和７年度	令和７年７月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	留学生専用補食室・留学生専用多目的室 留学生専用シャワー室 平面詳細図・展開図(改修前)	A1：1/50 A3：1/100	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社　TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号　FAX 092-522-5183 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11499号 一級建築士 国土交通大臣登録 第350116号 野田 康広						A-30



平面詳細図(改修前) S=1/50



留学生シャワー室

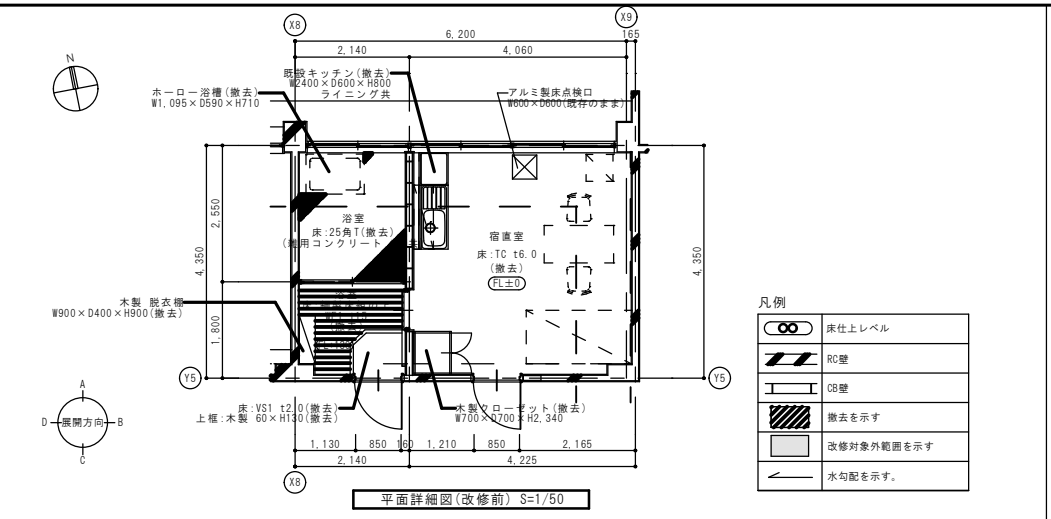


留学生補食室

凡例

○○	床仕上レベル
	RC壁
	CB壁
	改修対象外範囲を示す
	水勾配を示す。
W*/CW*	新規間仕切壁・壁仕上 壁符号を示す(雑詳細図参照)

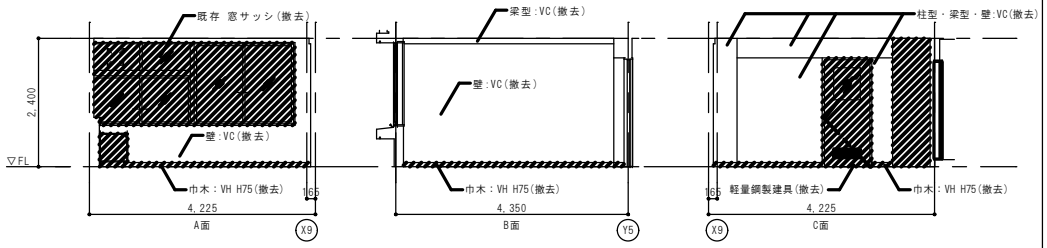
年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和７年度	令和７年７月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	留学生専用捕食室・留学生専用多目的室 留学生専用シャワー室 平面詳細図・展開図(改修後)	A1：1/50 A3：1/100	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社　TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号　FAX 092-522-5183 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11499号 一級建築士 国土交通大臣登録 第350116号 野田 康広						A-31



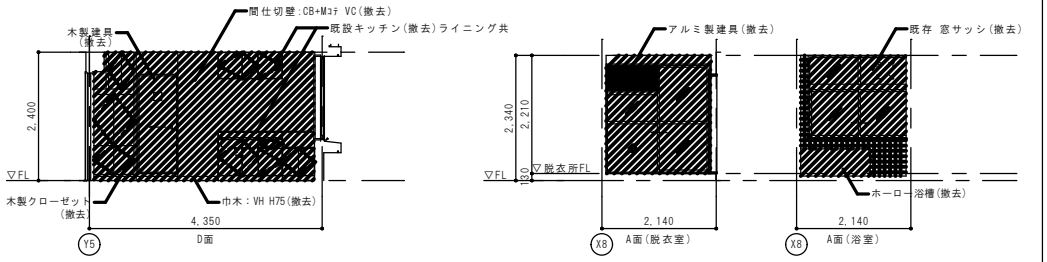
平面詳細図(改修前) S=1/50

凡例

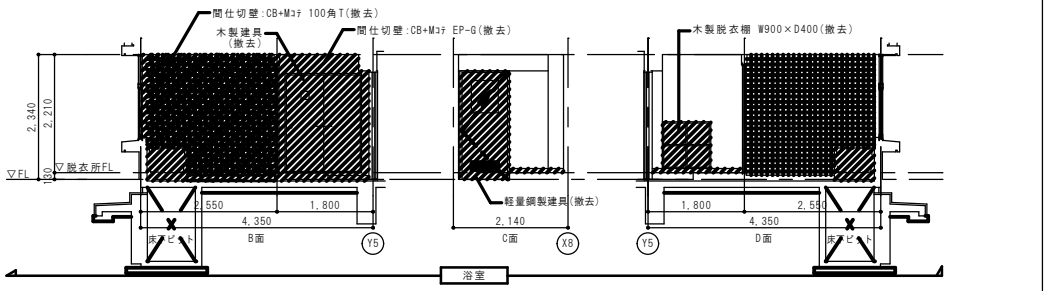
	床仕上レベル
	RC壁
	CB壁
	撤去を示す
	改修対象外範囲を示す
	水勾配を示す。



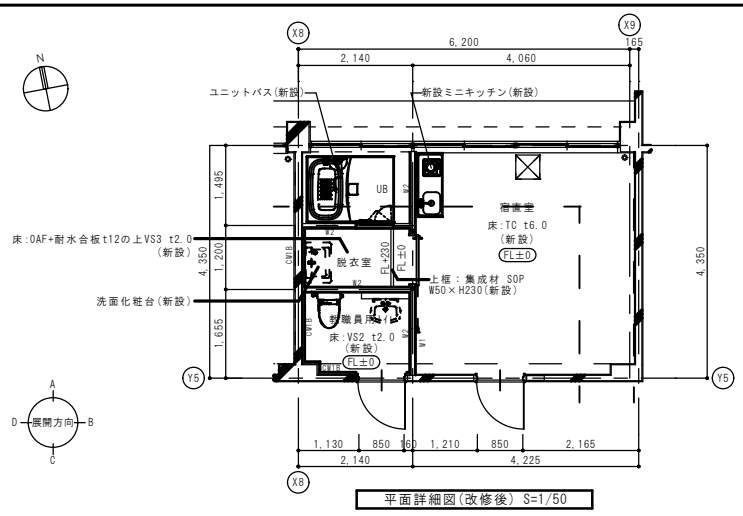
宿直室



宿直室　浴室



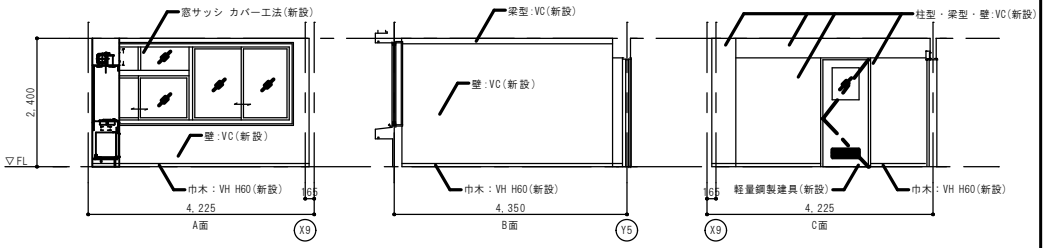
浴室



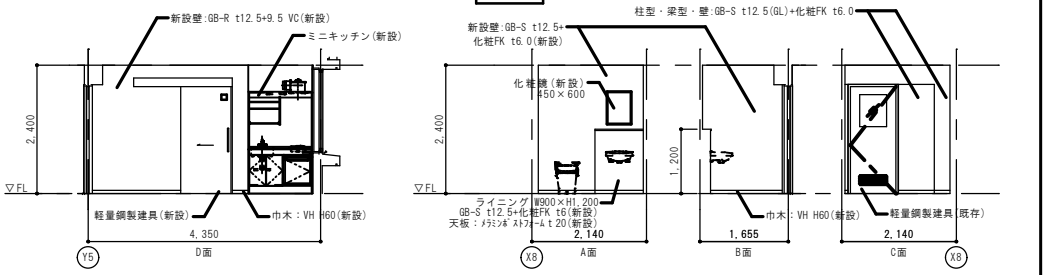
平面詳細図(改修後) S=1/50

凡例

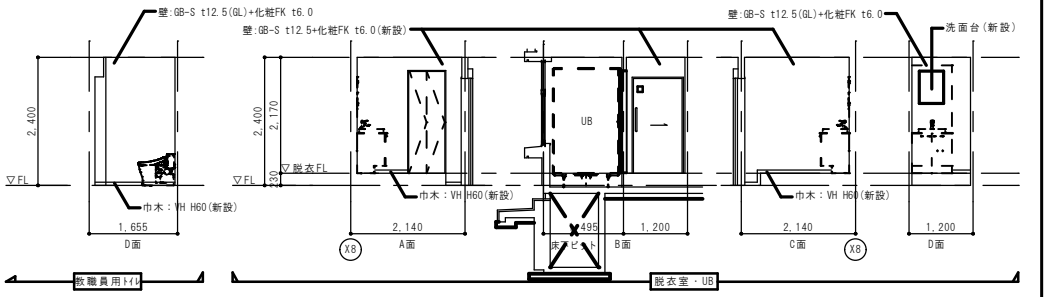
	床仕上レベル
	RC壁
	CB壁
	改修対象外範囲を示す
	水勾配を示す。
W*/CW*	新規間仕切壁・壁仕上 壁符号を示す(雑詳細図参照)



宿直室

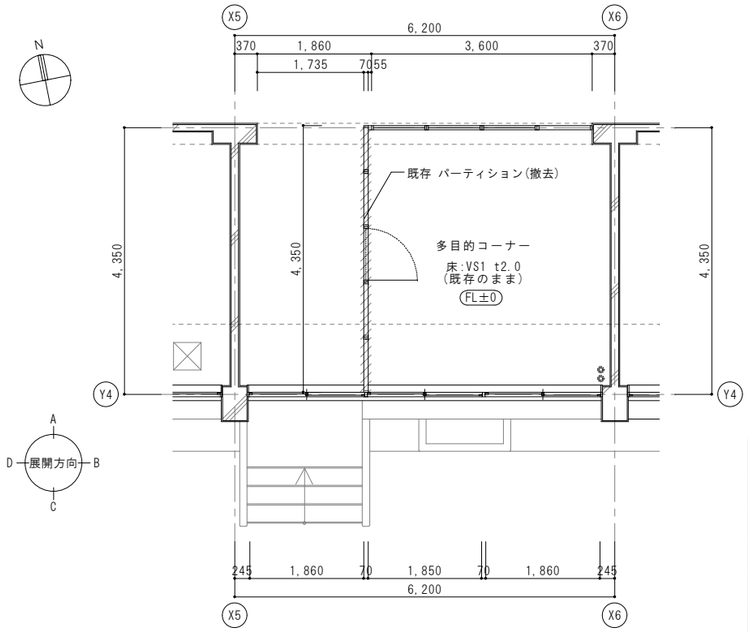


宿直室　教職員用トイレ



教職員用トイレ　脱衣室・UB

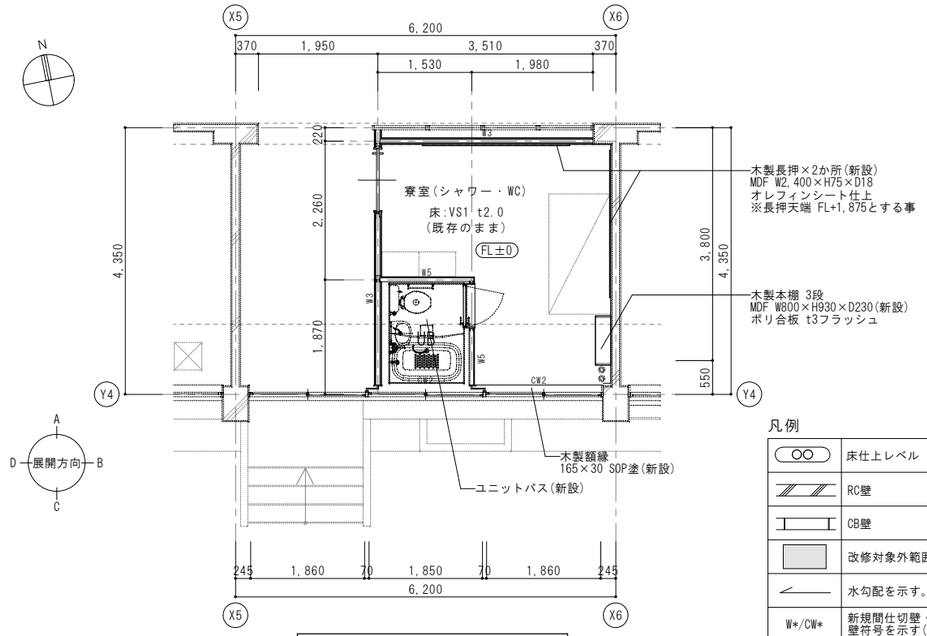
年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和７年度	令和７年７月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	宿直室・浴室 平面詳細図・展開図(改修前・後)	A1：1/50 A3：1/100	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社　TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号　FAX 092-522-5183 一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1-11499号 一級建築士　国土交通大臣登録　第350116号　野田 康広						A-32



平面詳細図(改修前) S=1/50

凡例

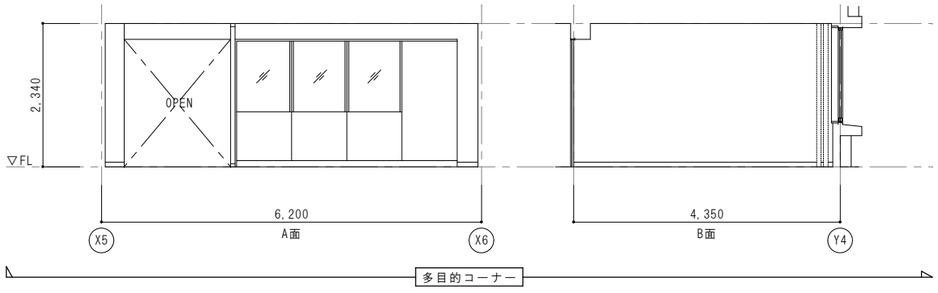
○○	床仕上レベル
	RC壁
	CB壁
	撤去を示す
	改修対象外範囲を示す
	水勾配を示す。



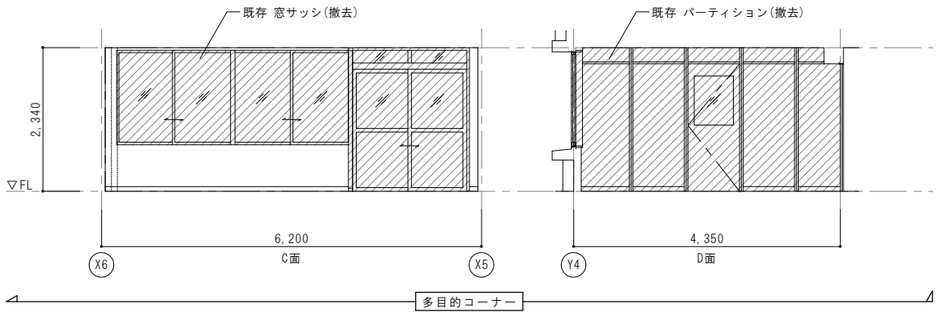
平面詳細図(改修後) S=1/50

凡例

○○	床仕上レベル
	RC壁
	CB壁
	改修対象外範囲を示す
	水勾配を示す。
W*/CW*	新規間仕切壁・壁仕上 壁符号を示す(雑詳細図参照)



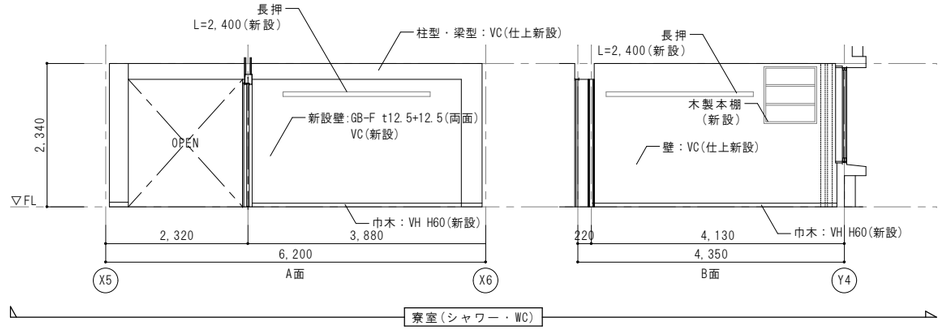
多目的コーナー



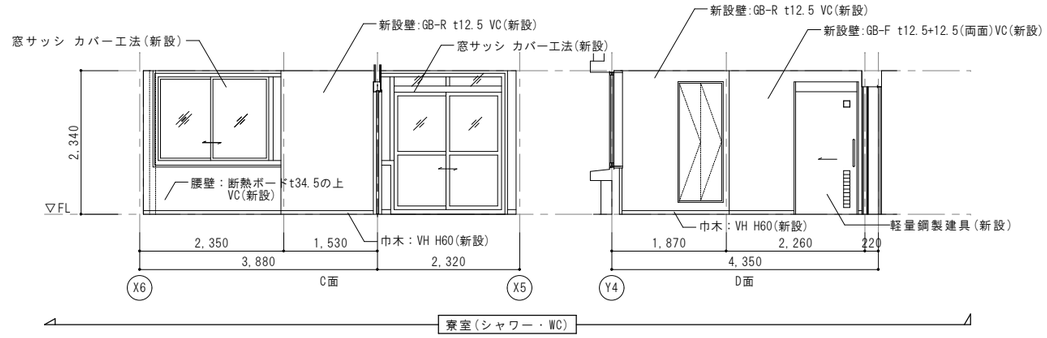
多目的コーナー

凡 例

	撤去を示す

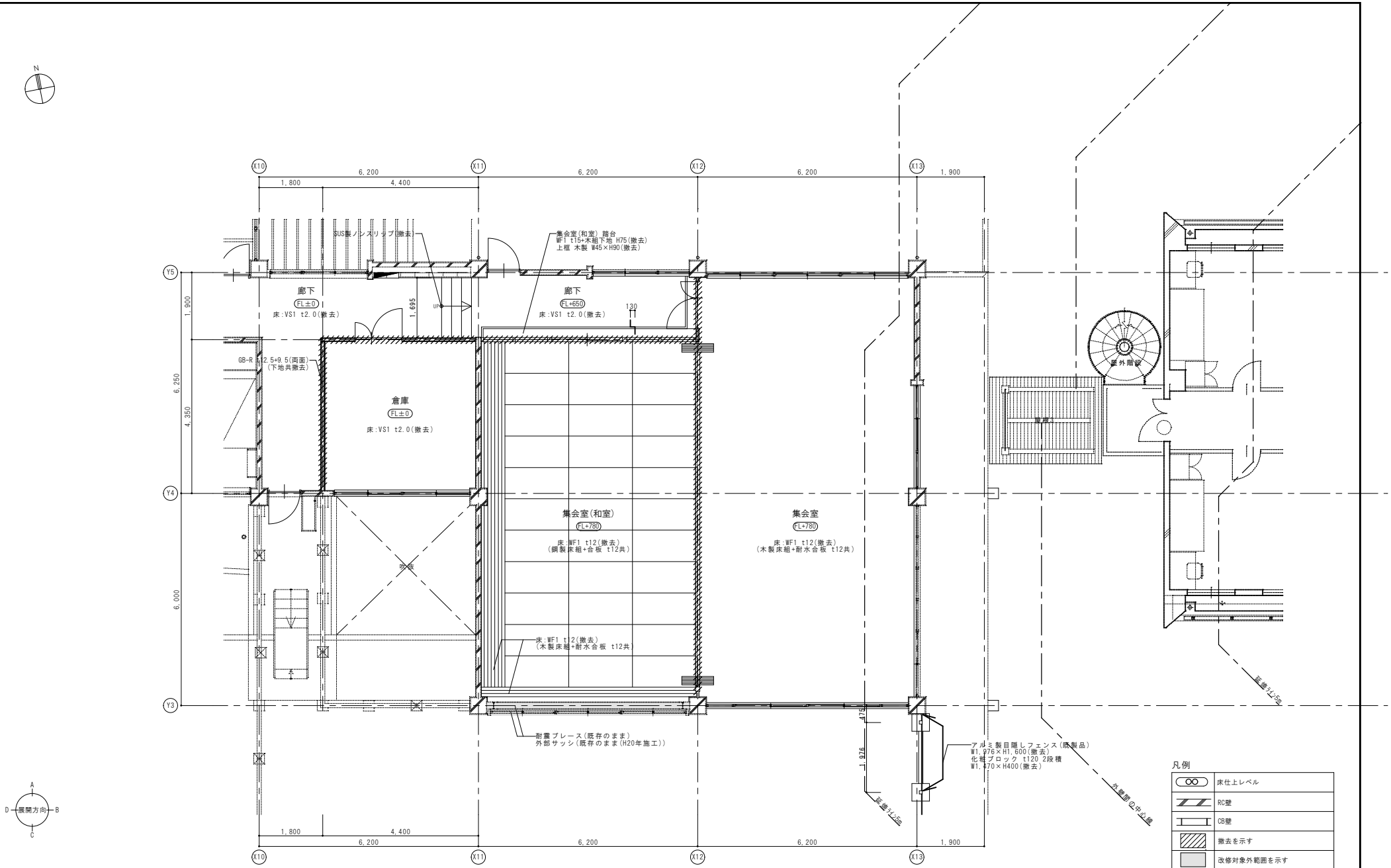


寮室(シャワー・WC)



寮室(シャワー・WC)

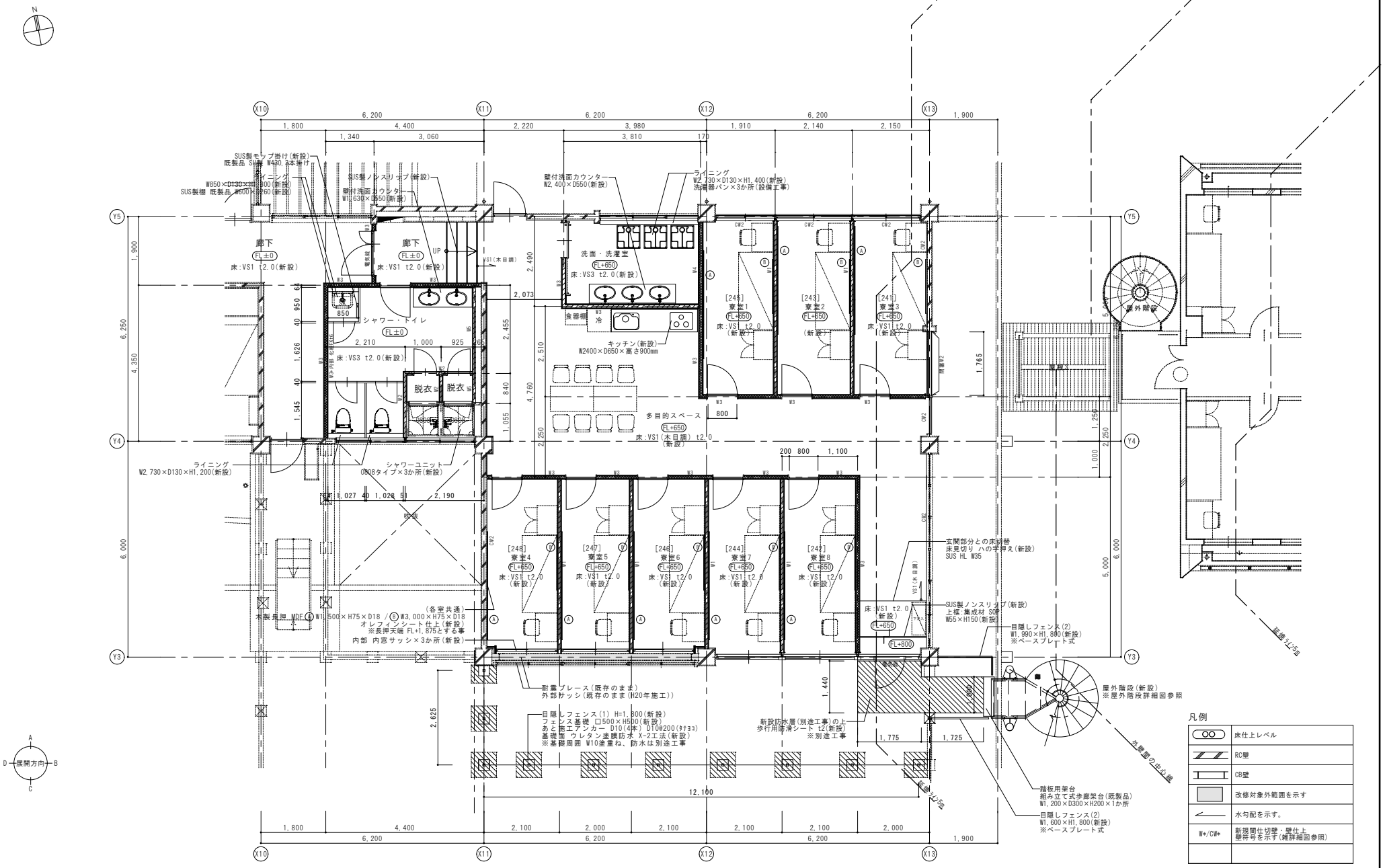
年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和7年度	令和7年7月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	多目的コーナー(改修前)・寮室(シャワー・WC)(改修後) 平面詳細図・展開図(改修前・後)	A1:1/50 A3:1/100	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社 TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号 FAX 092-522-5183 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11499号 一級建築士 国土交通大臣登録 第350116号 野田 康広						A-33



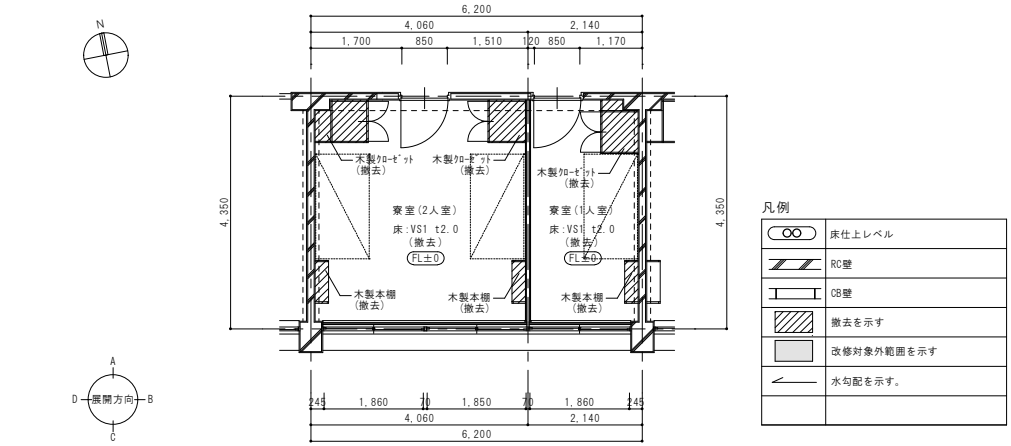
凡例

	床仕上レベル
	RC壁
	CB壁
	撤去を示す
	改修対象外範囲を示す
	水勾配を示す。

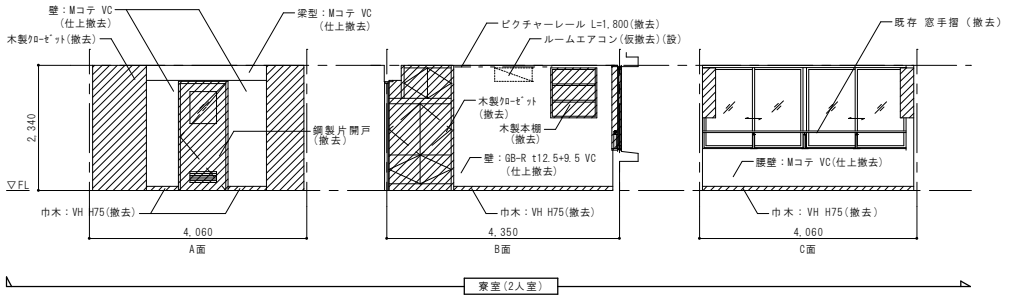
年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第１項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和７年度	令和７年７月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	2階平面詳細図(改修前)	A1：1/50 A3：1/100	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社　TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号　FAX 092-522-5183 一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1-11499号 一級建築士　国土交通大臣登録　第350116号　野田 康広						A-34

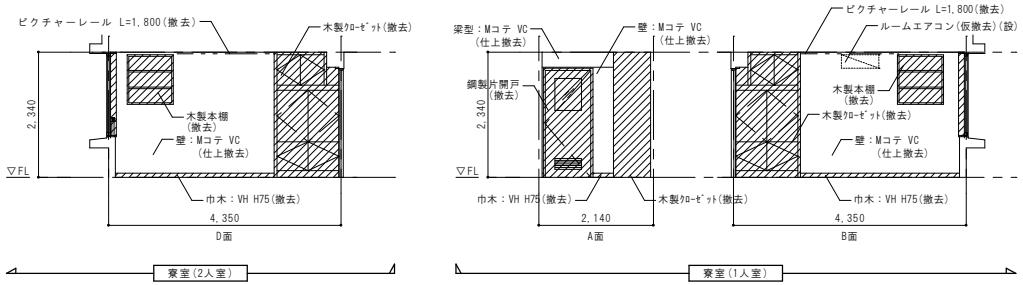


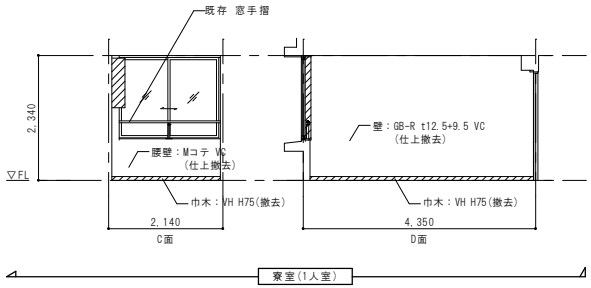
年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第１項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和７年度	令和７年７月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	2階平面詳細図(改修後)	A1：1/50 A3：1/100	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社　TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号　FAX 092-522-5183 一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1-11499号 一級建築士　国土交通大臣登録　第350116号　野田 康広						A-35

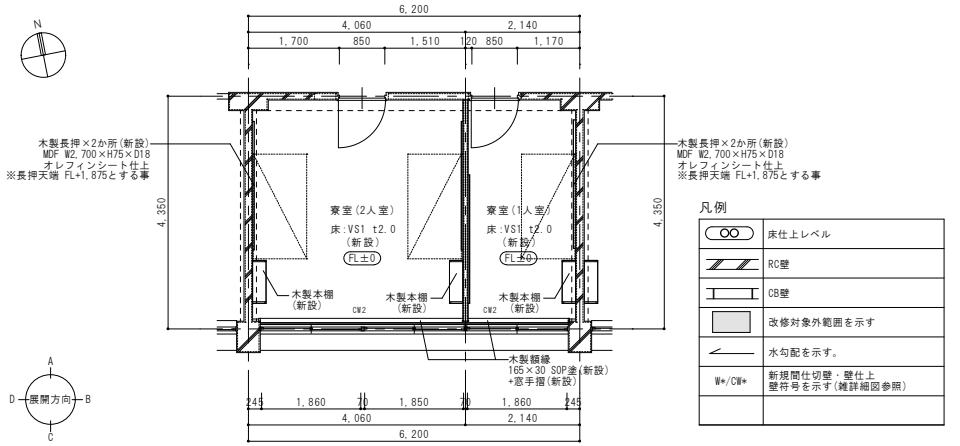


平面詳細図（改修前） S=1/50

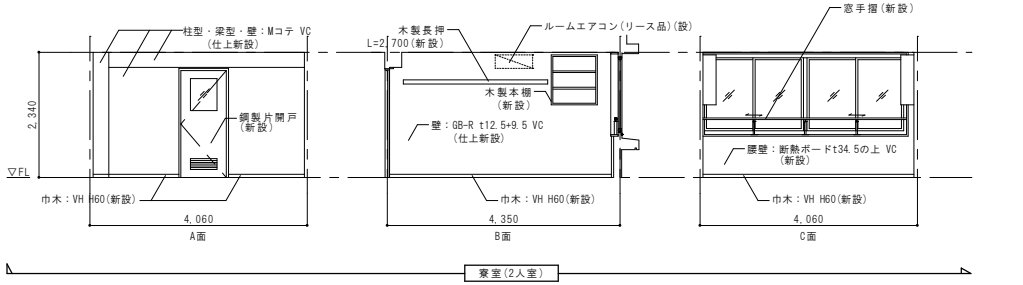


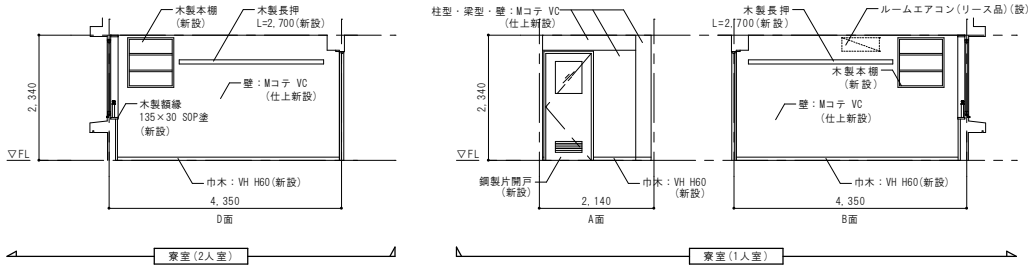


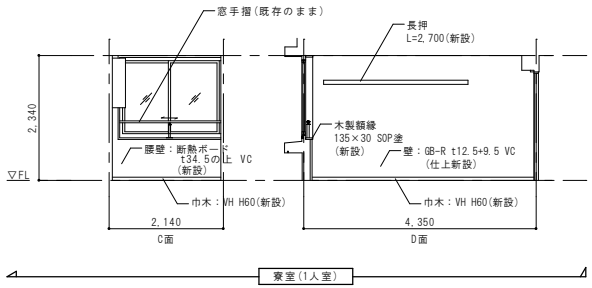




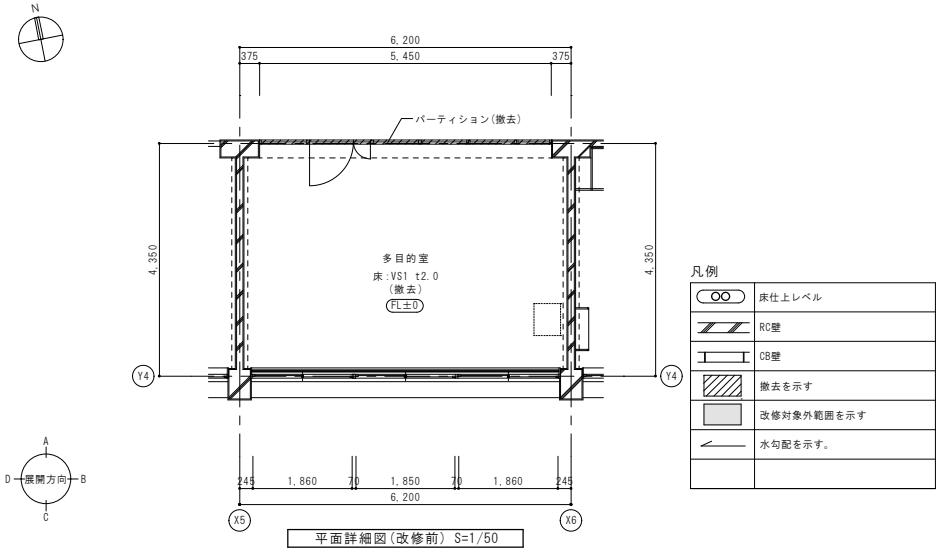
平面詳細図（改修後） S=1/50



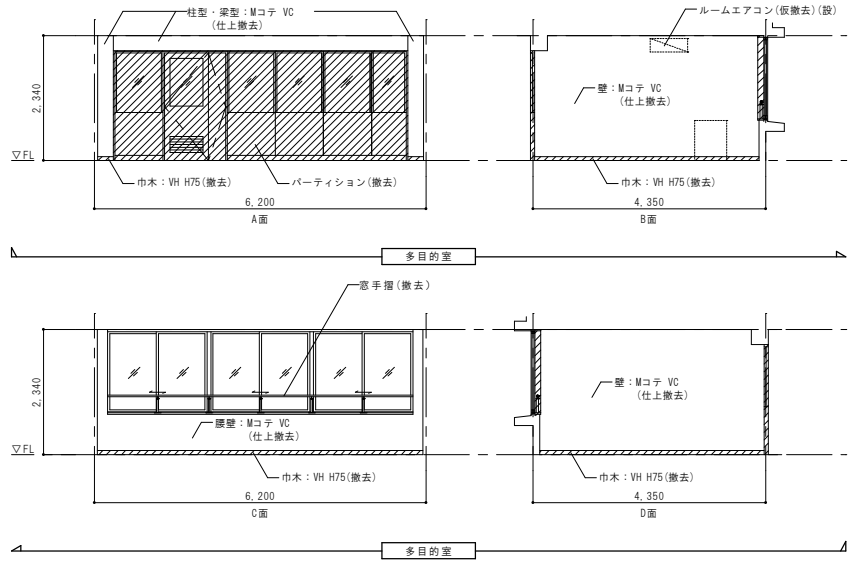


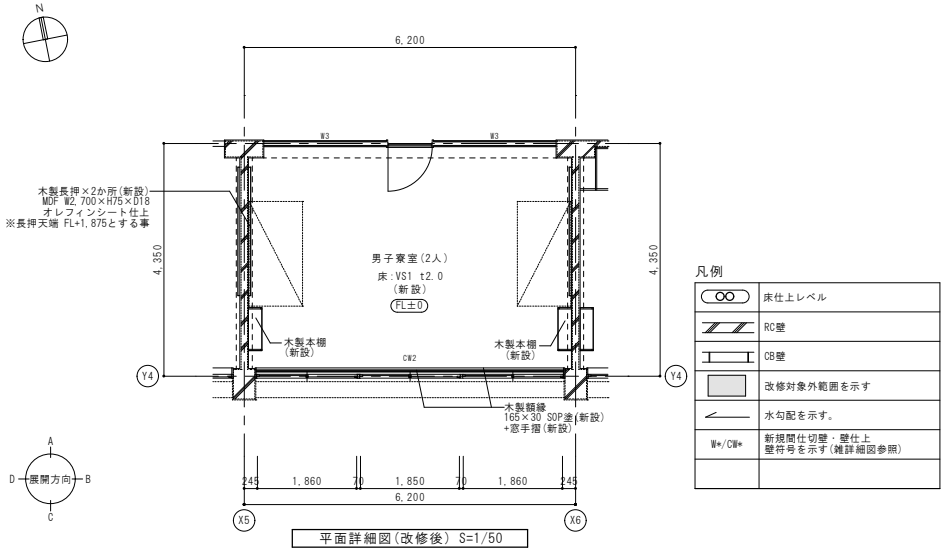


年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和７年度	令和７年７月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	男子寮室 平面詳細図・展開図(改修前・後)	A1：1/50 A3：1/100	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社　TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号　FAX 092-522-5183 一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1-11499号 一級建築士　国土交通大臣登録　第350116号　野田 康広						A-36

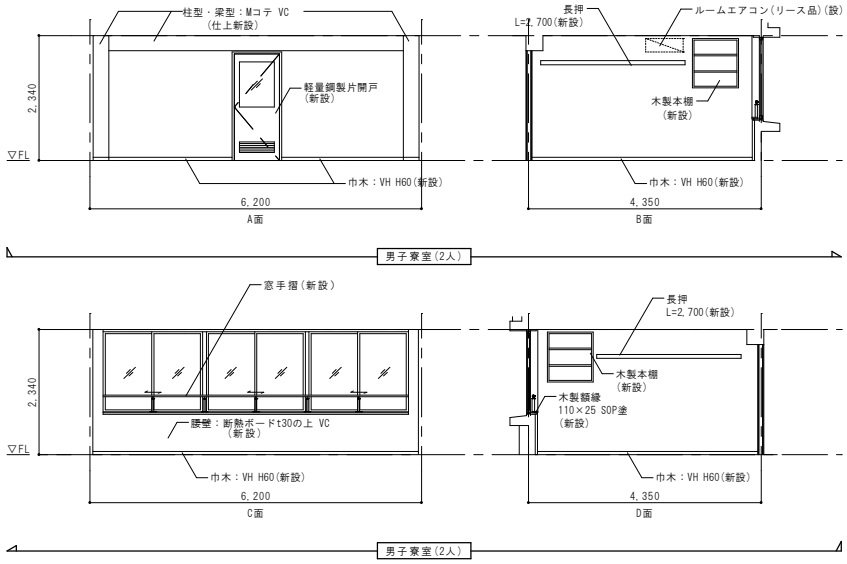


平面詳細図(改修前) S=1/50

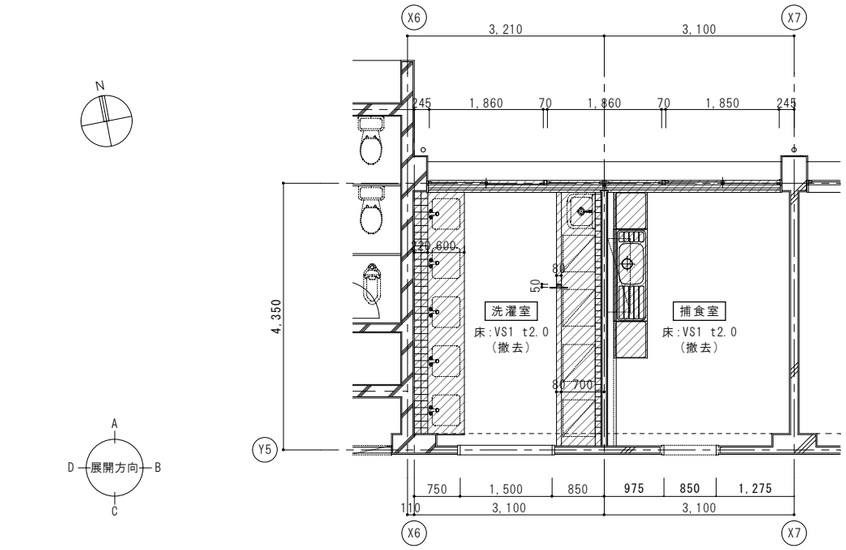




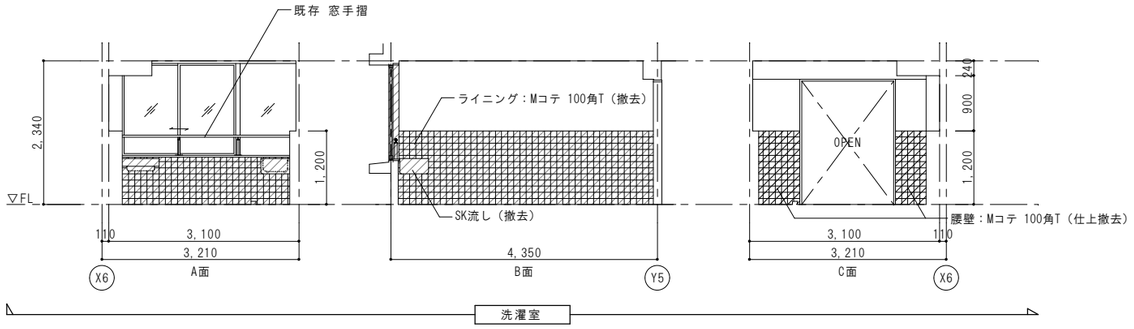
平面詳細図(改修後) S=1/50

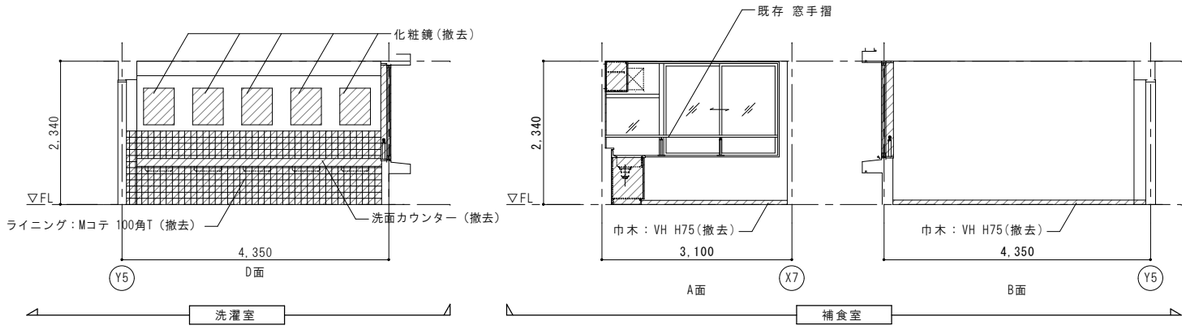


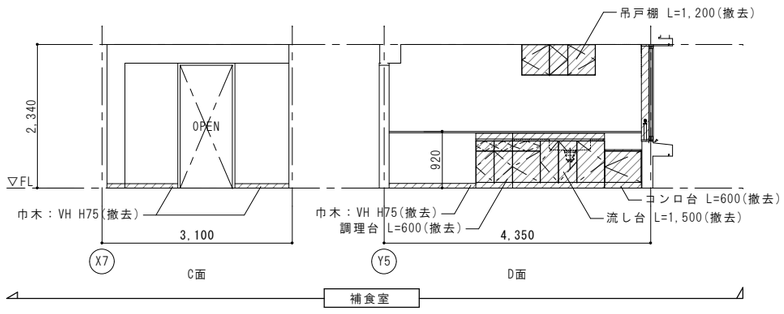
年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和７年度	令和７年７月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	多目的室(改修前)・男子寮室(2人)(改修後) 平面詳細図・展開図(改修前・後)	A1：1/50 A3：1/100	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社　TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号　FAX 092-522-5183 一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1-11499号 一級建築士　国土交通大臣登録　第350116号　野田 康広						A-37



平面詳細図(改修前) S=1/50

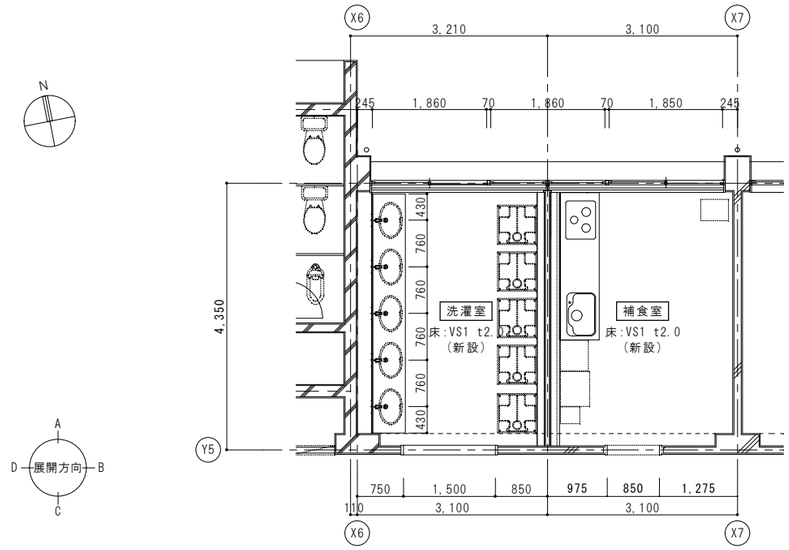




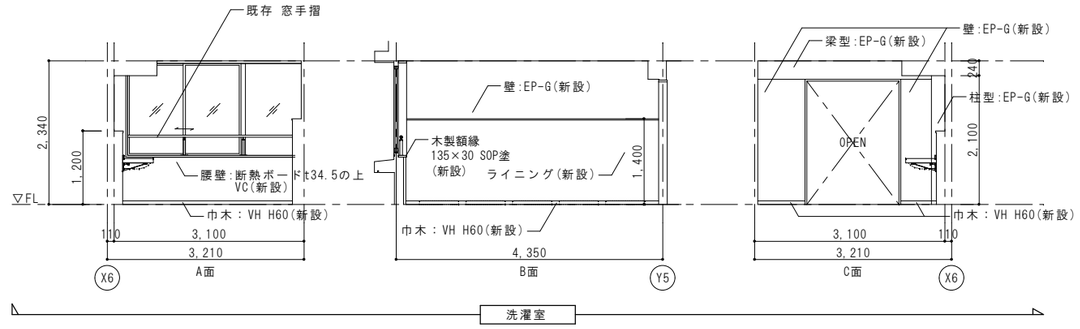


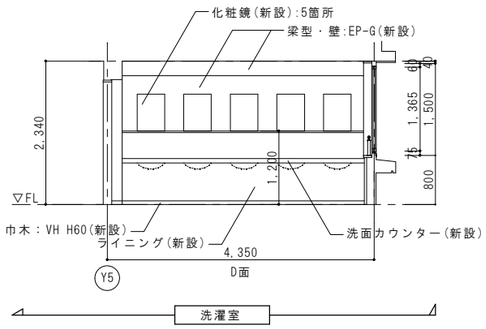
凡 例

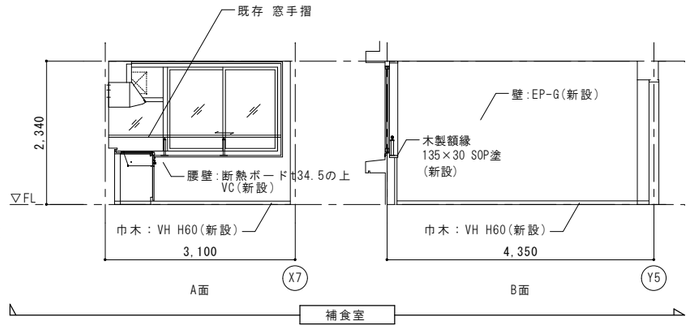
▨	撤去を示す

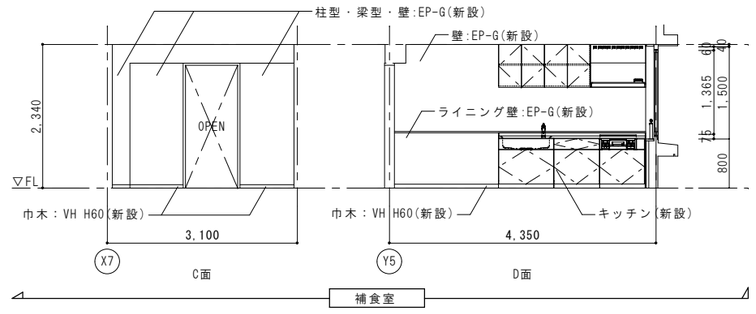


平面詳細図(改修前) S=1/50

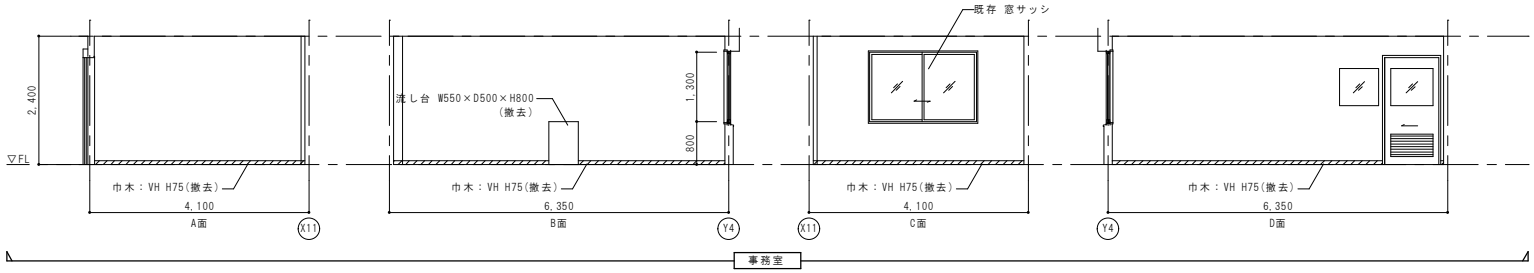


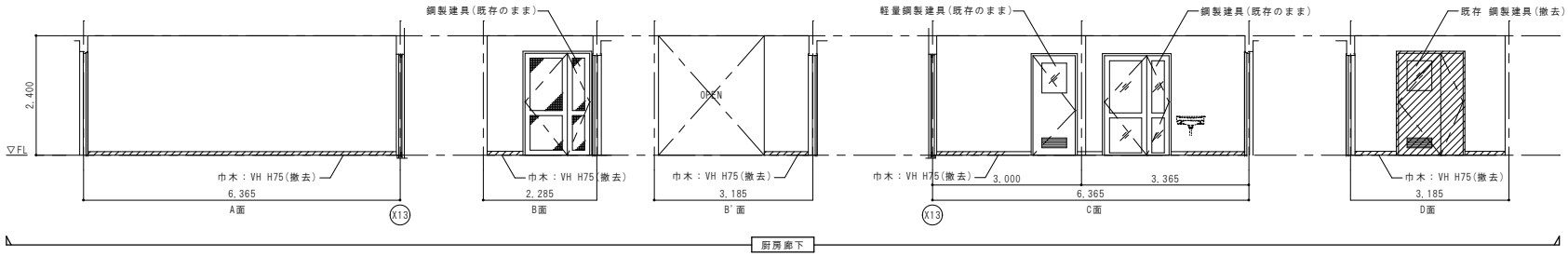


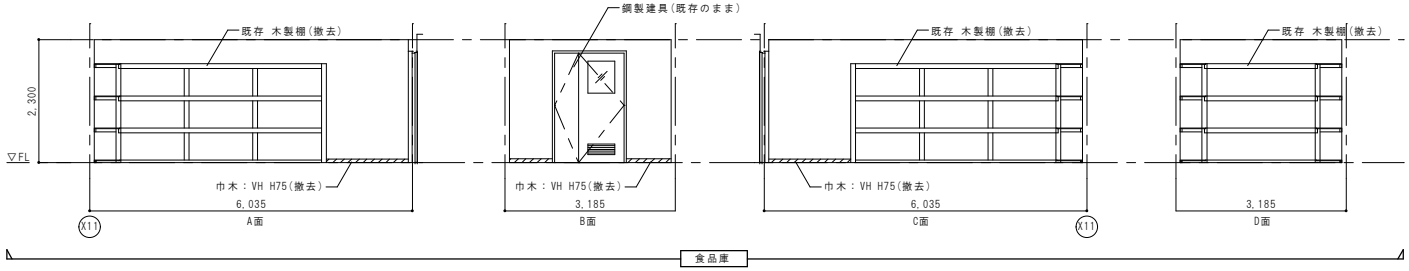


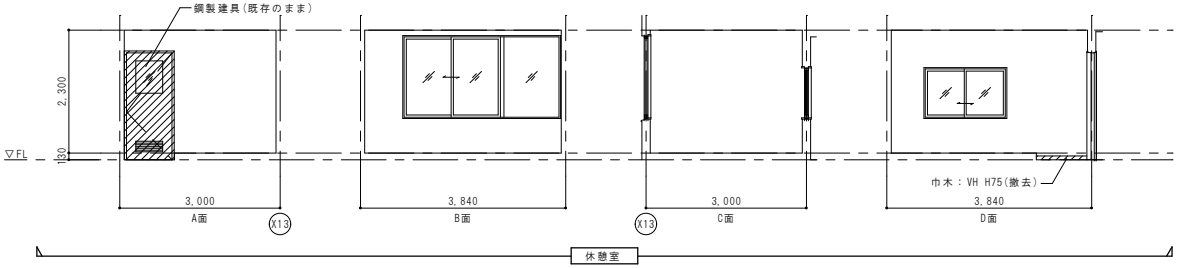


年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和７年度	令和７年７月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	洗濯室・補食室 平面詳細図・展開図(改修前・後)	A1：1/50 A3：1/100	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社　TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号　FAX 092-522-5183 一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1-11499号 一級建築士　国土交通大臣登録　第350116号　野田 康広						A-38





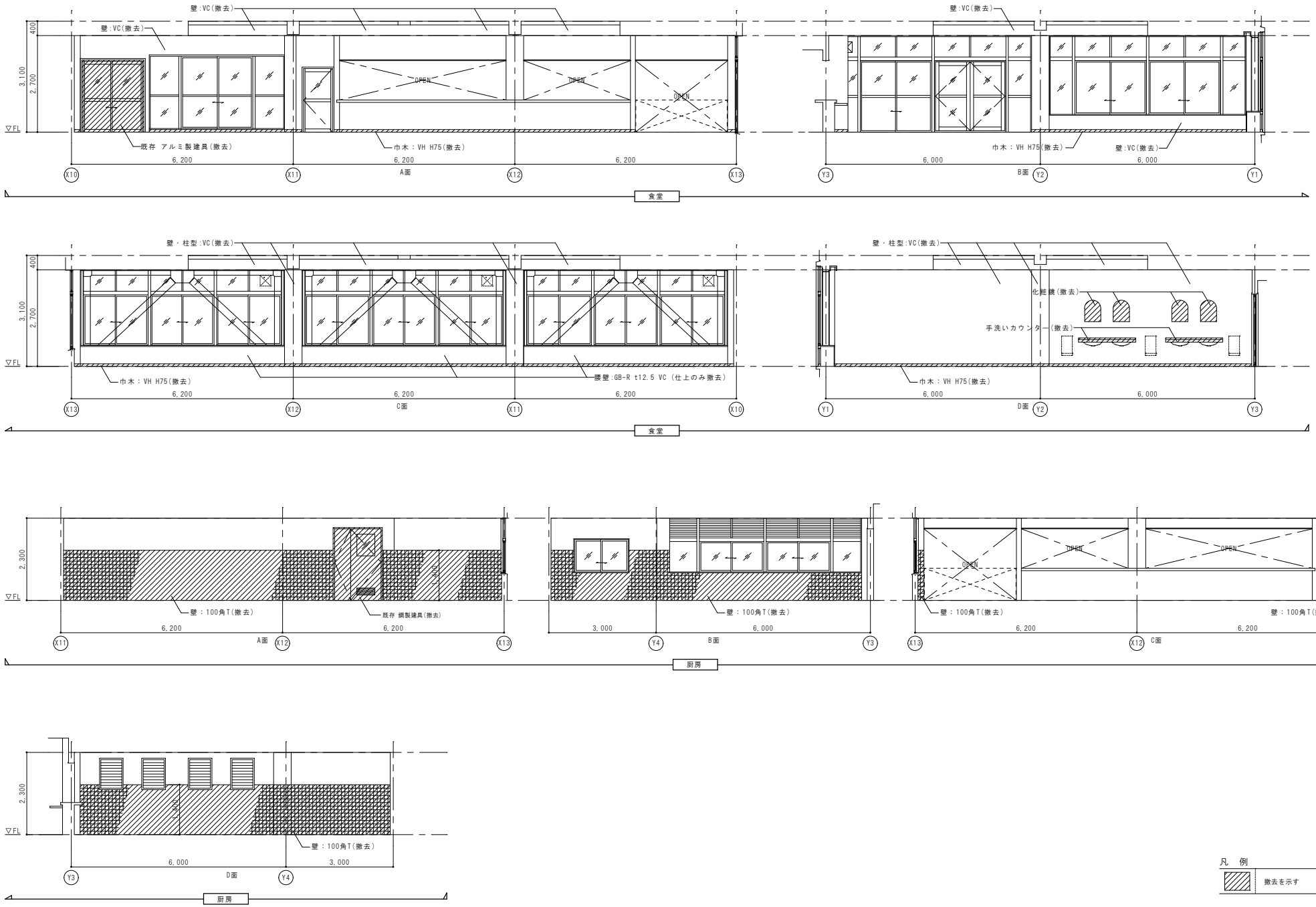




凡 例

撤去を示す

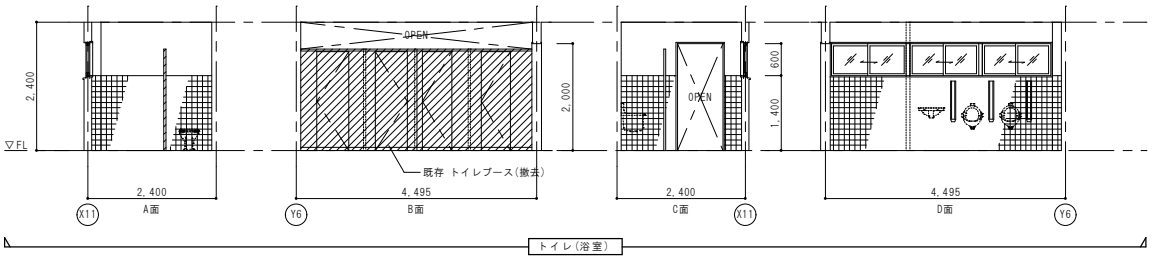
年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第１項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和７年度	令和７年７月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	1階 展開図(1)(改修前)	A1：1/50 A3：1/100	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社 TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号 FAX 092-522-5183 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11499号 一級建築士 国土交通大臣登録 第350116号 野田 康広						A-39

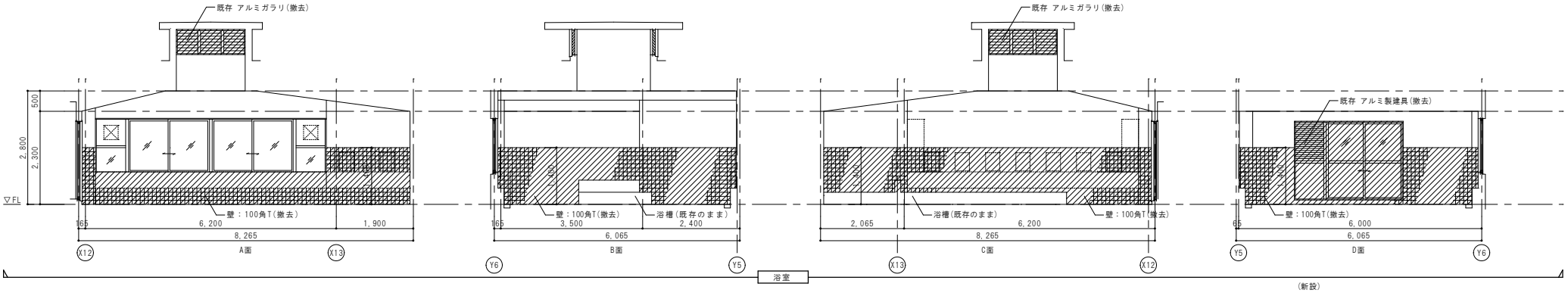


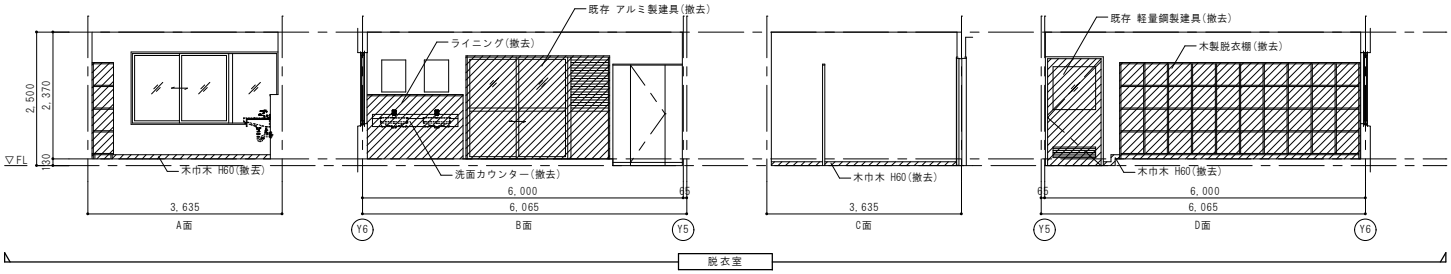
凡 例

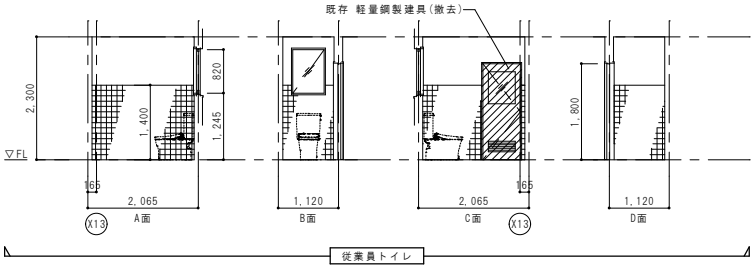
撤去を示す

年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第１項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和７年度	令和７年７月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	1階 展開図(2)(改修前)	A1：1/50 A3：1/100	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社 TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号 FAX 092-522-5183 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11499号 一級建築士 国土交通大臣登録 第350116号 野田 康広						A-40





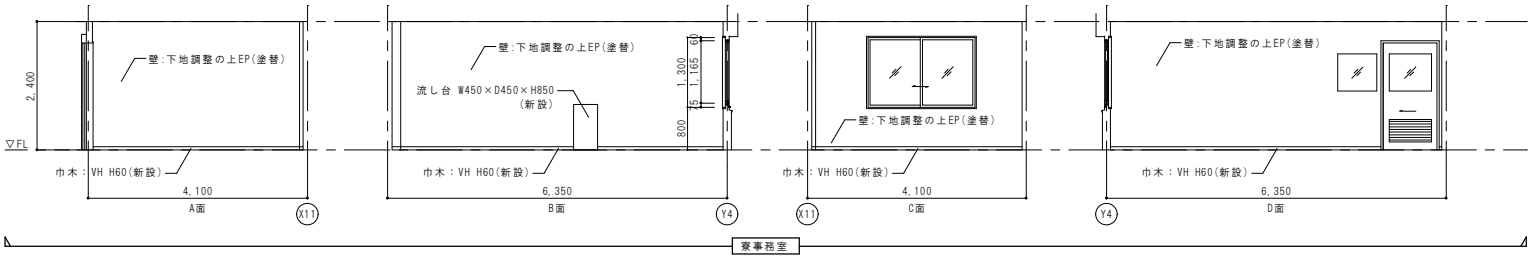




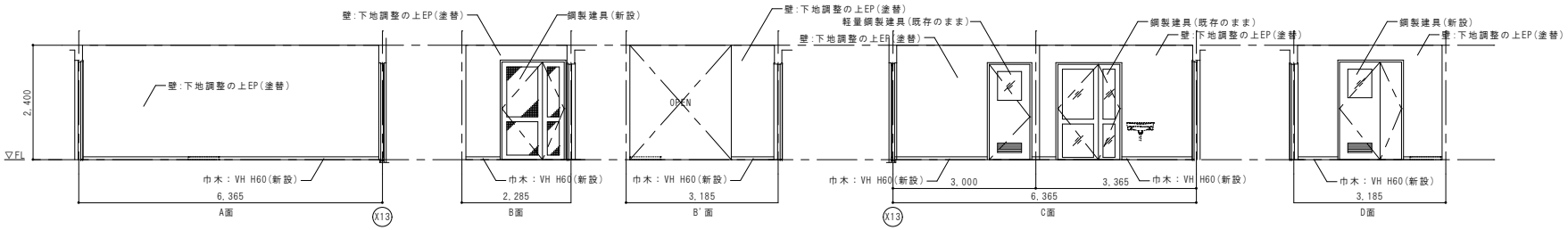
凡 例

撤去を示す

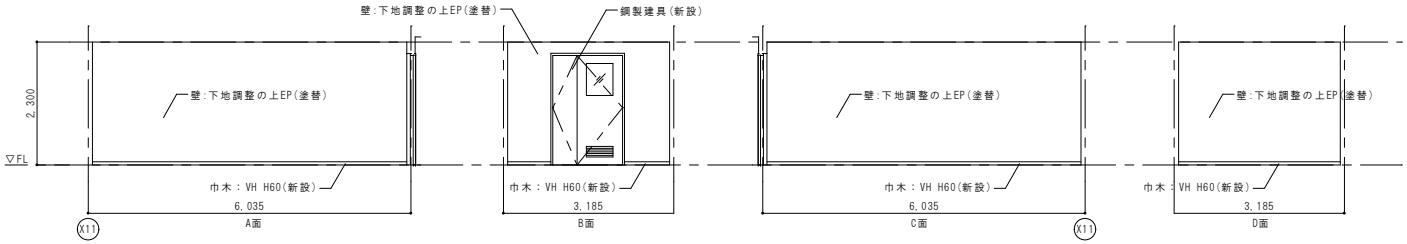
年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和7年度	令和7年7月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	1階 展開図(3)(改修前)	A1：1/50 A3：1/100	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社 TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号 FAX 092-522-5183 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11499号 一級建築士 国土交通大臣登録 第350116号 野田 康広						A-41



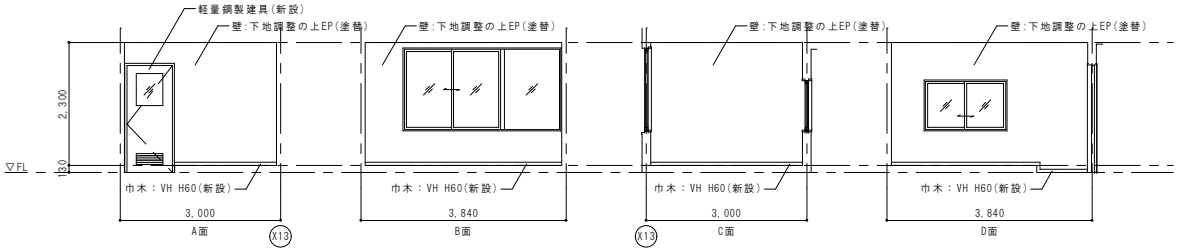
寮事務室



厨房廊下

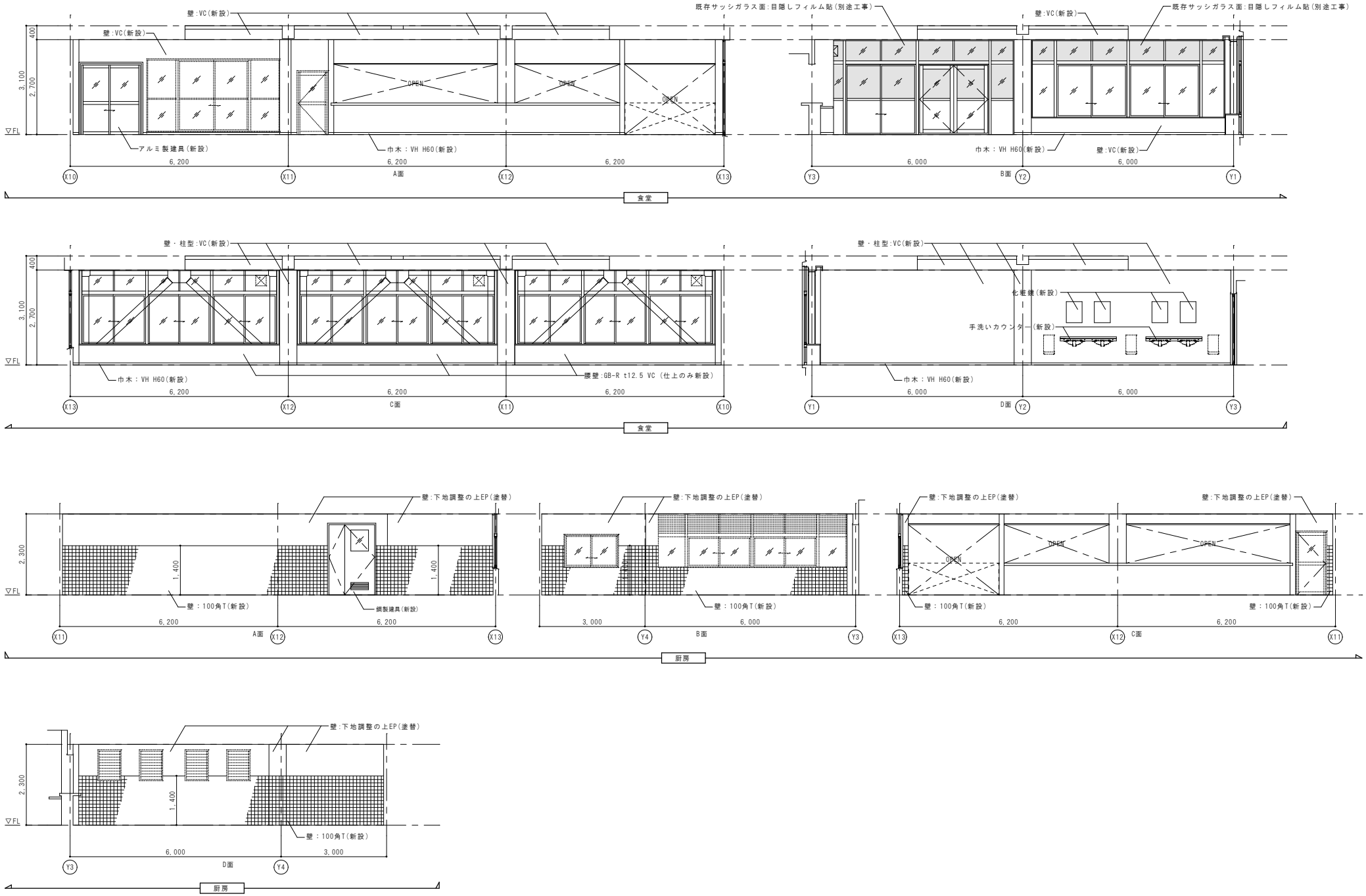


食品庫

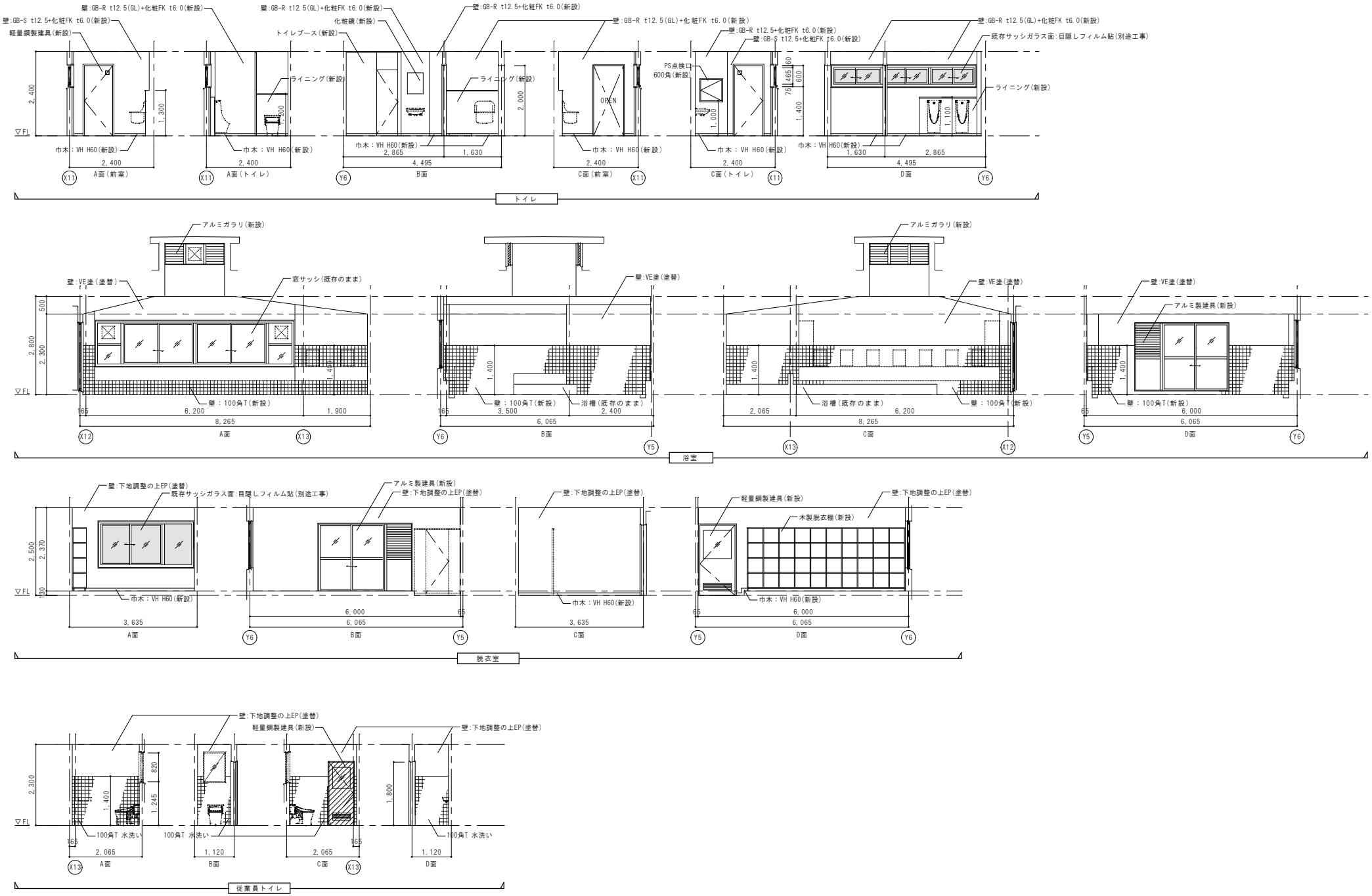


休憩室

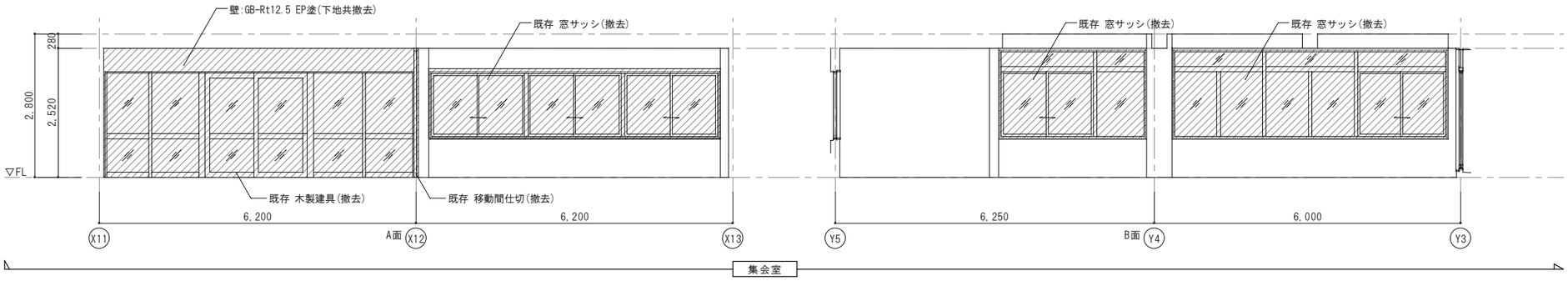
年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第１項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和７年度	令和７年７月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	1階 展開図(1)(改修後)	A1：1/50 A3：1/100	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社 TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号 FAX 092-522-5183 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11499号 一級建築士 国土交通大臣登録 第350116号 野田 康広						A-42

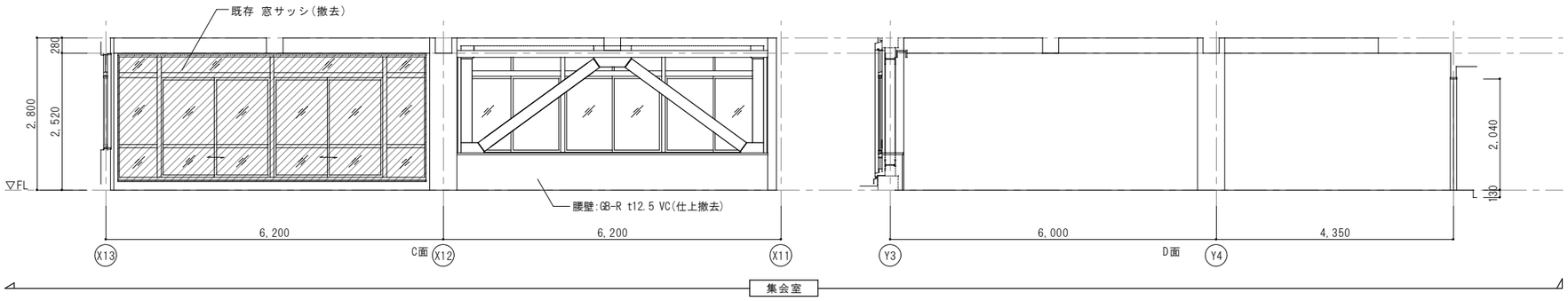


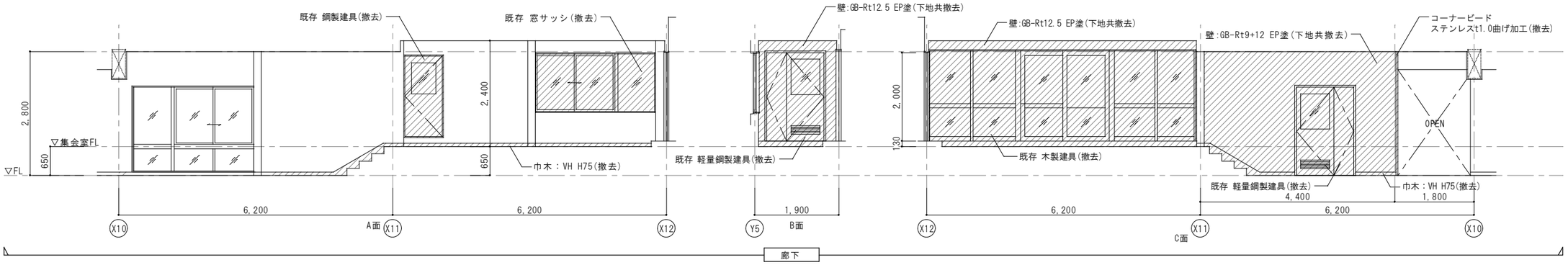
年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第１項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和７年度	令和７年７月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	1階 展開図(2)(改修後)	A1：1/50 A3：1/100	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社　TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号　FAX 092-522-5183 一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1-11499号 一級建築士　国土交通大臣登録　第350116号　野田 康広						A-43

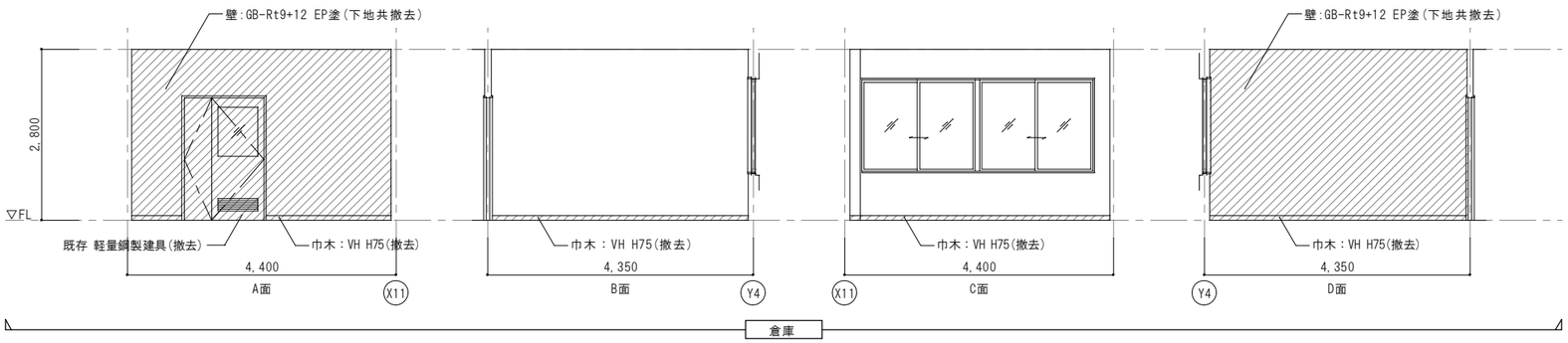


年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和７年度	令和７年７月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	1階 展開図(3)(改修後)	A1：1/50 A3：1/100	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社　TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号　FAX 092-522-5183 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11499号 一級建築士 国土交通大臣登録 第350116号 野田 康広						A-44





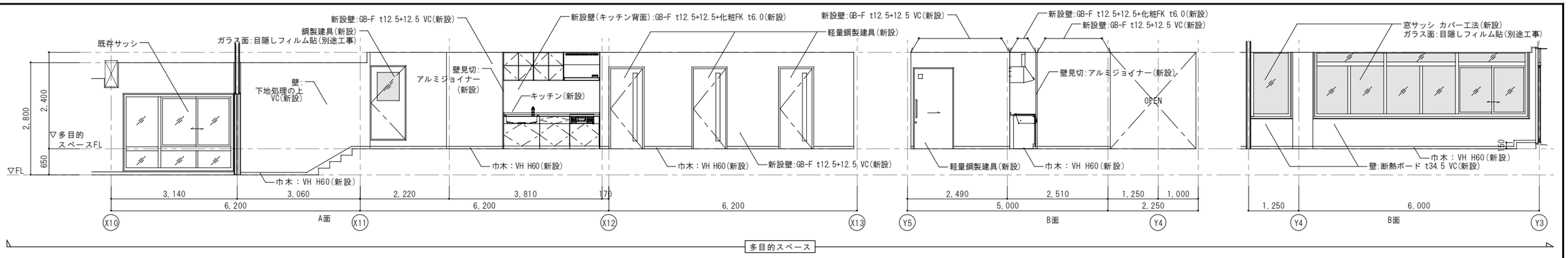


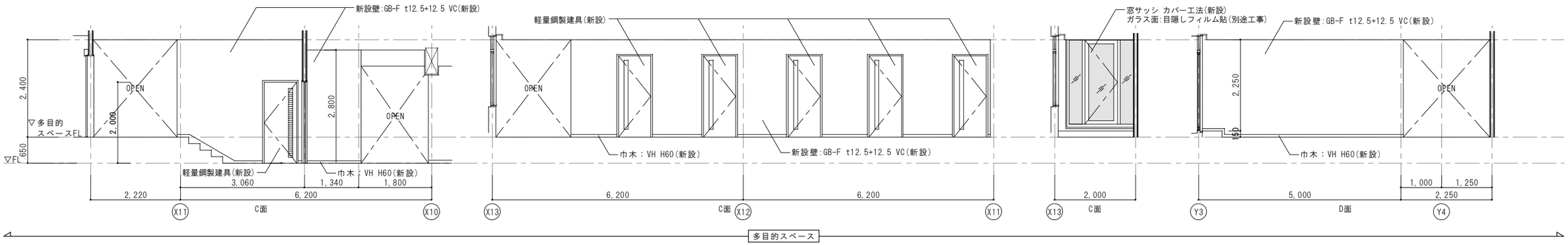


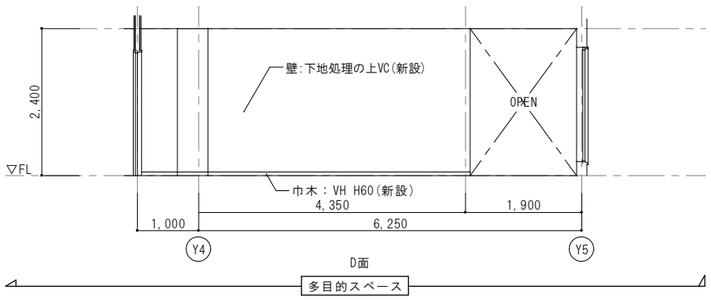
凡 例

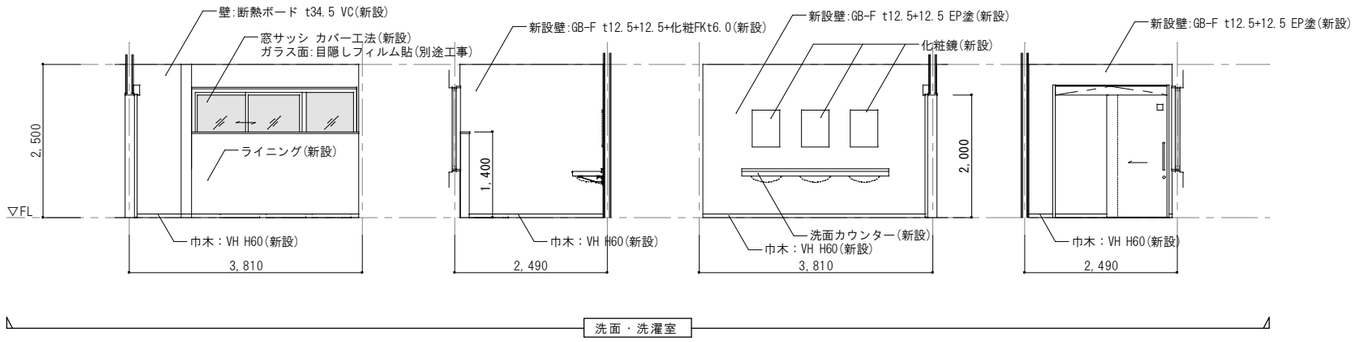
撤去を示す

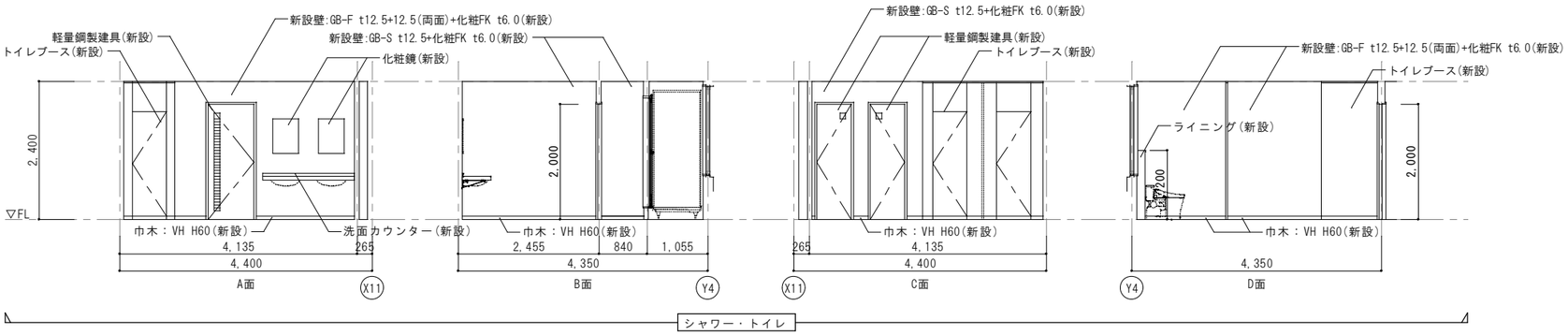
年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第１項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和７年度	令和７年７月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	2階 展開図(改修前)	A1：1/50 A3：1/100	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社 TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号 FAX 092-522-5183 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11499号 一級建築士 国土交通大臣登録 第350116号 野田 康広						A-45



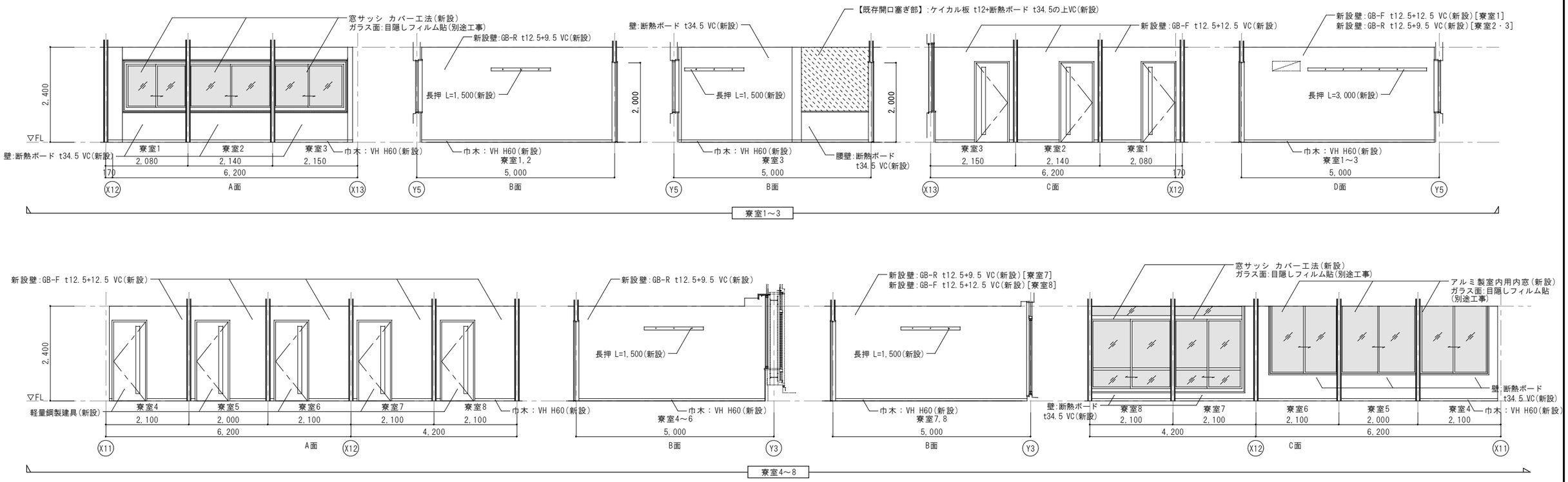




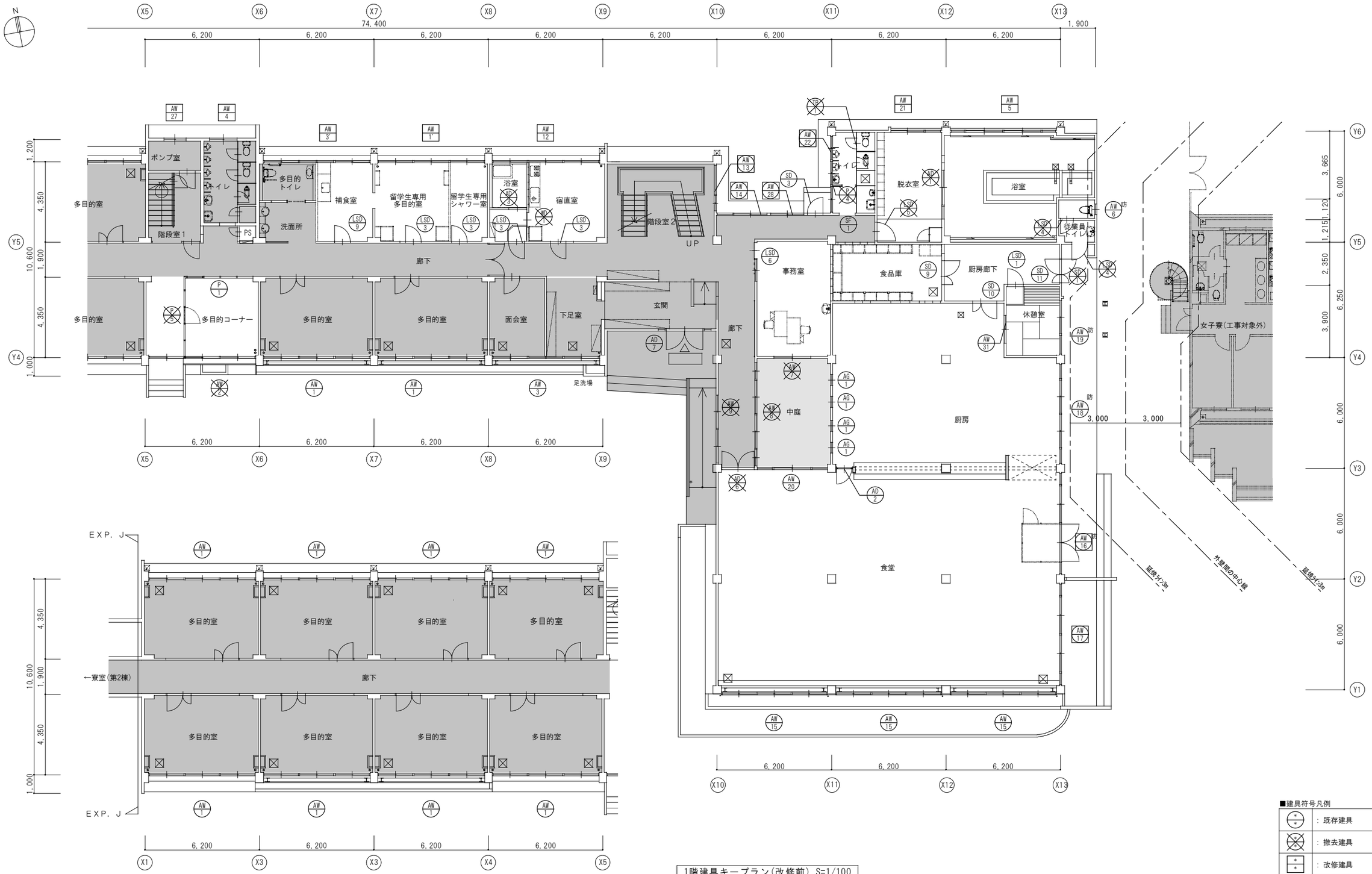




年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第１項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和７年度	令和７年７月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	2階 展開図(1)(改修後)	A1：1/50 A3：1/100	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社　TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号　FAX 092-522-5183 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11499号 一級建築士 国土交通大臣登録 第350116号 野田 康広						A-46



年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第１項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和７年度	令和７年７月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	2階 展開図(2)(改修後)	A1：1/50 A3：1/100	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社　TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号　FAX 092-522-5183 一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1-11499号 一級建築士　国土交通大臣登録　第350116号　野田 康広						A-47



1階建具キープラン(改修前) S=1/100

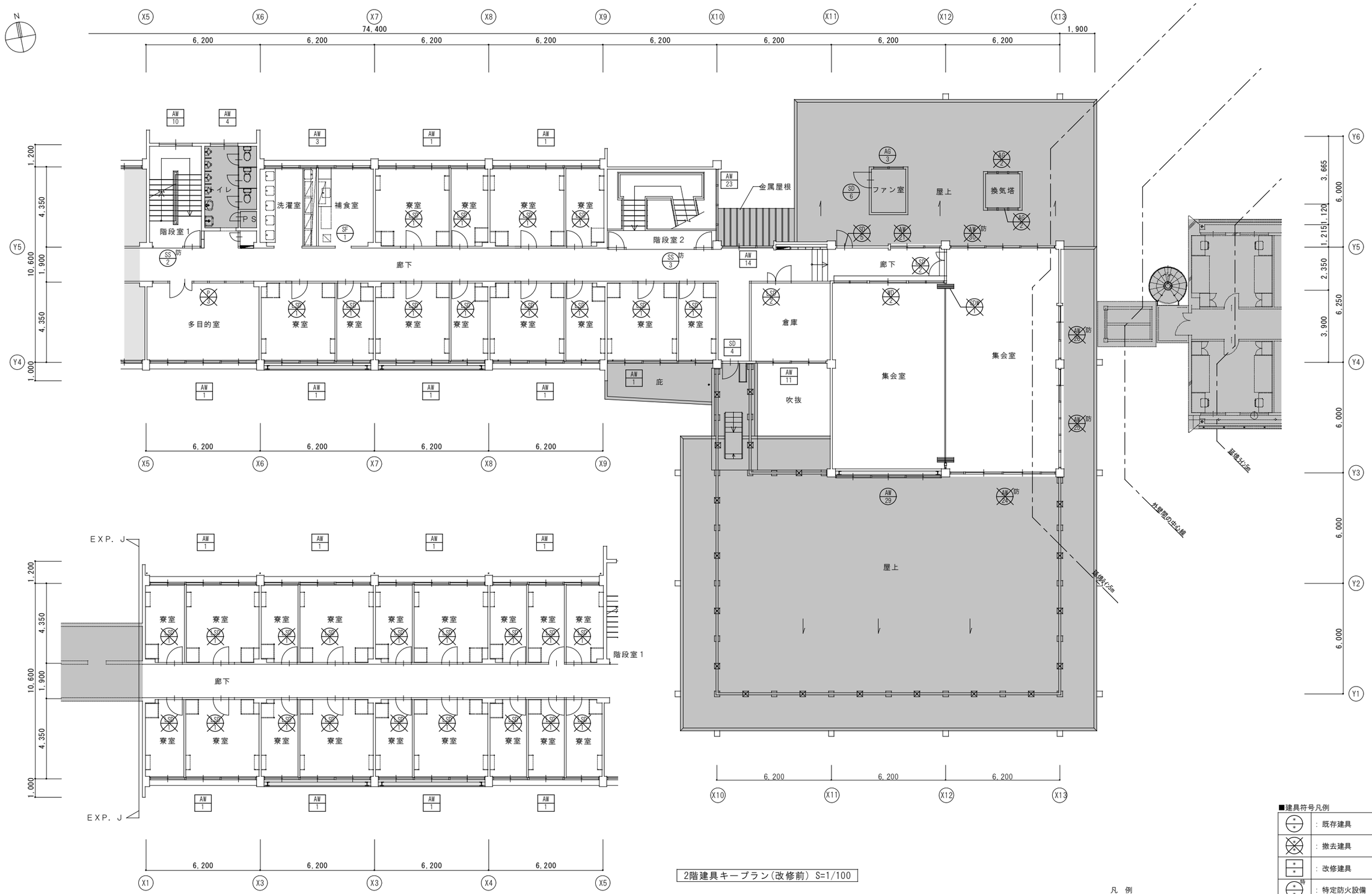
■建具符号凡例

	: 既存建具
	: 撤去建具
	: 改修建具
特	: 特定防火設備
防	: 防火設備

凡 例

	改修対象外室を示す

年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和7年度	令和7年7月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	1階建具キープラン(改修前)	A1：1/100 A3：1/200	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社 TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号 FAX 092-522-5183 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11499号 一級建築士 国土交通大臣登録 第350116号 野田 康広						A-48



2階建具キープラン(改修前) S=1/100

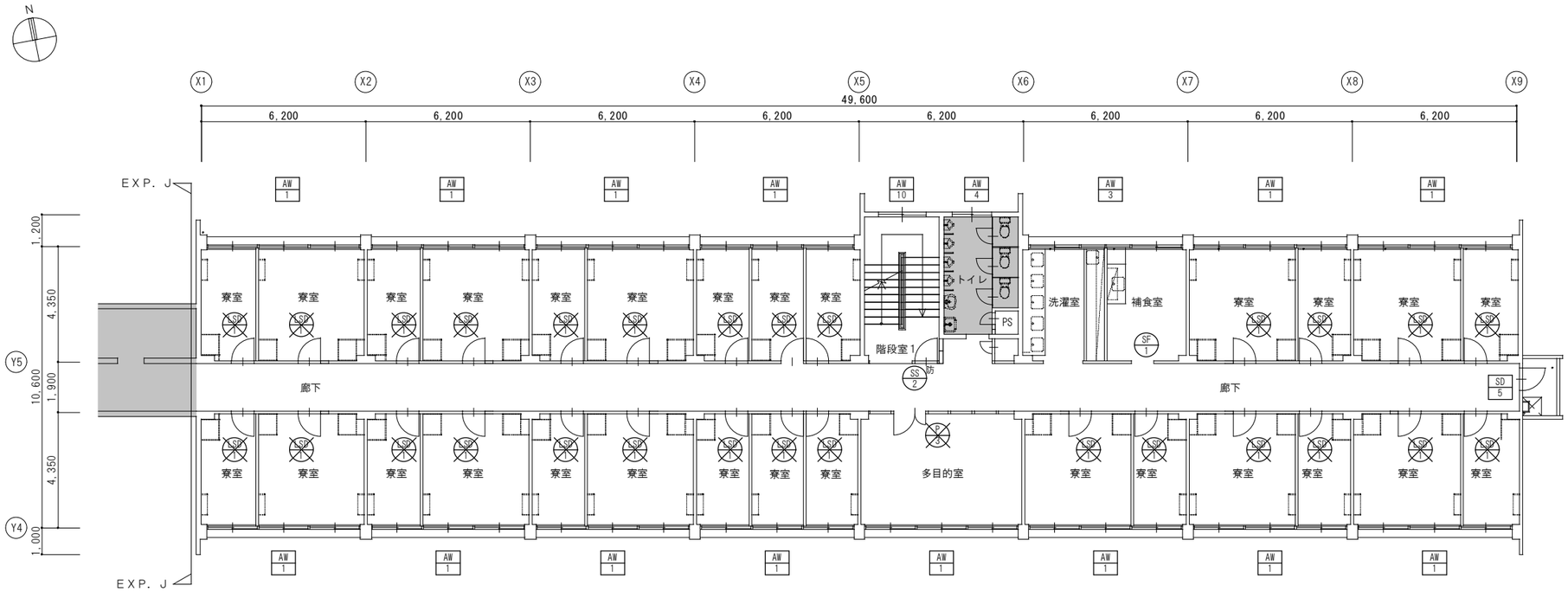
■建具符号凡例

	: 既存建具
	: 撤去建具
	: 改修建具
特	: 特定防火設備
防	: 防火設備

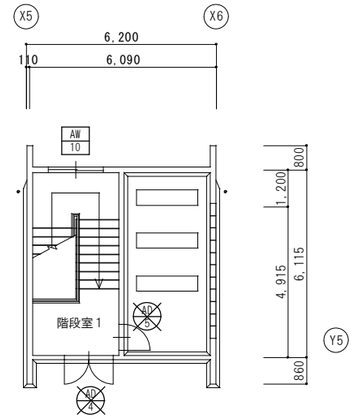
凡 例

	改修対象外範囲を示す

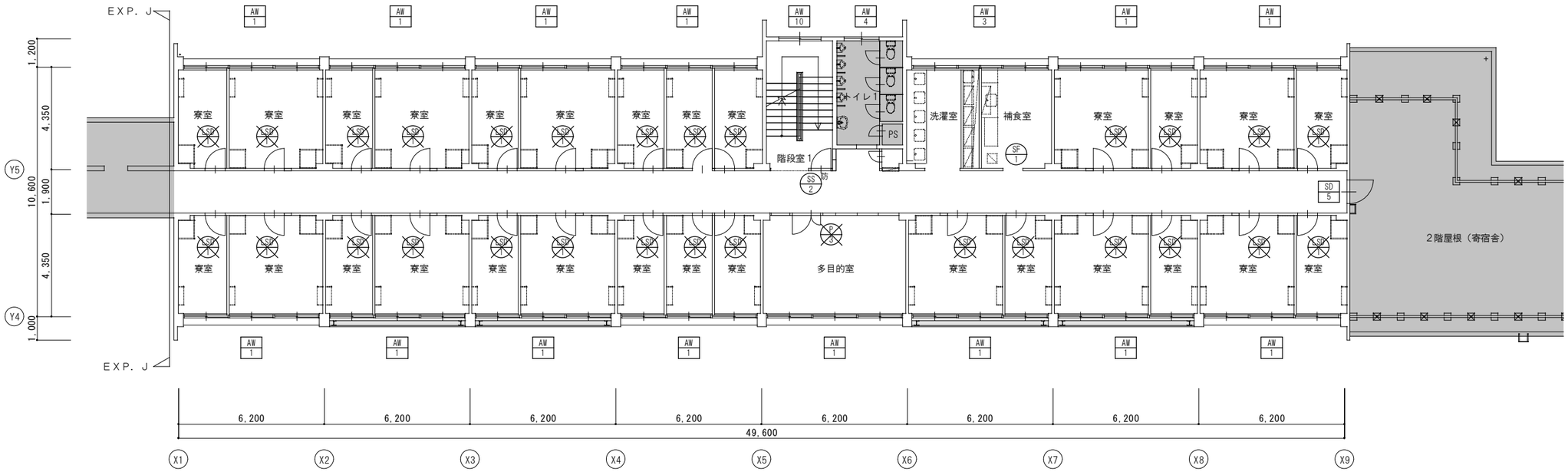
年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和７年度	令和７年７月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	2階建具キープラン(改修前)	A1：1/100 A3：1/200	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社 TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号 FAX 092-522-5183 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11499号 一級建築士 国土交通大臣登録 第350116号 野田 康広						A-49



4階建具キープラン(改修前) S=1/100



R階建具キープラン(改修前) S=1/100



3階建具キープラン(改修前) S=1/100

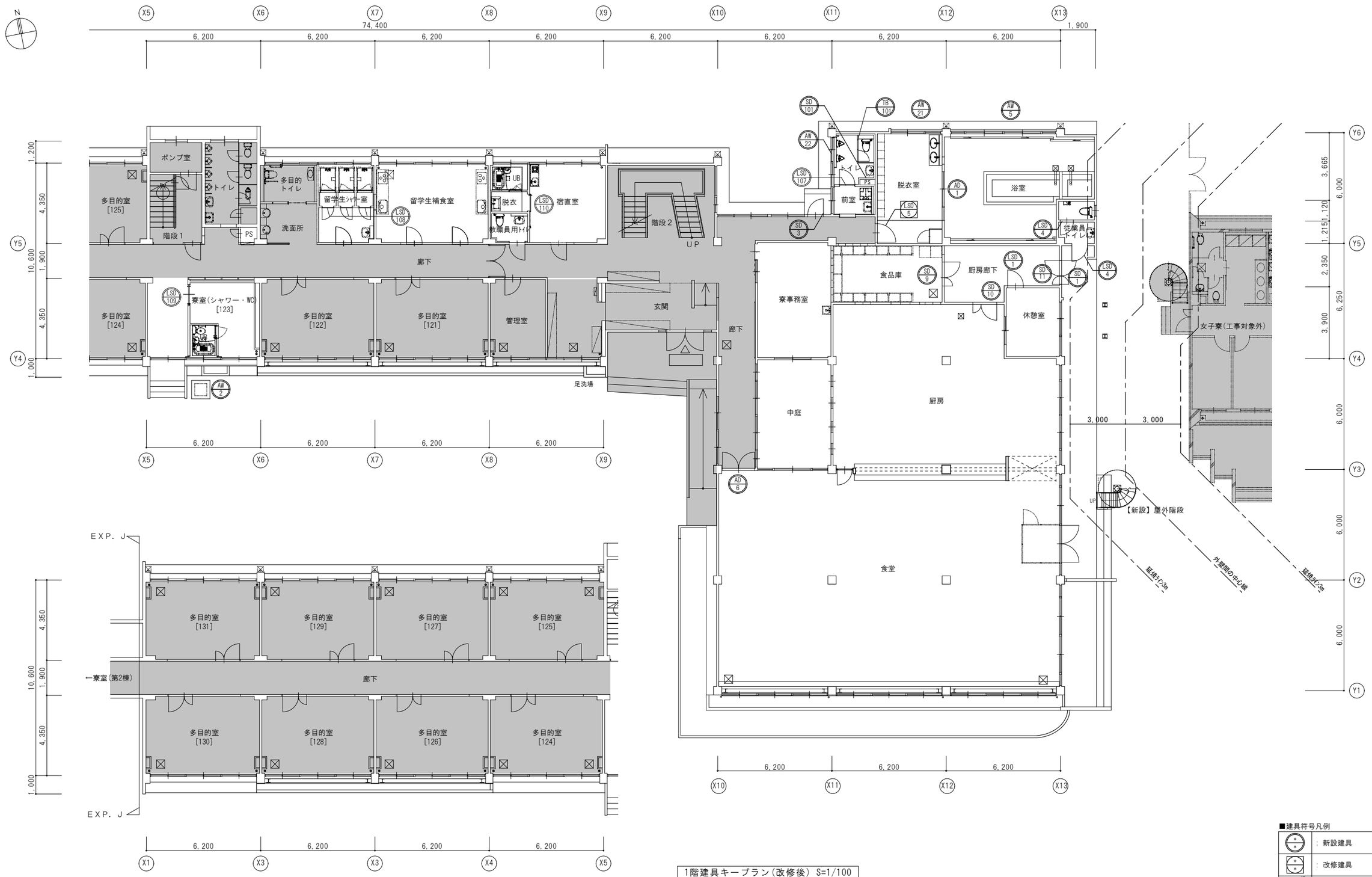
■建具符号凡例

	：既存建具
	：撤去建具
	：改修建具
特	：特定防火設備
防	：防火設備

凡　例

	改修対象外範囲を示す

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第１項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和７年度	令和７年７月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	３・４・R階建具キープラン(改修前)	A1：1/100 A3：1/200	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社　TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号　FAX 092-522-5183 一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1-11499号 一級建築士　国土交通大臣登録　第350116号　野田 康広						A-50



1階建具キープラン(改修後) S=1/100

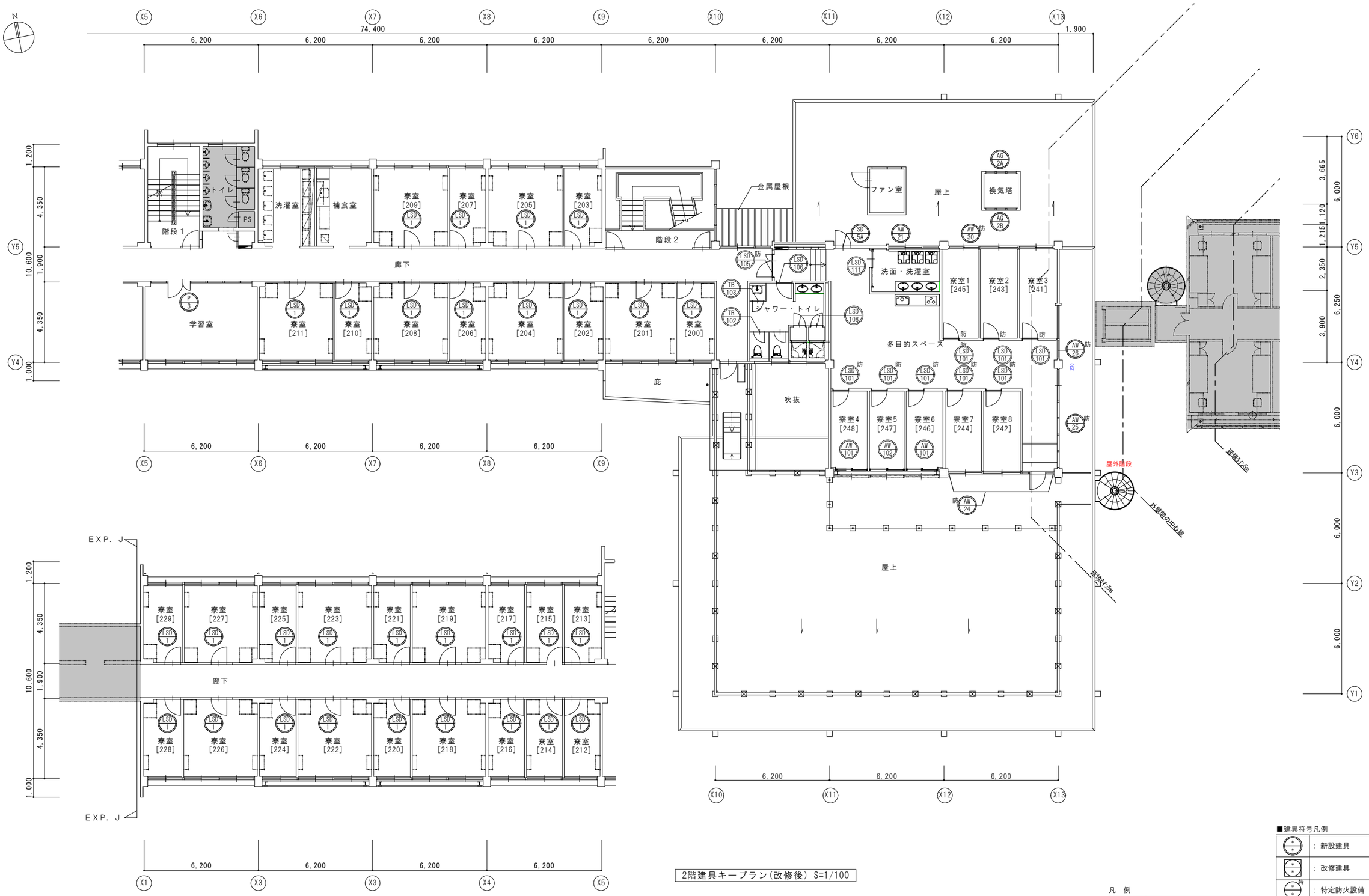
凡 例

	改修対象外範囲を示す

■建具符号凡例

	: 新設建具
	: 改修建具
特	: 特定防火設備
防	: 防火設備

年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和7年度	令和7年7月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	1階建具キープラン(改修後)	A1：1/100 A3：1/200	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社 TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号 FAX 092-522-5183 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11499号 一級建築士 国土交通大臣登録 第350116号 野田 康広						A-51



2階建具キープラン(改修後) S=1/100

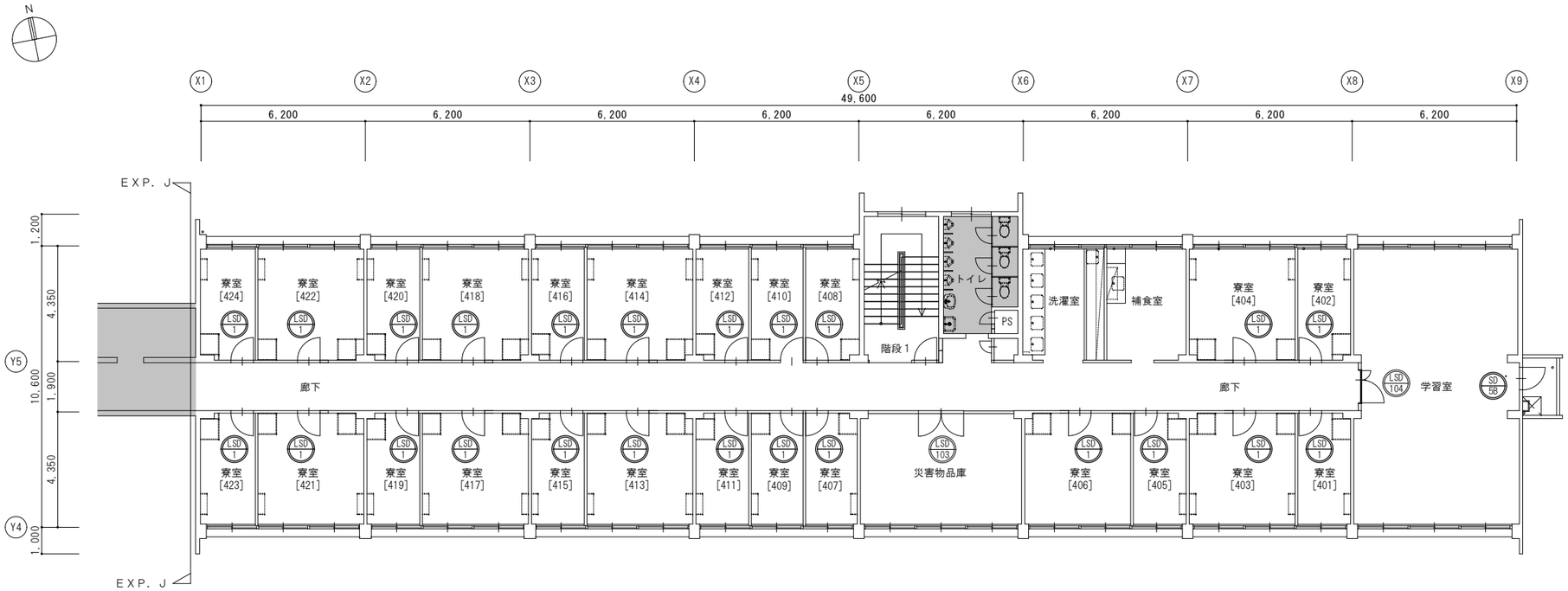
凡 例

	改修対象外範囲を示す

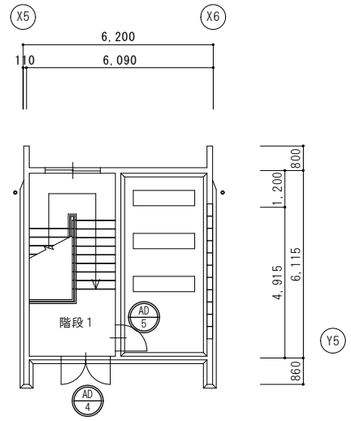
■建具符号凡例

	: 新設建具
	: 改修建具
特	: 特定防火設備
防	: 防火設備

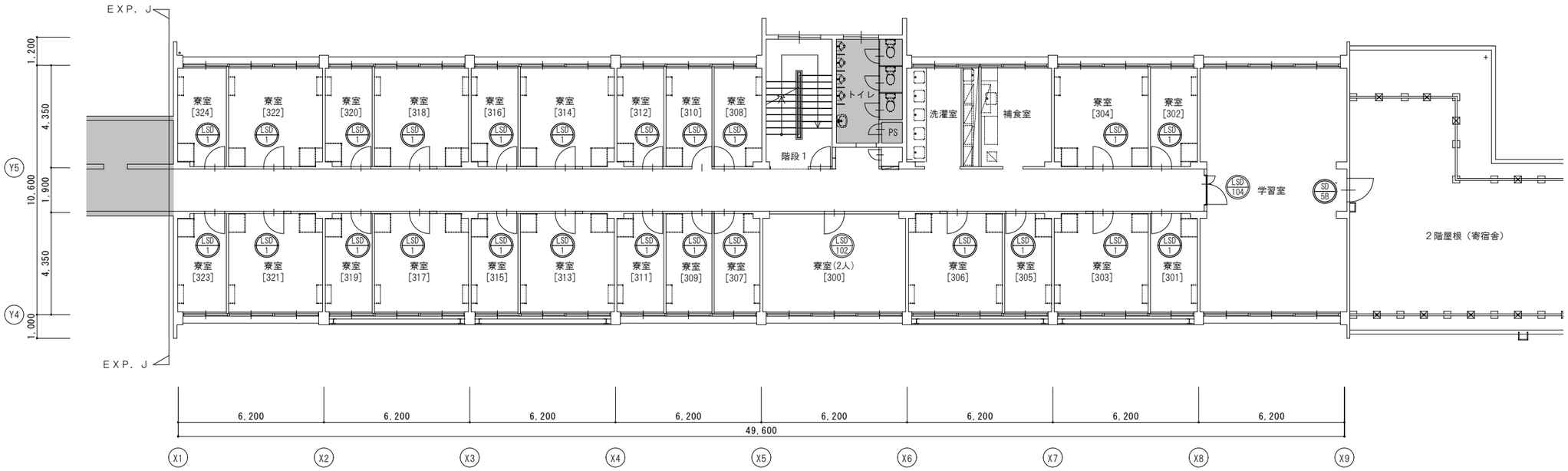
年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和7年度	令和7年7月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	2階建具キープラン(改修後)	A1：1/100 A3：1/200	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社 TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号 FAX 092-522-5183 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11499号 一級建築士 国土交通大臣登録 第350116号 野田 康広						A-52



4階建具キープラン(改修後) S=1/100



R階建具キープラン(改修後) S=1/100



3階建具キープラン(改修後) S=1/100

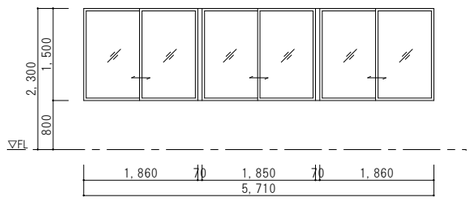
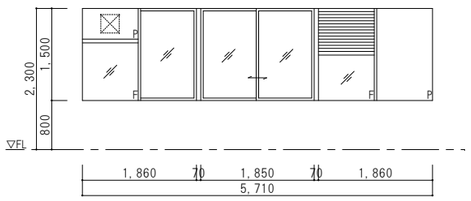
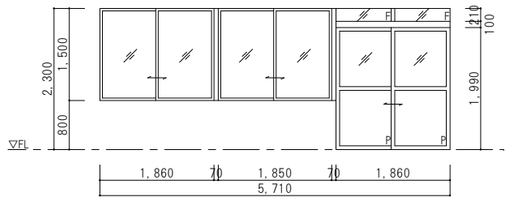
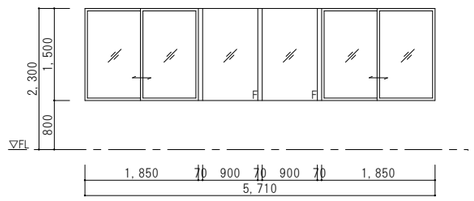
凡　例

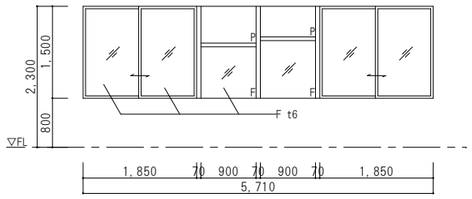
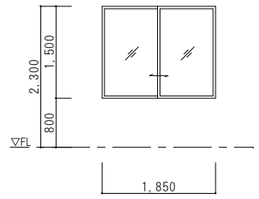
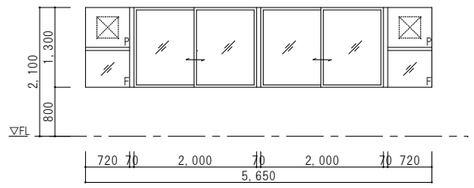
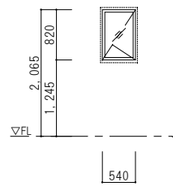
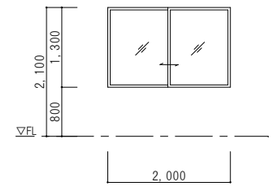
	改修対象外範囲を示す

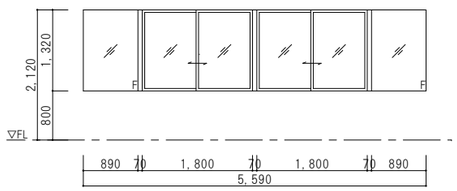
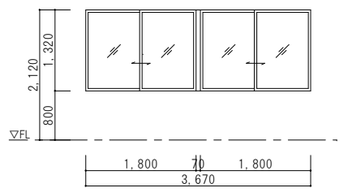
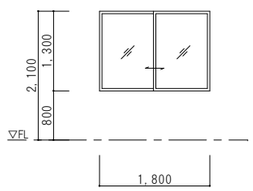
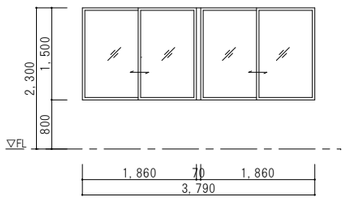
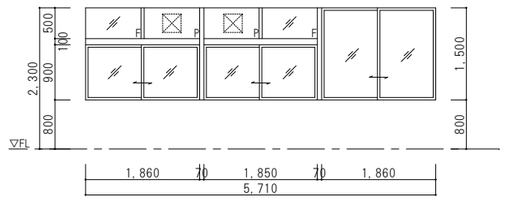
■建具符号凡例

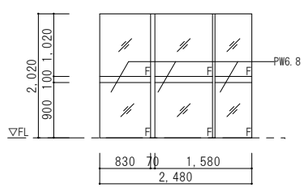
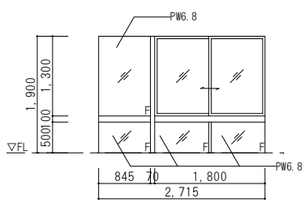
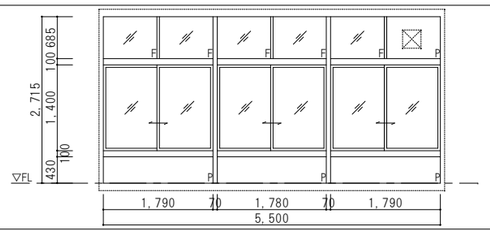
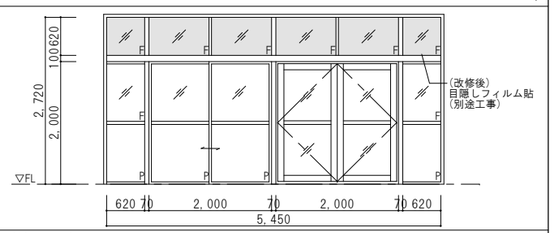
	：新設建具
	：改修建具
特	：特定防火設備
防	：防火設備

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第１項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和７年度	令和７年７月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	3・4・R階建具キープラン(改修後)	A1：1/100 A3：1/200	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社 TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号 FAX 092-522-5183 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11499号 一級建築士 国土交通大臣登録 第350116号 野田 康広						A-53

符号・形式	AW 1 引違い窓 [既存のまま]	AW 1 引違い窓 [硝子取替]	AW 1' 引違い窓＋FIX窓 [硝子取替]	AW 2 引違い窓(一部FIXランマ付) [硝子取替]	AW 3 引違い窓＋FIX窓 [硝子取替]	AW 3 引違い窓＋FIX窓 [硝子取替]
場所・数量	1階 多目的室 10	寮室・2,3,4階 多目的室 43	留学生専用多目的室・留学生専用シャワー室 1	1階 多目的室 1	下足室 1	捕食室・洗濯室 3
姿図						
材質・仕上	アルミ製(シルバー)		アルミ製(シルバー)	アルミ製(シルバー)	アルミ製(シルバー)	
見込	70		70	70	70	
硝子	既存：FL3(撤去) / 改修：FL3+A6+FL3(新設)		既存：FL3(撤去)、アルミパネル t6(既存のまま) / 改修：FL3+A6+FL3(新設)	FL3、アルミパネル t6	既存：FL3(撤去) / 改修：FL3+A6+FL3(新設)	
附属金物	付属金物一式		付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	
備考	木製腰板（上枠・下枠）SOP(撤去) ※撤去対象分のみ		木製腰板（上枠・下枠）SOP(撤去)、アルミガラリ	木製腰板（上枠・下枠）SOP(撤去)、非常錠	木製腰板（上枠・下枠）SOP(撤去) ※撤去分のみ	

符号・形式	AW 3 引違い窓＋FIX窓 [硝子取替]	AW 4 引違い窓 [硝子取替]	AW 5 引違い窓＋FIX窓 [硝子取替]	AW 6 防 滑出し窓 [既存のまま]	AW 7 引違い窓 [硝子取替]
場所・数量	留学生専用捕食室・多目的トイレ 1	1～4階 トイレ1 4	浴室 1	従業員トイレ 1	事務室 1
姿図					
材質・仕上	アルミ製(シルバー)	アルミ製(シルバー)	アルミ製(シルバー)	アルミ製(シルバー)	アルミ製(シルバー)
見込	70	70	70	70	70
硝子	既存：FL3(撤去)、アルミパネル t6(既存のまま) / 改修：FL3+A6+FL3(新設)	既存：FL3(撤去) / 改修：FL3+A6+FL3(新設)	既存：F4(撤去)、アルミパネル t6(既存のまま) / 改修：FL3+A6+FL3(新設)	PW6.8	FL3
附属金物	付属金物一式	アルミ水切 他付属金物一式	アルミ水切 他付属金物一式	付属金物一式	アルミ水切 他付属金物一式
備考			既存目隠しフェンス:アルミ製 W5,650×H1,300(撤去・再取付)※ブラケットにて150mm跳出		

符号・形式	AW 8 引違い窓＋FIX窓 [硝子取替]	AW 9 引違い窓 [硝子取替]	AW 10 引違い窓 [硝子取替]	AW 11 引違い窓 [硝子取替]	AW 12 引違い窓(一部FIXランマ付) [硝子取替]
場所・数量	中庭 1	1階 廊下 1	階段1 4	2階 倉庫 1	宿直室 1
姿図					
材質・仕上	アルミ製(シルバー)	アルミ製(シルバー)	アルミ製(シルバー)	アルミ製(シルバー)	アルミ製(シルバー)
見込	70	70	70	70	70
硝子	既存：FL3(撤去) / 改修：FL3+A6+FL3(新設)	既存：FL3(撤去) / 改修：FL3+A6+FL3(新設)	既存：FL3(撤去) / 改修：FL3+A6+FL3(新設)	既存：FL3(撤去) / 改修：FL3+A6+FL3(新設)	既存：FL3(撤去)、アルミパネル t6(既存のまま) / 改修：FL3+A6+FL3(新設)
附属金物	アルミ水切 他付属金物一式	アルミ水切 他付属金物一式	アルミ水切 他付属金物一式	アルミ水切 他付属金物一式	アルミ製腰板（上枠・下枠） 他付属金物一式
備考					

符号・形式	AW 13 FIX窓 [硝子取替]	AW 14 引違い窓＋FIX窓 [硝子取替]	AW 15 引違い窓＋FIX窓 [H20年施工範囲 既存のまま]	AW 16 防 FIXランマ付引違い戸＋両開き戸 [改修：目隠しフィルム貼(別途工事)]
場所・数量	1階 階段2 1	1,2階 廊下 2	食堂 3	食堂 1
姿図				
材質・仕上	アルミ製(シルバー)	アルミ製(シルバー)	アルミ製(シルバー)	アルミ製(シルバー)
見込	70	70	70	70
硝子	既存：FL3、PW6.8(撤去) / 改修：FL3+A6+FL3、PW6.8(新設)	既存：FL3、PW6.8(撤去) / 改修：FL3+A6+FL3、PW6.8(新設)	T5、アルミパネル t6	PW6.8、アルミパネル t6(既存のまま)
附属金物	付属金物一式	付属金物一式	アルミ外額縁、アルミ水切、可動網戸 他付属金物一式	順位調整器、SUS製ロングハンドル 他付属金物一式
備考				既存ガラス面に目隠しフィルム貼

■建具符号凡例

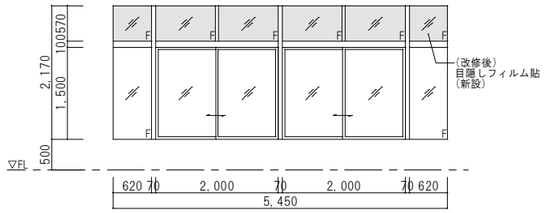
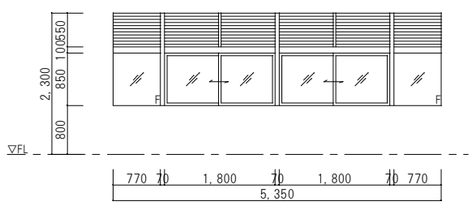
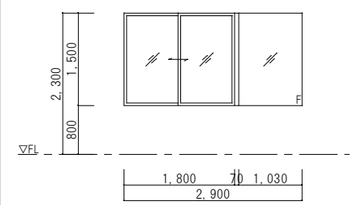
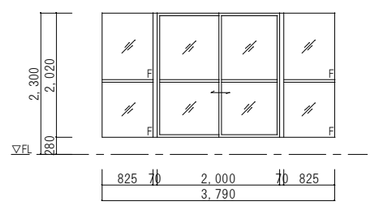
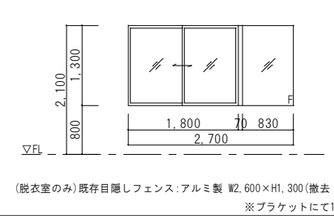
- SD ：スチール製扉
- AD ：アルミ製扉
- LSD ：軽量スチール製扉
- WD ：木製扉
- AW ：アルミ製窓
- SS ：スチール製シャッター
- AG ：アルミ製ガラリ
- SDW ：スライディングウォール
- P ：パーティション
- TB ：トイレブース
- SF ：ステンレス製三方枠

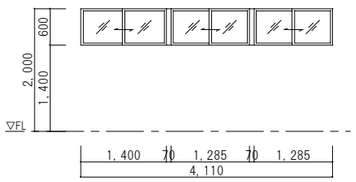
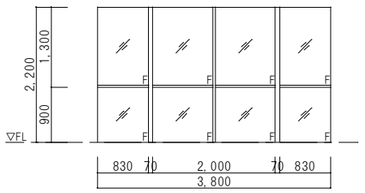
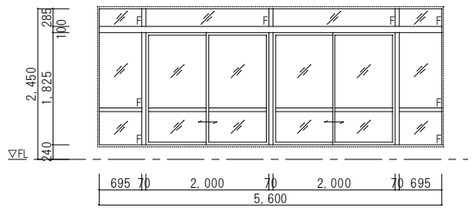
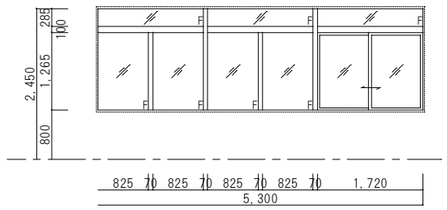
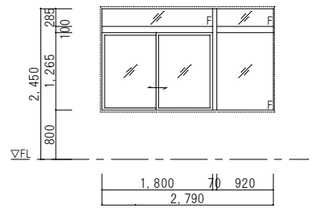
特 ：特定防火設備
防 ：防火設備

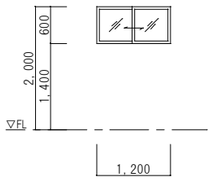
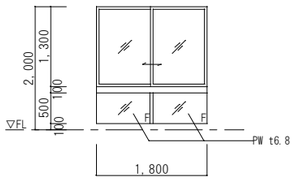
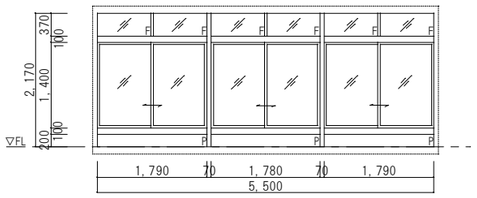
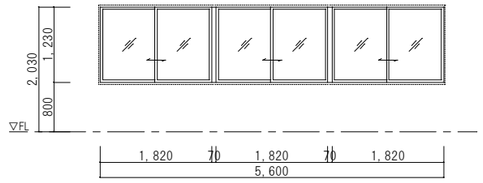
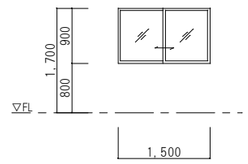
■ガラス凡例

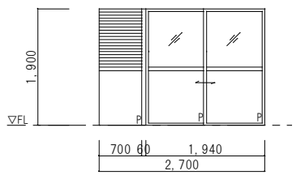
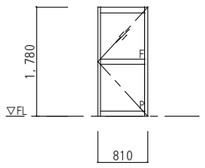
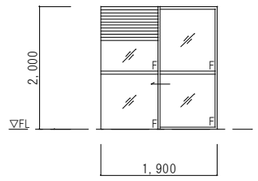
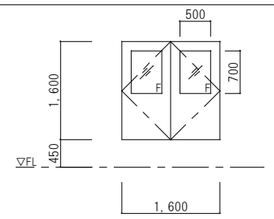
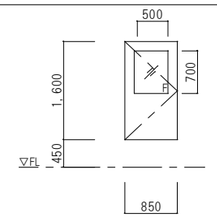
- FL ：フロート板ガラス
- F ：型板ガラス
- PW ：網入り磨き板ガラス
- FW ：網入り型板ガラス
- T ：強化板ガラス
- A ：中空層
- ：目隠しフィルム貼(別途工事)

年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和７年度	令和７年７月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	建具表(1)(改修前)	A1：1/50 A3：1/100	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社 TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号 FAX 092-522-5183 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11499号 一級建築士 国土交通大臣登録 第350116号 野田 康広						A-54

符号・形式	AW 17 FIXランマ付引違い窓＋FIX窓 [改修：目隠しフィルム貼(別途工事)]	AW 18 ランマ付引違い窓＋FIX窓 [硝子取替]	AW 19 引違い窓＋FIX窓 [硝子取替]	AW 20 引違い窓＋FIX窓 [硝子取替]	AW 21 引違い窓＋FIX窓 [硝子取替]
場所・数量	食堂 1	厨房 1	休憩室 1	食堂 1	1階 脱衣室・2階 廊下 2
姿図					
材質・仕上	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ
見込	70	70	70	70	70
硝子	T6(既存のまま)	既存：FL3(撤去) / 改修：FL3+A6+FL3(新設)	既存：FL3(撤去) / 改修：FL3+A6+FL3(新設)	既存：FL3(撤去) / 改修：FL3+A6+FL3(新設)	既存：FL3(撤去) / 改修：FL3+A6+FL3(新設)
附属金物	アルミ製膳板（下枠）	アルミ製膳板（上枠・下枠）	アルミ水切	アルミ水切	アルミ水切り
	アルミ水切	アルミ水切	他付属金物一式	他付属金物一式	他付属金物一式
	他付属金物一式	他付属金物一式			
備考	既存ガラス面に目隠しフィルム貼	アルミガラリ(フィルター付)			

符号・形式	AW 22 引違い窓 [硝子取替]	AW 23 FIX窓 [硝子取替]	特 24 防 FIXランマ付引違い窓 [撤去]	特 25 防 FIXランマ付引違い窓 [撤去]	特 26 防 FIXランマ付引違い窓＋FIX窓 [撤去]
場所・数量	トイレ2 1	2階 階段室 1	2階 集会室 1	2階 集会室 1	2階 集会室 1
姿図					
材質・仕上	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ
見込	70	70	70	70	70
硝子	既存：FL3(撤去) / 改修：FL3+A6+FL3(新設)	既存：FL3(撤去) / 改修：FL3+A6+FL3(新設)	PW6.8	PW6.8	PW6.8
附属金物	アルミ水切	付属金物一式	引き網戸	引き網戸	引き網戸
	付属金物一式		他付属金物一式	他付属金物一式	他付属金物一式
備考					

符号・形式	AW 27 引違い窓 [硝子取替]	AW 28 引違い窓＋FIX窓 [硝子取替]	AW 29 引違い窓＋FIX窓 [H20年施工範囲 既存のまま]	特 30 防 引違い窓 [撤去]	AW 31 引違い窓 [既存のまま]
場所・数量	ポンプ室 1	1階 廊下 1	2階 集会室(和室) 1	2階 集会室 1	休憩室 1
姿図					
材質・仕上	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ
見込	70	70	70	70	70
硝子	PW6.8(撤去・新設)	既存：FL3、PW6.8(撤去) / 改修：FL3+A6+FL3、PW6.8(新設)	FL5、アルミパネル t6	FW6.8	FW6.8
附属金物	アルミ水切	付属金物一式	アルミ外額縁、アルミ水切、可動網戸	引き網戸	付属金物一式
	付属金物一式		他付属金物一式	他付属金物一式	
備考					

符号・形式	特 1 防 引違い戸 [撤去]	AD 2 片開き戸 [既存のまま]	特 3 防 FIX窓付片引き戸 [撤去]	特 4 防 両開き戸 [撤去]	特 5 防 片開き戸 [撤去]
場所・数量	浴室 1	食堂 1	宿直室浴室 1	屋上出口 1	屋上出口 1
姿図					
材質・仕上	アルミ	アルミ	アルミ	アルミフラッシュ	アルミフラッシュ
見込	70	45	70	70	70
硝子	F4、アルミパネル t6	F4、アルミパネル t6	F4	PW6.8	PW6.8
附属金物	アルミ水切	空錠、丁番、ドアチェック	付属金物一式	シリンダー付きモノロック（両面シリンダー）、丁番、あげ落し	シリンダー付きモノロック（両面シリンダー）、丁番
	他付属金物一式	他付属金物一式		ドアークローザー、戸当り、アルミ額縁、アルミ水切	ドアークローザー、戸当り、アルミ額縁、アルミ水切
				他付属金物一式	他付属金物一式
備考	アルミガラリ		アルミガラリ		

■建具符号凡例

SD ：スチール製扉
AD ：アルミ製扉
LSD ：軽量スチール製扉
WD ：木製扉
AW ：アルミ製窓
SS ：スチール製シャッター
AG ：アルミ製ガラリ
SDW ：スライディングウォール
P ：パーティション
TB ：トイレブース
SF ：ステンレス製三方枠

特 ：特定防火設備
防 ：防火設備

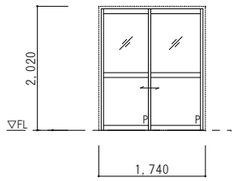
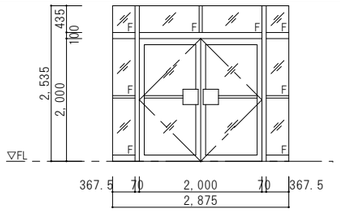
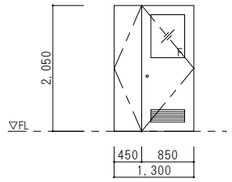
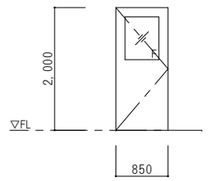
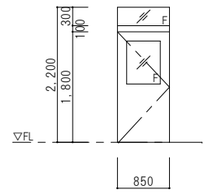
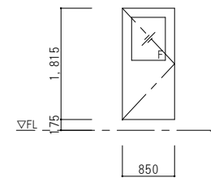
■ガラス凡例

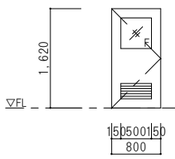
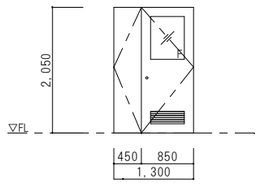
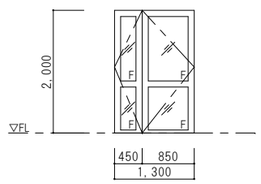
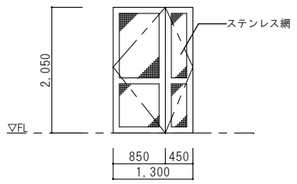
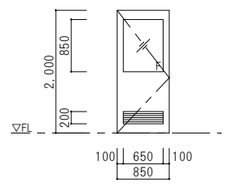
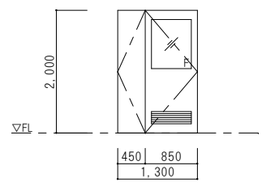
FL ：フロート板ガラス
F ：型板ガラス
PW ：網入り磨き板ガラス
FW ：網入り型板ガラス
T ：強化板ガラス

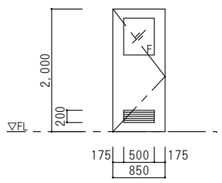
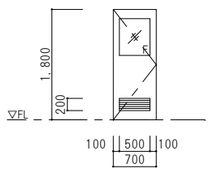
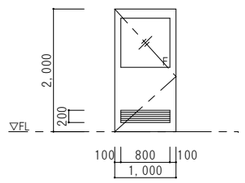
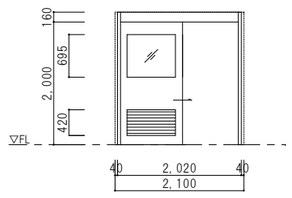
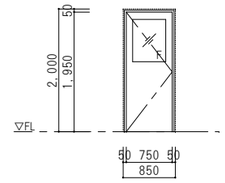
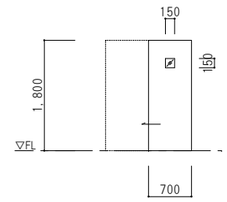
A ：中空層

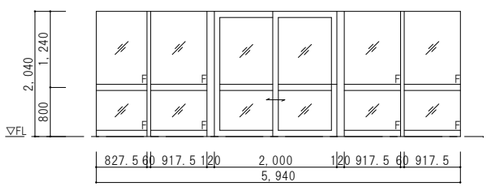
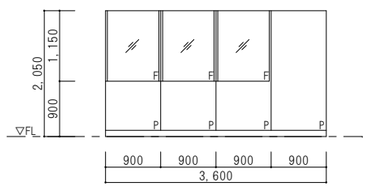
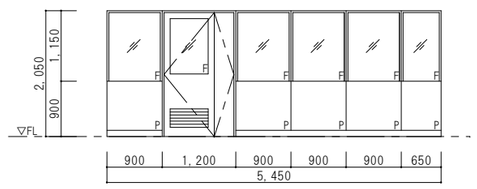
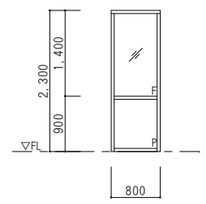
：目隠しフィルム貼（別途工事）

年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和７年度	令和７年７月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	建具表(2)(改修前)	A1：1/50 A3：1/100	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社 TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号 FAX 092-522-5183 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11499号 一級建築士 国土交通大臣登録 第350116号 野田 康広						A-55

符号・形式	AD 6 引違い戸 [撤去]	AD 7 FIXランマ付両開き戸＋FIX窓 [既存のまま]	SD 8 両開き戸 [撤去]	SD 8 片開き戸 [扉のみ撤去]	SD 8 片開き戸 [扉のみ撤去]	SD 8 片開き戸 [扉のみ撤去]
場所・数量	食堂 1	玄関 1	厨房入口 1	1階 廊下 1	2階 廊下 1	2階 廊下・3,4階 屋上出口 3
姿図						
材質・仕上	アルミ	スチール SOP	スチール SOP	スチール SOP	スチール SOP	スチール SOP
見込	70	85	85	85	85	85
硝子	PW6.8、アルミパネル t6	FL3（ドア部：FL5）	F4	F4	F4	F4
附属金物	付属金物一式	フロアヒンジ（ストッパー付）、シリンダー錠	モノロック（片面サムターン）、丁番	モノロック（片面サムターン）、丁番	モノロック（片面サムターン）、丁番	モノロック（片面サムターン）、丁番
		押板、フランス落とし	ドアチェック、フランス落とし	ドアチェック、フランス落とし	ドアチェック	ドアチェック
		他付属金物一式	他付属金物一式	他付属金物一式	他付属金物一式	
備考						

符号・形式	SD 6 片開き戸 [既存のまま]	SD 9 親子開き戸 [撤去]	SD 10 親子開き戸 [撤去]	SD 11 親子開き網戸 [撤去]	LSD 1 片開き戸 [扉のみ撤去]	LSD 2 親子開き戸 [枠共撤去]
場所・数量	ファン室 1	食品庫 1	厨房 1	厨房廊下 1	寮室・休憩室 87	2階 集会室・2階 倉庫 2
姿図						
材質・仕上	スチール SOP	スチール SOP	スチール SOP	スチール SOP	軽量スチール SOP	軽量スチール SOP
見込	85	85	85		110	110
硝子	PW6.8	F4	FL3	―	F4	F4
附属金物	モノロック（片面サムターン）	モノロック（片面サムターン）、丁番	モノロック（片面サムターン）、丁番	丁番、空錠	モノロック（片面サムターン）、丁番	モノロック（片面サムターン）、丁番
	丁番、ドアチェック	ドアチェック、フランス落とし	ドアチェック、フランス落とし	付属金物一式	ドアチェック	ドアチェック、フランス落とし
	他付属金物一式	他付属金物一式	他付属金物一式		他付属金物一式	他付属金物一式
備考					スチールガラリ(開閉装置付)	スチールガラリ(開閉装置付)

符号・形式	LSD 3 片開き戸 [H20年施工範囲 既存のまま]	LSD 4 片開き戸 [撤去]	SD 5 片開き戸 [扉のみ撤去]	LSD 6 片開きハンガー戸 [既存のまま]	LSD 9 片開き戸 [H20年施工範囲 既存のまま]	WD 片引きフラッシュ戸 [枠共撤去]
場所・数量	留学生用多目的室・シャワー室・宿直室 4	従業員トイレ 2	脱衣室 1	事務室 1	留学生用捕食室 1	宿直室 1
姿図						
材質・仕上	軽量スチール SOP	軽量スチール SOP	軽量スチール SOP	軽量スチール SOP	軽量スチール SOP	メラミン化粧合板フラッシュ
見込	110	110	110	90	130	扉見込：33
硝子	F4	F4	F4	FL3	FL3	F4
附属金物	モノロック（片面サムターン）、丁番	モノロック（片面サムターン）、丁番	モノロック（片面サムターン）、丁番	付属金物一式	シリンダー錠、丁番	引き手、敷居レール、戸車
	ドアチェック	ドアチェック	ドアチェック		ドアチェック	他付属金物一式
	他付属金物一式	他付属金物一式	他付属金物一式		他付属金物一式	
備考	アルミガラリ	アルミガラリ	アルミガラリ	アルミガラリ		

符号・形式	WD 2 引違い戸＋FIX窓 [撤去]	P 1 パーティション [H20年施工範囲 既存のまま]	P 3 パーティション [撤去]	P 3 パーティション [撤去]	P 4 パーティション [撤去]
場所・数量	2階 集会室 1	1階 多目的コーナー 1	2階 多目的室 1	3,4階 多目的室 2	トイレ2 1
姿図					
材質・仕上	木製 CL	スチール焼付け塗装	スチール焼付け塗装		スチール焼付け塗装
見込	扉見込：33	80	80		80
硝子	F4	F4	F4		F4
附属金物	掘込引手、レール、戸車	付属金物一式	モノロック(内部空錠)、丁番、ドアチェック、フランス落とし		付属金物一式
	他付属金物一式		他付属金物一式		
備考					

■建具符号凡例

SD ：スチール製扉
AD ：アルミ製扉
LSD ：軽量スチール製扉
WD ：木製扉
AW ：アルミ製窓
SS ：スチール製シャッター
AG ：アルミ製ガラリ
SDW ：スライディングウォール
P ：パーティション
TB ：トイレブース
SF ：ステンレス製三方枠

特 ：特定防火設備
防 ：防火設備

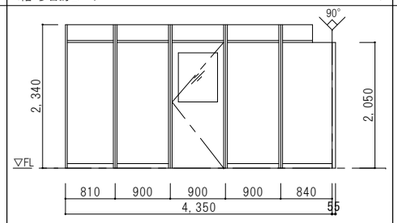
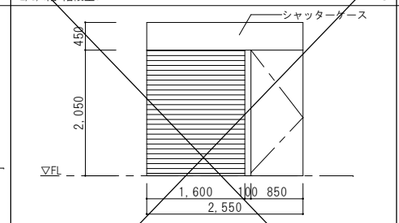
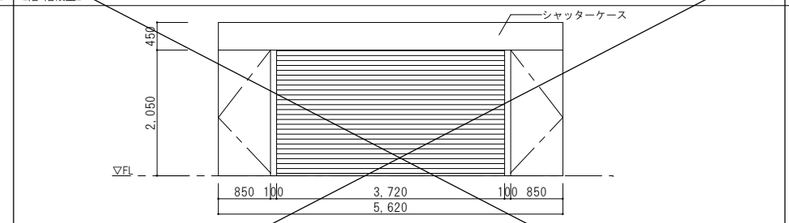
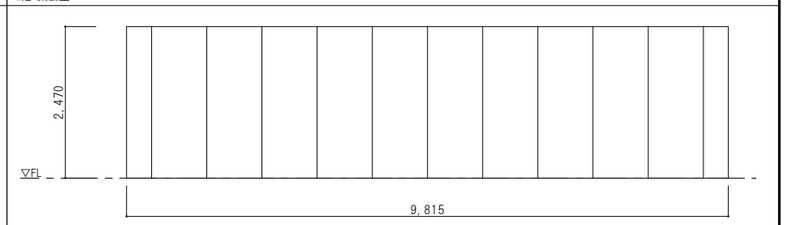
■ガラス凡例

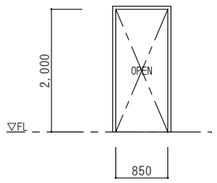
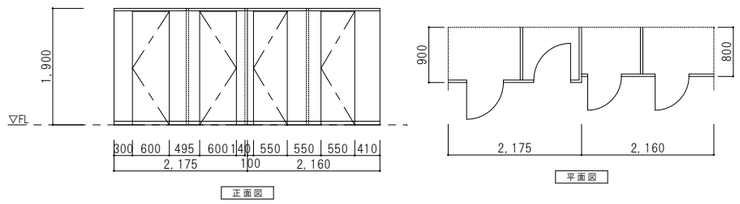
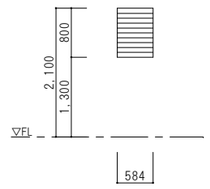
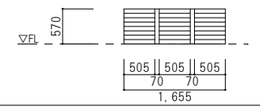
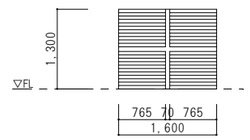
FL ：フロート板ガラス
F ：型板ガラス
PW ：網入り磨き板ガラス
FW ：網入り型板ガラス
T ：強化板ガラス

A ：中空層

：目隠しフィルム貼（別途工事）

年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第１項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和７年度	令和７年７月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	建具表(3)(改修前)	A1：1/50 A3：1/100	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社 TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号 FAX 092-522-5183 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11499号 一級建築士 国土交通大臣登録 第350116号 野田 康広						A-56

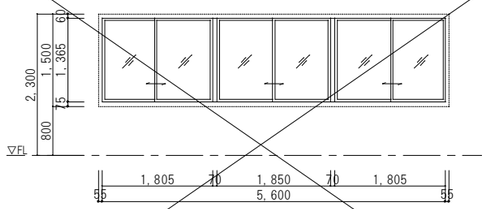
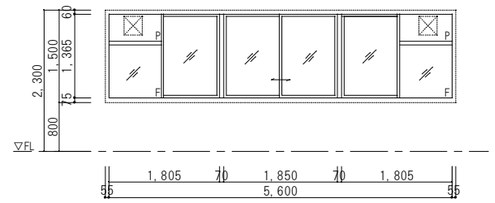
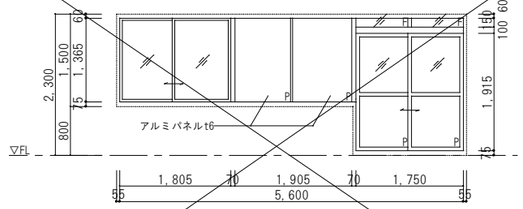
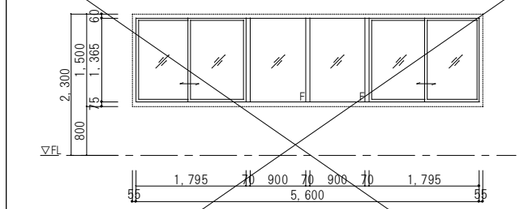
符号・形式	P 5 パーティション [撤去]	SS 2 防火戸付き防火シャッター(常閉防火戸) [撤去]	SS 3 防火戸付き防火シャッター(常閉防火戸) [撤去]	SDW A 可動間仕切 [撤去]
場所・数量	1階 多目的コーナー 1	2,3,4階 階段室1 3	2階 階段室2 1	2階 集会室 1
姿図				
材質・仕上	スチール焼付け塗装	スチール SOP	スチール SOP	表面材:スチール鋼板t0.8 焼付塗装 裏打合板t4 グラスウール充填
見込	80			50
硝子	F4	—	—	—
附属金物	モノロック(内部空錠)、丁番、ドアチェック 他付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
備考		シャッターケース	シャッターケース	

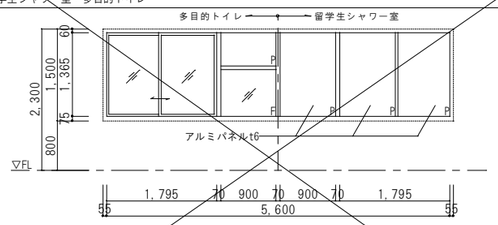
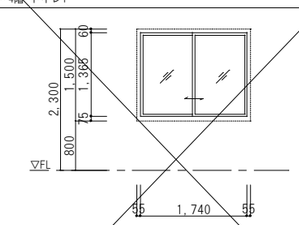
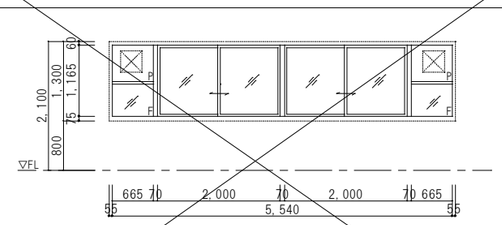
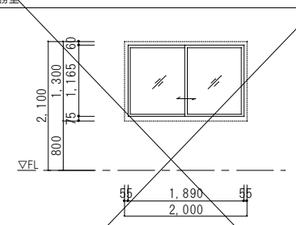
符号・形式	SF 1 ステンレス製三方枠 [既存のまま]	TP 1 トイレブース [撤去]	AG 1 アルミガラリ [既存のまま]	AG 2 アルミガラリ [撤去]	AG 3 アルミガラリ [既存のまま]
場所・数量	捕食室・トイレ2 4	トイレ2 1	厨房 4	換気塔 2	ファン室 1
姿図					
材質・仕上	ステンレス	メラミン化粧板	アルミ	アルミ	アルミ
見込		40	70	70	70
硝子	—	—	—	—	—
附属金物		付属金物一式			
備考					

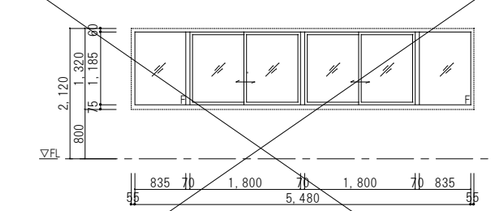
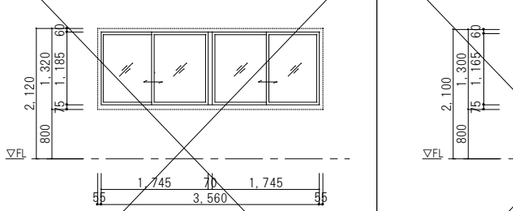
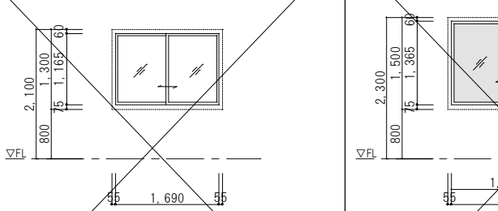
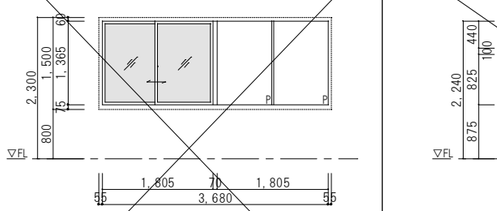
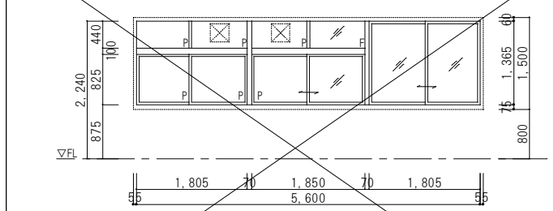
符号・形式						
場所・数量						
姿図						
材質・仕上						
見込						
硝子						
附属金物						
備考						

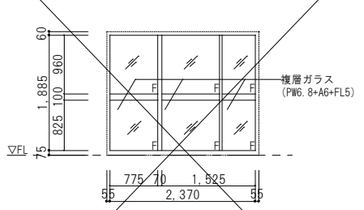
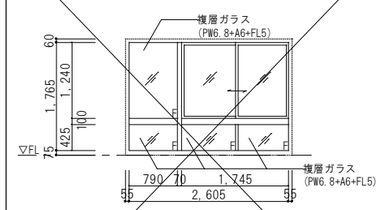
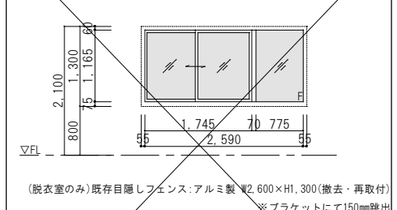
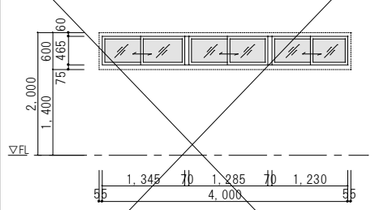
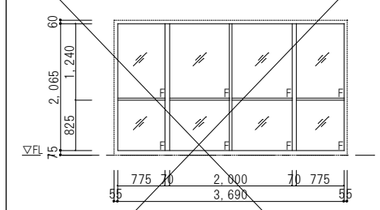
符号・形式						
場所・数量						
姿図						
材質・仕上						
見込						
硝子						
附属金物						
備考						

年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和７年度	令和７年７月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	建具表(4)(改修前)	A1：1/50 A3：1/100	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社 TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号 FAX 092-522-5183 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11499号 一級建築士 国土交通大臣登録 第350116号 野田 康広						A-57

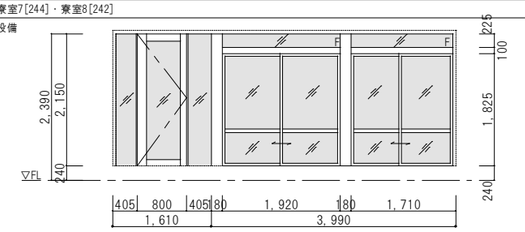
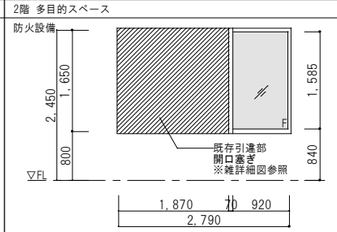
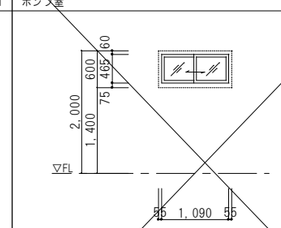
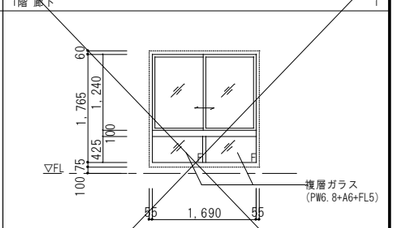
符号・形式	AW 1 引違い窓 [新設・カバー工法]	AW 1 引違い窓＋FIX窓 [新設・カバー工法]	AW 2 引違い窓(一部FIXランマ付) [新設・カバー工法]	AW 3 引違い窓＋FIX窓 [新設・カバー工法]
場所・数量	寮室・2,3,4階 多目的室 42	留学生補食室 1	1階 寮室(シャワー・WC)[123] 1	補食室・洗濯室 3
姿図				
材質・仕上	アルミ [カバー工法]	アルミ [カバー工法]	アルミ [カバー工法]	アルミ [カバー工法]
見込	70	70	70	70
硝子	複層ガラス(FL5+A6+FL5)	複層ガラス(FL5+A6+FL5)、アルミパネル t6	複層ガラス(FL5+A6+FL5)、アルミパネル t6	複層ガラス(FL5+A6+FL5)
附属金物	サッシストッパー、他付属金物一式	他付属金物一式	他付属金物一式	サッシストッパー、他付属金物一式
備考				

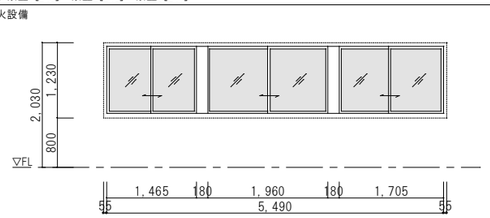
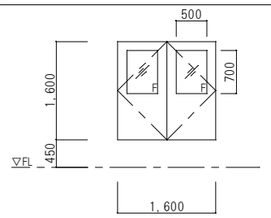
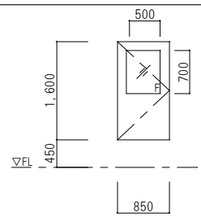
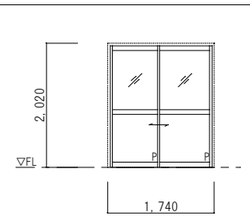
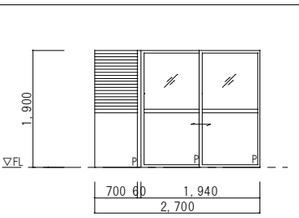
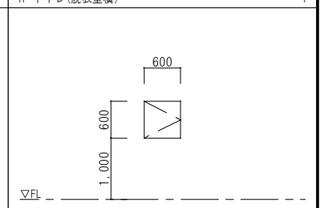
符号・形式	AW 3 引違い窓＋FIX窓 [新設・カバー工法]	AW 4 引違い窓 [新設・カバー工法]	AW 5 引違い窓＋FIX窓 [新設・カバー工法]	AW 7 引違い窓 [新設・カバー工法]
場所・数量	留学生シャワー室・多目的トイレ 1	1～4階 トイレ1 4	浴室 1	事務室 1
姿図				
材質・仕上	アルミ [カバー工法]	アルミ [カバー工法]	アルミ [カバー工法]	アルミ [カバー工法]
見込	70	70	70	70
硝子	複層ガラス(FL5+A6+FL5)、アルミパネル t6	複層ガラス(FL5+A6+FL5)	複層ガラス(F4+A6+FL5)、アルミパネル t6	複層ガラス(FL5+A6+FL5)
附属金物	サッシストッパー、他付属金物一式	アルミ水切 サッシストッパー、他付属金物一式	アルミ水切 他付属金物一式	アルミ水切 他付属金物一式
備考			既存目隠しフェンス:アルミ製 W5,650×H1,300(撤去・再取付)※ブラケットにて150mm跳出	

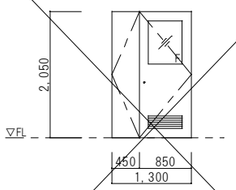
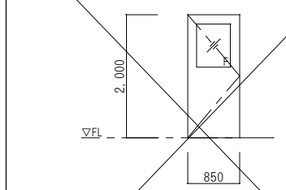
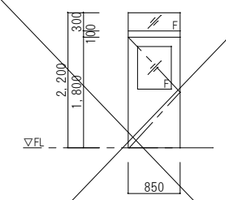
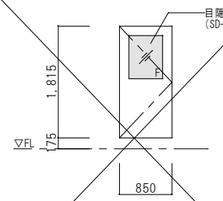
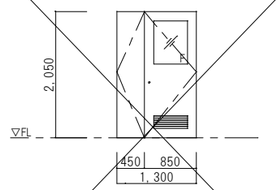
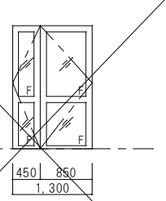
符号・形式	AW 8 引違い窓＋FIX窓 [新設・カバー工法]	AW 9 引違い窓 [新設・カバー工法]	AW 10 引違い窓 [新設・カバー工法]	AW 11 引違い窓 [新設・カバー工法]	AW 12 引違い窓(一部FIXランマ付) [新設・カバー工法]
場所・数量	中庭 1	1階 廊下 1	階段1 4	2階 シャワー・トイレ 1	宿直室 1
姿図					
材質・仕上	アルミ [カバー工法]	アルミ [カバー工法]	アルミ [カバー工法]	アルミ [カバー工法]	アルミ [カバー工法]
見込	70	70	70	70	70
硝子	複層ガラス(FL5+A6+FL5)	複層ガラス(FL5+A6+FL5)	複層ガラス(FL5+A6+FL5)	複層ガラス(FL5+A6+FL5)、アルミパネル t6	複層ガラス(FL5+A6+FL5)、アルミパネル t6
附属金物	アルミ水切 サッシストッパー、他付属金物一式	アルミ水切 サッシストッパー、他付属金物一式	アルミ水切 サッシストッパー、他付属金物一式	アルミ水切 サッシストッパー、他付属金物一式	他付属金物一式
備考				ガラス面:目隠しフィルム貼(別途工事)	

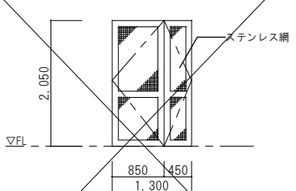
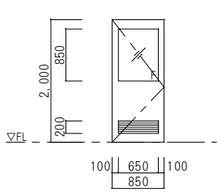
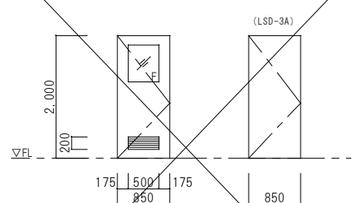
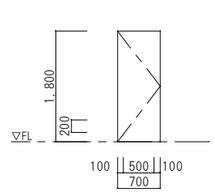
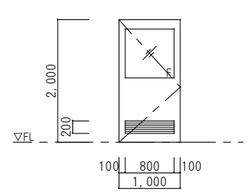
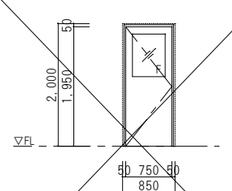
符号・形式	AW 13 FIX窓 [新設・カバー工法]	AW 14 引違い窓＋FIX窓 [新設・カバー工法]	AW 21 引違い窓＋FIX窓 [新設・カバー工法]	AW 22 引違い窓 [新設・カバー工法]	AW 23 FIX窓 [新設・カバー工法]
場所・数量	1階 階段2 1	1,2階 廊下 2	1階 脱衣室・2階 洗面・洗濯室 2	トイレ 1	2階 階段2 1
姿図					
材質・仕上	アルミ [カバー工法]	アルミ [カバー工法]	アルミ [カバー工法]	アルミ [カバー工法]	アルミ [カバー工法]
見込	70	70	70	70	70
硝子	複層ガラス(FL5+A6+FL5)、複層ガラス(PW6.8+A6+FL5)	複層ガラス(FL5+A6+FL5)、複層ガラス(PW6.8+A6+FL5)	複層ガラス(FL5+A6+FL5)	複層ガラス(FL5+A6+FL5)	複層ガラス(FL5+A6+FL5)
附属金物	付属金物一式	サッシストッパー(2Fのみ設置)、他付属金物一式	アルミ水切り サッシストッパー(2Fのみ設置)、他付属金物一式	アルミ水切 他付属金物一式	付属金物一式
備考			ガラス面:目隠しフィルム貼(別途工事)	ガラス面:目隠しフィルム貼(別途工事)	

年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和７年度	令和７年７月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	建具表(1)(改修後)	A1：1/50 A3：1/100	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社 TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号 FAX 092-522-5183 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11499号 一級建築士 国土交通大臣登録 第350116号 野田 康広						A-58

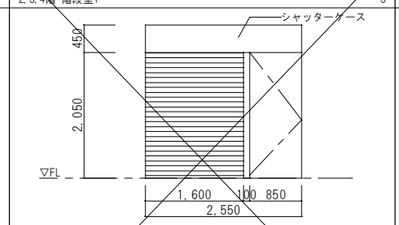
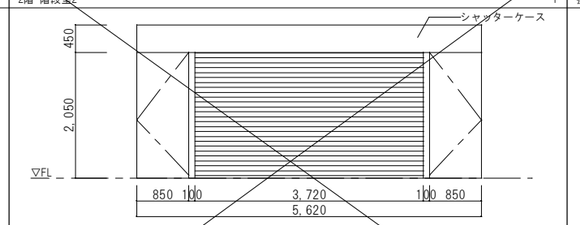
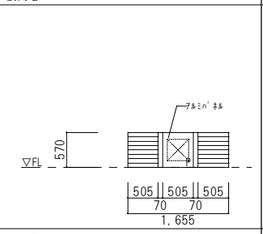
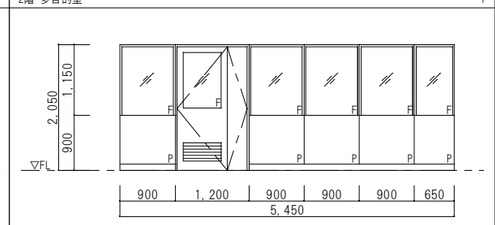
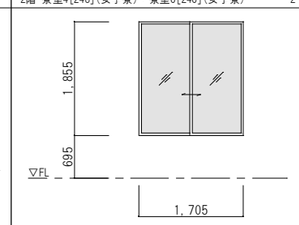
符号・形式	AW 24 05 FIXランマ付引違い窓＋親子開き戸 [新設]	AW 25 05 FIXランマ付引違い窓 [カバー工法]	AW 26 05 FIX窓 [新設]	AW 27 引違い窓 [カバー工法]	AW 28 引違い窓＋FIX窓 [カバー工法]
場所・数量	2階 寮室7[244]・寮室8[242] 1	2階 多目的スペース 1	2階 多目的スペース 1	ポンプ室 1	1階 廊下 1
姿図	防火設備 	防火設備	防火設備 		
材質・仕上	アルミ	アルミ [カバー工法]	アルミ製	アルミ [カバー工法]	アルミ [カバー工法]
見込	70	70	70	70	70
硝子	複層ガラス(PW6.8+A6+Low-E5)	複層ガラス(PW6.8+A6+Low-E5)	複層ガラス(PW6.8+A6+Low-E5)	複層ガラス(PW6.8+A6+FL5)	複層ガラス(FL5+A6+FL5)、複層ガラス(PW6.8+A6+FL5)
附属金物	片開扉：電気錠 サッシストッパー、他付属金物一式	引き網戸 サッシストッパー、他付属金物一式	引き網戸 他付属金物一式	アルミ水切 他付属金物一式	引違い用シリンダー錠錠、他付属金物一式
備考	ガラス面:飛散防止フィルム貼(別途工事)	ガラス面:飛散防止フィルム貼(別途工事)	ガラス面:飛散防止フィルム貼(別途工事)		

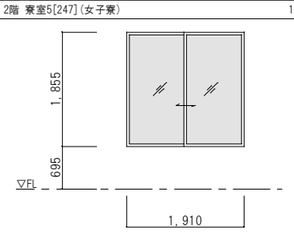
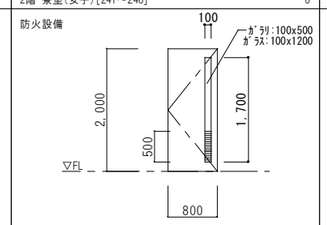
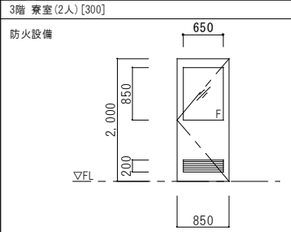
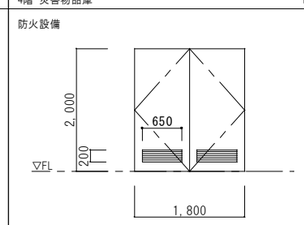
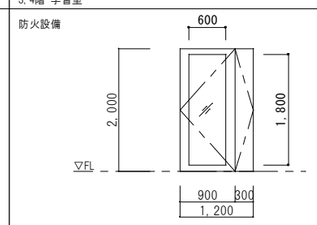
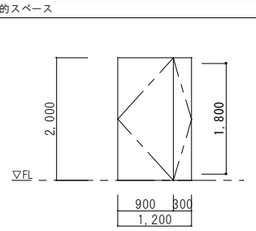
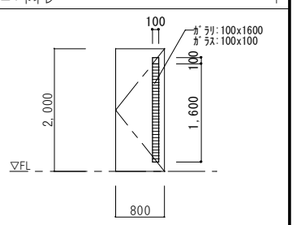
符号・形式	AW 30 05 引違い窓 [カバー工法]	AD 4 両開き戸 [新設]	AD 5 片開き戸 [新設]	AD 6 引違い戸 [新設]	AD 1 引違い戸 [新設]	SD 101 点検扉 [新設]
場所・数量	2階 寮室1[245]・寮室2[243]・寮室3[241] 1	屋上出口 1	屋上出口 1	食堂 1	浴室 1	1F トイレ(脱衣室横) 1
姿図	防火設備 					
材質・仕上	アルミ [カバー工法]	アルミフラッシュ	アルミフラッシュ	アルミ	アルミ	スチール製 SOP
見込	70	70	70	70	70	60
硝子	複層ガラス(PW6.8+A6+Low-E5)	PW6.8	PW6.8	PW6.8、アルミパネル t6	F4、アルミパネル t6	-
附属金物	引き網戸 サッシストッパー、他付属金物一式 ※遮音 T-1	シリンダー付きモノロック（両面シリンダー）、丁番、あげ落し ドアークローザー、戸当り、アルミ額縁、アルミ水切 他付属金物一式	シリンダー付きモノロック（両面シリンダー）、丁番 ドアークローザー、戸当り、アルミ額縁、アルミ水切 他付属金物一式	付属金物一式	アルミ水切 他付属金物一式	平面ハンドル、戸当りゴム、旗丁番 他付属金物一式
備考	ガラス面:飛散防止フィルム貼(別途工事)				アルミガラリ	

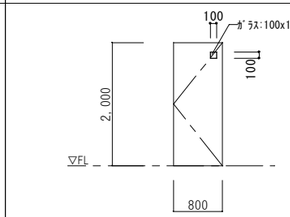
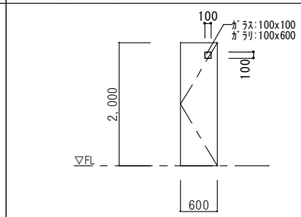
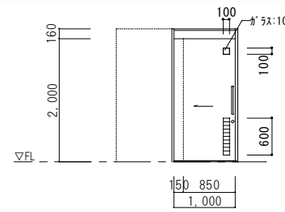
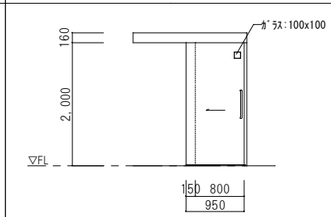
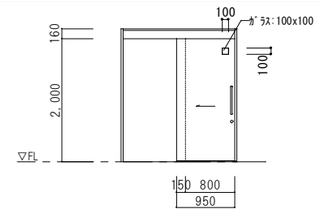
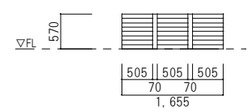
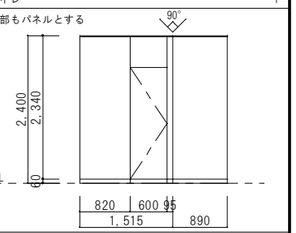
符号・形式	SD 1 両開き戸 [新設]	SD 3 片開き戸 [新設]	SD 4 片開き戸 [新設]	SD 5A SD 5B 片開き戸 [新設]	SD 9 親子開き戸 [新設]	SD 10 親子開き戸 [新設]
場所・数量	厨房入口 1	1階 廊下 1	2階 廊下 1	SD-5A：2階 女子寮 多目的スペース / SD-5B：3,4階 男子寮 学習室 ※SD-5A：1か所 / SD-5B：2か所	食品庫 1	厨房 1
姿図						
材質・仕上	スチール DP	スチール DP	スチール DP	スチール DP	スチール DP	スチール DP
見込	85	85	85	85	85	85
硝子	F4	F4	F4	F4	F4	FL3
附属金物	モノロック（片面サムターン）、丁番 ドアチェック、フランス落とし 他付属金物一式	両面シリンダー錠、丁番 ドアチェック、フランス落とし 他付属金物一式	両面シリンダー錠、丁番 ドアチェック 他付属金物一式	SD-5A：両面シリンダー錠、丁番 / SD-5B：シリンダー本締錠(サムターン付) ドアチェック 他付属金物一式	モノロック（片面サムターン）、丁番 ドアチェック、フランス落とし 他付属金物一式	モノロック（片面サムターン）、丁番 ドアチェック、フランス落とし 他付属金物一式
備考				ガラス面:目隠しフィルム貼(2階のみ)(別途工事)		

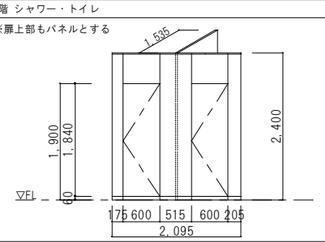
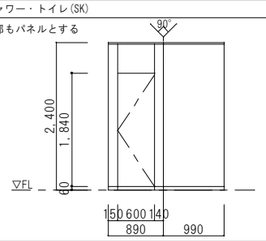
符号・形式	SD 11 親子開き網戸 [新設]	LSD 1 片開き戸 [新設]	LSD 3 LSD 3A 片開き戸 [新設]	LSD 4 片開き戸 [新設]	LSD 5 片開き戸 [塗装塗替]	LSD 9 片開き戸 [新設]
場所・数量	厨房廊下 1	寮室・休憩室 87	留学生用多目的室・シャワー室・宿直室 3か所 LSD-3A：教職員トイレ 1か所	従業員トイレ 2	脱衣室 1	留学生用補食室 1
姿図						
材質・仕上	スチール DP	化粧鋼板	化粧鋼板	化粧鋼板	化粧鋼板	化粧鋼板
見込		110	110	110	110	130
硝子	—	F4	F4(LSD-3Aは除く)	-	F4	FL3
附属金物	丁番、空錠 付属金物一式	モノロック（片面サムターン）、丁番 ドアチェック 他付属金物一式	モノロック（片面サムターン）、丁番 ドアチェック 他付属金物一式	モノロック（片面サムターン）、丁番 ドアチェック 他付属金物一式	モノロック（片面サムターン）、丁番 ドアチェック 他付属金物一式	レバーハンドル、室内側：サムターン錠（室外側空錠） ドアチェック 他付属金物一式
備考		スチールガラリ(開閉装置付)	アルミガラリ(LSD-3Aは除く)		アルミガラリ	

年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第１項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和７年度	令和７年７月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	建具表(2)(改修後)	A1：1/50 A3：1/100	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社 TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号 FAX 092-522-5183 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11499号 一級建築士 国土交通大臣登録 第350116号 野田 康広						A-59

符号・形式	SS 2 防火戸付き防火シャッター(常閉防火戸) [新設]	SS 3 防火戸付き防火シャッター(常閉防火戸) [新設]	AG 2A アルミガラリ [新設]	P 3 パーティション [新設]	AW 101 室内用内窓(引違い) [新設]	
場所・数量	2,3,4階 階段室1 3	2階 階段室2 1	換気塔 1	2階 多目的室 1	2階 寮室4[248](女子寮)・寮室6[246](女子寮) 2	
姿図						
材質・仕上	スチール DP	スチール DP	アルミ	スチール焼付け塗装	アルミ	
見込			70	40	70	
硝子	―	―	一部アルミパネル	F4	複層ガラス(FL5+A6+FL5)	
附属金物				モノロック(内部空錠)、丁番、ドアチェック、フランス落とし	サッシストッパー、他付属金物一式	
				他付属金物一式		
					ガラス面 目隠しフィルム貼(別途工事)	
備考	シャッターケース	シャッターケース				

符号・形式	AW 102 室内用内窓(引違い) [新設]	LSD 101 防 片開き戸 [枠共新設]	LSD 102 片開き戸 [扉のみ新設]	LSD 103 両開き戸 [新設]	LSD 104 親子開き戸 [新設]	LSD 105 親子開き戸 [新設]	LSD 106 片開き戸 [新設]
場所・数量	2階 寮室5[247](女子寮) 1	2階 寮室(女子)[241～248] 8	3階 寮室(2人)[300] 1	4階 災害物品庫 1	3,4階 学習室 2	2階 多目的スペース 1	2階 シャワー・トイレ 1
姿図							
材質・仕上	アルミ	化粧鋼板	化粧鋼板	化粧鋼板	化粧鋼板	化粧鋼板	化粧鋼板
見込	70	110	110	110	110	110	110
硝子	複層ガラス(FL5+A6+FL5)	FW t6.8	FW t6.8	-	FW t6.8	―	FL4
附属金物	サッシストッパー、他付属金物一式	レバーハンドル、シリンダー本締錠(サムターン付)	レバーハンドル、シリンダー本締錠(サムターン付)	レバーハンドル、シリンダー本締錠(サムターン付)	レバーハンドル、シリンダー本締錠(内部側空錠)	レバーハンドル、フランス落とし、電気錠	レバーハンドル、空錠
		他付属金物一式	他付属金物一式	他付属金物一式	他付属金物一式	他付属金物一式	他付属金物一式
	ガラス面 目隠しフィルム貼(別途工事)						
備考							

符号・形式	LSD 107 片開き戸 [新設]	LSD 108 片開き戸 [新設]	LSD 109 片引込み戸 [新設]	LSD 110 片引き戸 [新設]	LSD 111 片引き戸 [新設]	AG 2B アルミガラリ [新設]	TB 101 トイレブース [新設]
場所・数量	1階 トイレ 1	1階 留学生シャワー室・2階 シャワー・トイレ 5	1階 寮室(シャワー・WC)[123] 1	1階 宿直室 1	2階 洗面・洗濯室 1	換気塔 1	1階 トイレ 1
姿図							
材質・仕上	化粧鋼板	化粧鋼板	化粧鋼板	化粧鋼板	化粧鋼板	アルミ	メラミン化粧シート貼MDF(ペーパーコア)
見込	110	110	120	120	120	70	40
硝子	FL4	FL4	FL4	FL4	FL4	―	―
附属金物	レバーハンドル、空錠	レバーハンドル、室内側サムターン錠(室外側 空錠)	SUS製引手 L=300、シリンダー本締錠(サムターン付)	SUS製引手 L=300、内部サムターン錠、自閉装置(ストップ付)	SUS製引手 L=300、空錠、自閉装置(ストップ付)		パネル：アルミ製Rエッジ 巾木タイプ
	他付属金物一式	他付属金物一式	自閉装置(ストップ付)	他付属金物一式	他付属金物一式		表示錠
			他付属金物一式				他付属金物一式
備考							

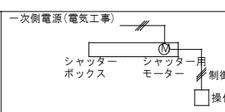
符号・形式	TB 102 トイレブース [新設]	TB 103 トイレブース [新設]
場所・数量	2階 シャワー・トイレ 1	2階 シャワー・トイレ(SK) 1
姿図		
材質・仕上	メラミン化粧シート貼MDF(ペーパーコア)	メラミン化粧シート貼MDF(ペーパーコア)
見込	40	40
硝子	―	―
附属金物	パネル：アルミ製Rエッジ 巾木タイプ	パネル：アルミ製Rエッジ 巾木タイプ
	表示錠	他付属金物一式
	他付属金物一式	
備考		

■建具共通事項

・明示のない事項は、特記仕様書及び共通仕様書に依る。
・マスターキーの製作(3本)を行う。
・W寸法は特記なき限り有効開口寸法。
・ガラリでダクト付きは防鳥網(10×10)、ダクト無しは防虫網を設置。
・FH、AH、DCの閉鎖装置は原則ストップ有り。両開き戸は子扉共閉鎖装置を取付。
・防火戸はストップ無し。防火戸の親子、両開き戸は、閉鎖順位調整器付召合せとする。
・煙感知連動シャッターは、電動式、煙感知器連動、手動操作併用。
　危害防止装置は、バッテリー式ではなく機械式とする。
・シャッター電動スイッチは、鍵付き(同一)とする。
・扉部が柱、壁等に当たる箇所は、床付戸当たりを設ける事。
・建具金物、付属品、ガラス、塗装等は見本等を提出し監理者の承認の上製作すること。
・寸法、枠見込み等は、納まり・タイル割等を検討の上調整した施工図を提出し、
　承認の上施工のこと。
・ガラス留めシーリング材は、シリコーン系とする。
・シリンダー錠は、原則サムターン付とし、
　詳細は施工図を提出の上監理者の承認を受けること。
・形状で左右反転、開き勝手反転、微細な相違等は同符号で記載。
　施工時は施工図を提出の上監理者の承認を受けること。
・グランドマスターは特記による。
・付属金物で特記なき金物も　機能上必要なものは全て本工事に含むものとする。
・木製建具の合板、集成材及び単板複層材はF★★★★材を使用すること。
・ドアチェックは特記なき限り室内側に取り付けること。
・特別防火設備、防火設備は、全て認定品とする。

■工事区分

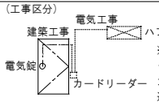
シャッター(建築-電気)



項目	建築工事	電気設備工事
一次側電源　電線・配管		○
シャッター	○	
操作用制御線　電線	○	
操作用制御線　配管	○	
操作スイッチ取付用裏ボックス	○	
操作スイッチ　スイッチ本体	○	

電気錠(建築-電気)

(工事区分)



※カードリーダーまでの
一次側配管内通線は電気工事とする。
カードリーダー以降からの配管、
通電金具、電気錠までを建築工事とする。

・電気錠は、瞬時通電施解錠型(パニックオープン形式)とする。
・電気錠設置箇所は、非常時及び停電時においてもサムターンにより開錠可能な構造とする。

■建具符号凡例

SD ：スチール製扉
AD ：アルミ製扉
LSD：軽量スチール製扉
WD ：木製扉
AW ：アルミ製窓
SS ：スチール製シャッター
AG ：アルミ製ガラリ
SDW：スライディングウォール
P ：パーティション
TB ：トイレブース
SF ：ステンレス製三方枠

特 ：特定防火設備
防 ：防火設備

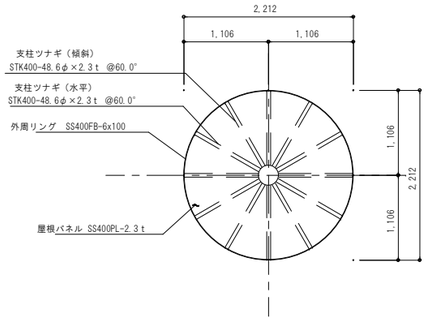
■ガラス凡例

FL ：フロート板ガラス
F ：型板ガラス
PW ：網入り磨き板ガラス
FW ：網入り型板ガラス
T ：強化板ガラス

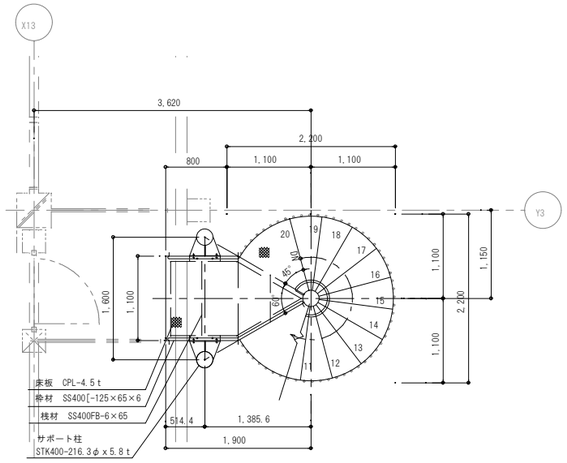
A ：中空層

：目隠しフィルム貼(別途工事)

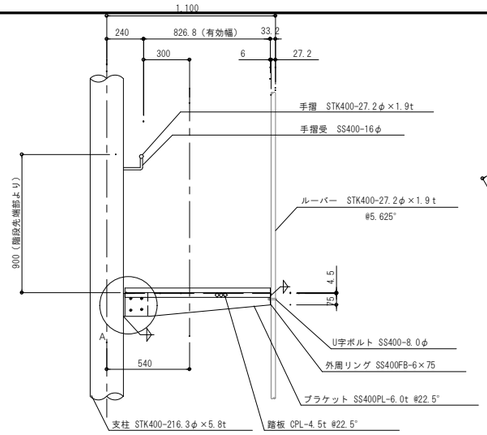
年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和７年度	令和７年７月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	建具表(3)(改修後)	A1：1/50 A3：1/100	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社　TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号　FAX 092-522-5183 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11499号 一級建築士 国土交通大臣登録 第350116号 野田 康広						A-60



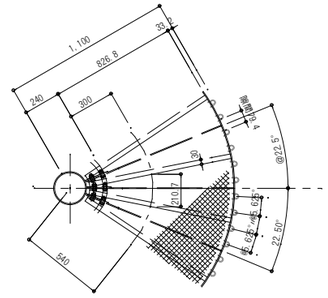
屋根平面図 1：40



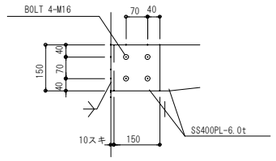
2階平面図 1：40



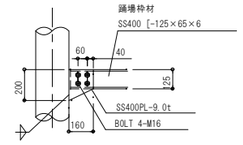
断面詳細図 1：20



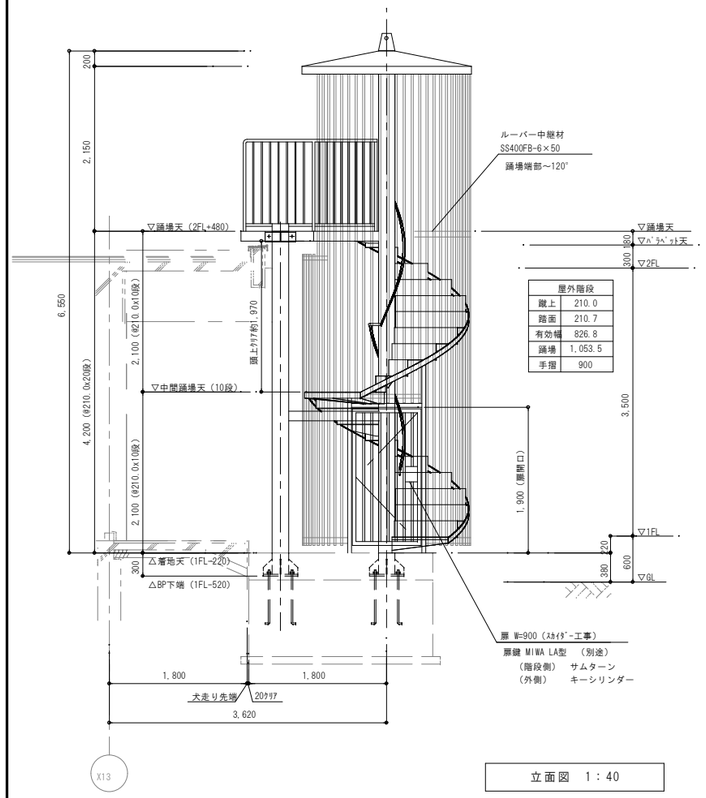
平面詳細図 1：20



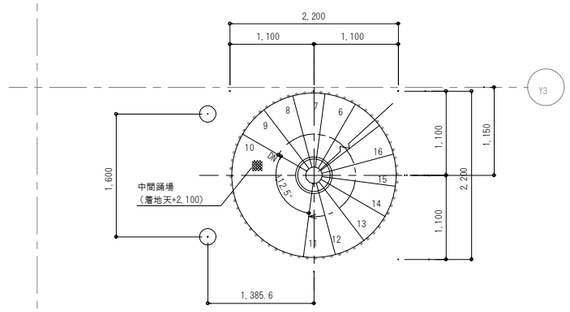
A部分詳細図 1:10



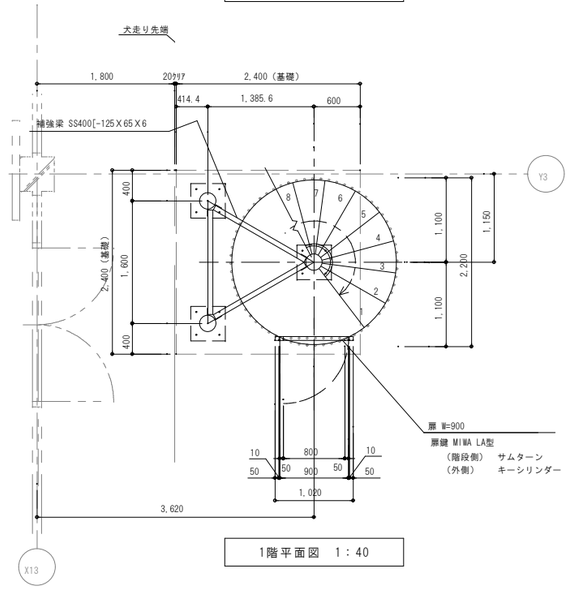
踊場取付詳細図 1:20



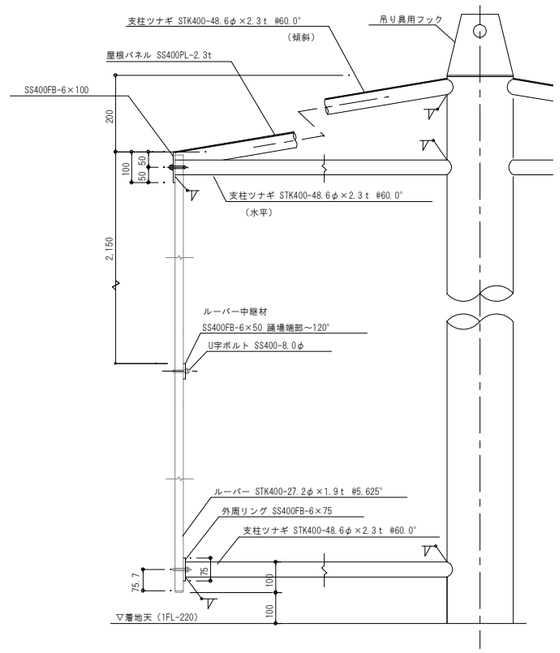
立面図 1：40



中間平面図 1：40



1階平面図 1：40



ルーバー上下端部詳細図 1：10

屋外螺旋階段 特記事項：

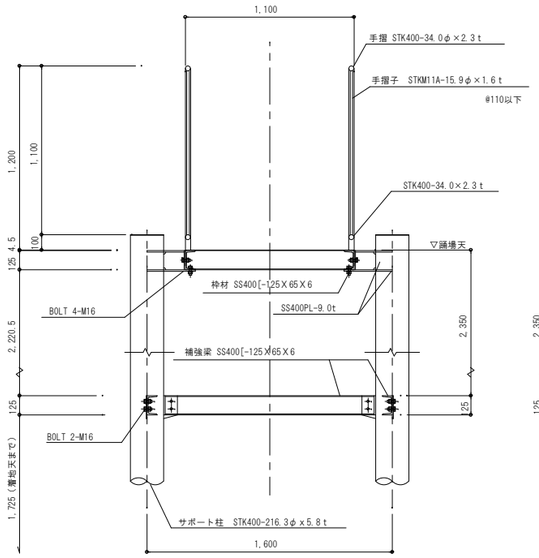
鉄部は溶融亜鉛メッキ処理（メッキ処理パイプは除く）とする

メッキ後の溶接部は、ローバル又は特殊エポキシ樹脂錆止め補修のこと

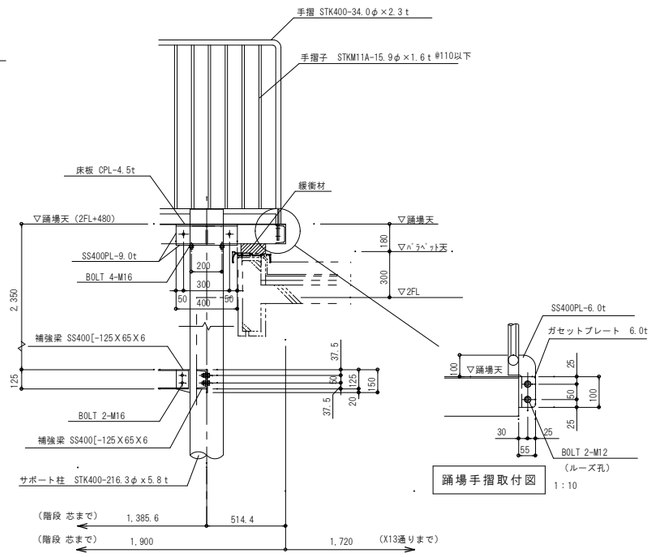
錆止塗装 ： 特殊エポキシ樹脂塗装（屋根・ルーバーのみ）

仕上塗装 ： ウレタン樹脂塗装（屋根・ルーバーのみ） 日塗工より一色

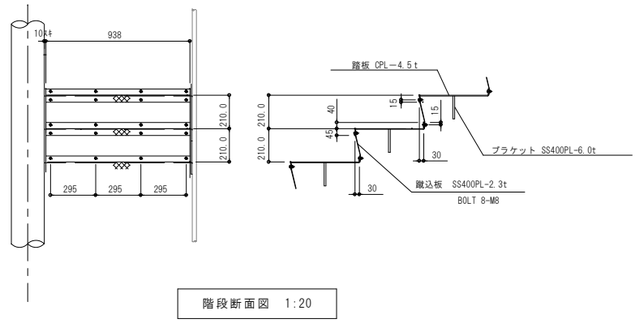
年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和７年度	令和７年７月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	屋外階段詳細図(1)	A1：図示 A3：図示	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社 TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号 FAX 092-522-5183 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11499号 一級建築士 国土交通大臣登録 第350116号 野田 康広						A-61



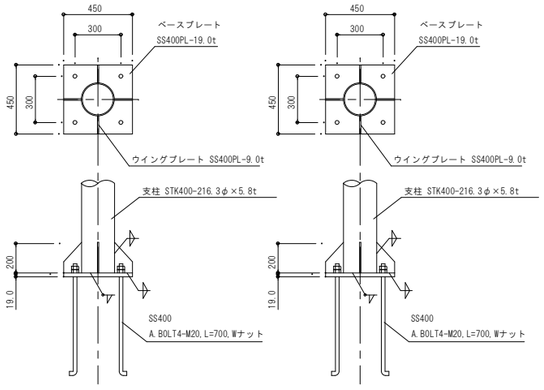
踊場取付詳細図 1：20



踊場手摺取付図 1：10

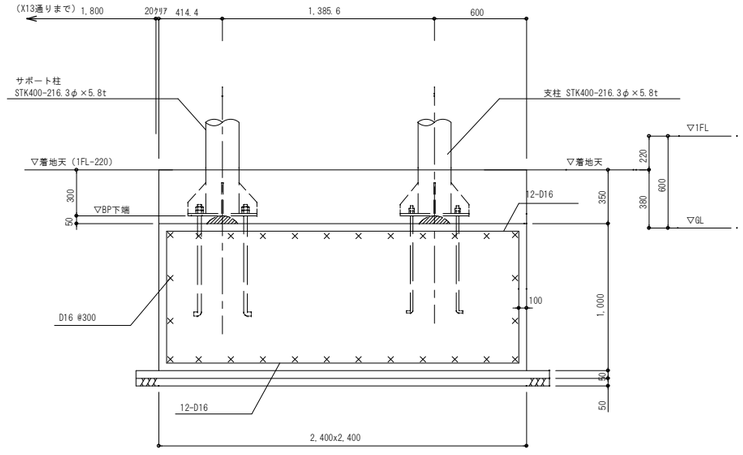


階段断面図 1:20



柱脚部詳細図 1：20

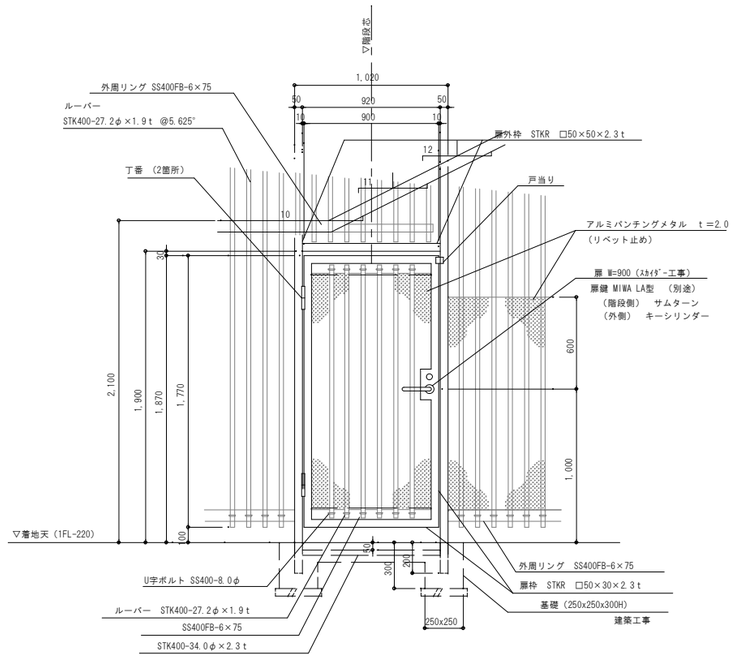
柱脚部詳細図（ｻﾎﾟｰﾄ柱）1：20



使用コンクリート Fc=2.1kN/cm²

基礎詳細図 1：20

※基礎工事は建築工事とする



1階扉詳細図 1:20

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第１項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和７年度	令和７年７月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	屋外階段詳細図(2)	A1：図示 A3：図示	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社　TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号　FAX 092-522-5183 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11499号 一級建築士 国土交通大臣登録 第350116号 野田 康広						A-62

壁種別詳細図(改修後)

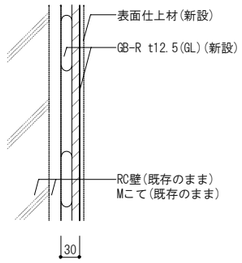
共通事項

1. 表面仕上材は以下と仕上表による。(高さは天井まで)
   A. 塗装(仕上表による)
   B. VC
   C. 化粧FK t6.0

2. 令114条区画の壁は、四周耐火シール止めとする。

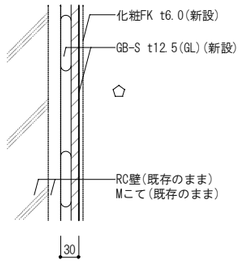
2. 令114条区画の壁は、四周耐火シール止めとする。

CW1A 1/5



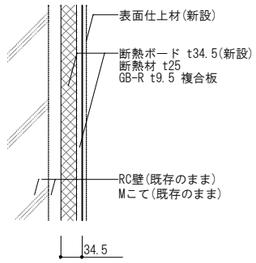
※高さ：天井まで

CW1B (水回り対象室の場合) 1/5



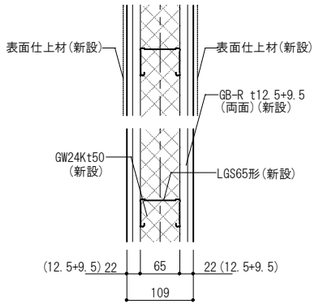
※高さ：天井まで

CW2 1/5



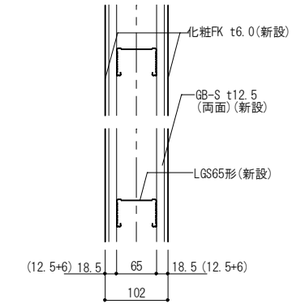
※高さ：天井まで
※柱型は除く

W1(各室間 遮音間仕切) 1/5



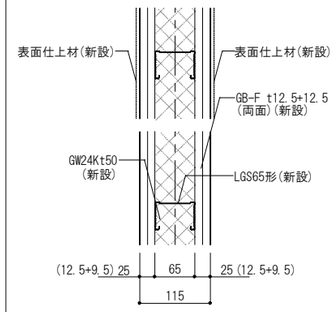
※高さ：表面仕上げ、天井まで
：ボード・GW充填は 天井裏スラブまで

W2 (脱衣室・トイレ関係間仕切) 1/5



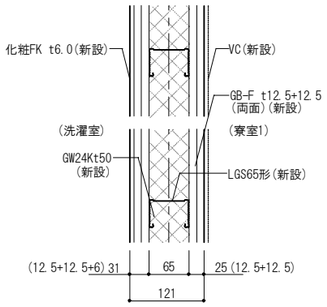
※高さ：表面仕上げ、天井まで
※GW充填の要否は仕上表による。

W3(令114条間仕切壁) 1/5



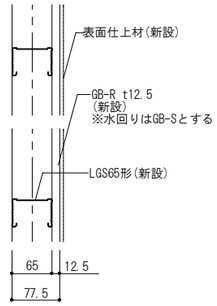
※高さ：表面仕上げ、天井まで
：ボード・GW充填は 天井裏スラブまで

W4(2階 女子寮 洗濯室～寮室間) 1/5



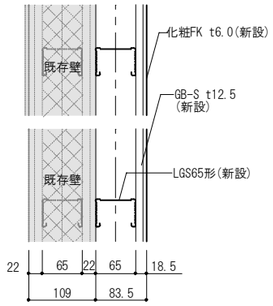
※高さ：表面仕上げ、天井まで
：ボード・GW充填は 天井裏スラブまで

W5 (PS等 片面張り) 1/5



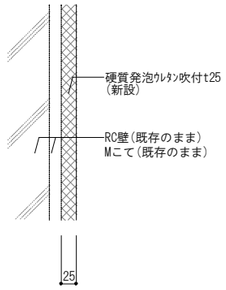
※高さ：ボード・表面仕上げ、天井まで

W6 (1階 留学生シャワー室 既存LGS面) 1/5



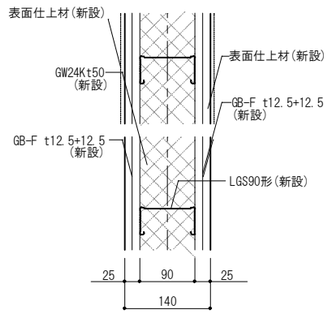
※高さ：ボード・表面仕上げ、天井まで

天井裏 外壁面断熱 1/5



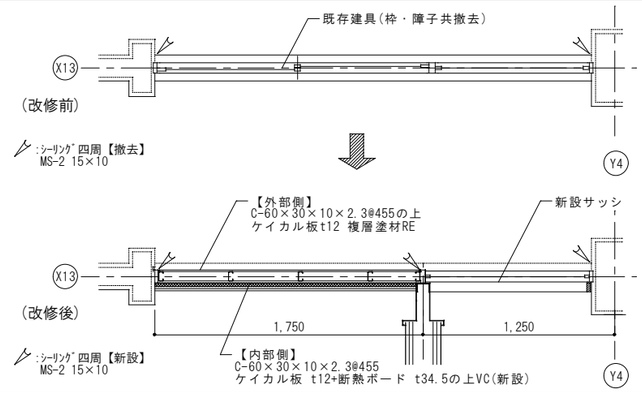
※高さ：断熱材は天井裏スラブまで

閉塞 W1(改修後 留学生補食室) 1/5



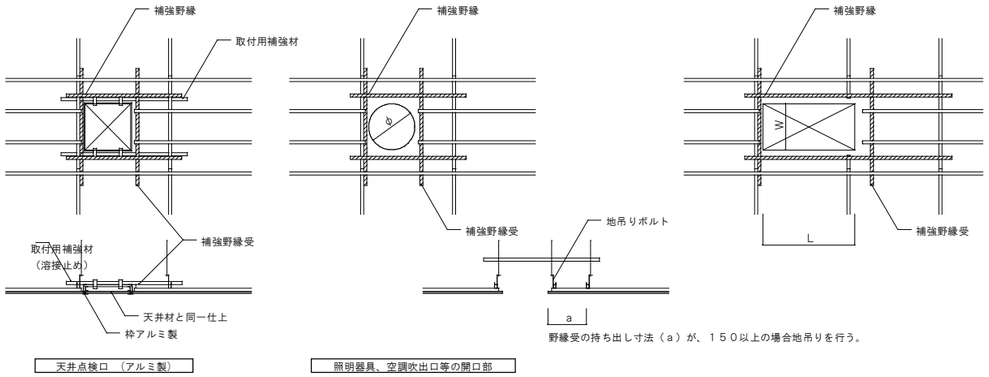
※閉塞区画の外周境は、耐火シールW20とする。

閉塞 W2(改修後 女子寮) 1/10



天井点検口・天井吹出口詳細図(参考図)

1/20



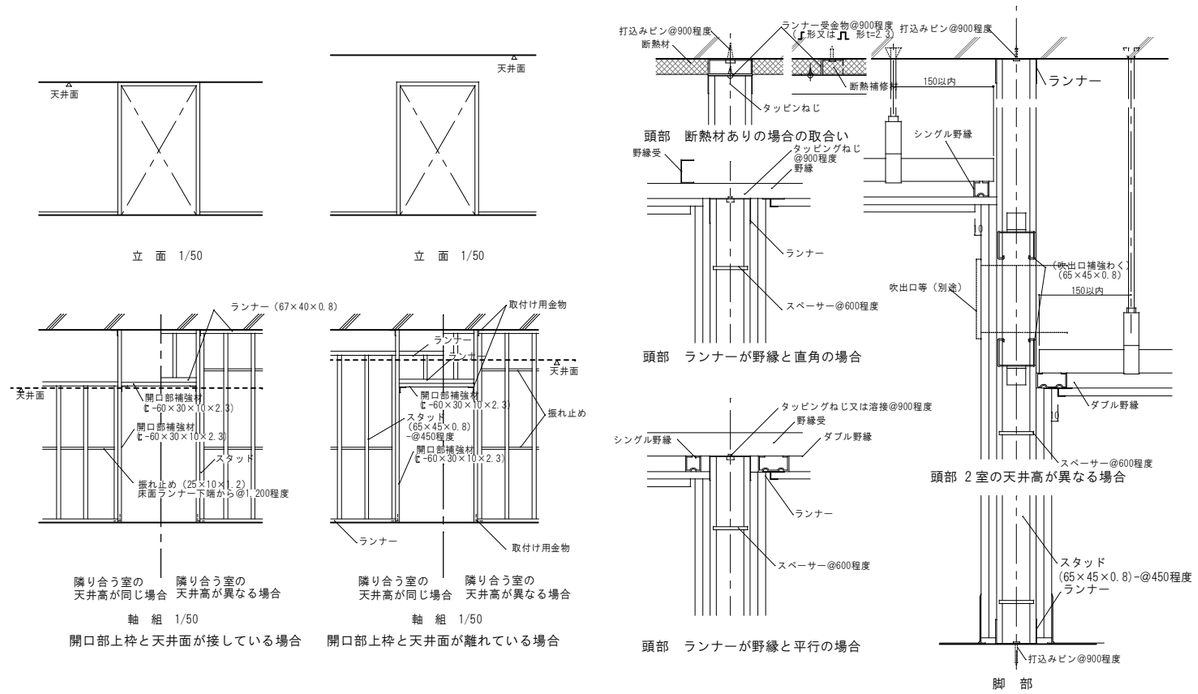
野縁受の持ち出し寸法（ａ）が、１５０以上の場合地吊りを行う。

天井点検口 (アルミ製)

照明器具、空調吹出口等の開口部

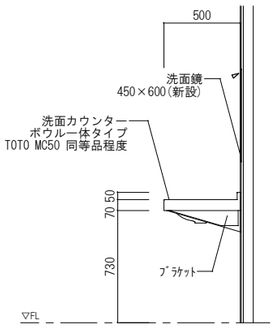
軽量鉄骨下地

1/5,50

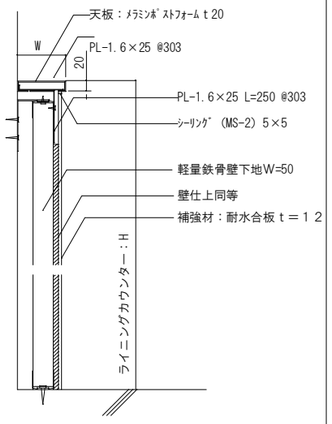


年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第１項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和７年度	令和７年７月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	雑詳細図(1)	A1：図示 A3：図示	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社 TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号 FAX 092-522-5183 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11499号 一級建築士 国土交通大臣登録 第350116号 野田 康広						A-63

洗面カウンター詳細図 1/20

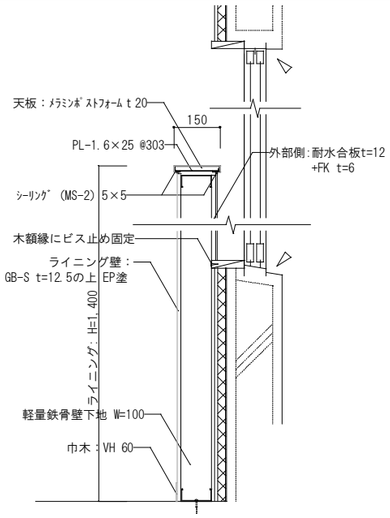


ライニングカウンター詳細図 1/15

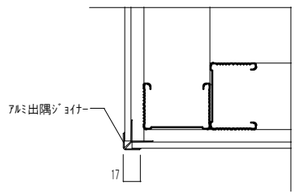


※水回りの室は下地ボードをGB-Sとする事。

2階 女子寮洗濯室 ライニング詳細図 1/10

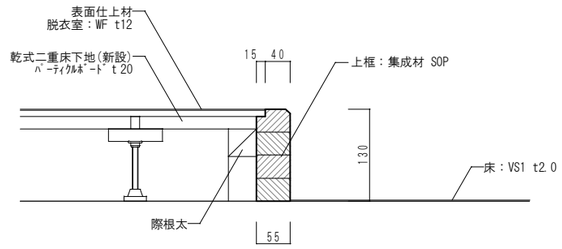


アルミジョイナー詳細図 1/3

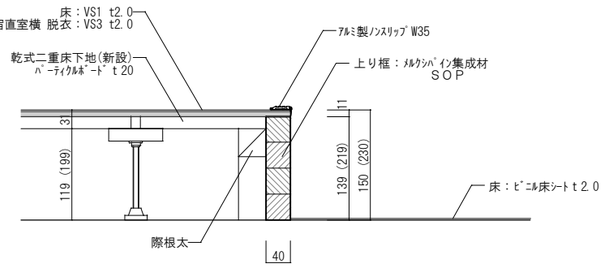


※ 化粧ケイカル板面のコーナー部は共通でこの納めとする

上框詳細図(脱衣室) 1/5

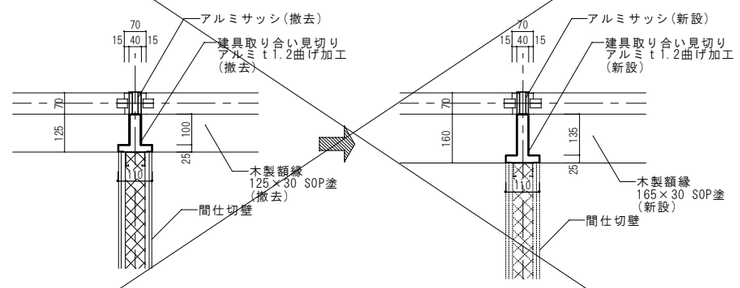


上框詳細図(宿直室横脱衣室 / 2階女子寮 外部出入り口廻り) 1/5

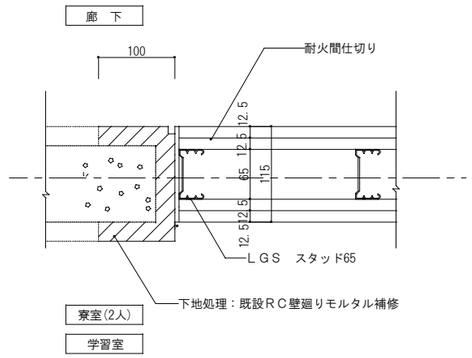


※( )内寸法は宿直室横脱衣室分を示す。

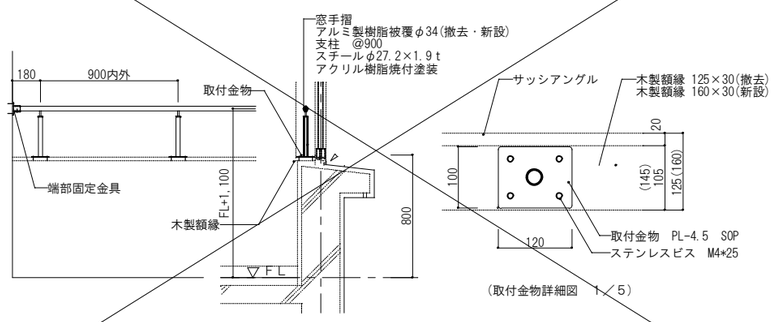
アルミサッシ 間仕切壁取り合い 詳細図 1/10



RC壁・耐火間仕切壁取合い(改修後 学習室・寮室(2人) [300]) 1/4

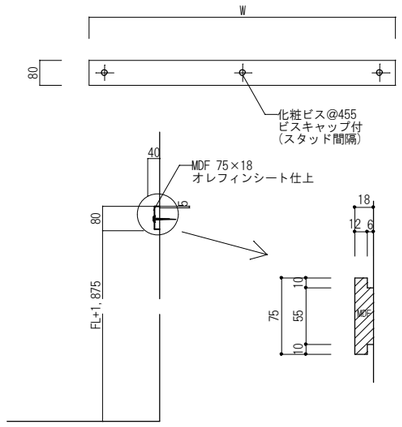


2～4階 男子寮室 手摺詳細 1/5、20

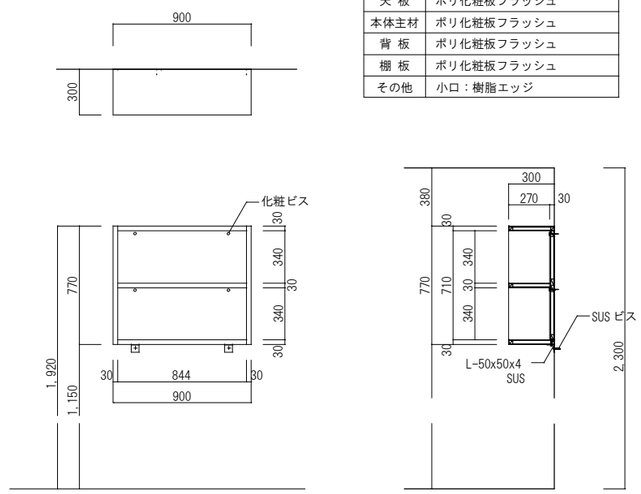


※手摺の形状・寸法は参考とする。

木製長押詳細図 1/10



男子寮室 木製本棚詳細図(撤去・新設) 1/10



仕 様	
天 板	ポリ化粧板フラッシュ
本体主材	ポリ化粧板フラッシュ
背 板	ポリ化粧板フラッシュ
棚 板	ポリ化粧板フラッシュ
その他	小口：樹脂エッジ

年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第１項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和７年度	令和７年７月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	雑詳細図(2)	A1：図示 A3：図示	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社 TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号 FAX 092-522-5183 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11499号 一級建築士 国土交通大臣登録 第350116号 野田 康広						A-64

サイン共通事項

【サイン共通事項】

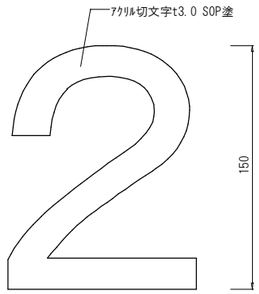
書　体
- ●書体は、原則既存棟に合わせる。
- ●文字高ー日本字は『木』の高さ、英字は、『H』の高さ、数字は、『1』の高さを基準とする。
- ●文字間ー文字の間隔は、視覚的に等しく見えるようレイアウトをする。

ピクトグラム
- ●原則として国土交通省総合政策局交通消費者行政課：監修 交通エコロジー・モビリティ財団標準案内用図記号ガイドブックを使用する。
- ●打ち合わせによる。

材料加工
- ●いずれの工法においても予め製作図、又はレイアウト図を作成し、グラフィックに関しては版下段階での確認を得る。
- ●使用する材料及びその仕上げ・色等については、すべて見本を提出し確認を得る。

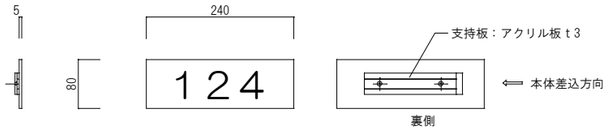
その他
- ●官庁監督部署等への諸手続きが必要な時は請負者が行う。
- ●全ての表記内容は打合せにより決定する。（サイズ、図柄、書体、表記文字、色彩等）
- ●全てのサインは実物サンプルを作成し、現場仮取付け及び、督員と協議の上、確認を取る。

階数表示　1/1



※書体等は打ち合わせによる

室名札　平付　詳細図　1/5



仕様	
	パネル：アクリル板ｔ5
	支持板：アクリル板ｔ3
	サイン：カッティングシート

室名札　一覧表（撤去）

階数	取付箇所	数量 小計	数量 階合計
4階	寮室	28	31
	捕食室	1	
	洗濯室	1	
	多目的室	1	
3階	寮室	28	31
	捕食室	1	
	洗濯室	1	
	多目的室	1	
2階	寮室	30	36
	捕食室	1	
	洗濯室	1	
	多目的室	1	
	集会室	2	
	倉庫	1	
1階	多目的コーナー	1	10
	宿直室	1	
	宿直室(浴室)	1	
	留学生捕食室	1	
	留学生シャワー室	1	
	留学生多目的室	1	
	トイレ	1	
	脱衣室・浴室	1	
	寮事務室	1	
	食堂	1	
合計			108

室名札　一覧表（新設）

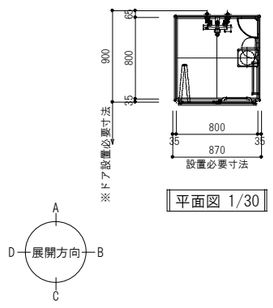
階数	取付箇所	数量 小計	数量 階合計
4階	寮室(男子寮)	24	28
	捕食室	1	
	洗濯室	1	
	学習室	1	
	災害物品庫	1	
3階	寮室(男子寮)	25	28
	捕食室	1	
	洗濯室	1	
	学習室	1	
2階	寮室(男子寮)	30	44
	寮室(女子寮)	8	
	捕食室	1	
	洗濯室	1	
	学習室	1	
	多目的スペース	1	
	シャワー・トイレ	1	
	洗面・洗濯室	1	
1階	寮室(シャワー・WC)	1	9
	宿直室	1	
	教職員用ﾄｲﾚ	1	
	留学生捕食室	1	
	留学生シャワー室	1	
	トイレ	1	
	脱衣室・浴室	1	
	寮事務室	1	
	食堂	1	
合計			109

※室名札設置位置は、現場監督員の指示に拠る。

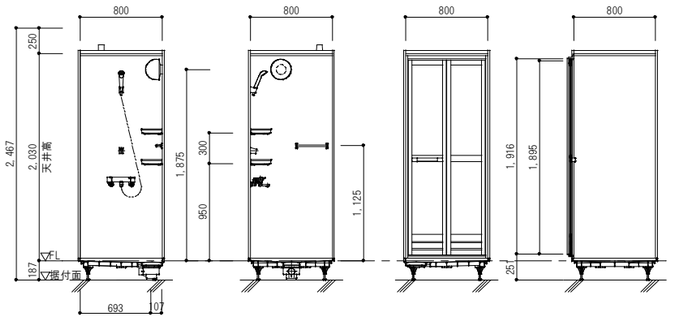
ユニットシャワー参考図　1/30

※TOTO(株)　JSV0812UL　/　JSV0808UL　TOTO(株)　同等品程度(参考)

■0808タイプ / 0812タイプ



平面図 1/30



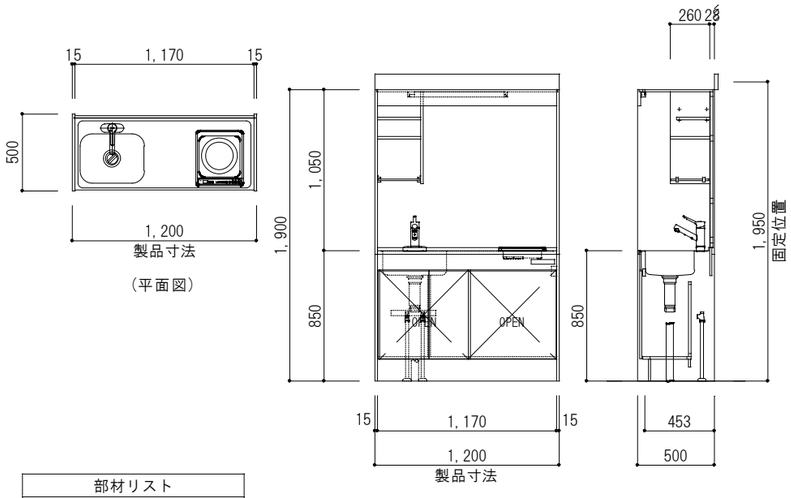
A展開図 1/30　B展開図 1/30　C展開図 1/30　D展開図 1/30

参考仕様

名　称	仕様・寸法
天井パネル	化粧鋼板複合パネル(抗菌防カビ仕様・モール式)
	点検口450角(絞り点検口・落下防止用紐付
	石膏ボード2枚貼り)
壁パネル	HQパネル
床パネル	FRPカラリ床(単色)
ドア枠	アルミアルマイト処理
ドアパネル	折戸 ドア脱着機構付　面材：型板スチレン板
	W800(有効開口幅 671mm)
シャワー水栓	TBV03433J型　壁付サーモスタットシャワー金具
	(スパウトL70)
シャワーヘッド	スプレーシャワー　ホース：L1600
シャワーハンガー	TH556F6型
照明	半球形照明(LEDランプ)
	消費電力9W以下　60W相当　電球色
	VVF1.6φ×2C　L2.0m付
ジョイントボックス	エコノミージョイント　WJ3107相当品
換気グリル	ABS樹脂　接続部外径φ99
給水エルボ(シャワー用)	青銅鋳物製　接続口　Rc1/2
給湯エルボ(シャワー用)	青銅鋳物製　接続口　Rc1/2
排水トラップ	ABS樹脂　封水深50mm　接続口　VP50受口
	ヘアーキャッチャー付　高圧洗浄対応
タオル掛け	ステンレスパイプ　φ13　L300
収納棚	コーナー収納棚2段

ミニキッチン参考図　1/20

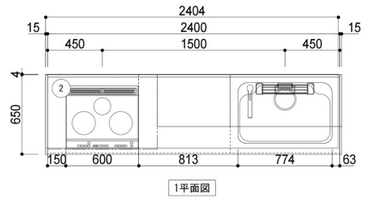
※㈱LIXIL ミニキッチン DMK12LFW1G100R　同等品程度(参考)
※扉不要。ビス孔キャップ留とする
※排水トラップ以降の排水管、接続は機械設備工事とする
※1次側配線･接続は電気設備工事とする



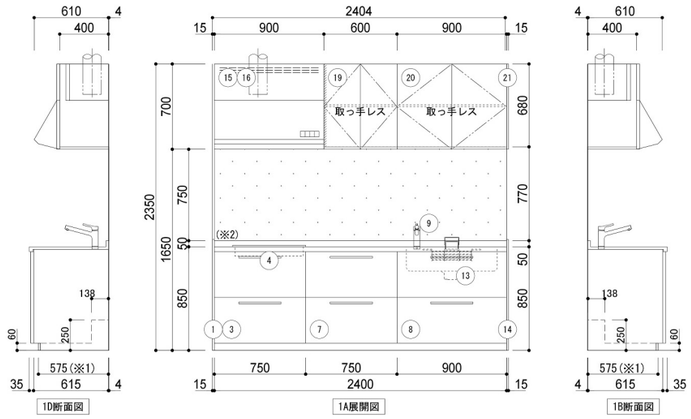
部材リスト
ミニキッチン扉タイプ90cm
ミニキッチン下台90cm
ミニキッチン上台90cm
W81/IH1口コンロ
ジョイントボックス
ステンレスシンク
2穴シングルレバー水栓

ミニキッチン詳細図　1/30

※TOTO(株) ミッテ　同等品程度(参考)



1平面図



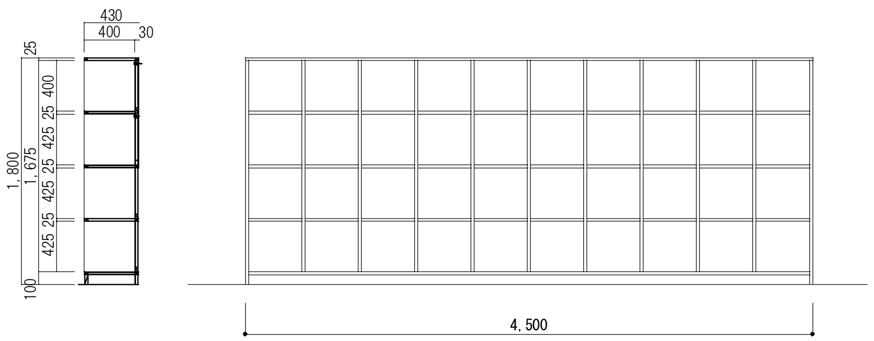
1D断面図　1A展開図　1B断面図

参考仕様

W2400×D650×高さ900mm、シングルレバー水栓・3口IHヒーター、排気連動シロッコファンフード、SUS製カウンター

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第１項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和７年度	令和７年７月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	雑詳細図(3)	A1：図示 A3：図示	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社　TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号　FAX 092-522-5183 一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1-11499号 一級建築士　国土交通大臣登録　第350116号　野田 康広						A-65

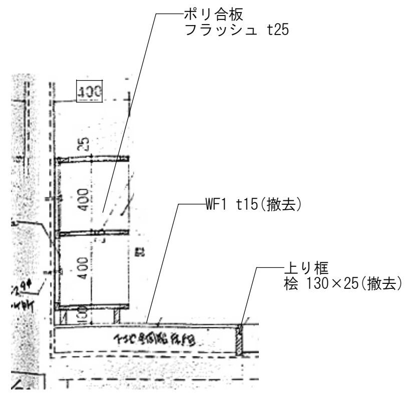
1階 脱衣室 脱衣棚詳細図(撤去・新設) 1/30



（断面図）　（姿図）

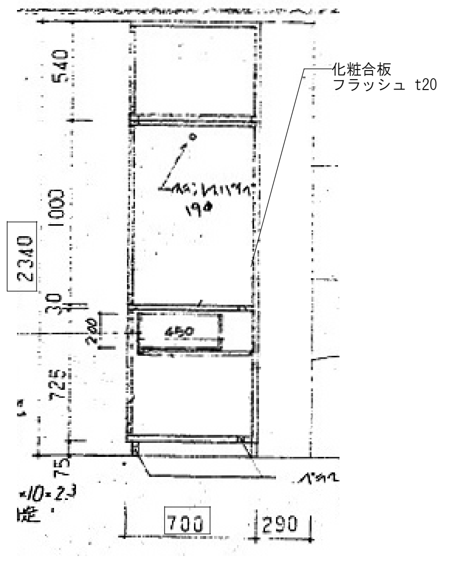
1階 宿直室内脱衣棚 撤去詳細図 1/20

W900×D400×H925 （撤去）

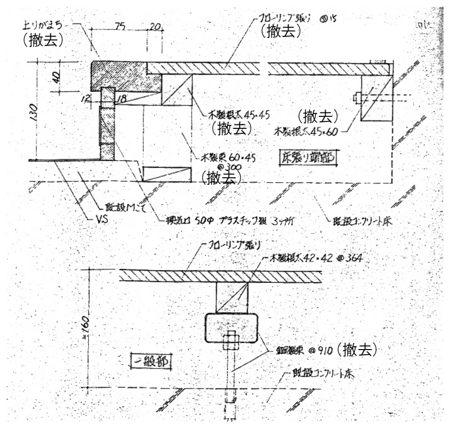


寮室 木製クローゼット撤去詳細図 1/20

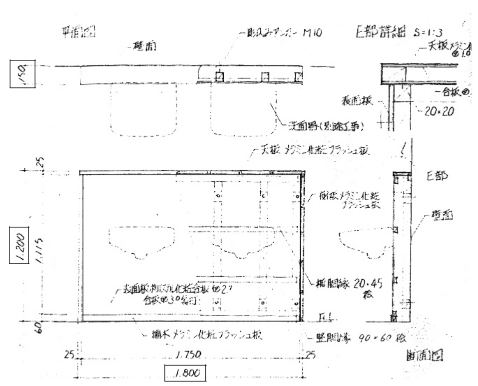
W700×D700×H2,340 （撤去） ※2F～4F 男子寮室
※撤去前に現況を確認の事



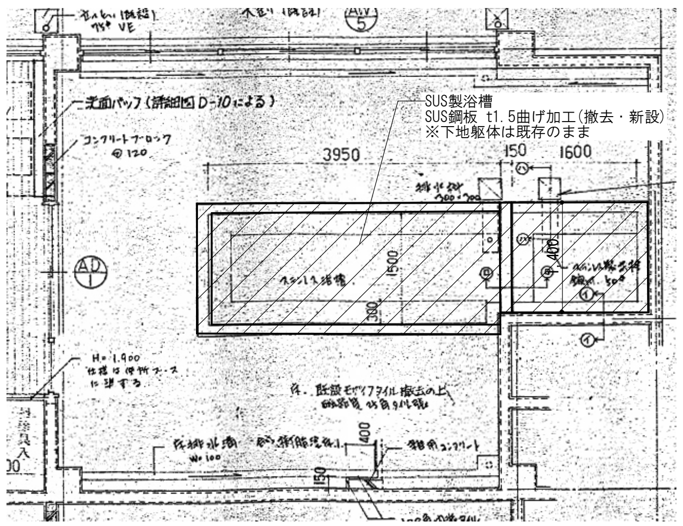
1階脱衣室 床・上框 撤去詳細図 1/5



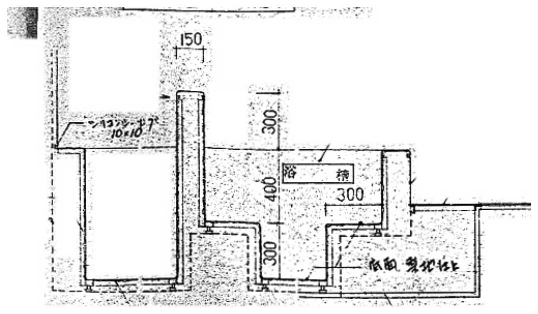
1階脱衣室 ライニング 撤去詳細図 1/30



1階 浴室 浴槽詳細図(撤去・新設) 1/50、50

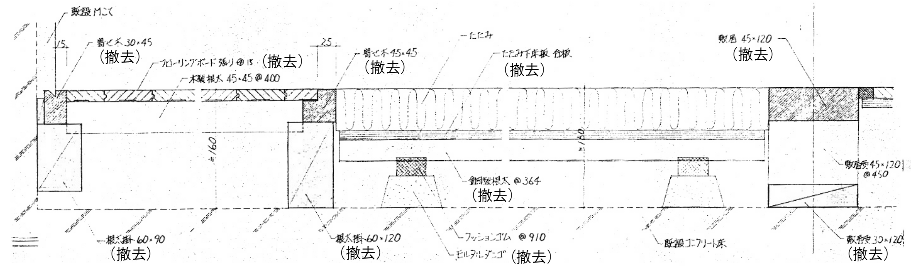


（浴槽平面図 1/50）

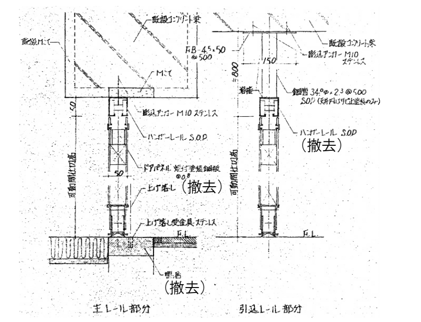


（浴槽断面図 1/20）

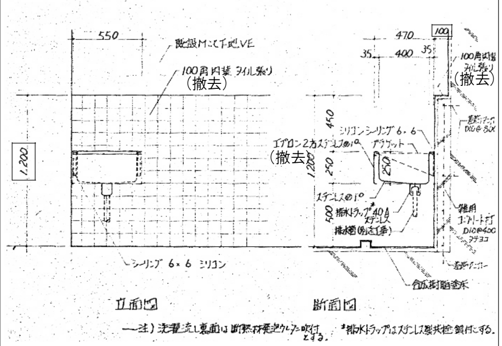
2階 改修前集会室 床撤去詳細図 1/5



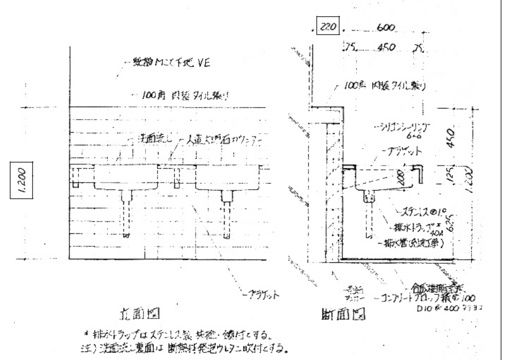
2階 改修前集会室 可動間仕切り撤去詳細図 1/10



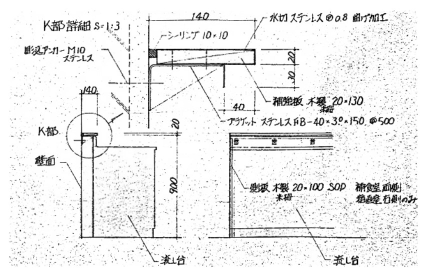
2～4階 洗濯室 既存ライニング撤去詳細図 1/30



2～4階 洗濯室 ライニング・洗面台撤去詳細図 1/30

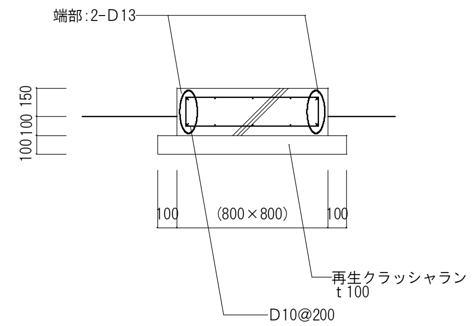


2～4階 補食室 ライニング撤去詳細図 1/30



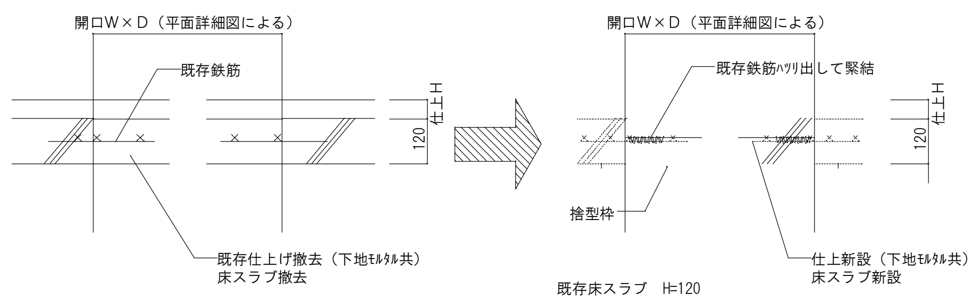
屋外 給湯機基礎新設 詳細図 1/20

※ｺﾝｸﾘｰﾄ(21N-15-20)



和便器撤去部 床開口塞ぎ要領図 1/10

※ｺﾝｸﾘｰﾄ(21N-15-20)

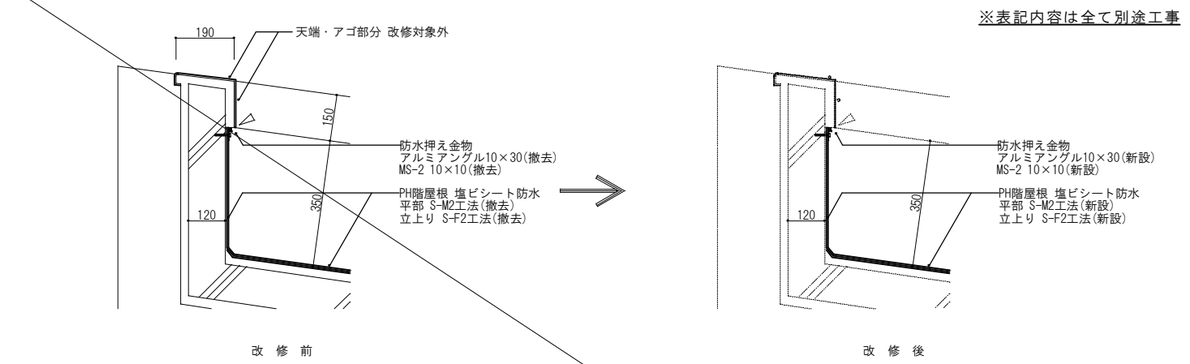


※床スラブ撤去部分の既存鉄筋は定着400残しとする。

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校	図面番号
令和7年度	令和7年7月	久留米工業高専寮宿舎改修設計業務	久留米工業高専寮宿舎改修その他工事	雑詳細図(4)	A1：図示 A3：図示	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社 TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号 FAX 092-522-5183 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11499号 一級建築士 国土交通大臣登録 第350116号 野田 康広	事務部長 / 総務課長 / 総務課長補佐 / 係長 / 担当	A-66

PH屋根立上り詳細　1/10

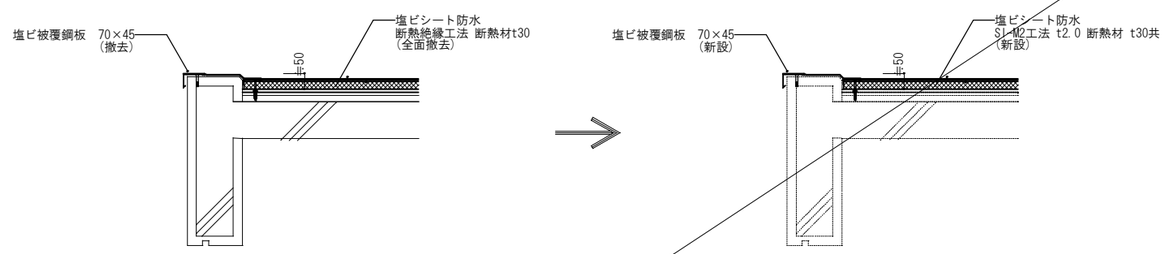
※表記内容は全て別途工事



改 修 前　　改 修 後

2階屋根(寄宿舎)立上り詳細　1/10

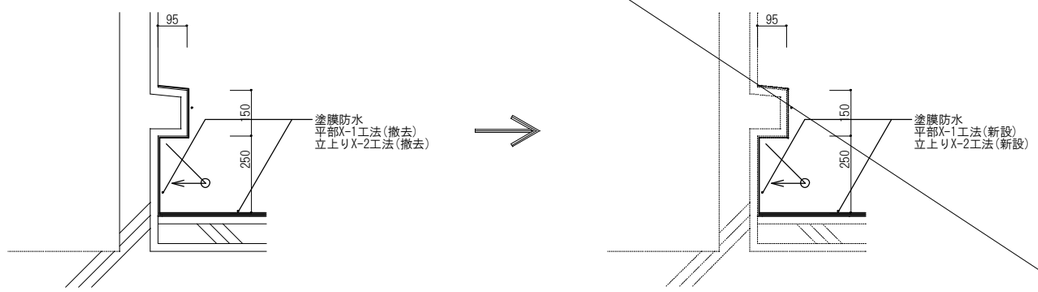
※表記内容は全て別途工事



改 修 前　　改 修 後

R階屋根(水槽置場)立上り詳細　1/10

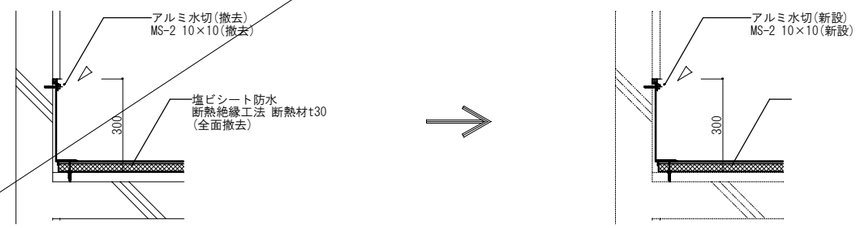
※表記内容は全て別途工事



改 修 前　　改 修 後

2階屋根(寄宿舎)　X9, X11通り立上り詳細　1/10

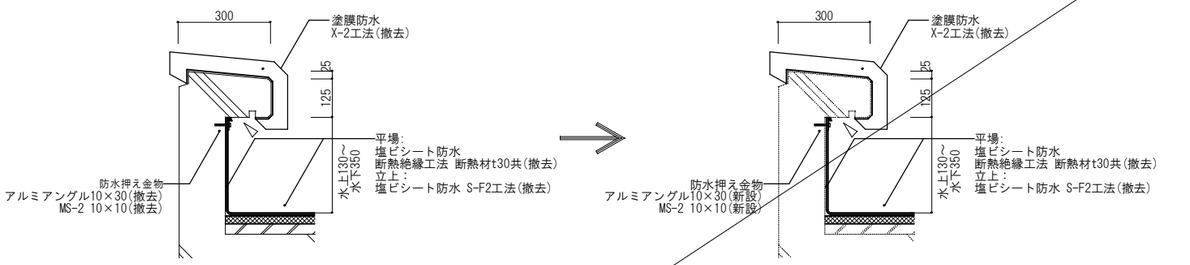
※表記内容は全て別途工事



改 修 前　　改 修 後

R屋根立上り詳細　1/10

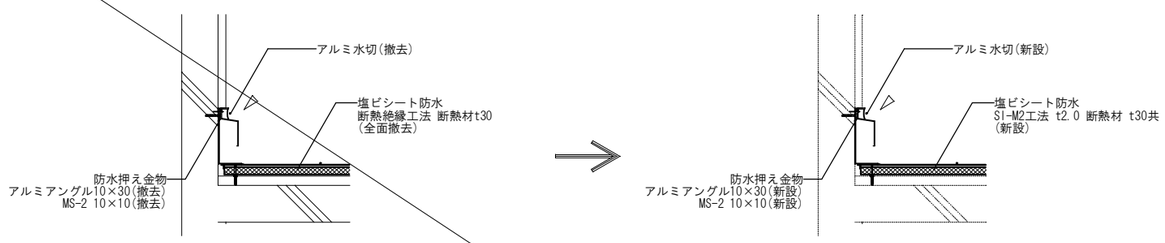
※表記内容は全て別途工事



改 修 前　　改 修 後

1階屋根　(浴室)　壁際立上り　1/10

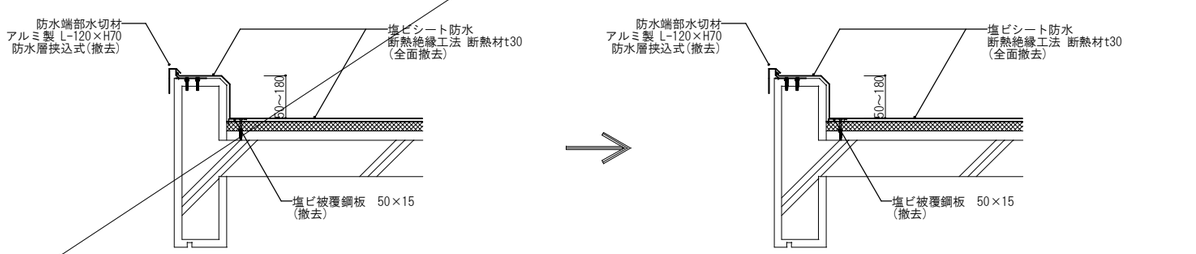
※表記内容は全て別途工事



改 修 前　　改 修 後

2階屋根(食堂棟)立上り詳細　1/10

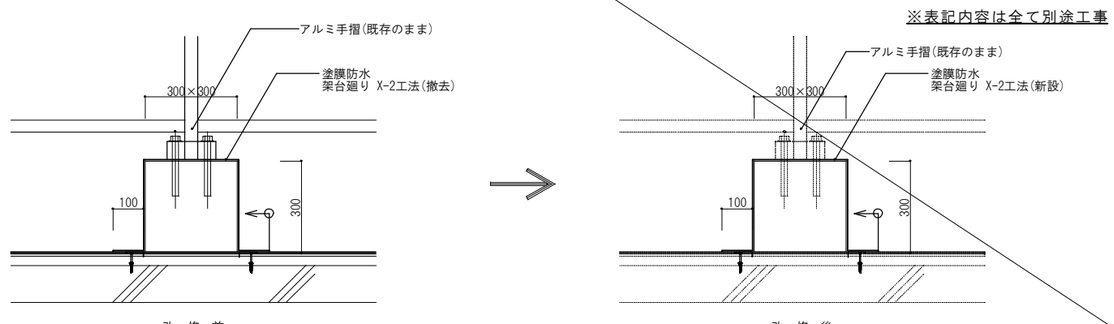
※表記内容は全て別途工事



改 修 前　　改 修 後

1階屋根　既存手摺基礎詳細　1/10

※表記内容は全て別途工事

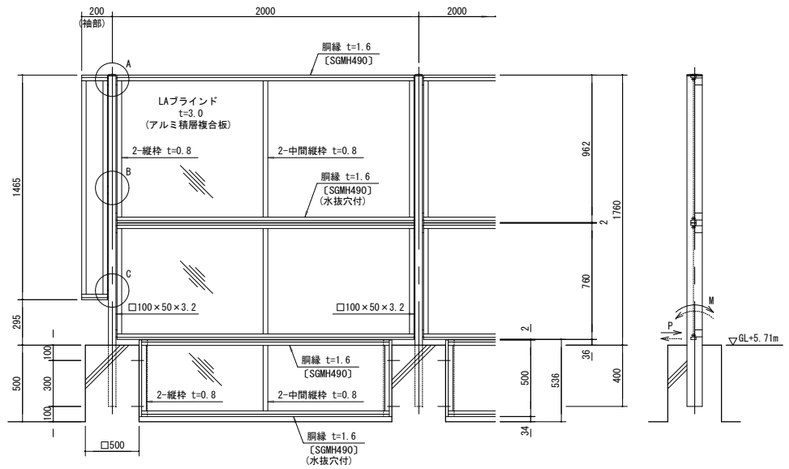


改 修 前　　改 修 後

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第１項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和７年度	令和７年７月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	雑詳細図(5)	A1：図示 A3：図示	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社　TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号　FAX 092-522-5183 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11499号 一級建築士 国土交通大臣登録 第350116号 野田 康広						A-67

目かくしフェンス　H1800　S=1:20
(下部エプロン付)

[建築基準法・同施行令(平成12年6月)に基づく風圧力に依る
基準風速34m／sec　地表面粗度区分Ⅲ　GL+5.71m]



下部構造物に作用する風荷重(柱1本当り)

P(水平力)	≒4.7 kN
M(モーメント)	≒4.2 kN·m

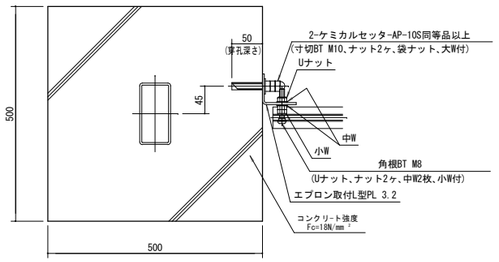
注)逆風時は荷重の向きが逆になります。

エプロンパネルに作用する風荷重(パネル1枚当り)

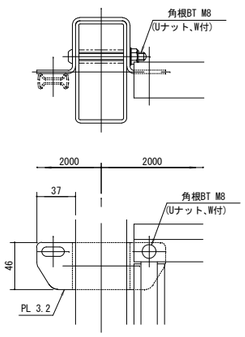
P'(水平力)	≒1.2 kN

注)逆風時は荷重の向きが逆になります。

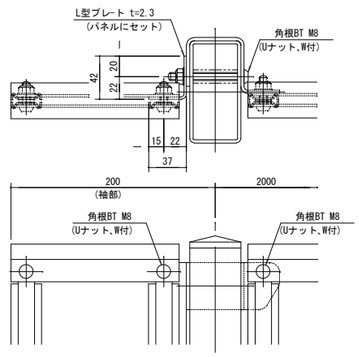
エプロンパネル取付図　S=1:5



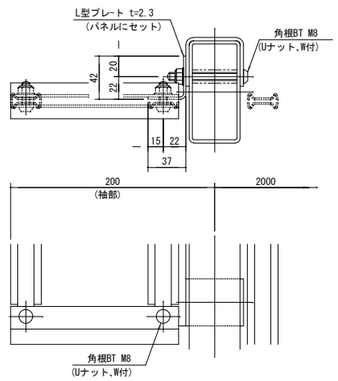
パネル取付図　S=1:3



A部取付図　S=1:3



C部取付図　S=1:3
(B部も本図に準ずる)



設計条件
設計荷重･･･　建築基準法･同施行令(平成12年6月)に基づく風圧力に依る。
基準風速･･･34m／sec
地表面粗度区分･･･Ⅲ

備考
1. 外装はLAブラインドを除く他は、亜鉛･アルミ･マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装とする。但し、ボルト･ナットは溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理とし、一部のボルト･ナットは溶融亜鉛めっきのみとする。
2. 下部構造物については表記の荷重にて別途検討のこと。

⚠ 注意
・柱根入れ部には雨水等が入ります。建物の防水対策上支障ないか確認下さい。

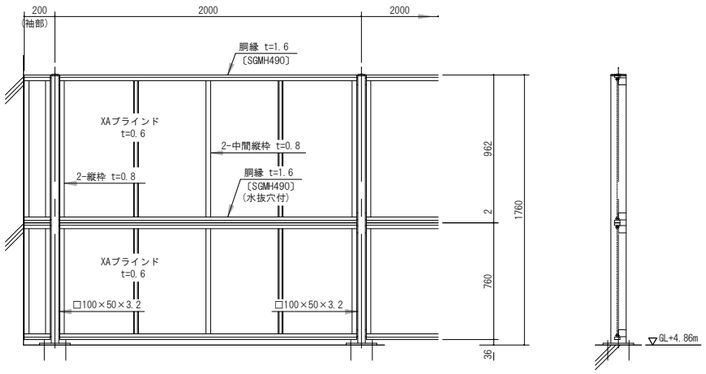
年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和７年度	令和７年７月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	雑詳細図(6)	A1：1/20 A3：1/40	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社　TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号　FAX 092-522-5183 一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1-11499号 一級建築士　国土交通大臣登録　第350116号　野田 康広						A-67

目かくしフェンス　H1800(ベースプレート付)

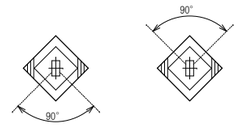
S=1:20

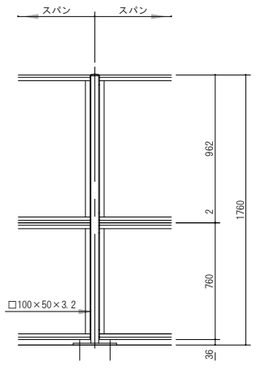
[建築基準法･同施行令(平成12年6月)に基づく風圧力に依る
基準風速 34m/sec　地表面粗度区分 Ⅲ　GL+4.86m]

<一般部>

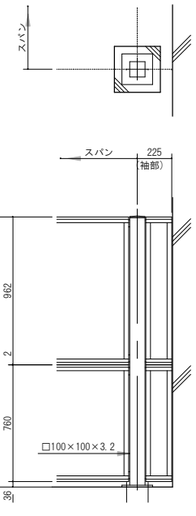


<90° コーナー部>



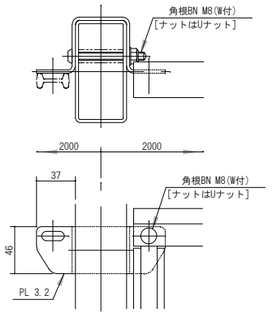


<三方コーナー部>

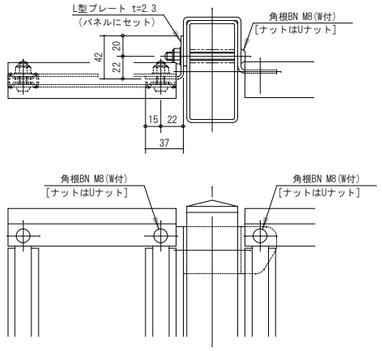


パネル取付図　S=1:3

<一般部>

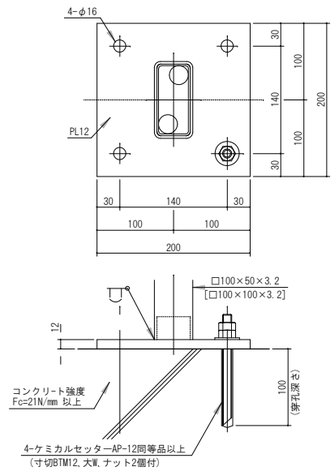


<袖部>
･三方コーナーも本図に準ずる

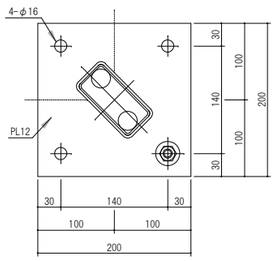


ベースプレート図　S=1:4

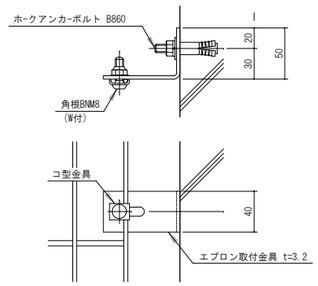
<一般部､三方コーナー部､門柱部>
･[　]内は､三方コーナーの場合を示す



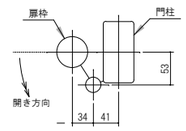
<90° コーナー部>



A部取付図　S=1:3



門柱･扉枠位置関係図



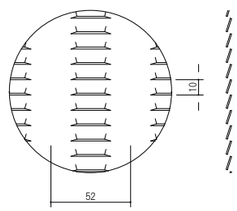
設計条件
設計荷重･･･建築基準法･同施行令(平成12年6月)に基づく
風圧力に依る。
基準風速･･･34m/sec
地表面粗度区分･･･Ⅲ

備考
1. 外装は亜鉛･アルミ･マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装とする。但し､主柱及び門柱は溶融亜鉛めっきの上液体塗装､コ型金具及びボルト･ナットは溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理とし､一部のボルト･ナット､施錠装置及び落しは溶融亜鉛めっきのみとする。
2. 本図門扉は片側開きとする。
3. XAブラインドの目の向きは指示に依る。
4. ベースプレートの穴径は本図で施工上支障ないか確認を要す。
5. エプロン部ワイヤメッシュのスパン方向は､現地カット(カット面が危険でなく､見苦しくならない様)し､補修塗りを施すこと。

⚠ 注意
1. 本構造で建物の防水対策上支障ないか事前に確認のこと。

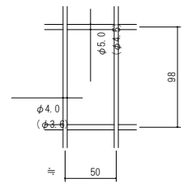
XAブラインド　S=1:2

t=0.6



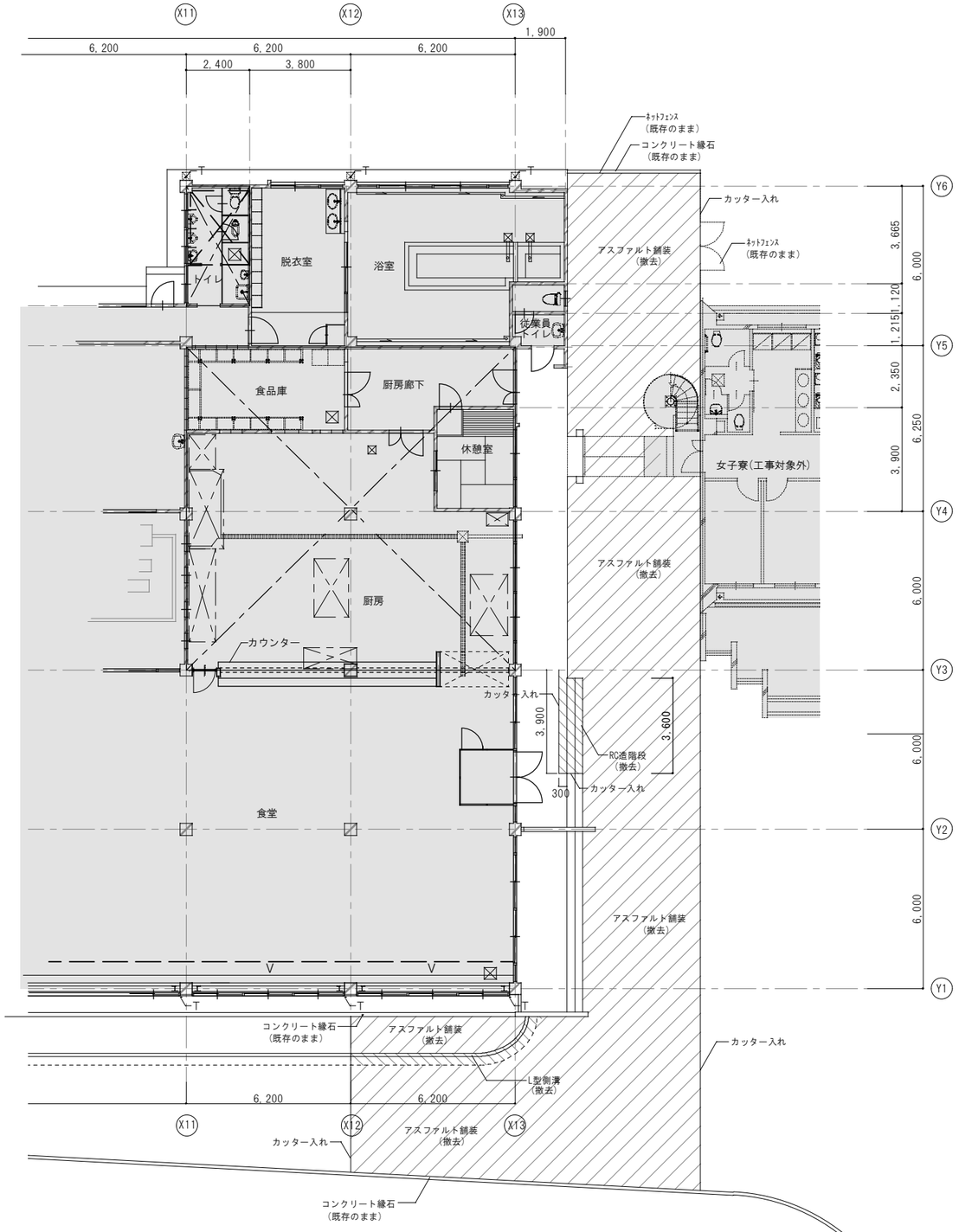
ワイヤメッシュ図

(　)内は芯径を示す。

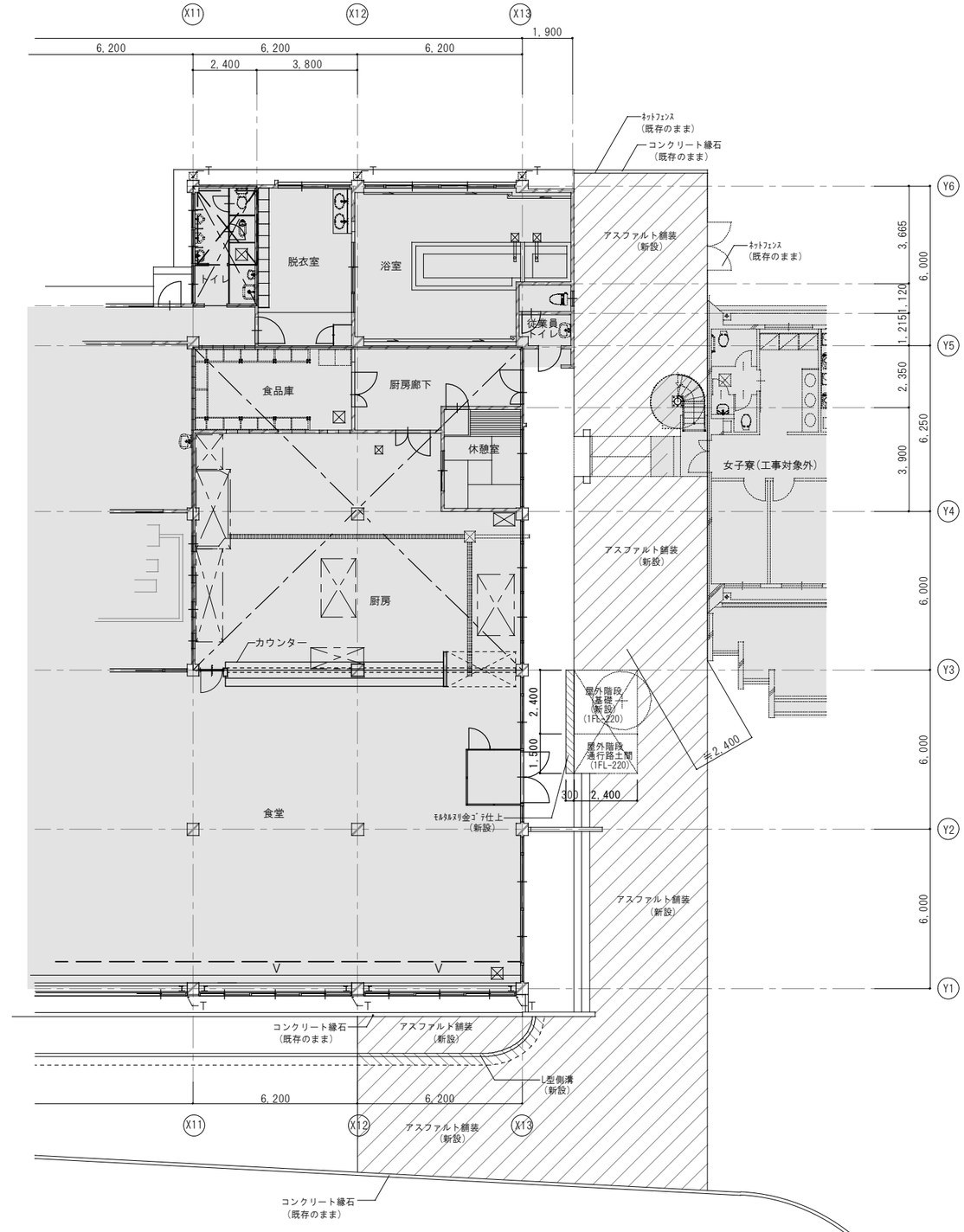


年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和７年度	令和７年７月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	雑詳細図(7)	A1：1/20 A3：1/40	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社　TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号　FAX 092-522-5183 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11499号 一級建築士 国土交通大臣登録 第350116号 野田 康広						A-69

外構　撤去平面図

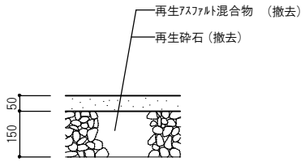


外構　改修後平面図

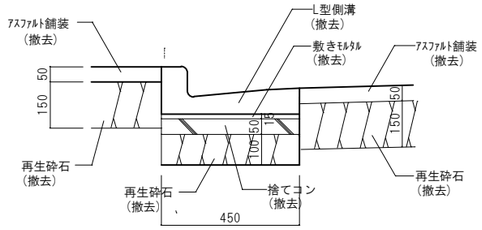


年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第１項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和７年度	令和７年７月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	外構図(改修前・後)	A1：1/100 A3：1/200	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社　TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号　FAX 092-522-5183 一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1-11499号 一級建築士　国土交通大臣登録　第350116号　野田 康広						G-01

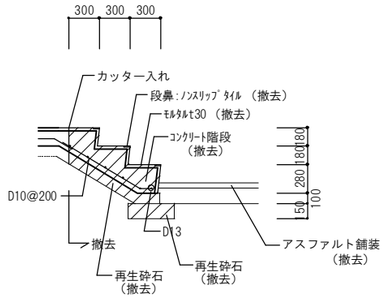
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装　撤去図　1/10



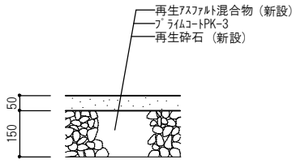
L型側溝　撤去図　1/10



コンクリート階段　撤去図　1/30

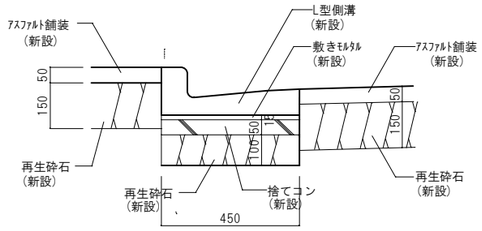


ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装　新設図　1/10



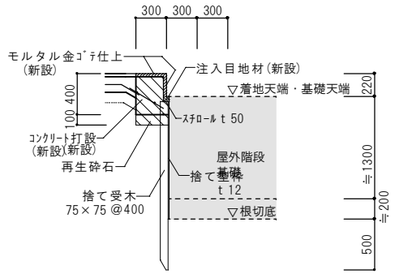
既存の仕上レベルに合わせて施工とする

L型側溝　新設図



既存の仕上レベルに合わせて施工とする

コンクリート階段・新設 屋外階段基礎　改修図　1/30



年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第１項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和７年度	令和７年７月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	外構詳細図	A1：図示 A3：図示	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社　TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号　FAX 092-522-5183 一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1-11499号 一級建築士　国土交通大臣登録　第350116号　野田 康広						G-02

構造関係共通事項

1　一般事項
1）設計図書に記載の無い場合は，本構造関係共通図（配筋標準図,及び鉄骨標準図）に従うものとする。

2）設計図書及び本構造関係共通図に明記なき場合は、「公共建築工事標準仕様書（令和7年版）〈国土交通省大臣官房官庁営繕部監修〉」
（以下、「公共建築標準仕様書」という。）による。
3）「構造関係共通図（配筋標準図）」及び「公共建築標準仕様書」に明記なき鉄筋の加工組立は鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説2021〈日本建築学会〉」による。

2　記号等
1）本共通事項の項目は、◎印 の付いたものを適用する。特記事項は◎印の付いたもの又は、■印の付いたものを適用する。
◎印と■印の付いた場合は、両方を適用する。
2）各章の設計仕様の欄に記載の（　　）内の表示番号は、「公共建築標準仕様書」の当該項目、当該表又は、当該図を示す。

項目		特記事項
地盤調査	◎ 地盤調査	◎ 地盤調査資料 ■ 有（別紙図のとおり）（■敷地内　□近隣 ■ボーリング調査　□ 平板載荷試験　□[　　　　　　　　]) □ 無 ＜　調査計画　□有（下記のとおり　□ 無　＞ ・　調査計画（今回工事に於いて，基礎工事着手前に次の地盤調査を行う） 調査方法 □ ボーリング調査　□ 平板載荷試験　□[　　　　　　　] 調査位置 □ 図示による □ [　　　　　　　] 調査結果は工事監理者に報告する
鉄筋工事	◎ 鉄筋の種類	◎ 鉄筋はJIS G 3112の規格品とし，D16以下はSD295，D19以上はSD345とする　(5.2.1)
	・ 鉄筋の継手	◎　重ね継手　■ D16以下　□ 全て　（構造関係共通図（配筋標準図その1）表3.1，表3.2） ◎　ガス圧接，■ D19以上 ガス圧接の工法及び試験は「公共建築標準仕様書」5章4節ガス圧接による ・機械式継手
	◎ 柱の帯筋	◎　組立の形状　■ H形　□ W-1形　□ＳＰ形　（構造関係共通図（配筋標準図その2）6.2(b)）
	・ 壁の開口補強	・　耐震壁以外の壁　□ A形　□ B形　（構造関係共通図（配筋標準図その4）8.2(a)(1)） ・　コンセントボックス等の補強（150角以内の開口）は切断した壁筋と同量の補強とする。 ・　耐震壁の開口補強は図示による。
	・ 梁の貫通孔の補強	・　図示の無い場合は下記による。（下表）

	補強形式
貫通孔外径（φ） 75≦φ≦100	（構造関係共通図（配筋標準図その5）11.1(b)表11.1　H2形 又は大臣認定の既製品リング形とする。
100＜φ≦200	（構造関係共通図（配筋標準図その5）11.1(b)表11.1　H3形 又は大臣認定の既製品リング形とする。

但し，φは梁せいの1/3以下とする。φが200以上の場合，梁幅が400mmを超える場合,STPのピッチがD10-@150以下,
もしくは，d13-@200以下の場合は構造設計者の指示による。また,既製品を使用する場合は工事管理者と打合せのこと。

コンクリート工事

◎ コンクリートの種類，品質

◎ レディーミクストコンクリートⅠ類，JIS A 5308のJIS表示認証製品とする。　(6.2.1)

種類	設計基準強度 Fc(N/mm²)		スランプ (cm)	適用箇所	備考
◎普通コンクリート	■	24	18	◎基礎,地中梁　・合成スラブ	構造体コンクリート
	□	24	18	・腰壁、パラペット	構造体コンクリート
	□	18	15	・土間,土間スラブ	
	□	18	15	・捨コン　・嵩上げコン　・アイランド仕上	
・軽量コンクリート	□	18	15	・屋外付属物の基礎,土間	(表6.10.1) 1種
	□	18	18	・	

◎ コンクリートの調合

◎　構造体コンクリートの調合管理強度は，設計基準強度に（表6.3.2）の構造体強度補正値（S)を
加えた値とする。

◎　調合条件　■水セメント比：65%以下　■単位水量：185kg/m3以下　(6.3.2(2))
■単位セメント量：270kg/m3以上　■空気量：4.5%±1.5%

項目		特記事項
コンクリート工事	◎ コンクリートの材料	◎ セメント　■ 普通ポルトランドセメント(JIS R 5210)　□ 混合セメントのA種　(6.3.1(a)) ◎ 骨　材　■ JIS A 5308 付属書Aの規定による砕石，砕砂，砂利，砂　(6.3.1(b)) ■ アルカリシリカ反応性による区分はA種とする。 □ JIS A 5308 付属書Aの規定による人工軽量骨材　(6.10.2) ◎ 水　■ JIS A 5308 付属書Cの規定によるコンクリートの練混ぜに用いる水　(6.3.1(c)) ◎ 混和材　■ AE減水剤　□ 高性能AE減水剤　□ 防錆材　(6.3.1(d))
	◎ コンクリートの試験	◎　フレッシュコンクリートの試験　(6.9.2) ■ スランプ　■ 空気量　■ 温度　■ 塩化物量 ◎　コンクリートの強度試験　(6.9.3) ■ 28日圧縮強度試験は公的機関にて行う。 ■ 強度試験の資料採取方法は(6.9.3)とする。 ■ コンクリートの供試体の養生方法は、現場水中養生とする。
	◎ 型枠・支保工の在置期間	◎ 型枠及び支保工の在置期間は下記による。　(6.8.5)

		基礎・梁側・柱・壁	スラブ下	梁　下
コンクリートの材齢による場合	15℃以上	3 日	17 日	28 日
	5℃以上	5 日	25 日	
	0℃以上	8 日	28 日	
コンクリートの圧縮強度試験による場合		5N/mm²以上	0.85Fc又は,12N/mm²以上,かつ施工中の荷重に安全であること	Fc以上,かつ施工中の荷重に安全であること

鉄骨工事

◎ 使用構造材料

・　主要な構造材料は下記のとおり JIS規格品及び大臣認定品 とし，使用する鋼材，ボルトの使用区分，形状，寸法等は設計図に示す。

◎ 鋼　材

鋼材の種類			使用箇所
■建築構造用圧延鋼材 JIS G 3136	◎SN400A		小梁,間柱他
	◎SN400B	◎SN490B	大梁,鋼板
	・SN400C	◎SN490C	通しダイアフラム,ベースプレート
□一般構造用圧延鋼材 JIS G 3101	・SS400		
■建築構造用冷間成形角形鋼管 国交大臣認定	◎BCR295		柱
□一般構造用角形鋼管 JIS G 3466	・STKR400	・STKR490	
□一般構造用炭素鋼鋼管 JIS G 3444	・STK400	・STK490	
■一般構造用軽量形鋼 JIS G 3350	◎SSC400		母屋受け、胴縁
□デッキプレート	・[　　　　]		・構造床　・合成スラブ　・型枠

■ブレースはSNR400Bの建築用ターンバックル，ターンバックルボルトとし，JIS規格品とする。

・ 高力ボルト　(7.2.2)

高力ボルトの種類		使用箇所
■トルシア形高力ボルト	◎S10T	全般
□JIS形高力ボルト	・F10T	[　　　　　]
□溶融亜鉛メッキ高力ボルト	・1種F8T	母材が亜鉛メッキの部分

・ 普通ボルト

・　ボルト及びナットの材料等は(表7.2.3)による。　(7.2.3)

・ アンカーボルト

・　材質及び埋め込みの工法　(7.2.4) (7.10.3)

アンカーボルト材質	保持及び埋込みの工法	使用箇所
■ABR400　□ ABR490	□　(表7.10.1) A種	・トールゲート　・料金所　・[　　　]
□ABR400　□ ABR490	□　(表7.10.1) B種	・料金所　・電気室　・車庫棟　・[　　　]
□SS400	□　(表7.10.1) B種	・工作物の基礎　・[　　　]　・[　　　]

◎ 底均しモルタルの工法　■(表7.10.2) A種　□(表7.10.2) B種

・ スタッド

・　頭付スタッド　JIS B 1198
・　[　　　　　　　　]

・ 溶接材料　(7.2.5)

・　溶接棒等の種類は(表7.2.4)により，母材の種類，寸法，溶接条件に相応したものを選定する。
・　ガスシールド溶接に使用するシールドガスはJIS Z 3253により，溶接に相応したものとする。

令第129条の２の３の事項　※設計が該当する場合には、□にチェックを記入する。
・建築物に設ける建築設備にあっては、構造耐力上安全なものとして、以下の構造方法による。

■ 建築設備（昇降機を除く。）、建築設備の支持構造部及び緊結金物は、腐食又は腐朽のおそれがないものとすること。
□ 屋上から突出する水槽、煙突、冷却塔その他これらに類するもの（以下「屋上水槽等」という。）は、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に、緊結すること。
□ 煙突の屋上突出部の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の場合は鉄製の支枠を設けたものを除き、90cm以下とすること。
□ 煙突で屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを5cm以上とした鉄筋コンクリート造又は厚さが25cm以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造若しくはコンクリートブロック造とすること。
■ 建築物に設ける給水、排水その他の配管設備（給湯設備 ※ を除く。）は、
■ 風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。
■ 建築物の部分を貫通して配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等、有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。
■ 管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は可撓継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。
■ 管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。
□ 法第20条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上水槽等にあっては、平成12年建設省告示第1389号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造上安全なものとすること。
■ 給湯設備[注)]は、風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。満水時の質量が15kgを超える給水設備については、地震に対して安全上支障のない構造として、平成12年建設省告示第1388号第5に規定する構造方法によること。

注)「給湯設備」：建築物に設ける電気給湯器その他の給湯設備で、屋上水槽等のうち給湯設備に該当するものを除いたもの

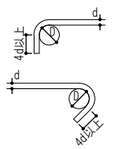
年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第１項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校	図面番号
令和７年度	令和７年７月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	構造関係共通図	A1：NS A3：NS	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社　TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号　FAX 092-522-5183 一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1-11499号 一級建築士　国土交通大臣登録　第350116号　野田 康広	事務部長／総務課長／総務課長補佐／係長／担当	S-01

構造関係共通図（配筋標準図）

1．1　鉄筋の加工

鉄筋の折曲げ内法直径及びその使用箇所は，表1.1を標準とする。

表1.1　鉄筋の折曲げ内法直径

折曲げ角度	折曲げ図	折曲げ内法直径(D) SD295A SD295B，SD345 D16以下	SD295A SD295B，SD345 D19～D38	SD390 D19～D38
180°		3d以上	4d以上	5d以上
135°				
90°				
135°及び90°（幅止め筋）				

（注）1．片持スラブ先端，壁筋の自由端側の先端で90°フックまたは135°フックを用いる場合は，余長を4d以上とする。
2．90°未満の折曲げの内法直径は特記による。

2．1　異形鉄筋の末端部

次の部分に使用する異形鉄筋の末端部にはフックを付ける。
（1）柱及び梁（基礎梁を除く）の出隅部

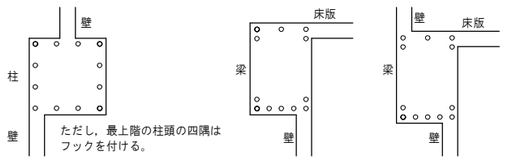


図2.1　末端部にフックを必要とする出隅部の鉄筋（ ● 印）

（2）煙突の鉄筋（壁の一部となる場合を含む）
（3）杭基礎のベース筋
（4）帯筋，あばら筋及び幅止め筋

3．1　継手及び定着

（a）鉄筋の重ね継手
（1）径が異なる鉄筋の重ね継手の長さは，細い鉄筋の径による。
（2）鉄筋の重ね継手の長さは，表3.1による。

表3.1　鉄筋の重ね継手の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 Fc(N/mm²)	L_1（フックなし）	L_{1h}（フックあり）
SD295A SD295B	18	45d	35d
	21	40d	30d
	24，27	35d	25d
	30，33，36	35d	25d
SD345	18	50d	35d
	21	45d	30d
	24，27	40d	30d
	30，33，36	35d	25d
SD390	21	50d	35d
	24，27	45d	35d
	30，33，36	40d	30d

（注）1．L_1，L_{1h} フックなし重ね継手の長さ及びフックあり重ね継手の長さ
2．フックありの場合の L_{1h} は図3.1に示すようにフック部分を含まない。
3．軽量コンクリートの場合は，表の値に5dを加えたものとする。

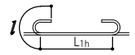
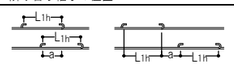
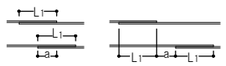
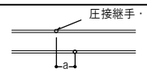
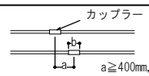


図3.1　フックありの場合の重ね継手の長さ

（3）鉄筋の重ね継手の長さとは，フックありなしにかかわらず40ｄ以上（軽量骨材を使用する場合は50ｄ以上）と表3.1の重ね継手の長さのうち大きい値とする。
（4）隣り合う継手の位置は，表3.2による。
ただし，壁の場合及びスラブ筋でD16以下の場合は除く。

表3.2　隣り合う継手の位置

重ね継手	フックありの場合	 a=0.5 L_{1h}　a≧0.5 L_{1h}
	フックなしの場合	 a=0.5 L_1　a≧0.5 L_1
圧接継手・溶接継手	——	 a≧400mm
機械式継手	——	 a≧400mm，かつ，a≧(b+40)mm

（b）鉄筋の定着
（1）鉄筋の定着の長さは，表3.3及び図3.2による。

表3.3　鉄筋の定着の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 Fc(N/mm²)	直線定着の長さ L_1	L_2	L_3 小梁	L_3 スラブ	フックあり定着の長さ L_{1h}	L_{2h}	L_{3h} 小梁	L_{3h} スラブ
SD295A SD295B	18	45d	40d	20d	10d かつ 150mm 以上	35d	30d	10d	—
	21	40d	35d			30d	25d		
	24，27	35d	30d			25d	20d		
	30，33，36	35d	30d			25d	20d		
SD345	18	50d	40d			35d	30d		
	21	45d	35d			30d	25d		
	24，27	40d	35d			30d	25d		
	30，33，36	35d	30d			25d	20d		
SD390	21	50d	40d			35d	30d		
	24，27	45d	40d			35d	30d		
	30，33，36	40d	35d			30d	25d		

（注）1．L_1，L_{1h}：2．以外の直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ。
2．L_2，L_{2h}：割裂破壊のおそれのない箇所への直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ。
3．L_3：小梁及びスラブの下端筋の直線定着の長さ。ただし，基礎耐圧スラブ及びこれを受ける小梁は除く。
4．L_{3h}：小梁の下端筋のフックあり定着の長さ。
5．フックあり定着の場合は，図3.2に示すようにフック部分を含まない。
また，中間部での折曲げは行わない。また，中間部での折曲げは行わない。
6．軽量コンクリートの場合は，表の値に5dを加えたものとする。

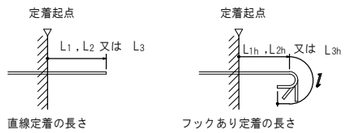
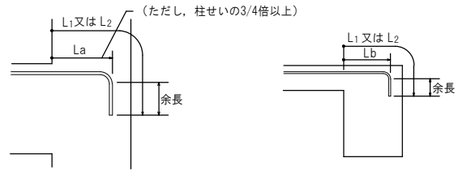


図3.2　直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ

（2）梁主筋の柱内折曲げ定着又は小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の方法は，図3.3により，次の（ｉ），（ii）及び（iii）をすべて満足するものとする。
（ｉ）全長は表3.3に示す直線定着の長さ以上
（ii）余長は8d以上
（iii）仕口面から鉄筋外面までの投影定着長さは表3.4に示す長さとする。ただし，梁主筋の柱内定着においては，原則として，柱せいの3/4倍以上とする。



梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ　　小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ

図3.3　折曲げ定着の方法

表3.4　鉄筋の投影定着長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 Fc(N/mm²)	La	Lb
SD295A SD295B	18	20d	15d
	21	15d	15d
	24，27	15d	15d
	30，33，36	15d	15d
SD345	18	20d	20d
	21	20d	20d
	24，27	20d	15d
	30，33，36	15d	15d
SD390	21	20d	20d
	24，27	20d	20d
	30，33，36	20d	15d

（注）1．La：梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ。
（基礎梁，片持ち梁及び片持ちスラブを含む。）
2．Lb：小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ。
（片持ち小梁及び片持ちスラブを除く。）
3．軽量コンクリートの場合は，表の値に5dを加えたものとする。

（3）溶接金網の継手及び定着は，図3.4による。
なお，L_2 及び L_3 は表3.3の（注）による。

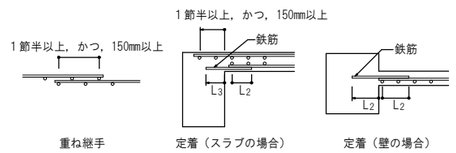


図3.4　溶接金網の継手及び定着

（4）スパイラル筋の継手及び定着は，図3.5による。

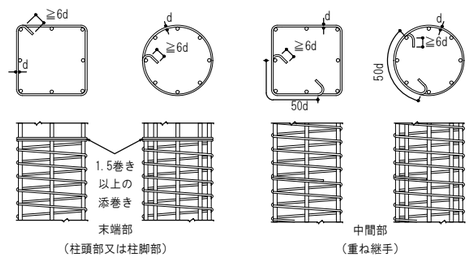


図3.5　スパイラル筋の継手及び定着

4．1　最小かぶり厚さ

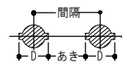
（a）鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは，表4.1による。
ただし，柱及び梁の主筋にD29以上を使用する場合は，主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保するように最小かぶり厚さを定める。

表4.1　鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ（単位：mm）

構造部分の種別				最小かぶり厚さ
土に接しない部分	スラブ，耐力壁以外の壁	仕上げあり		20
		仕上げなし		30
	柱，梁，耐力壁	屋内	仕上げあり	30
			仕上げなし	30
		屋外	仕上げあり	30
			仕上げなし	40
	擁壁，耐圧スラブ			40
土に接する部分	柱，梁，スラブ，壁			*40
	基礎，擁壁，耐圧スラブ			*60
煙突等高熱を受ける部分				60

（注）1．＊印のかぶり厚さは，普通コンクリートに適用し，軽量コンクリートの場合は特記による。
2．「仕上げあり」とは，モルタル塗り等の仕上げのあるものとし，鉄筋の耐久性上有効でない仕上げ（仕上げ塗材，塗装等）のものを除く。
3．スラブ，梁，基礎及び擁壁で，直接土に接する部分のかぶり厚さには，捨コンクリートの厚さを含まない。
4．杭基礎の場合のかぶり厚さは，杭天端からとする。
5．塩害を受けるおそれのある部分等，耐久性上不利な箇所は，特記による。

（b）柱，梁等の鉄筋の加工に用いるかぶり厚さは，最小かぶり厚さに10mmを加えた数値を標準とする。
（c）鉄筋組立後のかぶり厚さは，最小かぶり厚さ以上とする。
（d）鉄筋相互のあきは図4.1により，次の値のうち最大のもの以上とする。
（1）粗骨材の最大寸法の1.25倍
（2）25mm
（3）隣り合う鉄筋の平均径（呼び名の数値）1.5倍

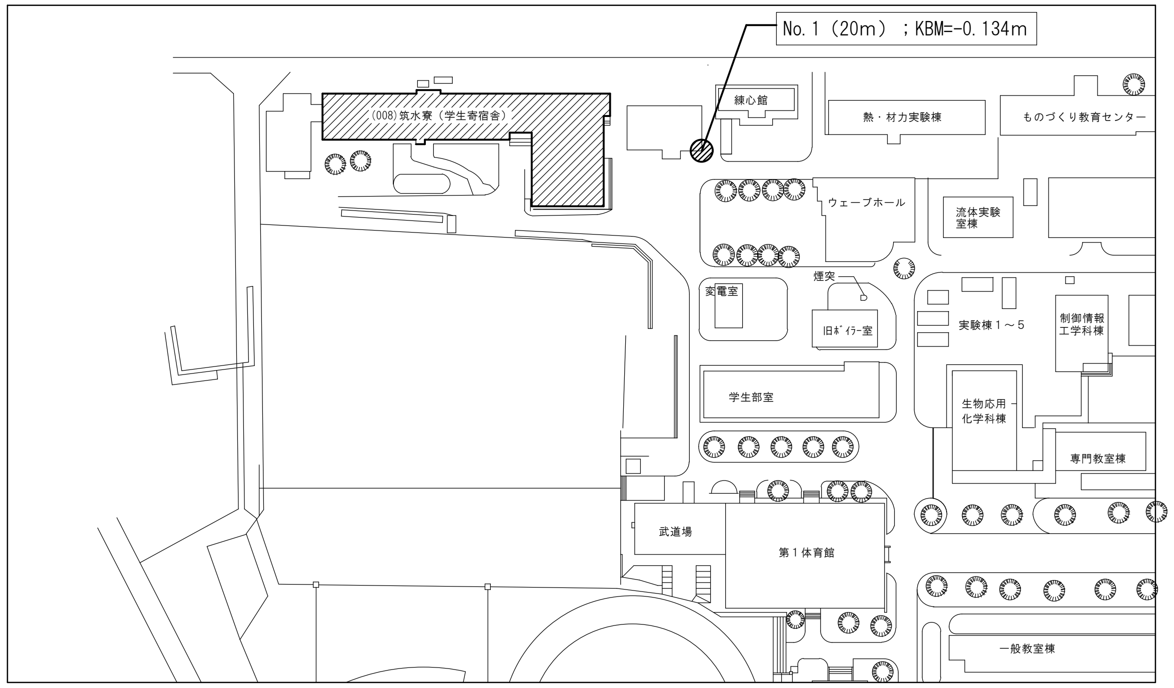


（Dは，鉄筋の最大外径）

図4.1　鉄筋相互のあき

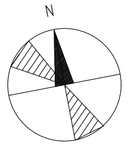
（e）鉄骨鉄筋コンクリート造の場合，主筋と平行する鉄骨とのあきは（d）による。
（f）貫通孔に接する鉄筋のかぶり厚さは（c）による。

年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第１項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和７年度	令和７年７月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	構造関係共通図(配筋標準図)	A1：NS A3：NS	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社 TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号 FAX 092-522-5183 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11499号 一級建築士 国土交通大臣登録 第350116号 野田 康広						S-02



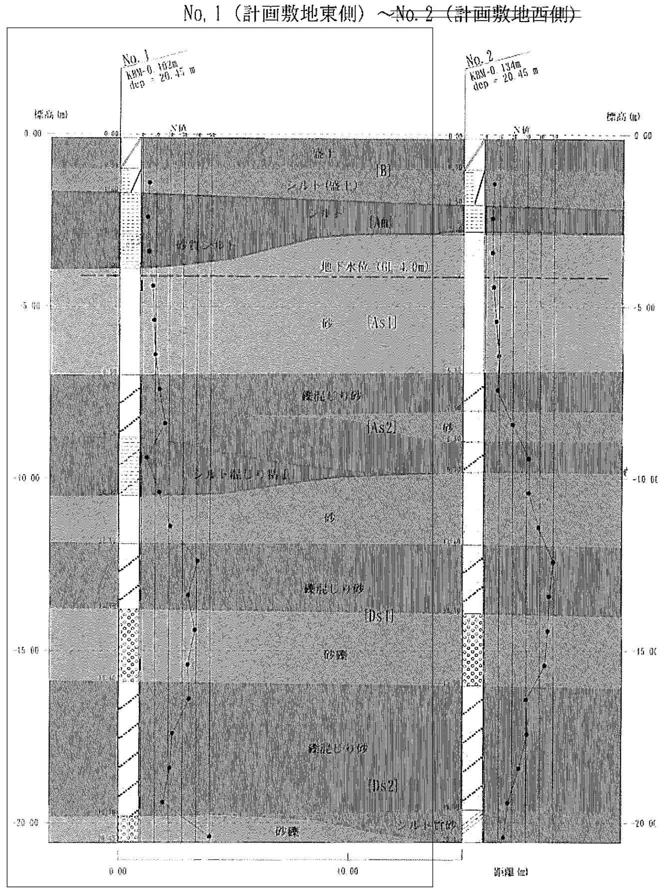
調査位置図

本工事対象建物を示す



地質推定断面図(Sh=1：150、Sv=1：100)

No.1（計画敷地東側）~~～No.2（計画敷地西側）~~



ボーリング柱状図

調　査　名　女子寮（仮称）新営に伴う地質調査

事業・工事名

ボーリングNo.

シートNo.

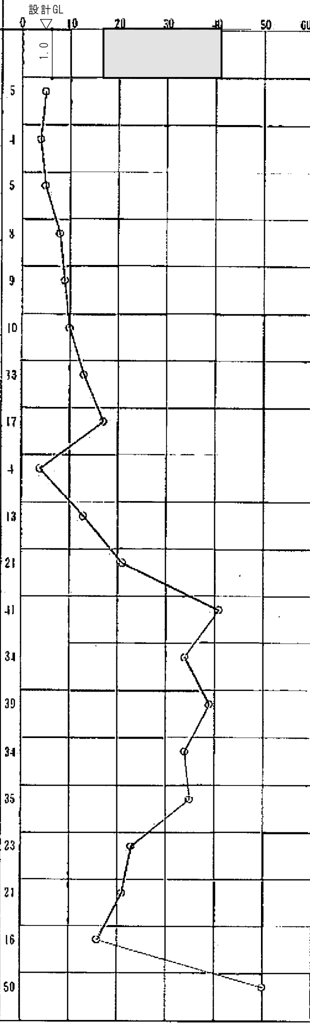
ボーリング名	No.1	調査位置	久留米市小森野1丁目1-1	北緯	
発注機関	久留米工業高等専門学校	調査期間	平成 23年 5月 10日 ～ 23年 5月 11日	東経	
調査業者名	株式会社 タカキ地下テック 電話（0942-26-2166）	主任技師	久保川孝俊	現場代理人	久保川孝俊
コア鑑定者	久保川孝俊	ボーリング責任者	中村 昭一郎		
孔口標高	KBM -0.102m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北0° 270°西 90°東 180°南
地盤勾配	水平0° 鉛直90°				
総掘進長	20.45m				
使用機種 試錐機	YSO－1	ハンマー落下用具	半自動落下装置		
エンジン	NFD－9	ポンプ	BG－5		

標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
-1.00	0.90	0.90	盛土	黄灰			アスファルト10cm厚さ。以深は礫混じり強風化まさ土でシルト状を呈する。
-1.70	0.70	1.60	シルト(盛土)	暗灰		中位	含水量少なく均質。φ5mm角礫点在、植物根混じりで旧盛土と思われる。
-2.90	1.20	2.80	シルト	茶灰		軟らかい	含水量中位で均質。所々に含水量やや多い軟質部を挟む。
-3.90	1.00	3.80	砂質シルト	茶褐		中位	含水量中位で微細砂～細砂を混じる。見掛けは軟らかい。
-7.00	3.10	6.90	砂	茶灰～茶褐	緩い		含水量多い均質な細砂。深度6m付近から含水量が中位で、色調が茶褐色となり，細砂～中砂主体となる
-8.80	1.80	8.70	礫混じり砂	暗茶灰	中位		含水量多く、φ2～15mm大の円礫混じりで、細砂～中砂主体。深度7～8m間は礫分含有量少なく、深度8m付近から礫分を多く混入する。
-10.50	1.70	10.40	粘土混じりシルト	暗黒灰		中位	含水量少なく均質。やや粘性を有する。深度10m付近から細砂混じりとなり、含水量やや多く、見掛けは軟質となる。
-11.90	1.40	11.80	砂	暗灰～黄灰	中位		含水量多く、細砂～中砂主体である。深度11m付近から色調が黄灰色に遷移する。
-13.80	1.90	13.70	礫混じり砂	暗灰	密な		含水量多く、φ2～20mm大の円礫主体である。マトリックスは細砂～粗砂。φ30～40mm大の亜円礫を点在する。深度13m付近から凝灰質砂主体となる。
-15.90	2.10	15.80	砂礫	暗茶灰	密な		含水量多く、安山岩石英礫主体である。マトリックスは細砂。礫径はφ2～20mm大の円礫で、硬質である。
-19.80	3.90	19.70	礫混じり砂	暗灰～黄灰～暗灰	密な～中位		φ2～10mm大の円礫混じりで、細砂～粗砂から成る。所々に、φ30mm大の円礫を点在する。深度18～19.7m間は、微細砂～細砂主体となり、礫は小礫を点在する程度。色調は、上層の暗灰色から黄灰色に変化し、深度方向に暗灰色へと変化する。
-20.55	0.75	20.45	砂礫	暗青灰	非常に密な		含水量多く、φ2～20mm大の円礫主体。マトリックスはシルト～細砂。やや粘性あり。

孔内水位(m)／測定月日：5/11 4.00

標準貫入試験

深度 (m)	0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.15～1.45	2	1	2	5/30	5
2.15～2.45	2	1	1	4/30	4
3.15～3.45	1	2	2	5/30	5
4.15～4.45	2	3	3	8/30	8
5.15～5.45	3	3	3	9/30	9
6.15～6.45	3	3	4	10/30	10
7.15～7.45	4	5	4	13/30	13
8.15～8.45	4	6	7	17/30	17
9.15～9.45	1	2	1	4/30	4
10.15～10.45	1	4	8	13/30	13
11.15～11.45	6	7	8	21/30	21
12.15～12.45	11	14	16	41/30	41
13.15～13.45	10	11	13	34/30	34
14.15～14.45	16	11	12	39/30	39
15.15～15.45	12	11	11	34/30	34
16.15～16.45	10	12	13	35/30	35
17.15～17.45	8	7	8	23/30	23
18.15～18.45	6	7	8	21/30	21
19.15～19.45	4	5	7	16/30	16
20.15～20.45	14	19	17	50/30	50



試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験
3.15～3.45	P-1	⊙	物理
4.15～4.45	P-2	⊙	物理
7.15～7.45	P-3	⊙	物理
9.16～9.45	P-4	⊙	物理(圧密)
10.15～10.45	P-5	⊙	物理
13.15～13.45	P-6	⊙	物理
15.15～15.45	P-7	⊙	物理
19.15～19.45	P-8	⊙	物理

掘進月日：5/10、5/11

年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校	図面番号
令和7年度	令和7年7月	久留米工業高専寄宿舎改修設計業務	久留米工業高専寄宿舎改修その他工事	柱状図	A1：NS A3：NS	株式会社 手島建築設計事務所 福岡本社 TEL 092-522-5311 東京都港区芝1丁目13番16号 FAX 092-522-5183 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11499号 一級建築士 国土交通大臣登録 第350116号 野田 康広	事務部長／総務課長／総務課長補佐／係長／担当	S-03